

大磯町第五次総合計画後期基本計画策定業務委託
町民アンケート調査結果報告書

令和6年12月

株式会社地域計画建築研究所 東京事務所

もくじ

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類及び対象者	1
3	回収結果	1
4	留意事項	1
II	調査結果のまとめ	2
1	回答者の属性について	2
2	居住意向、生活の幸福度・満足度について	2
3	地域の環境、大磯町のイメージ、強み・弱みについて	2
4	町政の取組みについて	2
5	土地利用等について	3
6	広報について	3
7	地域課題について	3
III	調査結果	4
1	一般町民	4
1-1	回答者の属性	4
1-2	居住意向、生活の幸福度・満足度について	7
1-3	地域の環境について	16
1-4	町政の取組みについて	20
1-5	土地利用等について	29
1-6	広報について	41
1-7	地域課題について	53
2	転入者	55
2-1	回答者の属性	55
2-2	大磯町のイメージ、強み・弱みについて	60
2-3	居住意向、生活の幸福度・満足度について	69
2-4	町政の取組みについて	79
3	自由意見	86
3-1	一般町民	86
3-2	転入者	107
【参考資料】	調査票	119
1	一般町民アンケート	119
2	転入者アンケート	128

I 調査の概要

1 調査の目的

令和 8 年度から始まる「第五次総合計画後期基本計画」の策定及び「まちづくり基本計画」の見直しのための基礎資料とするため、一般町民及び転入 5 年以内の町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

2 調査の種類及び対象者

調査は以下の内容で実施しています。

	一般町民アンケート	転入者アンケート
対象者	満 18 歳以上の町民	転入 5 年以内の 18 歳以上の町民
対象人数	1,500 人	500 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為に抽出	
調査期間	令和 6 年 7 月 18 日 (木) ~ 8 月 7 日 (水) ※8 月末までに到着したものを集計	
配付方法	郵送配付	
回答方法	郵送回答	

3 回収結果

回収結果は以下に示す通りです。

	配布数	回収数	白票	有効回収数	回収率
一般町民	1,500	471	1	470	31.4%
転入者	500	198	0	198	39.6%
合計	2,000	669	1	668	33.4%

4 留意事項

- 図表中の「総数」及びカッコ内の数値は設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比(%)を算出するための基数となっています。
- 図表中の構成比(%)はすべて小数点第 2 位以下を四捨五入して算出しています。そのため、数値の合計が 100%にならない場合があります。
- 属性別の集計結果で、サンプル数(属性ごとの回答者数)が少ないものは、十分な精度が得られないことから分析していません。
- 平成 31 年に実施している調査(以下、「前回調査」という。)と比較可能なもので、経年的な変化がみられるものについては、前回調査との比較を掲載しています。

II 調査結果のまとめ

1 回答者の属性について

■一般町民では、30～60代、女性、居住年数が長く、町外生活経験者が多い

○一般町民では、30～60代が8割を占めており、女性が過半数、居住年数は20年以上が半数弱、生まれてからずっと住んでいる人は1割強と少なく、町外での生活を経験している人が大多数となっています。

■30～50代、5歳未満の子どもがいる世帯が半数強、都内・横浜・川崎からの転入が4割

○一般町民では、30～50代、5歳未満の子どもがいる世帯が5割半ば、4割が都内や横浜市・川崎市からの転入者で、8割は大磯町での居住経験がない人たちとなっています。

2 居住意向、生活の幸福度・満足度について

■定住意向は8割以上。自然環境の良さが定住の大きなポイント

○一般町民・転入者ともに80%以上が住み続けたいと回答しており、その理由として、自然環境の良さ(一般町民71%、転入者79%)を上げています。

○転出希望は一般町民・転入者ともに16%で、その理由としては生活のしづらさ(一般町民59%、転入者69%)、通勤通学の便の悪さ(一般町民45%、転入者34%)などを上げています。

■現在の幸福度・5年後の幸福度も県平均に比べて高い

○現在及び5年後の幸福度、住んでいる地域の満足度、地域の人たちの幸福度については、すべて²の項目が県平均を上回っています。また、一般町民に比べ、転入者の幸福度・満足度が高く、転入して良かったと感じている人が約9割であることを裏付けています。

3 地域の環境、大磯町のイメージ、強み・弱みについて

■一般町民では、豊かな自然や住環境などが高評価、買い物・交通・公共施設などでは低評価

○一般町民では、自然の豊かさや日照・通風、空気のきれいさなどの評価が高い一方で、スポーツ施設や買い物の便、(公共)交通の便などではマイナス評価となっており、生活利便や公共施設、医療、福祉サービスなどでの不満が大きくなっています。

■転入者では、自然環境や歴史・文化などに魅力を感じている人が多い

○転入者の大磯町のイメージは「身近な海、緑地など自然環境が豊か」が約9割、「地域に歴史的な文化や建物が残っているところ」などが約5割と多く、大磯町に住む理由としても自然環境が良いからとする意見が5割以上を占めています。

■転入者の感じる強みは自然環境や住環境、歴史・文化、弱みは買い物などの生活利便性の低さ

○大磯町の強みとしても自然環境や史跡や文化財、気候や景観、水などの住環境が上げられています。一方、弱みとしては買い物、公共施設、医療・福祉施設のサービス、道路・交通などが上げられており、生活利便性の低さは、転出したい理由でも7割弱を占めています。

4 町政の取り組みについて

■子育て、社会保険、道路・交通、産業、教育、就労などの改善が求められている

○施策の満足度・重要度については、一般町民では、重要度が高く、満足度が低い施策として、

「子ども・子育て支援」及び「保険（国保・介護保険等）」、「道路・交通」、「産業」の4施策が入っており、重点的な改善が求められています。

○転入者では、一般町民で該当した上記の4施策に加えて、「学校教育」、「幼児教育・保育」、「勤労・就業」が該当しており、子育てや働く場づくりがより強く求められています。

■広域的な取組が必要な施策では、医療・介護サービス、災害対応、公共交通などの比率が高い

○医療・介護サービスの提供が約6割、災害時の広域的な避難体制の整備が5割半ば、公共交通の確保・整備が5割強となっています。

5 土地利用等について

■住宅地整備では生活道路や下水道、公園等の都市基盤の整備が求められている

○住宅地整備では、生活道路や公共下水道、公園等の整備が4割弱で最も比率が高く、それ以外の選択肢は一桁台にとどまっており、平成31年の前回調査では1割台半ばであった街並み(色・デザイン・高さ)の調和も比率が低下しています。

■空き家対策では修繕や解体費用の助成が、商業活性化では空き店舗活用が求められている

○空き家対策としては、所有者に対する修繕費等の支援が3割強、商業活性化策では、空き店舗の活用による賑わいづくりが3割台半ばで最も比率が高くなっています。

■農地や山林・緑地の町民の体験の場としての活用や、河川環境の改善の取組が求められている

○農地では、市民農園等としての利用が3割、山林・緑地では、森林公園等としての利用が3割台半ばで最も比率が高く、町民が体験的に利用できる場としての活用が求められています。

○自然環境の保全については、環境教育による意識啓発のほか、下水道の整備や多自然型の川づくりなど、河川環境の改善の取組が求められています。

6 広報について

■現状では町広報や回覧板等の閲覧が多いが、今後については若年層でSNSを求める声が多い

○良く閲覧されているのは町広報とチラシ・回覧板で、高齢層で比率が高くなっています。オンラインでの広報はあまり閲覧されていない状況となっています。

○今後力を入れるべき広報媒体としては町広報、町ホームページ、SNSの比率が高くなっていますが、町広報とホームページは高齢層、SNSは低年齢層ほど比率が高くなっています。

7 地域課題について

■高齢化への対応や生活利便の向上、自然災害対策が求められている

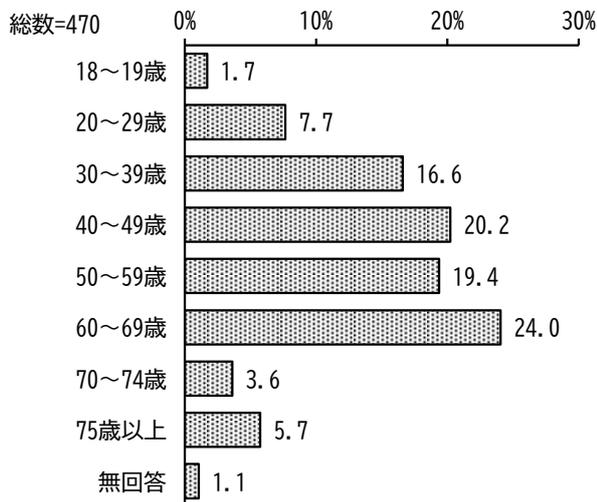
○高齢者の移動手段の確保や安心して暮らし続けられる支援、空き家対策など、町民の高齢化に関連するものが上位を占めているほか、買い物の場の確保といった生活利便性の向上、自然災害や危機への備えなどの比率が高くなっています。

Ⅲ 調査結果

1 一般町民

1-1 回答者の属性

【年齢】

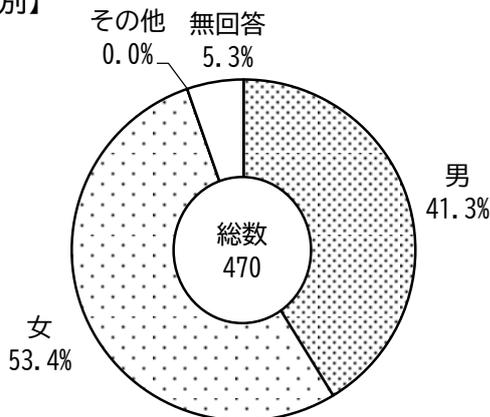


○60代が24.0%で最も比率が高く、40代の20.2%、50代の19.4%がこれに続いています。

○30～50代が半数以上を占めており、また、60歳以上が全体の3分の1を占めています。

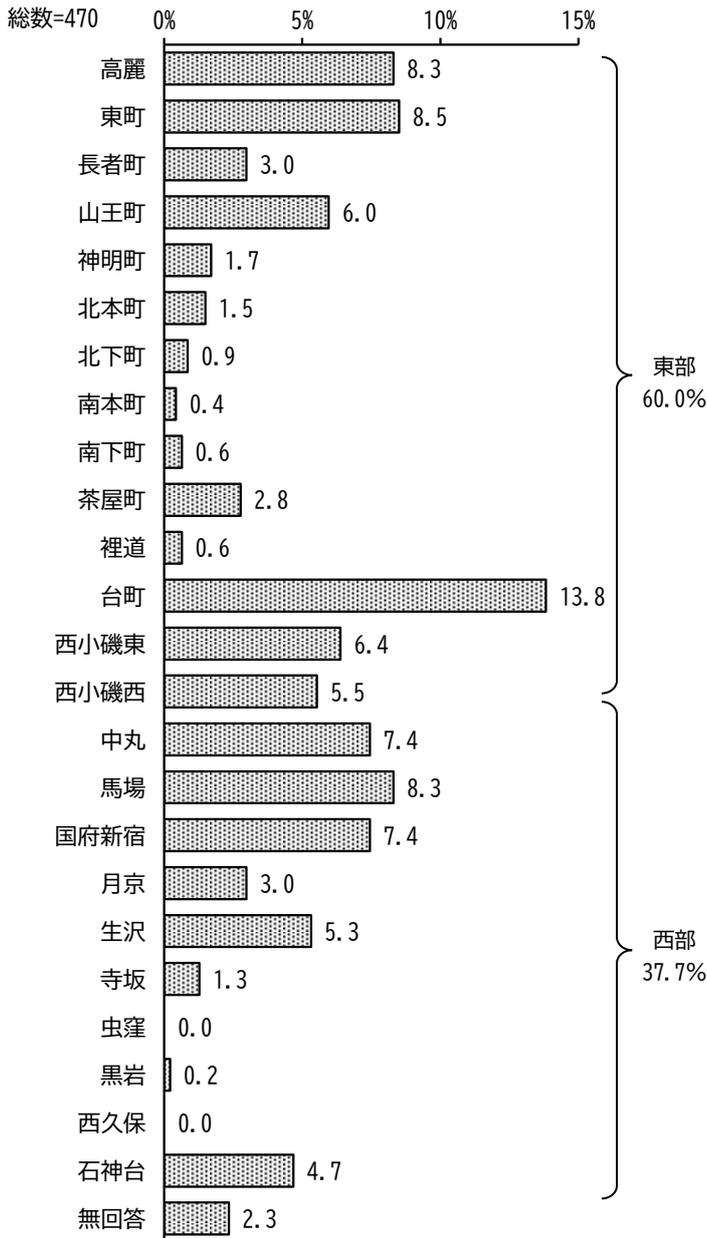
○10代、20代の若い世代は10%未満と比率が低くなっています。

【性別】



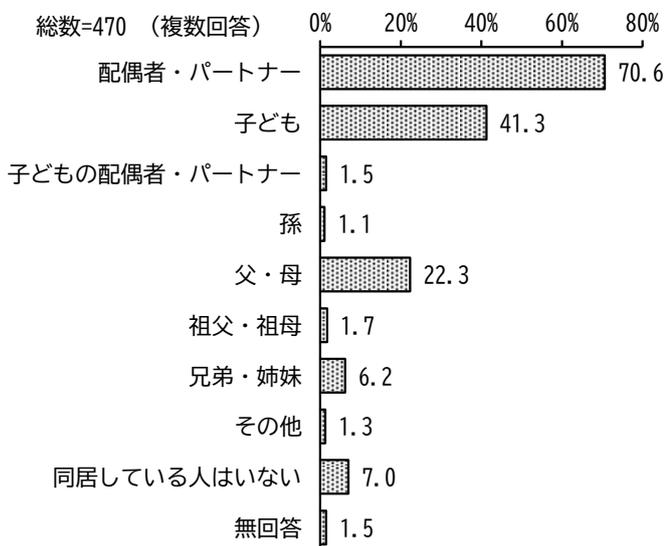
○女が53.4%、男が41.3%となっています。

【居住地域】



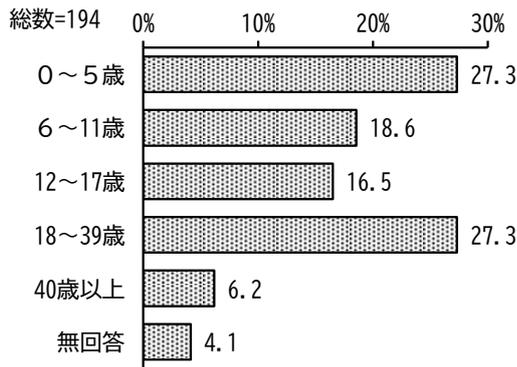
- 地区別では「台町」が13.8%で最も比率が高く、「東町」(8.5%)、「高麗」、「馬場」(ともに8.3%)がこれに続いています。
- 東部・西部でみると東部が60.0%、西部が37.7%となっています。

【家族構成】



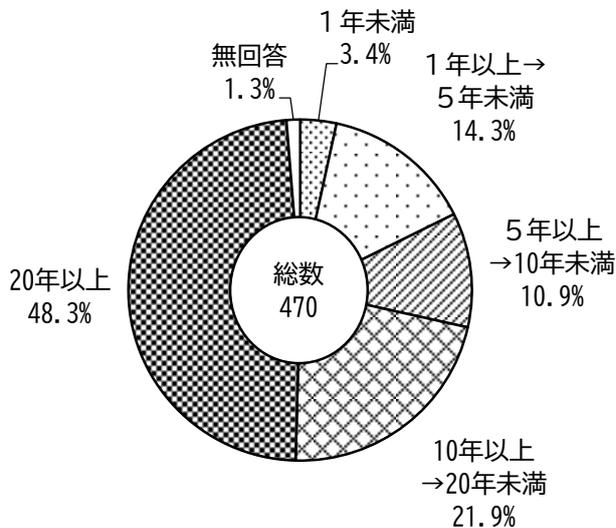
- 「配偶者・パートナー」が70%以上となっており、以下、「子ども」(41.3%)、「父母」(22.3%)と続いています。
- 「同居している人はいない」は7.0%となっており、単身世帯が少ないという特徴がみられます。

【同居する一番若い子どもの年齢】



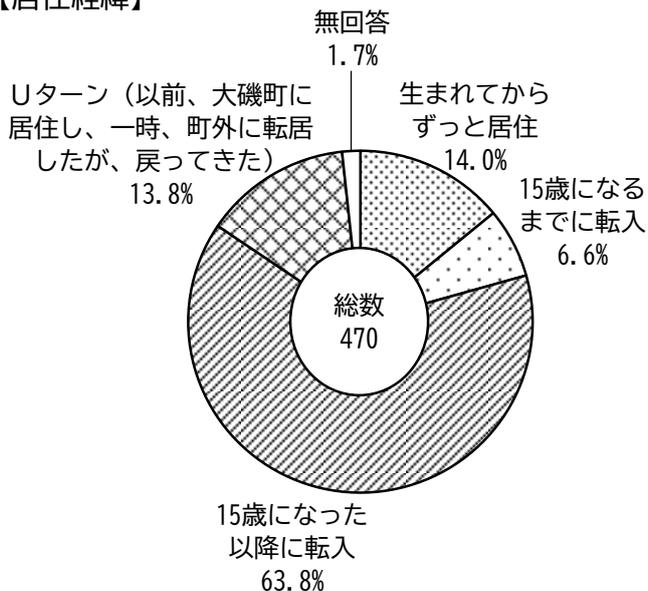
- 「0～5歳」と「18～39歳」が27.3%で並んでいます。
- 18歳未満の未成年の子どもでみると、60%以上となります。

【居住年数】



- 「20年以上」が48.3%と半数弱を占めており、10年以上では70%以上となります。
- 比較的居住年数が短い層では、「1年以上→5年未満」が14.3%となっており、5年未満でみると17.7%となっています。

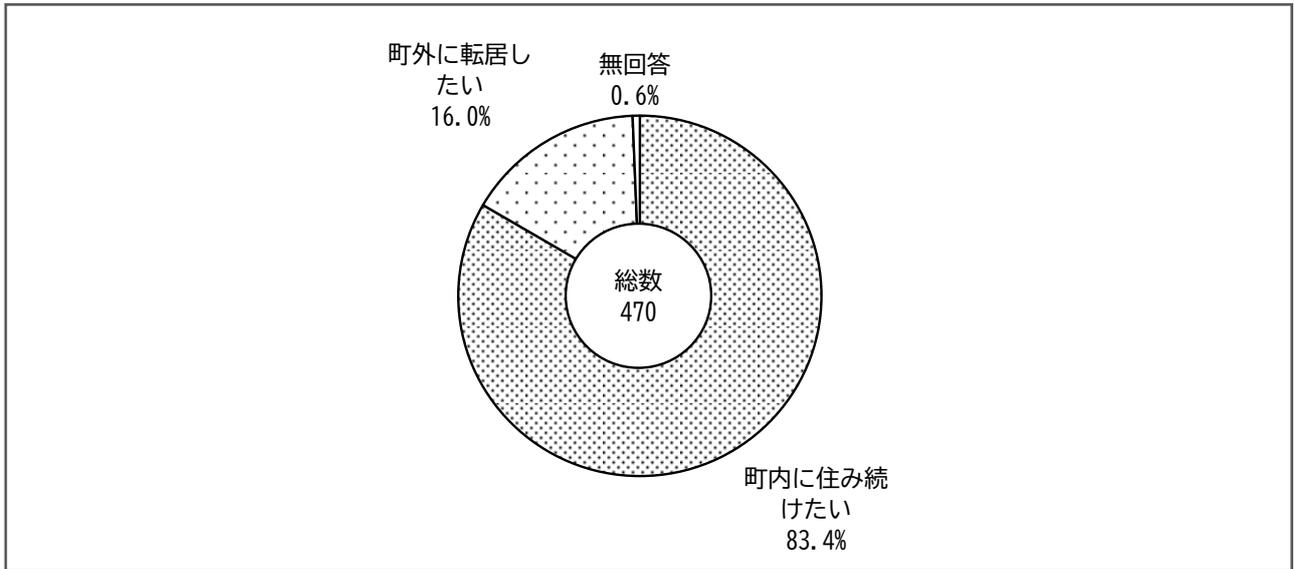
【居住経緯】



- 「15歳になった以降に転入」が63.8%で最も比率が高く、「生まれてからずっと居住」は14.0%となっています。
- また、「Uターン (以前、大磯町に居住し、一時、町外に転居したが、戻ってきた)」は13.8%となっています。

1-2 居留意向、生活の幸福度・満足度について

問1 あなたは今後も大磯町に住み続けたいと思いますか。(1つを選択)

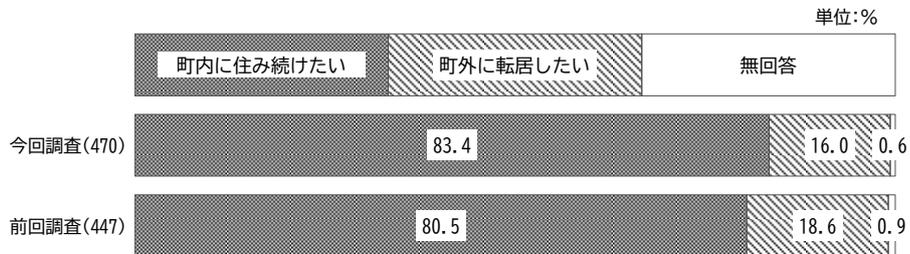


【全体】

「町内に住み続けたい」が83.4%、「町外に転居したい」が16.0%となっており、住み続けたい人が圧倒的に多くなっています。

【前回比較】

平成31年実施の前回調査と比較すると、大きな差はありませんが、「町内に住み続けたい」は増加、「町外に転居したい」は減少しています。

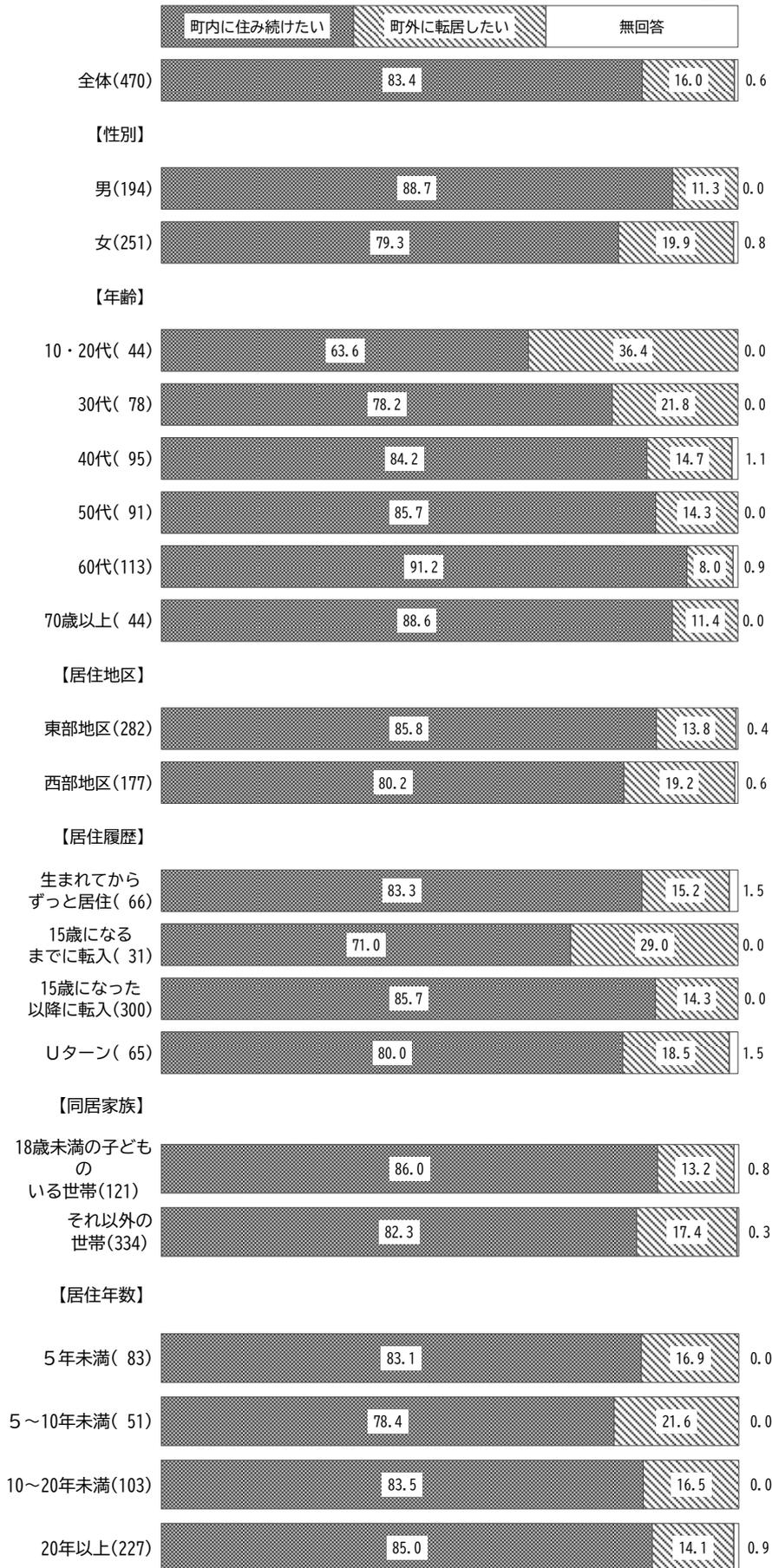


【属性別】

性別にみると、女性に比べ男性で定住意向が強い傾向がみられます。

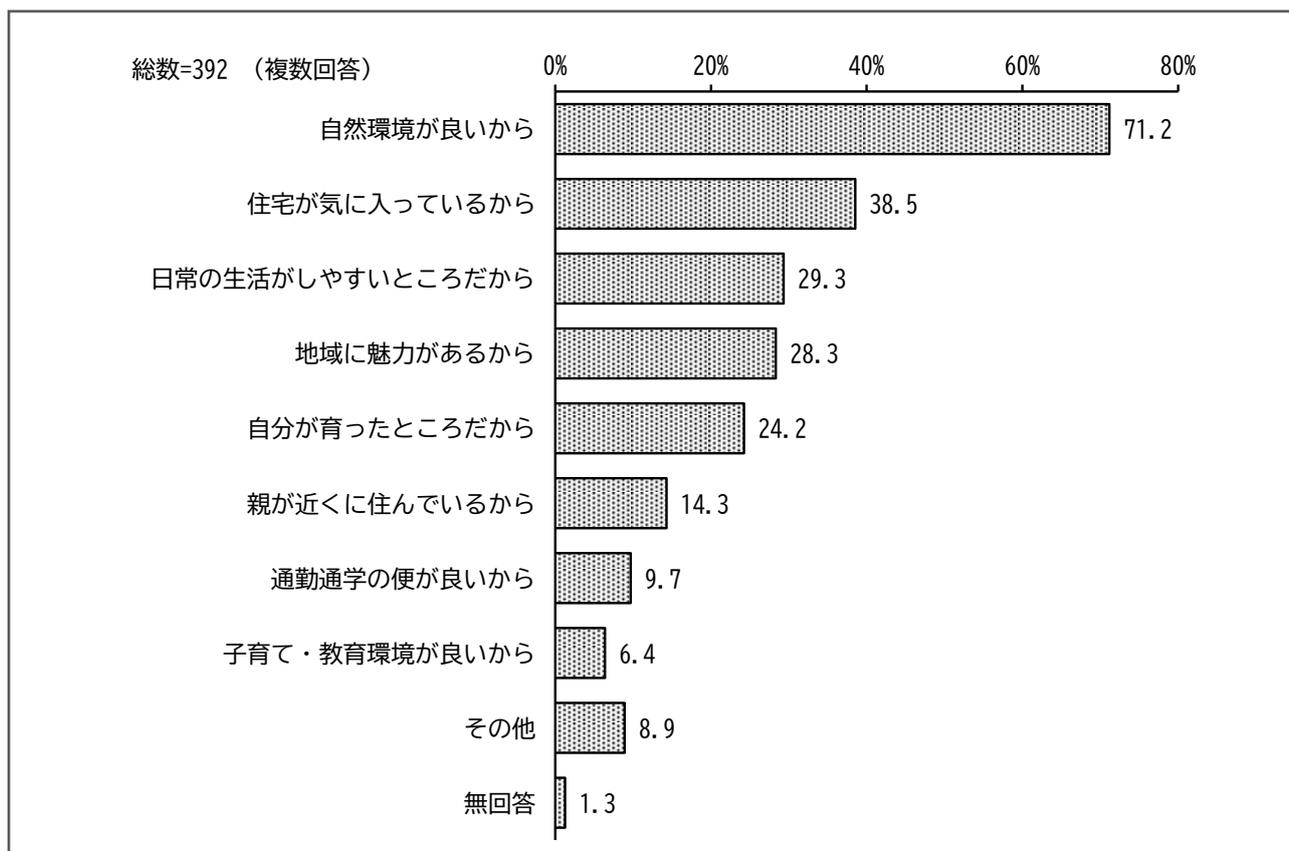
年齢別にみると、60代の91.2%をピークに定住意向が高まる傾向がみられます。

単位: %



問1-1 町内に住みたい理由は何ですか。(当てはまるものすべてを選択)

※問1で「1. 町内に住みたい」と回答した方のみ回答



【全体】

「自然環境が良いから」が71.2%で最も比率が高く、海や山といった恵まれた自然環境を気に入っている人が多くなっています。

以下、「住宅が気に入っているから」(38.5%)、「日常生活がしやすいところだから」(29.3%)、「地域に魅力があるから」(28.3%)、「自分が育ったところだから」(24.2%)と続いています。

【属性別】

年齢別にみると、「自然環境が良いから」は、高年齢層ほど比率が高い傾向がみられます。「日常生活がしやすいところだから」は30代で比率が高なっています。また、「地域に魅力があるから」は40代の33.8%をピークに、「親が近くに住んでいるから」は30代の31.1%をピークに比率が上がる傾向がみられます。

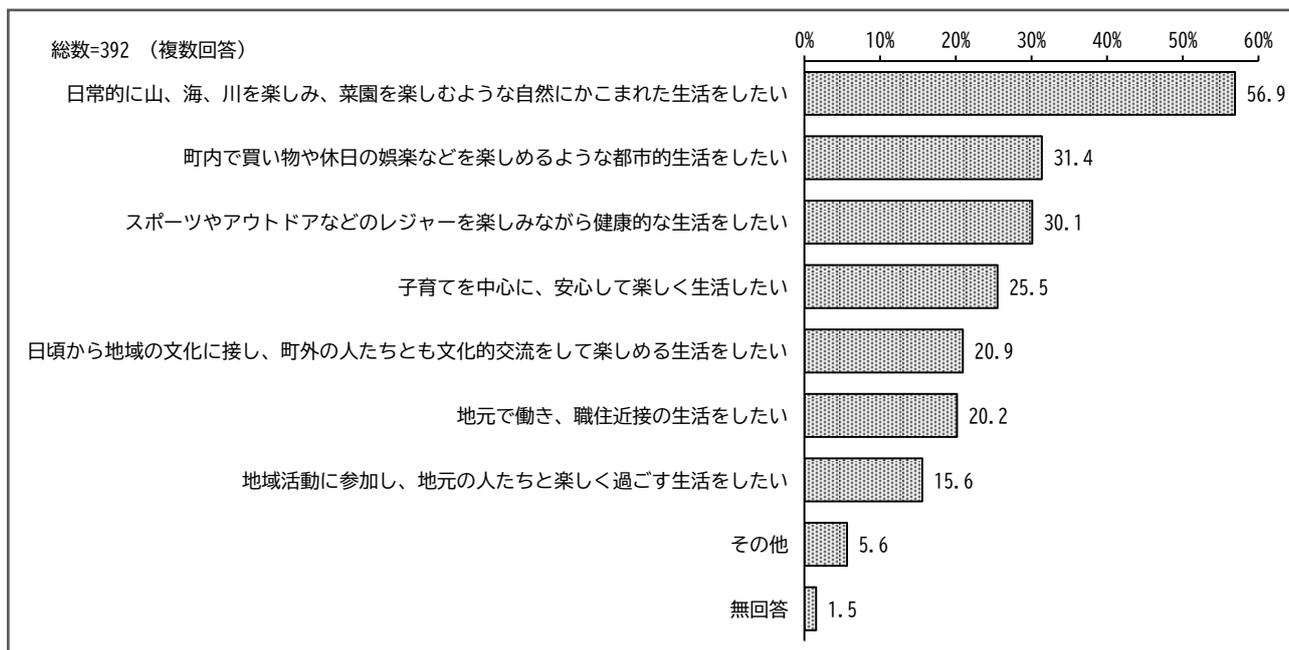
居住地区別にみると、「自然環境が良いから」及び「地域に魅力があるから」は東部地区で、「自分が育ったところだから」は西部地区で比率が高くなっています。

同居家族別にみると、18歳未満の子どもがいる世帯では、「子育て・教育環境が良いから」の比率が18.3%と高くなっています。

		全体	自分が育ったところだから	通勤通学の便が良 いから	住宅が気に入って	自然環境が良いから	子育て・教育環境 が良いから	親が近くに住んで	す 日常の生活だから	地域に魅力がある から	その他	無回答
全体		392	24.2	9.7	38.5	71.2	6.4	14.3	29.3	28.3	8.9	1.3
性別	男	172	26.2	11.0	37.8	68.0	5.8	11.6	30.8	29.7	10.5	1.7
	女	199	21.6	8.0	39.2	73.9	7.5	16.1	28.1	27.6	7.5	0.5
年齢	10・20代	28	46.4	21.4	21.4	50.0	7.1	14.3	10.7	17.9	14.3	-
	30代	61	24.6	9.8	42.6	62.3	11.5	31.1	37.7	32.8	11.5	1.6
	40代	80	18.8	7.5	33.8	75.0	11.3	18.8	26.3	33.8	6.3	1.3
	50代	78	19.2	12.8	41.0	71.8	6.4	12.8	28.2	28.2	16.7	-
	60代	103	27.2	8.7	41.7	75.7	1.9	6.8	32.0	25.2	1.9	2.9
	70歳以上	39	20.5	2.6	38.5	79.5	-	2.6	33.3	25.6	7.7	-
居住地区	東部地区	242	21.1	11.2	40.9	77.3	5.8	12.4	31.4	33.9	7.0	0.8
	西部地区	142	30.3	7.0	34.5	60.6	7.7	17.6	27.5	18.3	11.3	2.1
居住履歴	生まれてからずっと居住	55	81.8	16.4	25.5	54.5	1.8	25.5	25.5	16.4	7.3	1.8
	15歳になるまでに転入	22	63.6	13.6	27.3	54.5	4.5	22.7	13.6	22.7	4.5	4.5
	15歳になった以降に転入	257	0.4	9.3	44.7	77.0	7.4	8.6	32.3	31.9	9.3	0.8
	Uターン	52	65.4	3.8	25.0	65.4	7.7	28.8	25.0	26.9	9.6	1.9
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	104	14.4	13.5	36.5	72.1	18.3	26.0	26.9	28.8	8.7	1.9
	それ以外の世帯	275	27.6	8.4	39.6	71.3	2.2	9.8	30.5	28.7	8.7	0.7
居住年数	5年未満	69	2.9	11.6	44.9	73.9	8.7	4.3	24.6	37.7	15.9	1.4
	5～10年未満	40	-	15.0	32.5	72.5	15.0	20.0	27.5	35.0	5.0	-
	10～20年未満	86	12.8	7.0	47.7	81.4	7.0	11.6	32.6	25.6	4.7	-
	20年以上	193	42.0	9.3	33.2	65.3	3.6	17.6	30.1	24.9	8.8	2.1

問1-2 あなたは今後（おおむね10年）大磯町でどのような生活をしたいですか。重視したい点についてお答えください。（当てはまるものすべてを選択）

※問1で「1. 町内に住み続けたい」と回答した方のみ回答



【全体】

「日常的に山、海、川を楽しみ、菜園を楽しむような自然にかこまれた生活をしたい」が56.9%で最も比率が高く、以下、「町内で買い物や休日の娯楽などを楽しめるような都市的生活をしたい」(31.4%)、「スポーツやアウトドアなどのレジャーを楽しみながら健康的な生活をしたい」(30.1%)と続いています。

【属性別】

年齢別にみると、「日常的に山、海、川を楽しみ、菜園を楽しむような自然にかこまれた生活をしたい」や「スポーツやアウトドアなどのレジャーを楽しみながら健康的な生活をしたい」、「地元で働き、職住近接の生活をしたい」は50代をピークに比率が上がっており、50代を中心に地域に根差したアクティブな生活をしたいと考えている人が多くなっています。

また、「町内で買い物や休日の娯楽などを楽しめるような都市的生活をしたい」は60代や10～30代で、「地域活動に参加し、地元の人たちと楽しく過ごす生活をしたい」は70歳以上で比率が高くなっています。

地区別にみると、「町内で買い物や休日の娯楽などを楽しめるような都市的生活をしたい」は西部地区で比率が高くなっています。

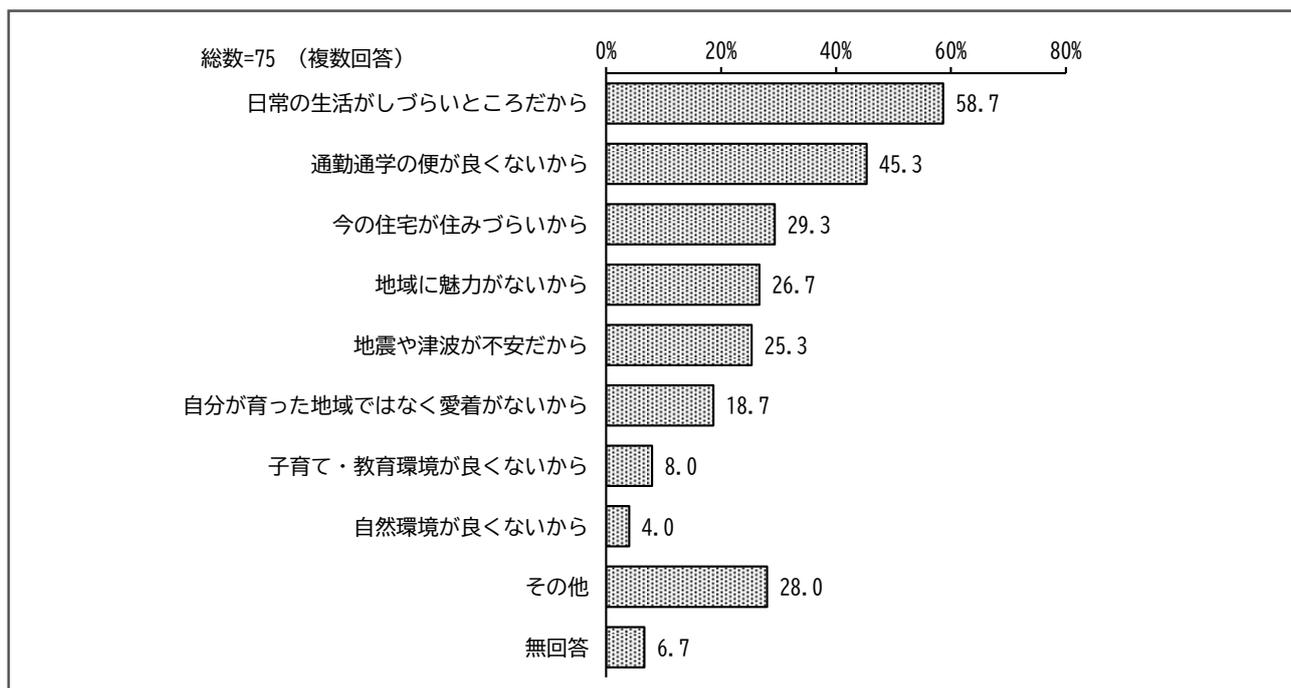
居住履歴別にみると、「町内で買い物や休日の娯楽などを楽しめるような都市的生活をしたい」は、「生まれてからずっと居住」や「Uターン」で比率が高くなっています。

居住年数別にみると、「日常的に山、海、川を楽しみ、菜園を楽しむような自然にかこまれた生活をしたい」は最近転入してきた5年未満で比率が高くなっています。

		全体	町内で買い物や休日の娯楽などを樂しめるような都市的生活をしたい	地元で働き、職住近接の生活をした	日常的に山、海、川を樂しみ、菜園を樂しむような自然にかこまれた生活をした	日頃から地域の文化に接し、町外の人たちとも文化的交流をして樂しめる生活をした	スポーツやアウトドアなどのレジャーを樂しみながら健康的な生活をした	地域活動に参加し、地元の人たちと樂しく過ごす生活をした	子育てを中心に、安心して樂しく生活したい	その他	無回答
全体		392	31.4	20.2	56.9	20.9	30.1	15.6	25.5	5.6	1.5
性別	男	172	32.0	20.9	55.2	20.3	33.1	15.7	20.3	5.8	1.2
	女	199	30.7	21.1	57.8	22.6	27.1	15.6	31.2	6.0	1.5
年齢	10・20代	28	35.7	7.1	32.1	14.3	25.0	7.1	39.3	10.7	7.1
	30代	61	36.1	19.7	54.1	21.3	32.8	13.1	63.9	4.9	-
	40代	80	27.5	22.5	51.3	18.8	28.8	12.5	41.3	5.0	-
	50代	78	20.5	32.1	66.7	17.9	35.9	21.8	15.4	5.1	-
	60代	103	42.7	19.4	62.1	23.3	31.1	10.7	1.9	5.8	3.9
	70歳以上	39	20.5	5.1	53.8	28.2	17.9	33.3	7.7	5.1	-
居住地区	東部地区	242	27.3	22.3	58.7	22.3	30.6	16.5	25.2	5.0	1.2
	西部地区	142	39.4	17.6	52.1	17.6	28.2	14.1	26.8	6.3	2.1
居住履歴	生まれてからずっと居住	55	50.9	27.3	47.3	20.0	20.0	12.7	12.7	9.1	1.8
	15歳になるまでに転入	22	31.8	13.6	54.5	9.1	18.2	9.1	18.2	13.6	-
	15歳になった以降に転入	257	24.5	18.7	60.7	22.2	35.0	17.1	28.4	4.3	0.8
	Uターン	52	42.3	25.0	46.2	19.2	21.2	15.4	28.8	3.8	5.8
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	104	27.9	19.2	52.9	19.2	34.6	16.3	73.1	-	1.0
	それ以外の世帯	275	32.4	20.4	58.2	22.2	28.7	15.6	7.6	7.6	1.8
居住年数	5年未満	69	24.6	13.0	66.7	24.6	39.1	15.9	37.7	5.8	1.4
	5～10年未満	40	32.5	25.0	55.0	22.5	27.5	15.0	60.0	-	-
	10～20年未満	86	23.3	15.1	54.7	18.6	41.9	14.0	27.9	7.0	-
	20年以上	193	37.3	23.8	53.9	19.7	22.3	16.6	13.5	6.2	2.6

問1-3 町外に転居したい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

※問1で「2. 町外に転居したい」と回答した方のみ回答



【全体】

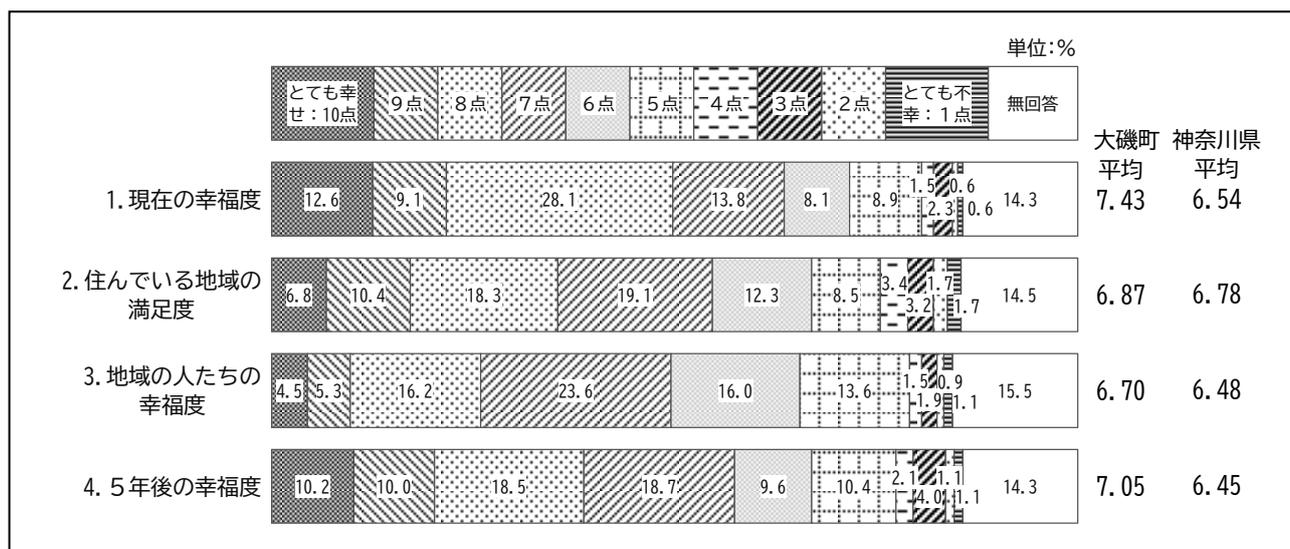
「日常生活がしづらいところだから」が 58.7%で最も比率が高く、「通勤通学の便が良くないから」が 45.3%で続いており、生活利便性の低さが転居したい理由として多くなっています。

【属性別】

※サンプル数が少ないため集計結果のみを掲載します。

	全体	自分が育った地域を愛着がないから	通勤通学の便が良くないから	今の住宅が住みづらいから	自然環境が良くないから	子育て・教育環境が良くないから	日常生活がしづらいところだから	地域に魅力がないから	地震や津波が不安だから	その他	無回答	
全体	75	18.7	45.3	29.3	4.0	8.0	58.7	26.7	25.3	28.0	6.7	
性別	男	22	13.6	40.9	36.4	9.1	9.1	59.1	22.7	13.6	18.2	9.1
	女	50	22.0	46.0	28.0	2.0	6.0	60.0	24.0	30.0	34.0	6.0
年齢	10・20代	16	6.3	62.5	6.3	-	-	25.0	-	18.8	31.3	-
	30代	17	29.4	52.9	17.6	5.9	23.5	64.7	52.9	29.4	35.3	5.9
	40代	14	21.4	50.0	42.9	7.1	7.1	78.6	21.4	35.7	21.4	21.4
	50代	13	23.1	38.5	38.5	7.7	7.7	61.5	23.1	23.1	23.1	7.7
	60代	9	11.1	33.3	55.6	-	-	66.7	22.2	11.1	22.2	-
	70歳以上	5	20.0	-	40.0	-	-	80.0	40.0	40.0	40.0	-
居住地区	東部地区	39	17.9	38.5	28.2	5.1	12.8	66.7	25.6	30.8	30.8	5.1
	西部地区	34	20.6	55.9	29.4	2.9	2.9	50.0	26.5	20.6	26.5	8.8
居住履歴	生まれてからずっと居住	10	-	70.0	30.0	-	10.0	50.0	10.0	20.0	40.0	-
	15歳になるまでに転入	9	11.1	66.7	-	-	-	44.4	22.2	22.2	44.4	-
	15歳になった以降に転入	43	30.2	34.9	34.9	4.7	9.3	65.1	25.6	27.9	25.6	9.3
	Uターン	12	-	50.0	33.3	8.3	8.3	58.3	41.7	25.0	16.7	8.3

問2 大磯町での暮らしの幸福度・満足度について以下の4つの項目について、10点満点で評価してください。(各項目それぞれ1つ選択)



【全体】

平均点を見ると、「1. 現在の幸福度」では、平均 7.4 点、「4. 5 年後の幸福度」では平均 7.1 点と平均点が 7 点を越えています。また、「2. 住んでいる地域の満足度」では 6.9 点、「3. 地域の人たちの幸福度」では 6.7 点となっています。

神奈川県と比較すると、各項目ともに大磯町の数値が上回っていますが、特に「1. 現在の幸福度」では、0.89 点差と、現在、幸福を感じている人が多くなっています。

【属性別】

性別にみると、すべての項目で女性の平均点が男性を上回っています。

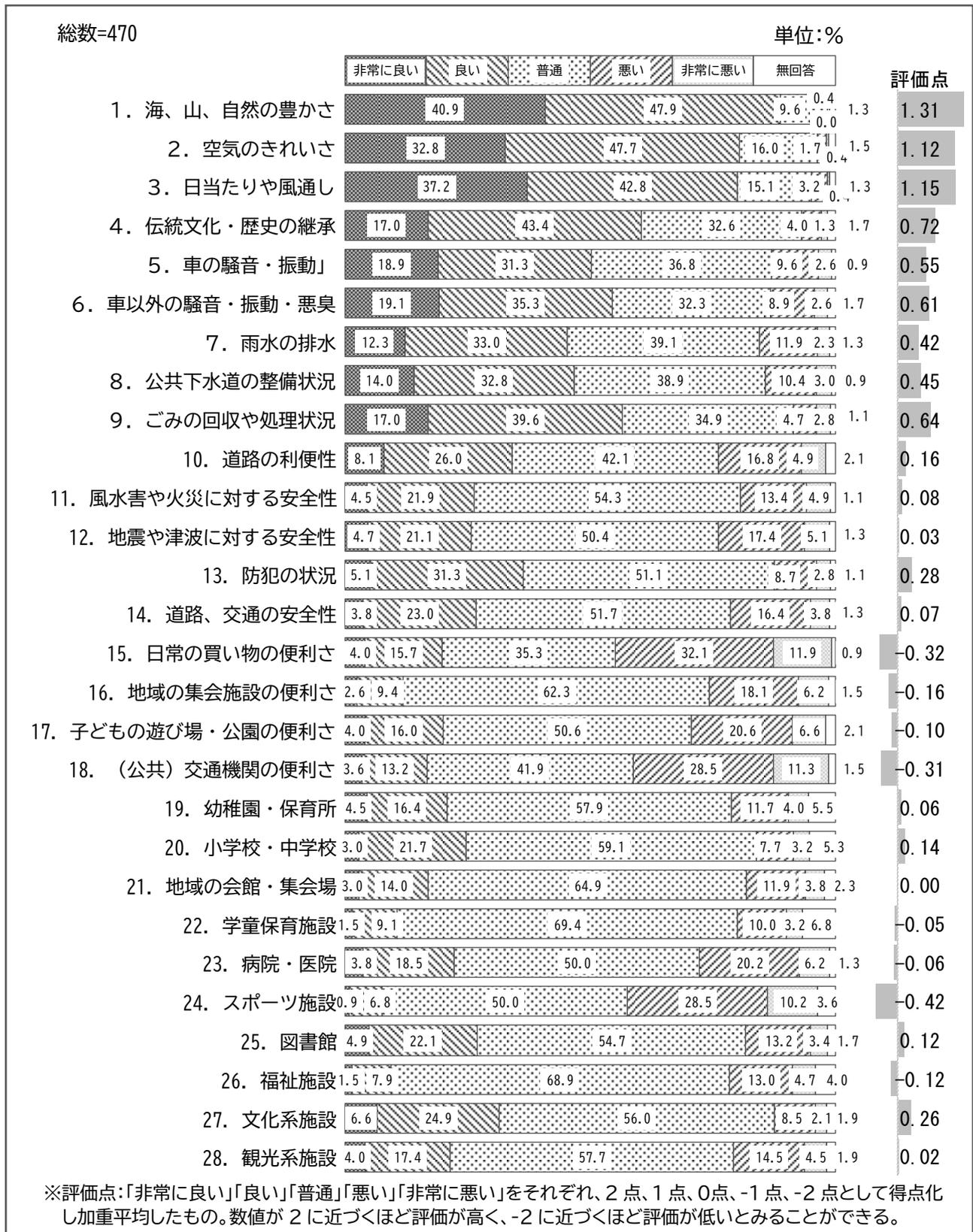
年齢別にみると、「2. 住んでいる地域の満足度」は高年齢層ほど平均点が高くなる傾向がみられます。また、「4. 5 年後の幸福度」では、50 代、30 代で平均点が高くなっています。

同居家族別にみると、「1. 現在の幸福度」及び「4. 5 年後の幸福度」で、「18 歳未満の子どものいる世帯」の平均点が、「その他の世帯」を大きく上回っています。

		全体	1. 現在の幸福度	2. 現在の地域の 満足度	3. 町内の人たち の幸福度	4. 5年後の 幸福度
全体		470	7.43	6.87	6.70	7.05
性別	男	194	7.06	6.70	6.45	6.88
	女	251	7.69	7.00	6.89	7.20
年齢	10・20代	44	7.41	6.38	6.79	6.95
	30代	78	7.35	6.50	6.60	7.34
	40代	95	7.28	6.95	6.66	7.01
	50代	91	7.59	7.00	6.81	7.23
	60代	113	7.49	7.05	6.74	6.91
	70歳以上	44	7.36	7.13	6.42	6.80
居住地区	東部地区	282	7.66	7.20	6.89	7.27
	西部地区	177	7.05	6.35	6.36	6.72
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	7.26	6.96	6.52	6.67
	15歳になるまでに転入	31	6.96	6.41	6.59	6.44
	15歳になった以降に転入	300	7.58	7.01	6.81	7.23
	Uターン	65	7.09	6.31	6.29	6.91
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	7.71	6.92	6.88	7.60
	それ以外の世帯	334	7.33	6.86	6.62	6.85
居住年数	5年未満	83	7.66	6.90	7.09	7.56
	5～10年未満	51	7.33	6.48	6.39	7.02
	10～20年未満	103	7.55	7.20	6.89	7.13
	20年以上	227	7.31	6.79	6.53	6.85
居住意向	町内に住み続けたい	392	7.72	7.27	6.93	7.34
	町外に転居したい	75	6.10	4.96	5.54	5.71

1-3 地域の環境について

問3 あなたがお住まいの地域の環境などについてどのように感じていますか。各項目のあてはまる番号に○を付けてください。



【全体】

評価点が最も高いのは「1. 海、山、自然の豊かさ」の1.31点で、以下、「3. 日当たりや風通し」(1.15点)、「2. 空気のきれいさ」(1.12点)の順で続いており、自然環境や快適な住環境に対する評価が高くなっています。

一方で、「15. 日常の買い物の便利さ」(-0.32点)や「18. (公共)交通機関の便利さ」(-0.31点)、スポーツ施設や集会施設、福祉施設、病院・医院、学童保育などの施設についてもマイナス評価となっており、評価が低くなっています。

【前回比較】

平成31年に実施した前回調査と比較すると「23. 病院・医院」以外の項目では評価点が上がっています。

	今回(470)	前回(447)	前回との差
1. 海、山、自然の豊かさ	1.31	1.24	0.07
2. 空気のきれいさ	1.12	1.02	0.10
3. 日当たりや風通し	1.15	1.04	0.11
4. 伝統文化・歴史の継承	0.72	0.58	0.14
5. 車の騒音・振動	0.55	0.36	0.19
6. 車以外の騒音・振動・悪臭	0.61	0.50	0.11
7. 雨水の排水	0.42	0.30	0.12
8. 公共下水道の整備状況	0.45	0.24	0.21
9. ごみの回収や処理状況	0.64	0.42	0.22
10. 道路の利便性	0.16	0.09	0.07
11. 風水害や火災に対する安全性	0.08	0.02	0.06
12. 地震や津波に対する安全性	0.03	-0.08	0.11
13. 防犯の状況	0.28	0.16	0.12
14. 道路、交通の安全性	0.07	-0.02	0.09
15. 日常の買い物の便利さ	-0.32	-0.40	0.08
16. 地域の集会施設の便利さ	-0.16	-0.21	0.05
17. 子どもの遊び場・公園の便利さ	-0.10	-0.29	0.19
18. (公共)交通機関の便利さ	-0.31	-0.40	0.09
19. 幼稚園・保育所	0.06	0.01	0.05
20. 小学校・中学校※1	0.14	0.09	0.05
21. 地域の会館・集会場※2	0.00	-	-
22. 学童保育施設	-0.05	-0.06	0.01
23. 病院・医院	-0.06	-0.02	-0.04
24. スポーツ施設	-0.42	-0.55	0.13
25. 図書館	0.12	0.00	0.12
26. 福祉施設	-0.12	-0.20	0.08
27. 文化系施設※3	0.26	-0.24	0.50
28. 観光系施設	0.02	-	-

※1 前回調査では小学校・中学校を別項目として調査を実施
合計の評価点が算出できないため、小学校の数値を記載

※2 前回調査では未実施の項目

※3 前回調査では未実施の項目

【属性別】

年齢別にみると、評価が高い「1. 海、山、自然の豊かさ」、「3. 日当たりや風通し」、「2. 空気のきれいさ」などの項目は低年齢層ほど評価が高い傾向がみられます。

また、

地区別にみると、「15. 日常の買い物の便利さ」や「18. (公共) 交通機関の便利さ」は、特に30代で評価が低くなっています。

居住地区別では、「18. (公共) 交通機関の便利さ」は、西部地区で評価が低くなっています。

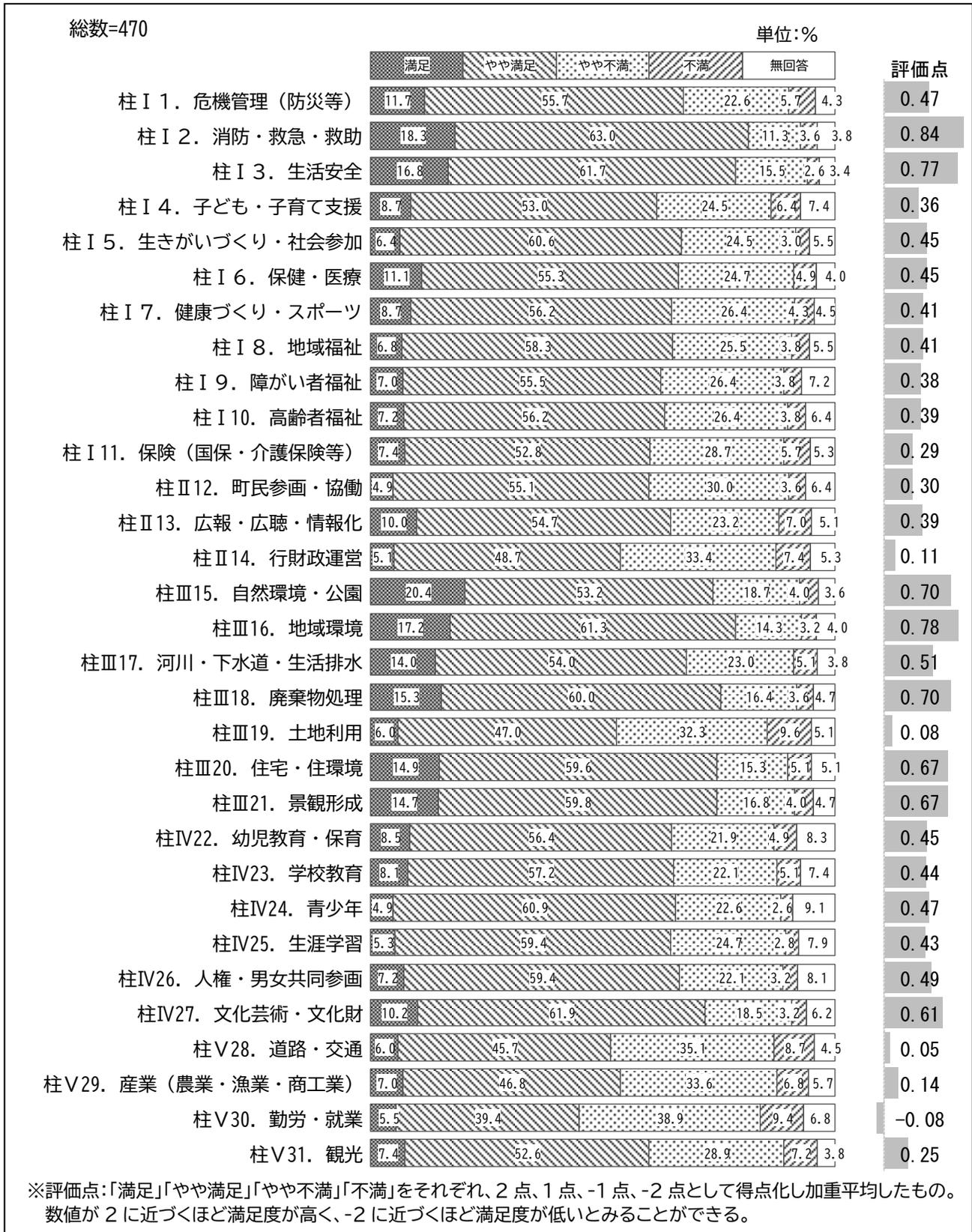
居住意向別では、「15. 日常の買い物の便利さ」や「18. (公共) 交通機関の便利さ」、「10. 道路の利便性」、「12. 地震や津波に対する安全性」などで、転居したい人の評価が低くなっています。

	性別		年齢						居住地区			居住履歴			同居家族			居住年数			居住意向		
	全体	男	女	10・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	東部地区	西部地区	生まれてからずっと	15歳までに転入	15歳以降に転入	Uターン	18歳未満の子どもあり	それ以外の世帯	5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	住み続けたい	転居したい
全体	470	194	251	44	78	95	91	113	44	282	177	66	31	300	65	121	334	83	51	103	227	392	75
1. 海、山、自然の豊かさ	1.31	1.27	1.33	1.41	1.41	1.40	1.28	1.18	1.16	1.38	1.18	1.22	1.26	1.33	1.27	1.45	1.24	1.42	1.52	1.37	1.18	1.35	1.11
2. 空気のきれいさ	1.12	1.06	1.18	1.32	1.17	1.13	1.06	1.07	1.05	1.16	1.05	1.13	1.19	1.12	1.06	1.20	1.08	1.25	1.20	1.23	1.00	1.17	0.87
3. 日当たりや風通し	1.15	1.15	1.17	1.23	1.22	1.29	1.11	1.03	1.07	1.15	1.15	1.17	0.97	1.20	1.03	1.26	1.10	1.30	1.14	1.31	1.03	1.20	0.85
4. 伝統文化・歴史の継承	0.72	0.61	0.84	0.80	0.75	0.79	0.76	0.65	0.53	0.76	0.65	0.57	0.84	0.77	0.58	0.78	0.70	0.71	0.90	0.91	0.59	0.78	0.42
5. 車の騒音・振動	0.55	0.56	0.58	0.50	0.51	0.52	0.54	0.65	0.52	0.56	0.52	0.46	0.58	0.58	0.45	0.63	0.52	0.66	0.42	0.63	0.50	0.60	0.31
6. 車以外の騒音・振動・悪臭	0.61	0.69	0.57	0.89	0.51	0.49	0.54	0.68	0.72	0.67	0.52	0.55	0.68	0.65	0.45	0.67	0.59	0.73	0.59	0.70	0.52	0.66	0.36
7. 雨水の排水	0.42	0.55	0.33	0.43	0.34	0.28	0.45	0.47	0.64	0.45	0.36	0.35	0.55	0.39	0.56	0.33	0.46	0.42	0.24	0.46	0.44	0.49	0.04
8. 公共下水道の整備状況	0.45	0.54	0.40	0.66	0.27	0.36	0.48	0.47	0.59	0.51	0.35	0.37	0.65	0.43	0.52	0.35	0.48	0.39	0.30	0.55	0.46	0.52	0.11
9. ごみの回収や処理状況	0.64	0.65	0.63	0.57	0.42	0.55	0.75	0.73	0.82	0.70	0.52	0.55	0.65	0.62	0.78	0.57	0.66	0.55	0.64	0.61	0.68	0.72	0.27
10. 道路の利便性	0.16	0.17	0.14	0.16	-0.04	0.10	0.14	0.32	0.25	0.25	-0.02	0.16	0.00	0.16	0.23	0.12	0.17	0.04	0.14	0.25	0.17	0.28	-0.45
11. 風水害や火災に対する安全性	0.08	0.05	0.10	0.16	-0.03	0.05	0.10	0.08	0.16	0.08	0.06	0.11	0.29	0.03	0.13	0.08	0.08	-0.02	-0.06	0.16	0.11	0.16	-0.38
12. 地震や津波に対する安全性	0.03	0.02	0.05	-0.05	-0.07	0.02	0.13	0.03	0.07	0.02	0.03	0.14	0.06	0.01	0.00	0.04	0.03	0.01	-0.28	0.15	0.05	0.14	-0.56
13. 防犯の状況	0.28	0.31	0.25	0.32	0.30	0.15	0.38	0.31	0.14	0.27	0.27	0.20	0.26	0.29	0.28	0.29	0.27	0.34	0.30	0.30	0.23	0.31	0.08
14. 道路、交通の安全性	0.07	0.13	0.02	0.18	-0.03	0.02	0.14	0.03	0.11	0.10	0.00	0.06	0.13	0.06	0.08	0.02	0.09	0.02	-0.02	0.16	0.05	0.12	-0.21
15. 日常の買い物物の利便さ	-0.32	-0.28	-0.35	-0.39	-0.49	-0.41	-0.36	-0.10	-0.25	-0.30	-0.37	-0.29	-0.42	-0.30	-0.42	-0.42	-0.29	-0.47	-0.60	-0.26	-0.23	-0.19	-1.03
16. 地域の集会所の利便さ	-0.16	-0.16	-0.15	-0.05	-0.36	-0.11	-0.21	-0.12	-0.07	-0.15	-0.18	-0.24	0.03	-0.14	-0.25	-0.24	-0.14	-0.24	-0.18	-0.08	-0.16	-0.07	-0.65
17. 子どもの遊び場・公園の利便さ	-0.10	-0.06	-0.11	0.23	-0.18	-0.20	-0.17	-0.12	0.07	-0.15	-0.03	-0.19	0.23	-0.11	-0.16	-0.31	-0.03	-0.07	-0.22	0.02	-0.15	-0.04	-0.41
18. (公共) 交通機関の利便さ	-0.31	-0.31	-0.29	-0.27	-0.51	-0.29	-0.27	-0.24	-0.26	-0.13	-0.59	-0.21	-0.26	-0.31	-0.45	-0.33	-0.30	-0.43	-0.20	-0.21	-0.33	-0.20	-0.92
19. 幼稚園・保育所	0.06	0.07	0.06	0.16	-0.17	0.16	0.03	0.07	0.21	0.10	-0.01	0.20	0.03	-0.02	0.28	0.05	0.06	-0.24	0.06	0.25	0.07	0.12	-0.29
20. 小学校・中学校	0.14	0.13	0.16	0.41	-0.03	0.17	0.07	0.14	0.25	0.18	0.09	0.31	0.37	0.06	0.25	0.05	0.18	-0.05	0.04	0.25	0.18	0.21	-0.20
21. 地域の会館・集会場	0.00	-0.01	0.01	0.14	-0.16	0.11	-0.08	-0.01	0.12	0.02	-0.03	0.05	0.16	-0.02	-0.02	0.02	-0.01	-0.11	-0.02	0.13	0.00	0.06	-0.29
22. 学童保育施設	-0.05	-0.03	-0.07	0.05	-0.28	-0.02	-0.01	-0.05	0.11	-0.05	-0.05	0.05	0.00	-0.07	-0.10	-0.15	-0.01	-0.15	-0.17	0.08	-0.05	0.00	-0.28
23. 病院・医院	-0.06	-0.11	-0.03	0.25	-0.29	-0.12	-0.26	0.07	0.09	-0.20	0.13	0.15	0.32	-0.19	0.03	-0.27	-0.01	-0.32	-0.32	0.00	0.04	0.01	-0.44
24. スポーツ施設	-0.42	-0.42	-0.40	-0.21	-0.54	-0.35	-0.50	-0.38	-0.49	-0.43	-0.38	-0.38	-0.23	-0.44	-0.48	-0.51	-0.38	-0.51	-0.44	-0.36	-0.41	-0.37	-0.70
25. 図書館	0.12	0.13	0.11	0.36	0.04	0.21	0.08	0.05	0.07	0.24	-0.07	0.09	0.35	0.10	0.14	0.18	0.10	-0.04	0.24	0.20	0.11	0.17	-0.11
26. 福祉施設	-0.12	-0.11	-0.13	0.12	-0.15	-0.15	-0.20	-0.14	-0.07	-0.12	-0.13	0.02	-0.07	-0.14	-0.23	-0.16	-0.10	-0.13	-0.10	-0.12	-0.13	-0.07	-0.37
27. 文化系施設	0.26	0.30	0.25	0.45	0.13	0.21	0.22	0.36	0.20	0.28	0.21	0.28	0.52	0.28	0.03	0.14	0.32	0.31	0.32	0.26	0.22	0.30	0.04
28. 観光系施設	0.02	0.01	0.06	0.27	0.04	-0.03	-0.02	0.01	-0.02	0.06	-0.05	-0.03	0.35	0.02	-0.11	-0.03	0.05	0.15	0.14	-0.04	-0.02	0.07	-0.23

1-4 町政の取組みについて

問4 大磯町では、まちづくりを推進していくにあたり、5つの方針（柱）を据え、施策を展開しています。これらの施策の重要度と満足度について、あなたの考えに近いものは次のどれですか。（「満足度」と「重要度」でそれぞれ1つ選択）

(1) 満足度



【全体】

評価点でみると、最も満足度が高いのは「2. 消防・救急・救助」の0.84点で、以下、「16. 地域環境」(0.78点)、「3. 生活安全」(0.77点)と続いています。一方、満足度が低いのは、「30. 勤労・就業」(-0.08点)、「28. 道路・交通」(0.05点)、「19. 土地利用」(0.08点)などとなっています。

【属性別】

年齢別にみると、特に40代では満足度が低い施策が多く、「4. 子ども・子育て支援」、「5. 生きがいづくり・社会参加」、「12. 町民参画・協働」、「13. 広報・広聴・情報化」、「14. 行財政運営」、「15. 自然環境・公園」、「16. 地域環境」、「19. 土地利用」や、柱Vの全施策などで、他の年齢層に比べて満足度が低くなっています。また、「9. 障がい者福祉」や「10. 高齢者福祉」では70歳以上の満足度が低くなっています。

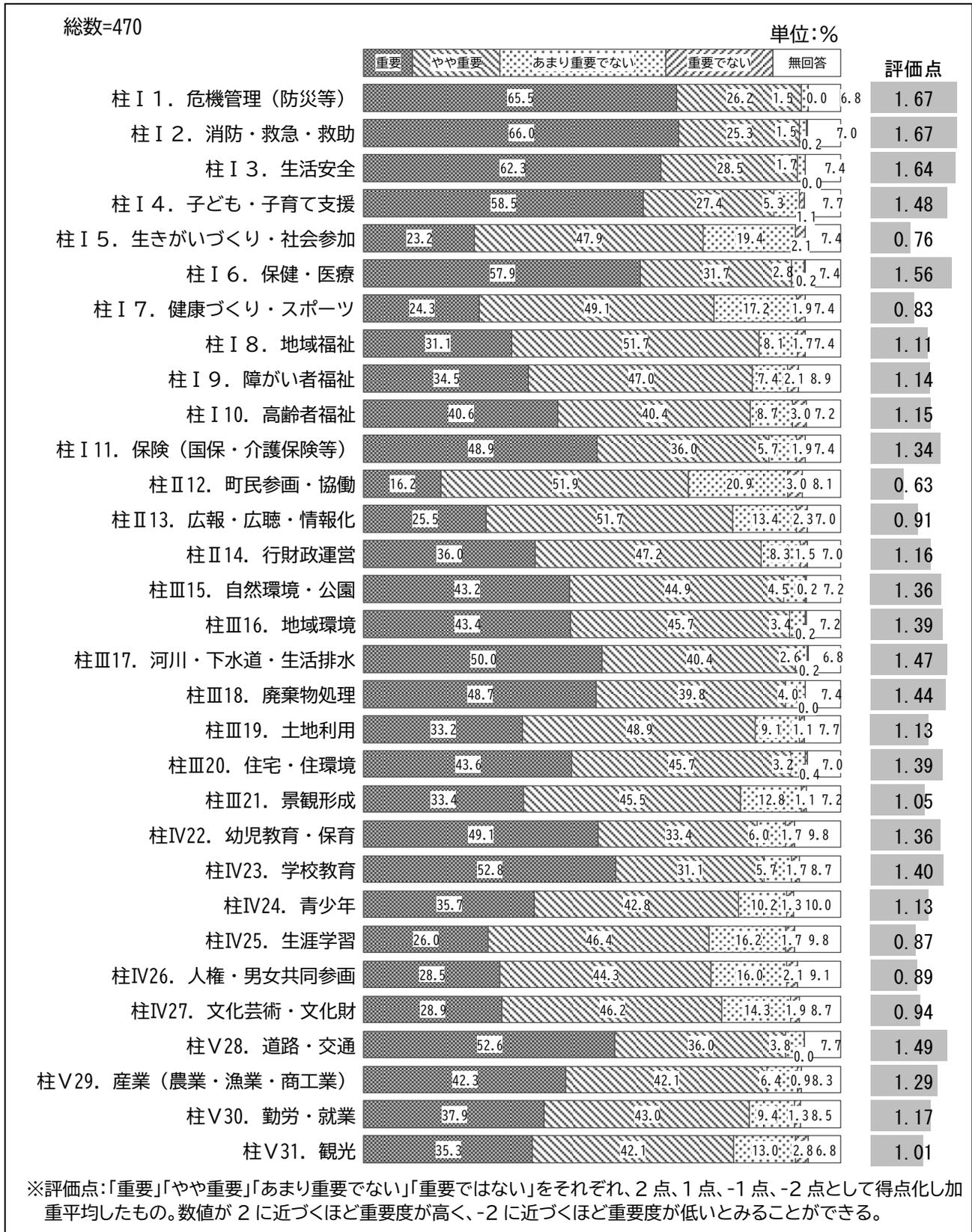
居住地区別にみると、「4. 子ども・子育て支援」、「16. 地域環境」、「17. 河川・下水道・生活排水」、「18. 廃棄物処理」、「20. 住宅・住環境」、「28. 道路・交通」で、西部地区の満足度が低くなっています。

同居家族別にみると、「4. 子ども・子育て支援」、「22. 幼児教育・保育」、「23. 学校教育」などの子育て環境に関する施策や「15. 自然環境・公園」などで、18歳未満の子どもがいる世帯の満足度が低くなっています。

居住意向別にみると、全般的に転居したい人で満足度が低い傾向があります。

	性別		年齢					居住地区		居住履歴			同居家族		居住年数			居住意向					
	全体	男	女	10・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	東部地区	西部地区	生まれてからずっと	15歳までに転入	15歳以降に転入	Uターン	18歳未満の子どもあり	それ以外の世帯	5年未満	10～20年未満	20年以上	住み続けたい	転居したい	
																							470
全体	470	194	251	44	78	95	91	113	44	282	177	66	31	300	65	121	334	83	51	103	227	392	75
柱Ⅰ																							
1. 危機管理 (防災等)	0.47	0.44	0.55	0.72	0.44	0.39	0.39	0.57	0.39	0.42	0.55	0.74	0.68	0.43	0.30	0.42	0.49	0.60	0.27	0.54	0.44	0.53	0.07
2. 消防・救急・救助	0.84	0.82	0.91	1.02	0.71	0.60	0.88	0.97	1.07	0.87	0.81	0.97	0.84	0.82	0.83	0.74	0.89	0.83	0.65	0.90	0.87	0.95	0.24
3. 生活安全	0.77	0.81	0.78	0.95	0.72	0.57	0.84	0.83	0.88	0.83	0.70	0.98	0.74	0.77	0.60	0.66	0.81	0.82	0.70	0.72	0.81	0.89	0.18
4. 子ども・子育て支援	0.36	0.38	0.35	0.30	0.09	0.18	0.41	0.60	0.63	0.44	0.23	0.56	0.32	0.34	0.23	0.02	0.48	0.31	0.15	0.41	0.41	0.48	-0.29
5. 生きがいづくり・社会参加	0.45	0.39	0.54	0.56	0.45	0.47	0.47	0.42	0.39	0.52	0.36	0.56	0.42	0.47	0.30	0.37	0.47	0.63	0.41	0.47	0.41	0.52	0.09
6. 保健・医療	0.45	0.36	0.55	0.77	0.29	0.19	0.45	0.59	0.61	0.38	0.58	0.75	0.58	0.38	0.39	0.29	0.50	0.17	0.24	0.56	0.54	0.54	-0.07
7. 健康づくり・スポーツ	0.41	0.37	0.48	0.44	0.36	0.25	0.45	0.52	0.42	0.42	0.41	0.44	0.50	0.41	0.32	0.36	0.42	0.40	0.24	0.35	0.47	0.47	0.07
8. 地域福祉	0.41	0.31	0.51	0.60	0.41	0.40	0.34	0.42	0.35	0.40	0.44	0.51	0.45	0.43	0.21	0.47	0.38	0.61	0.50	0.33	0.36	0.47	0.04
9. 障がい者福祉	0.38	0.37	0.42	0.49	0.38	0.30	0.44	0.47	0.13	0.33	0.46	0.67	0.35	0.38	0.13	0.38	0.38	0.53	0.27	0.38	0.37	0.43	0.14
10. 高齢者福祉	0.39	0.33	0.46	0.60	0.53	0.35	0.34	0.39	0.19	0.36	0.46	0.62	0.30	0.42	0.06	0.42	0.37	0.61	0.39	0.44	0.29	0.44	0.10
11. 保険 (国保・介護保険等)	0.29	0.20	0.41	0.58	0.36	0.21	0.26	0.21	0.30	0.26	0.35	0.19	0.39	0.33	0.14	0.30	0.27	0.37	0.36	0.40	0.19	0.36	-0.08
12. 町民参画・協働	0.30	0.28	0.36	0.40	0.39	0.17	0.30	0.34	0.20	0.30	0.29	0.49	0.50	0.25	0.21	0.24	0.31	0.33	0.25	0.31	0.29	0.34	0.07
13. 広報・広聴・情報化	0.39	0.38	0.44	0.65	0.41	0.21	0.35	0.46	0.45	0.37	0.45	0.59	0.70	0.32	0.41	0.34	0.41	0.32	0.24	0.56	0.38	0.45	0.12
14. 行政運営	0.11	0.11	0.14	0.51	0.10	-0.11	0.09	0.10	0.29	0.10	0.11	0.34	0.23	0.03	0.19	0.03	0.14	0.15	0.04	0.11	0.12	0.18	-0.27
15. 自然環境・公園	0.70	0.68	0.73	0.95	0.55	0.51	0.77	0.75	0.77	0.69	0.68	0.77	0.53	0.67	0.80	0.29	0.83	0.70	0.59	0.76	0.68	0.74	0.47
16. 地域環境	0.78	0.75	0.83	1.00	0.69	0.55	0.90	0.83	0.88	0.87	0.64	0.83	0.77	0.79	0.72	0.62	0.84	0.80	0.73	0.87	0.75	0.87	0.30
17. 河川・下水道・生活排水	0.51	0.46	0.59	0.86	0.54	0.41	0.45	0.48	0.55	0.58	0.40	0.68	0.63	0.46	0.53	0.37	0.56	0.45	0.45	0.63	0.50	0.54	0.32
18. 廃棄物処理	0.70	0.66	0.77	0.93	0.83	0.61	0.63	0.68	0.69	0.79	0.59	0.74	0.80	0.69	0.69	0.55	0.75	0.77	0.65	0.73	0.69	0.74	0.48
19. 土地利用	0.08	-0.03	0.16	0.56	0.07	-0.11	0.11	0.02	0.07	0.12	0.03	0.05	0.20	0.08	-0.02	-0.09	0.12	0.17	-0.23	0.26	0.02	0.12	-0.14
20. 住宅・住環境	0.67	0.65	0.72	0.88	0.68	0.58	0.78	0.61	0.61	0.75	0.55	0.52	0.73	0.69	0.70	0.64	0.67	0.71	0.67	0.81	0.60	0.81	-0.06
21. 景観形成	0.67	0.61	0.74	0.84	0.82	0.54	0.75	0.61	0.57	0.67	0.68	0.78	0.67	0.67	0.58	0.73	0.64	0.78	0.82	0.70	0.60	0.70	0.49
22. 幼児教育・保育	0.45	0.52	0.41	0.50	0.08	0.53	0.38	0.67	0.57	0.50	0.38	0.61	0.41	0.44	0.42	0.09	0.59	0.40	0.25	0.47	0.52	0.53	0.02
23. 学校教育	0.44	0.47	0.46	0.58	0.30	0.23	0.40	0.64	0.68	0.43	0.46	0.57	0.50	0.40	0.50	0.07	0.59	0.43	0.17	0.44	0.52	0.51	0.10
24. 青少年	0.47	0.47	0.52	0.67	0.43	0.36	0.47	0.55	0.44	0.45	0.50	0.54	0.48	0.51	0.23	0.26	0.55	0.65	0.38	0.40	0.47	0.52	0.19
25. 生涯学習	0.43	0.39	0.52	0.33	0.34	0.37	0.45	0.57	0.46	0.44	0.43	0.53	0.24	0.45	0.35	0.19	0.52	0.53	0.15	0.40	0.48	0.50	0.05
26. 人権・男女共同参画	0.49	0.55	0.48	0.65	0.33	0.40	0.56	0.56	0.56	0.51	0.47	0.65	0.47	0.52	0.24	0.37	0.54	0.59	0.19	0.57	0.50	0.56	0.14
27. 文化芸術・文化財	0.61	0.66	0.61	0.76	0.52	0.55	0.68	0.69	0.44	0.61	0.63	0.75	0.63	0.65	0.31	0.60	0.62	0.57	0.59	0.81	0.56	0.69	0.14
28. 道路・交通	0.05	0.09	0.05	0.43	0.04	-0.09	0.13	0.02	-0.07	0.14	-0.08	0.23	0.45	0.00	-0.08	-0.09	0.12	-0.01	-0.06	0.19	0.03	0.13	-0.34
29. 産業 (農業・漁業・商工業)	0.14	0.08	0.21	0.52	0.38	-0.02	0.08	0.03	0.17	0.15	0.13	0.32	0.43	0.13	-0.11	0.16	0.14	0.36	-0.13	0.22	0.10	0.21	-0.21
30. 勤労・就業	-0.08	-0.06	-0.07	0.09	0.00	-0.28	-0.01	0.17	0.17	-0.05	-0.13	-0.03	0.53	-0.06	-0.52	-0.22	-0.03	0.04	-0.19	-0.15	-0.06	0.03	-0.66
31. 観光	0.25	0.16	0.32	0.44	0.16	0.11	0.38	0.21	0.35	0.26	0.24	0.38	0.20	0.26	0.08	0.18	0.27	0.22	0.04	0.33	0.28	0.35	-0.30
柱Ⅱ																							
柱Ⅲ																							
柱Ⅳ																							
柱Ⅴ																							

(2) 重要度



【全体】

評価点でみると、最も重要度が高いのは「1. 危機管理（防災等）」（1.67点）で、以下、「2. 消防・救急・救助」（1.67点）、「3. 生活安全」（1.64点）と続いています。一方、重要度が低いのは、「12. 町民参画・協働」（0.63点）、「5. 生きがいきづくり・社会参加」（0.76点）、「7. 健康づくり・スポーツ」（0.83点）などとなっています。

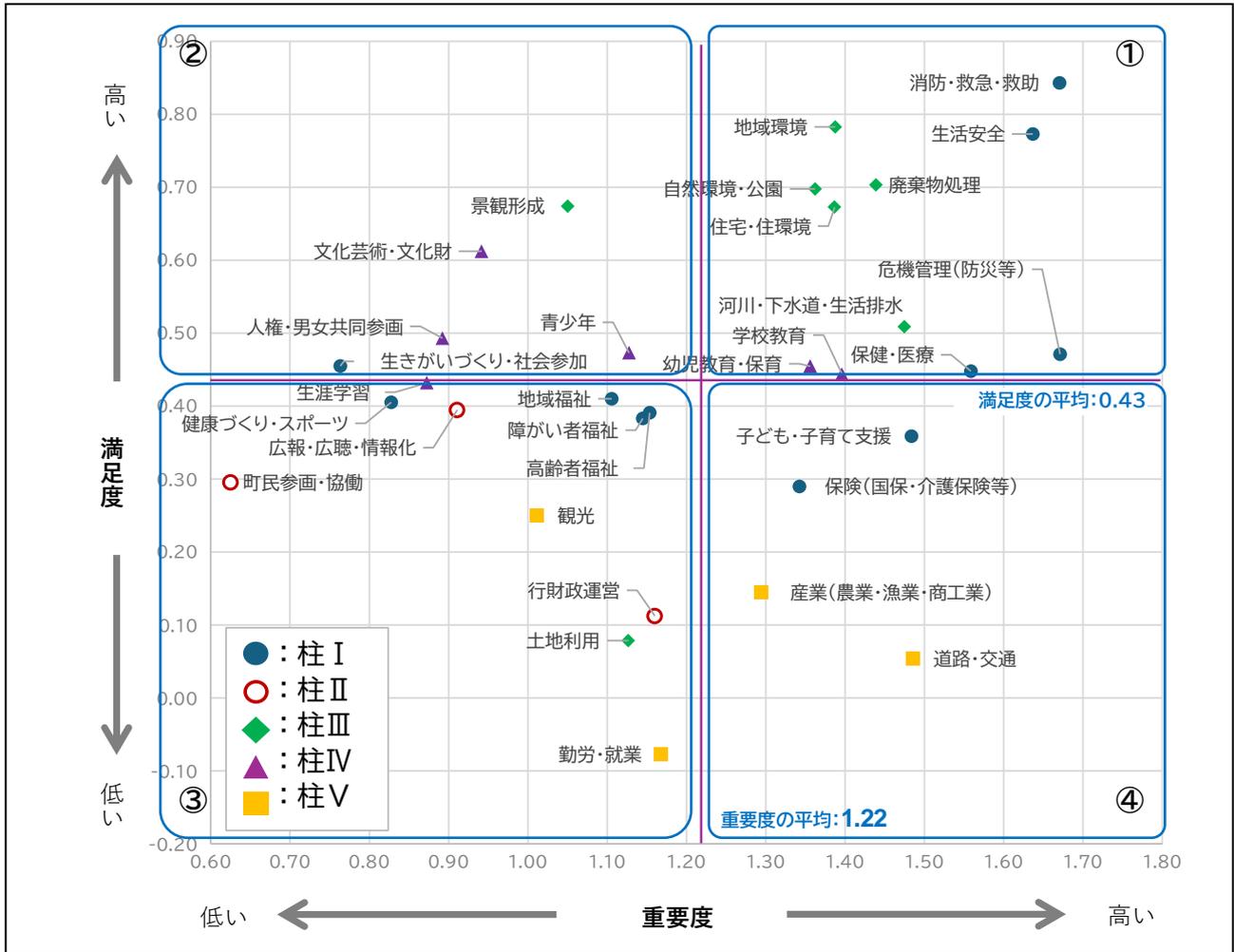
【属性別】

年齢別にみると、「3. 生活安全」、「4. 子ども・子育て支援」では30代、「22. 幼児教育・保育」、「23. 学校教育」では、10～30代で重要度が高くなっています。また、「5. 生きがいきづくり・社会参加」、「7. 健康づくり・スポーツ」、「8. 地域福祉」、「9. 障がい者福祉」、「10. 高齢者福祉」、「11. 保険（国保・介護保険等）」、「12. 町民参画・協働」などでは、60代や70歳以上といった高年齢層で重要度が高くなっています。

同居家族別にみると、「4. 子ども・子育て支援」や「23. 学校教育」で、18歳未満の子どものいる世帯の重要度が高くなっています。

	性別		年齢					居住地区		居住履歴			同居家族		居住年数			居住意向					
	全体	男	女	10・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	東部地区	西部地区	生まれてからずっと	15歳までに転入	15歳以降に転入	Uターン	18歳未満の子どもあり	それ以外の世帯	5年未満	10～20年未満	20年以上	住み続けたい	転居したい	
																							470
全体	470	194	251	44	78	95	91	113	44	282	177	66	31	300	65	121	334	83	51	103	227	392	75
柱Ⅰ																							
1. 危機管理 (防災等)	1.67	1.64	1.68	1.62	1.76	1.53	1.66	1.73	1.73	1.71	1.61	1.77	1.72	1.65	1.63	1.57	1.71	1.54	1.65	1.68	1.73	1.69	1.58
2. 消防・救急・救助	1.67	1.64	1.69	1.62	1.68	1.54	1.70	1.75	1.74	1.69	1.64	1.73	1.72	1.65	1.69	1.60	1.69	1.53	1.53	1.74	1.73	1.68	1.61
3. 生活安全	1.64	1.60	1.66	1.55	1.77	1.54	1.63	1.68	1.60	1.67	1.58	1.71	1.69	1.61	1.63	1.64	1.64	1.52	1.47	1.68	1.70	1.65	1.54
4. 子ども・子育て支援	1.48	1.42	1.53	1.50	1.73	1.52	1.37	1.41	1.39	1.46	1.52	1.47	1.28	1.50	1.53	1.83	1.36	1.40	1.59	1.66	1.42	1.51	1.36
5. 生きがいづくり・社会参加	0.76	0.64	0.84	0.71	0.70	0.52	0.78	0.92	1.00	0.77	0.74	0.90	0.69	0.75	0.71	0.56	0.83	0.51	0.65	0.89	0.82	0.81	0.54
6. 保健・医療	1.56	1.47	1.62	1.40	1.61	1.54	1.46	1.67	1.56	1.59	1.50	1.66	1.61	1.53	1.56	1.54	1.57	1.31	1.60	1.62	1.61	1.57	1.47
7. 健康づくり・スポーツ	0.83	0.76	0.86	0.76	0.80	0.51	0.96	0.94	1.03	0.80	0.83	0.90	0.76	0.83	0.76	0.68	0.90	0.55	0.79	0.98	0.86	0.85	0.73
8. 地域福祉	1.11	0.92	1.23	1.02	0.89	1.13	1.13	1.15	1.34	1.15	1.03	1.11	1.24	1.05	1.23	0.98	1.14	0.69	1.13	1.20	1.20	1.11	1.07
9. 障がい者福祉	1.14	1.01	1.26	1.00	0.81	1.16	1.15	1.33	1.38	1.15	1.13	1.15	1.34	1.13	1.02	1.18	1.02	0.72	1.21	1.24	1.24	1.16	1.04
10. 高齢者福祉	1.15	0.94	1.30	0.54	0.72	1.20	1.24	1.46	1.46	1.18	1.09	1.23	1.14	1.11	1.25	0.93	1.22	0.55	1.14	1.26	1.31	1.21	0.88
11. 保険 (国保・介護保険等)	1.34	1.26	1.40	1.12	1.08	1.30	1.38	1.59	1.44	1.32	1.38	1.42	1.45	1.31	1.37	1.13	1.42	1.03	1.10	1.42	1.47	1.36	1.23
12. 町民参画・協働	0.63	0.46	0.75	0.29	0.44	0.60	0.54	0.90	0.85	0.67	0.54	0.75	0.48	0.60	0.66	0.58	0.64	0.28	0.79	0.63	0.71	0.66	0.47
13. 広報・広聴・情報化	0.91	0.76	1.03	0.60	0.92	0.94	0.76	1.10	0.98	0.97	0.83	1.02	0.83	0.88	0.97	0.83	0.94	0.63	1.00	0.90	1.00	0.95	0.75
14. 行政運営	1.16	1.10	1.22	1.10	1.09	1.16	1.05	1.30	1.24	1.20	1.10	1.35	1.28	1.13	1.08	1.04	1.20	0.87	1.08	1.28	1.24	1.19	1.01
15. 自然環境・公園	1.36	1.30	1.40	1.32	1.54	1.38	1.27	1.33	1.34	1.41	1.28	1.43	1.10	1.42	1.18	1.54	1.30	1.37	1.60	1.41	1.28	1.39	1.22
16. 地域環境	1.39	1.37	1.39	1.37	1.45	1.35	1.34	1.43	1.38	1.42	1.33	1.53	1.21	1.41	1.24	1.36	1.40	1.28	1.48	1.45	1.37	1.41	1.27
17. 河川・下水道・生活排水	1.47	1.39	1.52	1.45	1.46	1.44	1.49	1.52	1.46	1.48	1.47	1.51	1.34	1.49	1.46	1.41	1.50	1.45	1.48	1.54	1.46	1.48	1.43
18. 廃棄物処理	1.44	1.37	1.48	1.40	1.43	1.40	1.40	1.47	1.60	1.45	1.42	1.52	1.28	1.45	1.40	1.28	1.50	1.39	1.36	1.51	1.45	1.45	1.37
19. 土地利用	1.13	1.03	1.19	1.14	1.19	1.06	1.06	1.21	1.08	1.07	1.21	1.13	1.28	1.10	1.17	1.06	1.17	1.00	1.14	1.21	1.14	1.13	1.11
20. 住宅・住環境	1.39	1.35	1.42	1.36	1.43	1.38	1.29	1.48	1.33	1.38	1.40	1.41	1.38	1.41	1.29	1.40	1.39	1.32	1.52	1.40	1.38	1.40	1.32
21. 景観形成	1.05	0.94	1.12	0.93	1.11	1.06	0.96	1.13	1.03	1.14	0.89	1.15	1.03	1.08	0.86	1.00	1.08	0.87	1.28	1.14	1.02	1.09	0.86
22. 幼児教育・保育	1.36	1.21	1.46	1.51	1.47	1.44	1.08	1.40	1.32	1.35	1.36	1.43	0.96	1.38	1.36	1.65	1.25	1.29	1.45	1.53	1.29	1.37	1.29
23. 学校教育	1.40	1.30	1.47	1.69	1.51	1.45	1.09	1.42	1.37	1.39	1.41	1.52	1.28	1.39	1.38	1.71	1.28	1.26	1.48	1.60	1.34	1.42	1.29
24. 青少年	1.13	0.99	1.22	1.27	1.31	1.08	0.90	1.17	1.13	1.11	1.17	1.39	0.68	1.13	1.10	1.34	1.06	0.93	1.28	1.22	1.13	1.15	1.00
25. 生涯学習	0.87	0.68	1.01	1.29	0.89	0.72	0.69	0.93	0.97	0.85	0.93	0.98	0.86	0.84	0.95	0.82	0.91	0.73	0.74	0.99	0.91	0.88	0.88
26. 人権・男女共同参画	0.89	0.67	1.06	1.14	0.78	0.73	0.77	1.05	1.03	0.95	0.82	0.95	0.72	0.90	0.89	0.75	0.94	0.64	0.91	1.07	0.90	0.91	0.84
27. 文化芸術・文化財	0.94	0.71	1.10	0.93	0.95	0.82	0.96	1.06	0.84	1.01	0.81	1.14	0.86	0.90	0.95	0.83	0.99	0.77	1.08	0.98	0.94	0.97	0.77
28. 道路・交通	1.49	1.46	1.51	1.31	1.45	1.50	1.43	1.55	1.68	1.49	1.48	1.63	1.48	1.45	1.54	1.38	1.53	1.33	1.37	1.48	1.58	1.49	1.46
29. 産業 (農業・漁業・商工業)	1.29	1.18	1.38	1.10	1.24	1.37	1.14	1.42	1.38	1.32	1.24	1.55	1.28	1.28	1.11	1.19	1.34	1.12	1.24	1.35	1.34	1.29	1.29
30. 勤労・就業	1.17	1.01	1.29	1.02	1.19	1.21	1.05	1.29	1.10	1.15	1.18	1.20	1.28	1.16	1.11	1.05	1.21	0.96	1.04	1.29	1.21	1.17	1.13
31. 観光	1.01	0.93	1.07	1.00	1.01	0.99	0.93	1.14	0.88	0.97	1.05	1.17	1.17	1.01	0.76	0.90	1.05	0.85	1.18	1.09	0.99	1.04	0.88
柱Ⅱ																							
柱Ⅲ																							
柱Ⅳ																							
柱Ⅴ																							

(3) 満足度・重要度の相関



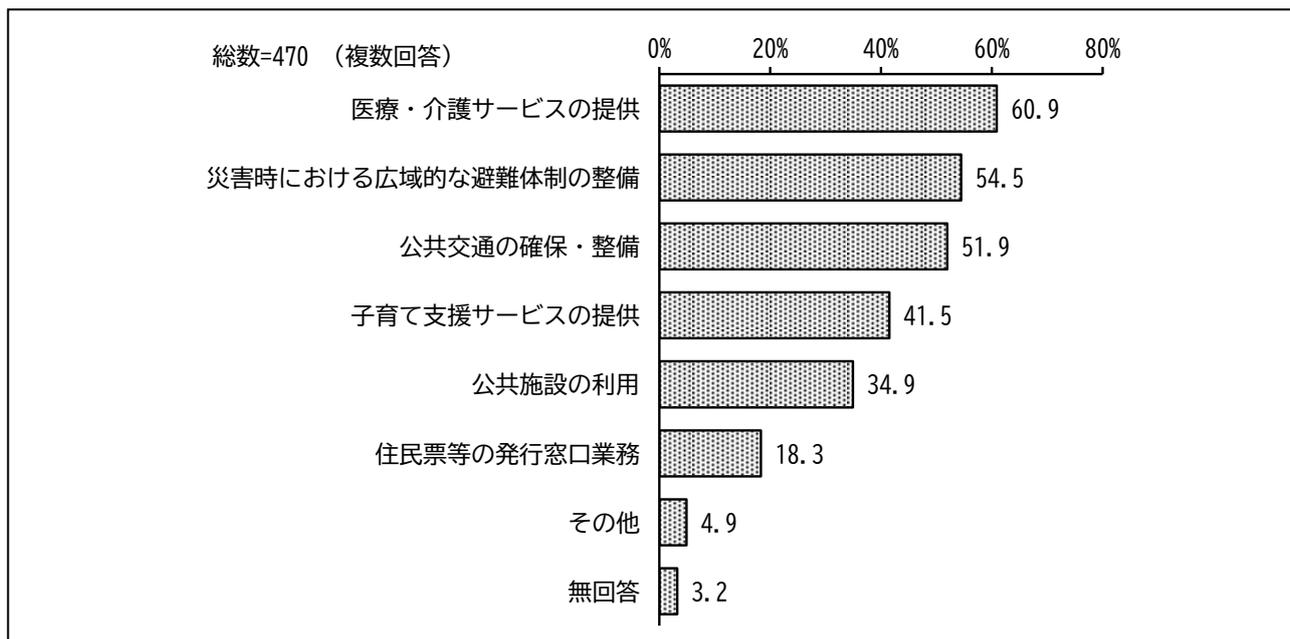
【グラフの見方】

- 全施策の満足度・重要度の平均値(満足度: 0.43、重要度: 1.22 で交差するグラフ上の赤線が平均値)を基準に、横線の満足度の平均: 0.43 の線よりも上側に位置する視察は満足度が高い施策、縦線の重要度の平均: 1.22 よりも右側に位置する施策は重要度が高い施策とみることができます。
- グラフ上の4つのエリアは次のように分析できます。
 - ①満足度: 高/重要度: 高 (グラフ右上) = 重点的に現状維持を図る施策 【重点維持施策】
 - ②満足度: 高/重要度: 低 (グラフ左上) = 現状維持を図る施策 【現状維持施策】
 - ③満足度: 低/重要度: 低 (グラフ左下) = 改善の必要性がある施策 【要改善施策】
 - ④満足度: 低/重要度: 高 (グラフ右下) = 重点的に改善を図る施策 【重点改善施策】
- 最も力を入れる必要があるのは④の満足度: 低/重要度: 高の重点改善施策である。次いで力を入れるのは①の満足度: 高/重要度: 高の重点維持施策である(住民が重要に思っている施策の満足度を落とさないことが求められる)。②現状維持施策と③要改善施策については、どちらを優先するかは難しい面があり、政策的な判断による。

今後、重点的に力を入れる必要がある重要度が高く、満足度が低い施策(重点改善施策: 図中④)は、柱Ⅰの「子ども・子育て支援」及び「保険(国保・介護保険等)」、柱Ⅴの「道路・交通」、「産業(農業・漁業・商工業)」の4つとなっています。

満足度に注目すると、柱Ⅲの施策は高い一方、柱Ⅴの施策は低い傾向がみられます。

問5 今後、財政的な厳しさが進むなかで、広域で連携して取り組んだ方がよいと思うものはどれですか。また、どのような取組みならば広域で連携が可能だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

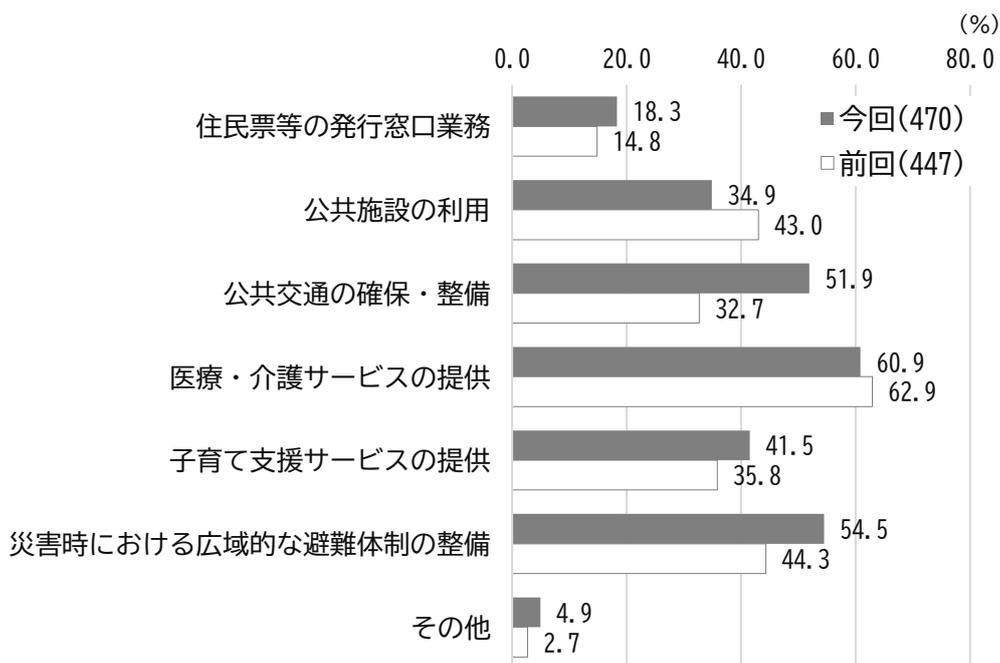


【全体】

「医療・介護サービスの提供」が60.9%で最も比率が高く、以下、「災害時における広域的な避難体制の整備」(54.5%)、「公共交通の確保・整備」(51.9%)と続いています。

【前回比較】

平成31年に実施した前回調査と比較すると、「公共交通の確保・整備」や「災害時における広域的な避難体制の整備」が大きく増加している一方、「公共施設の利用」は減少しています。



【属性別】

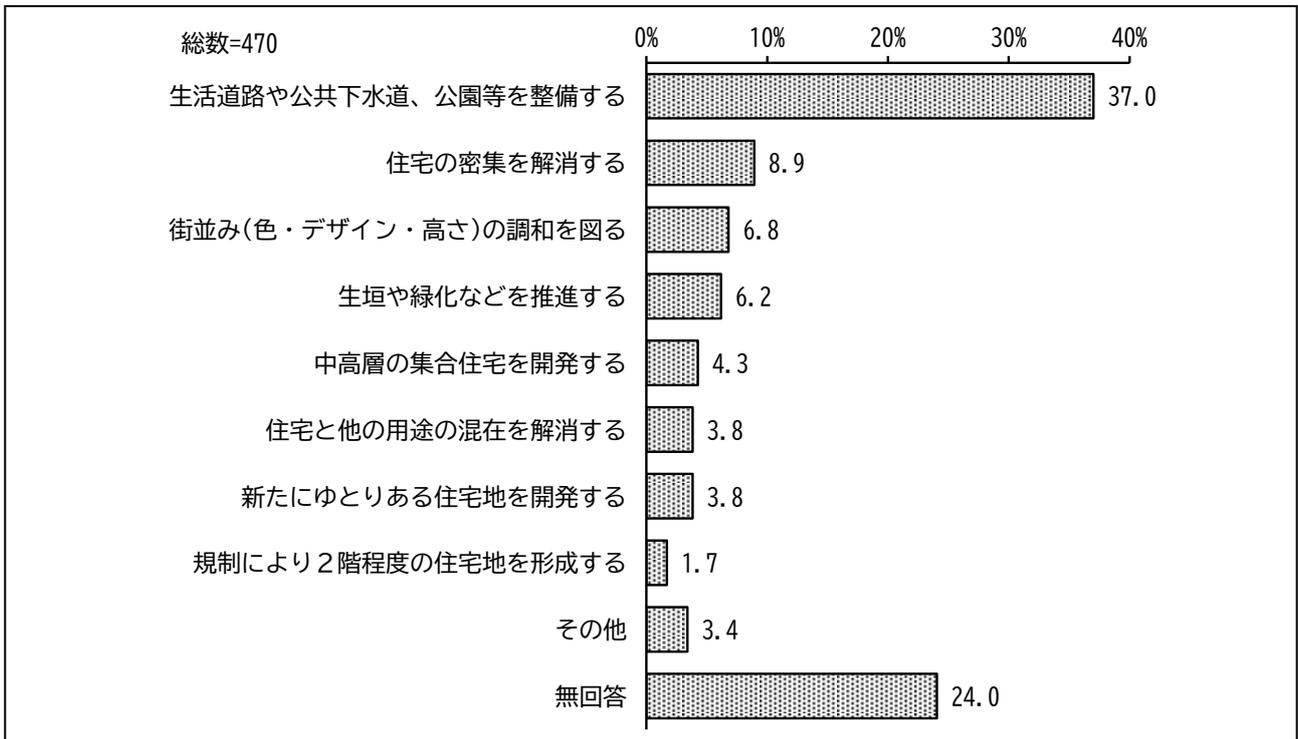
年齢別にみると、「公共交通の確保・整備」及び「医療・介護サービスの提供」は高齢層ほど比率が高くなっています。また、「子育て支援サービスの提供」では30代をピークに比率が上昇する傾向がみられます。

同居家族別にみると、18歳未満の子どものいる世帯では「子育て支援サービスの提供」の比率が高い一方で、「公共交通の確保・整備」では比率が低いという特徴がみられます。

		全体	住民票等の発行窓口業務	公共施設の利用	公共交通の確保・整備	医療・介護サービスの提供	子育て支援サービス	災害時に避難体制の広域的な整備	その他	無回答
	全体	470	18.3	34.9	51.9	60.9	41.5	54.5	4.9	3.2
性別	男	194	22.2	33.0	52.1	60.3	41.8	54.1	5.7	3.1
	女	251	16.7	36.3	53.4	59.8	42.2	55.0	4.8	2.4
年齢	10・20代	44	13.6	27.3	40.9	38.6	56.8	38.6	6.8	2.3
	30代	78	21.8	33.3	37.2	50.0	65.4	50.0	10.3	1.3
	40代	95	20.0	36.8	45.3	58.9	47.4	54.7	2.1	4.2
	50代	91	25.3	37.4	58.2	69.2	36.3	52.7	5.5	4.4
	60代	113	14.2	33.6	61.1	67.3	27.4	62.8	3.5	0.9
	70歳以上	44	11.4	40.9	70.5	75.0	22.7	65.9	2.3	2.3
居住地区	東部地区	282	21.6	34.4	49.6	62.4	39.7	56.7	3.5	3.2
	西部地区	177	14.1	35.6	57.6	58.8	45.2	52.5	7.3	1.7
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	21.2	45.5	50.0	68.2	34.8	48.5	1.5	3.0
	15歳になるまでに転入	31	19.4	29.0	61.3	45.2	48.4	58.1	3.2	-
	15歳になった以降に転入	300	17.7	33.7	53.0	61.0	43.7	55.0	5.3	3.3
	Uターン	65	20.0	33.8	49.2	60.0	38.5	61.5	7.7	-
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	14.0	35.5	37.2	54.5	70.2	51.2	5.8	4.1
	それ以外の世帯	334	20.1	35.6	57.8	62.9	32.0	56.9	4.8	2.1
居住年数	5年未満	83	22.9	30.1	44.6	53.0	48.2	53.0	7.2	7.2
	5～10年未満	51	17.6	31.4	37.3	58.8	58.8	47.1	9.8	-
	10～20年未満	103	17.5	36.9	53.4	55.3	43.7	50.5	2.9	3.9
	20年以上	227	17.2	37.0	58.1	67.4	35.2	59.5	4.0	0.9
居住意向	町内に住み続けたい	392	18.9	35.5	51.0	61.7	43.1	54.3	4.3	3.1
	町外に転居したい	75	16.0	32.0	56.0	54.7	34.7	54.7	8.0	4.0

1-5 土地利用等について

問6 今後の大磯町の住宅地整備は、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(○はひとつ)

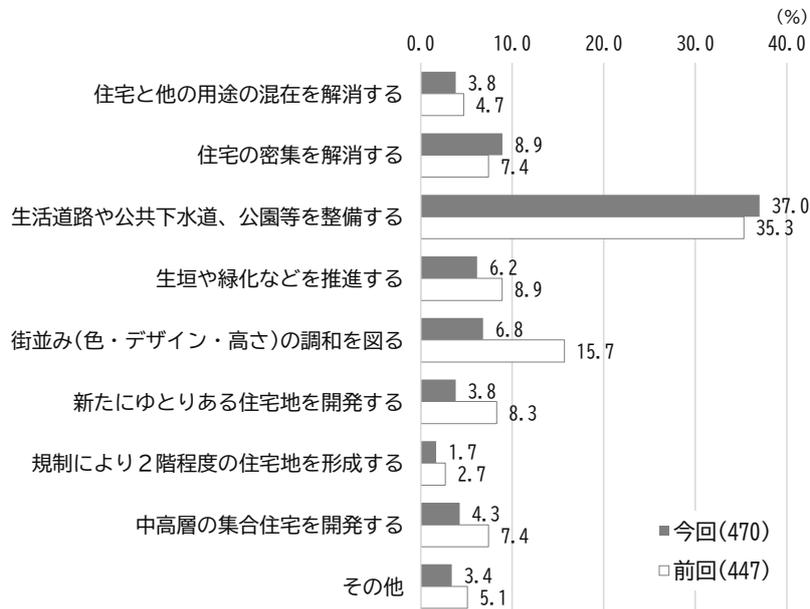


【全体】

「生活道路や公共下水道、公園等を整備する」が37.0%で最も比率が高くなっています。それ以外の項目は一桁台と少なくなっています。

【前回比較】

平成31年に実施した前回調査と比較すると、「生活道路や公共下水道、公園等を整備する」が30%台で第1位であることは変わらないものの、前回調査では第2位だった「街並み(色・デザイン・高さ)の調和を図る」は15.7%から6.8%と9ポイント近く低下しています。



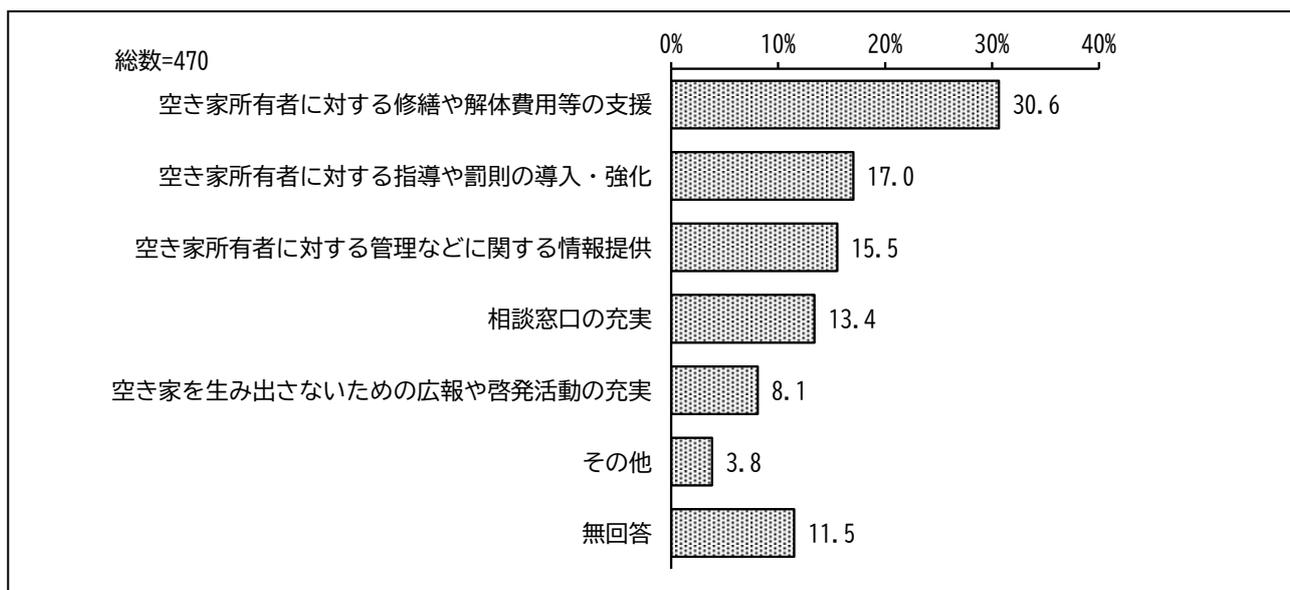
【属性別】

年齢別にみると、「街並み(色・デザイン・高さ)の調和を図る」は、70歳以上で15.9%と比率が高くなっています。

居住年数別にみると、「生活道路や公共下水道、公園等を整備する」は居住年数が長いほど比率が高い傾向がみられます。

		全体	住宅と他の用途の混在を解消する	住宅の密集を解消する	生活道路や公共下水道、公園等を整備する	生垣や緑化などを推進する	街並み(色・デザイン・高さ)の調和を図る	新たにゆとりある住宅地を開発する	規制により2階程度の住宅地を形成する	中高層の集合住宅を開発する	その他	無回答
全体		470	3.8	8.9	37.0	6.2	6.8	3.8	1.7	4.3	3.4	24.0
性別	男	194	3.6	7.7	34.0	5.7	7.2	4.6	1.0	4.1	3.6	28.4
	女	251	4.0	10.0	39.8	7.2	5.2	3.6	2.4	4.8	3.2	19.9
年齢	10・20代	44	9.1	9.1	31.8	9.1	2.3	9.1	4.5	11.4	2.3	11.4
	30代	78	1.3	11.5	41.0	5.1	3.8	2.6	-	2.6	5.1	26.9
	40代	95	3.2	11.6	34.7	7.4	2.1	3.2	1.1	3.2	5.3	28.4
	50代	91	3.3	9.9	36.3	2.2	8.8	3.3	-	4.4	2.2	29.7
	60代	113	3.5	5.3	38.1	9.7	8.8	2.7	4.4	3.5	2.7	21.2
	70歳以上	44	4.5	6.8	43.2	2.3	15.9	6.8	-	4.5	-	15.9
居住地区	東部地区	282	3.2	7.8	36.5	7.4	7.4	3.5	1.8	3.9	2.8	25.5
	西部地区	177	4.5	11.3	39.5	4.0	5.6	4.5	1.7	5.1	3.4	20.3
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	6.1	7.6	39.4	9.1	4.5	3.0	1.5	4.5	1.5	22.7
	15歳になるまでに転入	31	6.5	9.7	35.5	6.5	3.2	3.2	3.2	6.5	6.5	19.4
	15歳になった以降に転入	300	3.0	9.7	35.3	5.7	7.3	4.7	1.7	4.3	3.0	25.3
	Uターン	65	3.1	7.7	47.7	4.6	7.7	1.5	1.5	3.1	4.6	18.5
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	1.7	8.3	43.0	5.0	2.5	4.1	0.8	3.3	3.3	28.1
	それ以外の世帯	334	4.5	8.7	35.9	6.6	8.4	3.9	2.1	4.8	3.3	21.9
居住年数	5年未満	83	3.6	13.3	27.7	8.4	10.8	3.6	1.2	1.2	3.6	26.5
	5～10年未満	51	2.0	7.8	31.4	2.0	3.9	-	2.0	7.8	7.8	35.3
	10～20年未満	103	4.9	10.7	35.0	8.7	4.9	5.8	1.9	4.9	1.0	22.3
	20年以上	227	3.5	7.0	43.6	4.8	6.6	4.0	1.8	4.4	3.1	21.1
居住意向	町内に住み続けたい	392	3.8	8.7	37.8	6.6	7.1	4.3	2.0	3.3	3.1	23.2
	町外に転居したい	75	2.7	10.7	34.7	4.0	5.3	1.3	-	9.3	5.3	26.7

問7 空き家の発生を防いだり、管理が十分にされていない空き家を解消したりするために、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(〇はひとつ)



【全体】

「空き家所有者に対する修繕や解体費用等の支援」が 30.6%で最も比率が高く、以下、「空き家所有者に対する指導や罰則の導入・強化」(17.0%)、「空き家所有者に対する管理などに関する情報提供」(15.5%)と続いています。

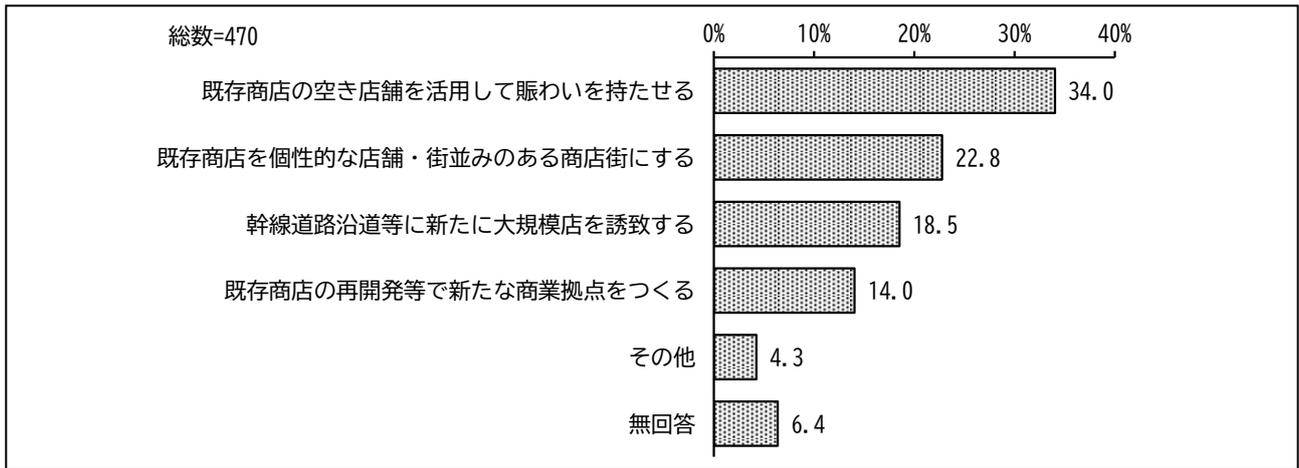
【属性別】

居住経緯別にみると、「空き家所有者に対する修繕や解体費用等の支援」は、生まれてからずっと居住している人で比率が高くなっています。

居住年数別にみると、「空き家所有者に対する修繕や解体費用等の支援」は 20 年以上の居住者で比率が高い一方、10 年未満の居住年数が短い層では「空き家所有者に対する指導や罰則の導入・強化」の比率が相対的に高くなっています。

		全体	空き家を生み出さないための広報や啓発活動の充実	空き家所有者に対する情報提供	相談窓口の充実	空き家所有者に対する修繕や解体費用等の支援	空き家所有者に対する指導や罰則の導入・強化	その他	無回答
	全体	470	8.1	15.5	13.4	30.6	17.0	3.8	11.5
性別	男	194	7.2	13.4	13.9	29.9	21.1	3.6	10.8
	女	251	8.0	18.3	13.1	32.7	12.7	3.2	12.0
年齢	10・20代	44	11.4	27.3	11.4	25.0	13.6	9.1	2.3
	30代	78	9.0	14.1	9.0	38.5	10.3	2.6	16.7
	40代	95	6.3	11.6	14.7	26.3	23.2	3.2	14.7
	50代	91	6.6	12.1	12.1	35.2	15.4	5.5	13.2
	60代	113	8.0	19.5	13.3	29.2	18.6	1.8	9.7
	70歳以上	44	9.1	13.6	22.7	29.5	20.5	-	4.5
居住地区	東部地区	282	6.4	17.0	14.5	29.4	17.4	3.9	11.3
	西部地区	177	10.7	14.1	11.3	33.9	16.9	2.3	10.7
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	10.6	10.6	10.6	48.5	10.6	-	9.1
	15歳になるまでに転入	31	6.5	19.4	19.4	12.9	32.3	-	9.7
	15歳になった以降に転入	300	7.7	17.3	14.0	27.7	16.7	4.0	12.7
	Uターン	65	7.7	10.8	10.8	35.4	20.0	6.2	9.2
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	9.1	14.0	8.3	34.7	17.4	4.1	12.4
	それ以外の世帯	334	7.5	16.5	15.3	29.3	17.1	3.3	11.1
居住年数	5年未満	83	6.0	18.1	8.4	24.1	21.7	7.2	14.5
	5～10年未満	51	7.8	13.7	3.9	29.4	21.6	5.9	17.6
	10～20年未満	103	11.7	19.4	17.5	26.2	14.6	2.9	7.8
	20年以上	227	7.0	13.7	15.4	35.7	15.9	1.8	10.6
居住意向	町内に住み続けたい	392	7.4	16.3	14.0	30.9	16.8	3.6	11.0
	町外に転居したい	75	10.7	12.0	9.3	29.3	18.7	5.3	14.7

問8 商業を活性化するために、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(○はひとつ)

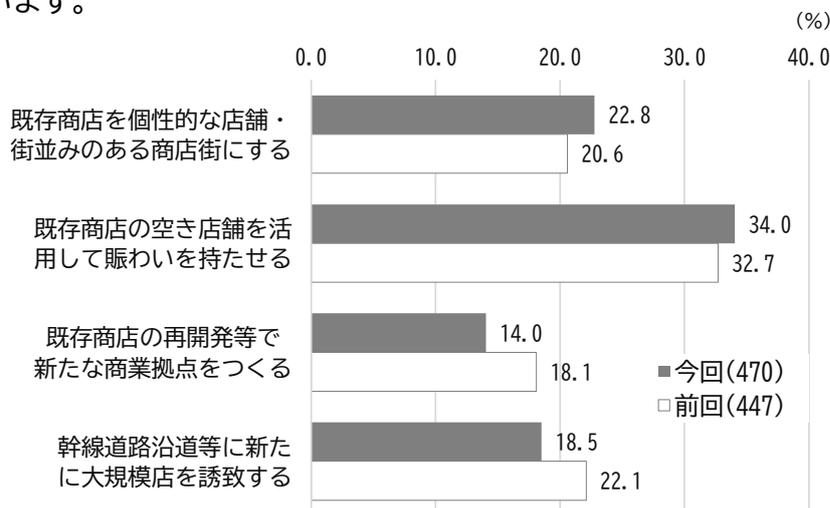


【全体】

「既存商店の空き店舗を活用して賑わいをを持たせる」が 34.0%で最も比率が高く、以下、「既存商店を個性的な店舗・街並みのある商店街にする」(22.8%)、「幹線道路沿道等に新たに大規模店を誘致する」(18.5%)と続いています。大規模店の誘致や新たな商業拠点形成よりも、既存の商業資源の活用を求める声が多くなっています。

【前回比較】

平成 31 年に実施された前回調査と比較すると、回答の傾向に大きな違いはありませんが、「幹線道路沿道等に新たに大規模店を誘致する」や「既存商店の再開発等で新たな商業拠点をつくる」は減少しており、大規模店の誘致や新たな商業拠点形成よりも、既存の商業資源の活用を求める声が強くなっています。



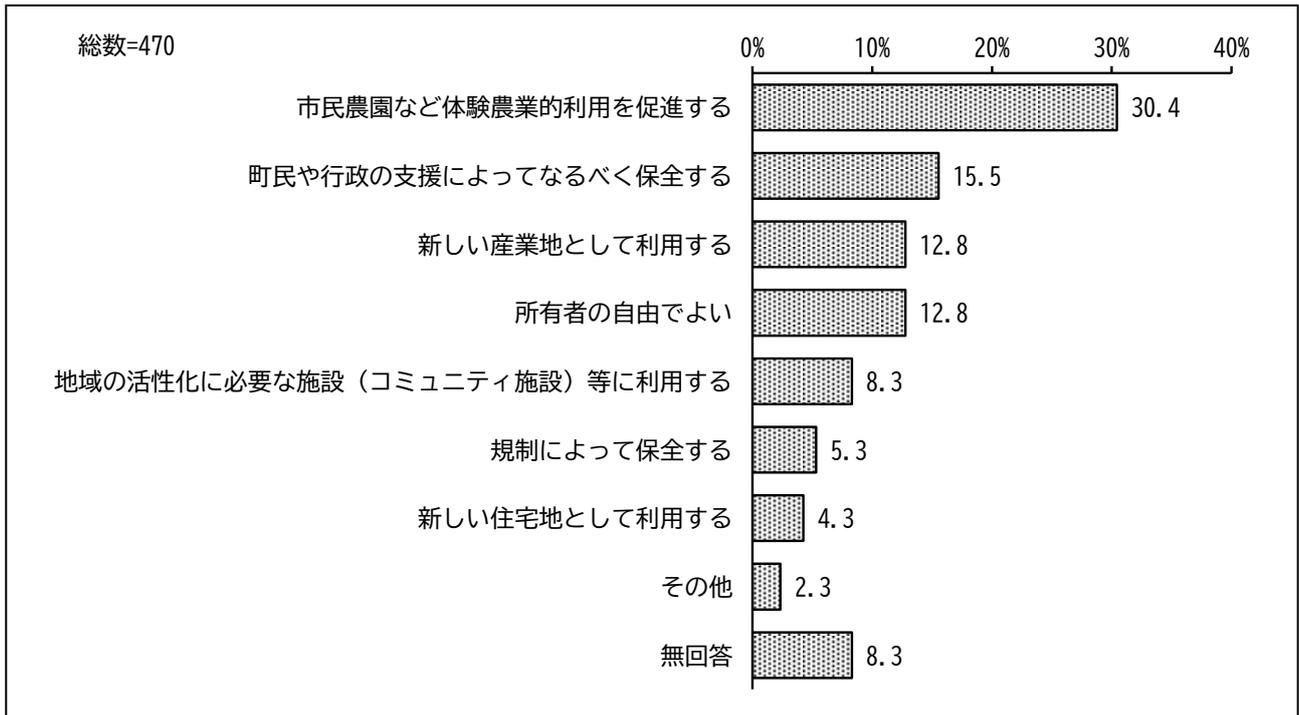
【属性別】

年齢別にみると、「既存商店を個性的な店舗・街並みのある商店街にする」は 50～60 代で、「既存商店の空き店舗を活用して賑わいをを持たせる」は、40 代で比率が高くなっています。また、「既存商店の再開発等で新たな商業拠点をつくる」は 60 代で、「幹線道路沿道等に新たに大規模店を誘致する」は 30 代や 70 歳以上で比率が高くなっています。

居住地区別にみると、「既存商店を個性的な店舗・街並みのある商店街にする」は東部地区で、「幹線道路沿道等に新たに大規模店を誘致する」は西部地区で比率が高くなっています。

		全体	既存商店を個性的な店舗・街並みのある商店街にする	既存商店の空き店舗を活用して賑わいを持たせる	既存商店の再開発等で新たな商業拠点をつくる	幹線道路沿道等に新たに大規模店を誘致する	その他	無回答
	全体	470	22.8	34.0	14.0	18.5	4.3	6.4
性別	男	194	23.2	32.0	14.9	19.1	5.7	5.2
	女	251	21.5	37.1	13.9	17.9	2.4	7.2
年齢	10・20代	44	18.2	43.2	13.6	22.7	2.3	-
	30代	78	14.1	28.2	14.1	26.9	5.1	11.5
	40代	95	12.6	43.2	12.6	20.0	3.2	8.4
	50代	91	33.0	34.1	6.6	12.1	8.8	5.5
	60代	113	30.1	29.2	22.1	10.6	2.7	5.3
	70歳以上	44	22.7	31.8	13.6	29.5	-	2.3
居住地区	東部地区	282	26.2	37.2	14.9	12.8	3.5	5.3
	西部地区	177	16.4	31.1	13.6	27.1	5.1	6.8
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	19.7	30.3	21.2	21.2	3.0	4.5
	15歳になるまでに転入	31	6.5	51.6	16.1	12.9	6.5	6.5
	15歳になった以降に転入	300	25.7	34.3	12.7	17.3	2.7	7.3
	Uターン	65	20.0	32.3	12.3	21.5	10.8	3.1
同居家族	18歳未満の子どもがいる世帯	121	21.5	31.4	14.9	22.3	1.7	8.3
	それ以外の世帯	334	22.8	35.3	14.1	17.4	4.8	5.7
居住年数	5年未満	83	14.5	33.7	14.5	21.7	1.2	14.5
	5～10年未満	51	23.5	35.3	9.8	21.6	3.9	5.9
	10～20年未満	103	22.3	45.6	9.7	16.5	2.9	2.9
	20年以上	227	25.1	29.5	17.2	17.6	5.7	4.8
居住意向	町内に住み続けたい	392	23.2	36.2	15.1	16.6	3.8	5.1
	町外に転居したい	75	20.0	24.0	9.3	26.7	6.7	13.3

問9 農地の土地利用は、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(○はひとつ)

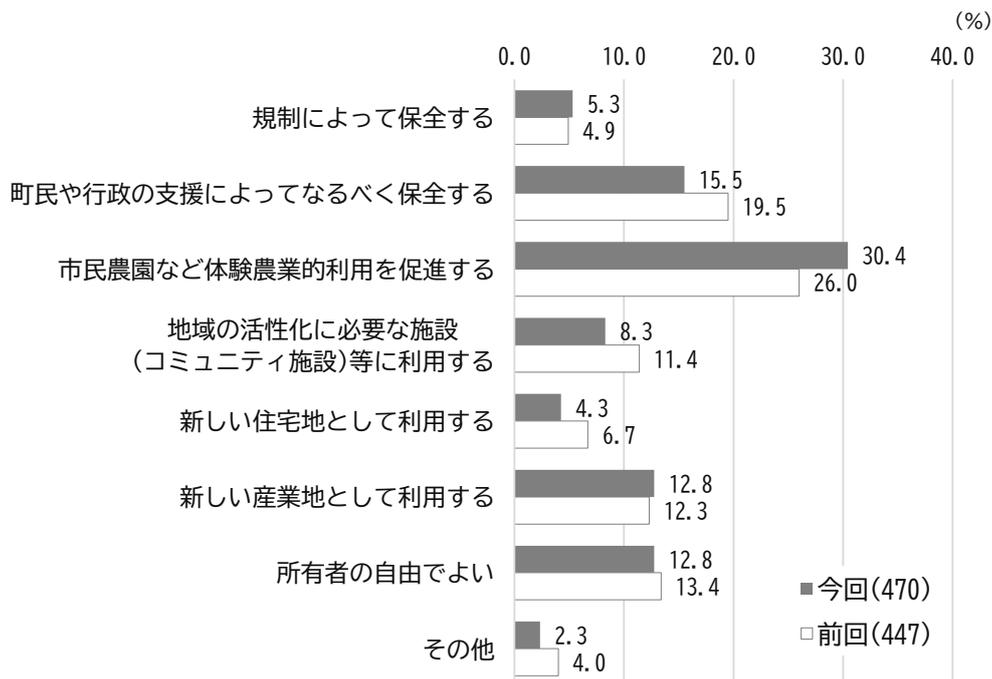


【全体】

「市民農園など体験農業的利用を促進する」が30.4%、「町民や行政の支援によってなるべく保全する」が15.5%となっており、農地を農地として保全する意見の比率が高くなっています。

【前回比較】

平成31年に実施された前回調査と比較すると、回答の傾向に大きな違いはありませんが、「市民農園など体験農業的利用を促進する」がやや増加している一方、「町民や行政の支援によってなるべく保全する」や「地域の活性化に必要な施設（コミュニティ施設）等に利用する」、「新しい住宅地として利用する」は減少しています。



【属性別】

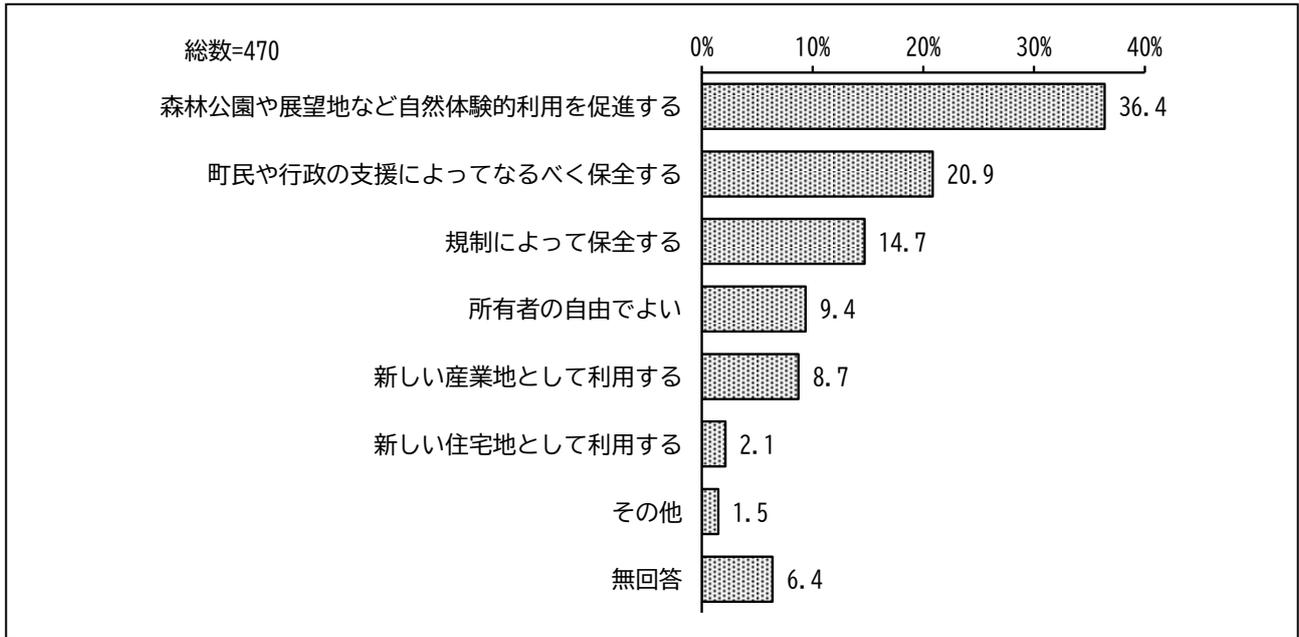
年齢別にみると、「町民や行政の支援によってなるべく保全する」や「地域の活性化に必要な施設（コミュニティ施設）等に利用する」は60代以上の高年齢層で比率が高く、「市民農園など体験農業的利用を促進する」は40代で特に比率が高くなっています。

同居家族別にみると、「市民農園など体験農業的利用を促進する」は、18歳未満の子どものいる世帯で比率が高くなっています。

居住年数別にみると、「市民農園など体験農業的利用を促進する」は居住年数が短いほど比率が高い傾向がみられます。

		全体	規制によって保全する	町民や行政の支援によってなるべく保全する	市民農園など体験農業的利用を促進する	地域の活性化に必要な施設（コミュニティ施設）等に利用する	新しい住宅地として利用する	新しい産業地として利用する	所有者の自由でよい	その他	無回答
全体		470	5.3	15.5	30.4	8.3	4.3	12.8	12.8	2.3	8.3
性別	男	194	4.1	17.5	25.3	6.2	5.2	17.0	14.4	2.1	8.2
	女	251	6.0	13.5	35.5	9.6	3.2	10.4	12.0	2.8	7.2
年齢	10・20代	44	4.5	11.4	31.8	2.3	4.5	15.9	25.0	2.3	2.3
	30代	78	2.6	10.3	29.5	6.4	3.8	15.4	14.1	3.8	14.1
	40代	95	6.3	9.5	43.2	7.4	4.2	9.5	10.5	-	9.5
	50代	91	4.4	12.1	31.9	8.8	4.4	9.9	15.4	4.4	8.8
	60代	113	5.3	25.7	23.9	10.6	3.5	15.9	8.0	0.9	6.2
	70歳以上	44	11.4	25.0	18.2	13.6	6.8	11.4	6.8	4.5	2.3
居住地区	東部地区	282	6.4	17.4	29.1	8.9	3.9	10.6	14.2	2.1	7.4
	西部地区	177	4.0	13.0	32.8	7.3	5.1	16.9	10.2	2.8	7.9
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	4.5	16.7	22.7	7.6	7.6	21.2	10.6	3.0	6.1
	15歳になるまでに転入	31	-	16.1	29.0	6.5	6.5	3.2	29.0	3.2	6.5
	15歳になった以降に転入	300	6.3	15.0	33.0	9.3	2.7	11.0	11.3	2.0	9.3
	Uターン	65	4.6	15.4	27.7	6.2	7.7	18.5	12.3	3.1	4.6
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	1.7	9.9	43.0	6.6	3.3	13.2	10.7	1.7	9.9
	それ以外の世帯	334	6.9	18.3	25.1	9.3	4.5	12.3	13.5	2.7	7.5
居住年数	5年未満	83	2.4	4.8	42.2	7.2	4.8	10.8	13.3	1.2	13.3
	5～10年未満	51	7.8	15.7	35.3	9.8	2.0	5.9	13.7	2.0	7.8
	10～20年未満	103	3.9	15.5	36.9	4.9	1.0	11.7	13.6	2.9	9.7
	20年以上	227	6.6	19.8	22.5	9.7	6.2	15.9	11.5	2.6	5.3
居住意向	町内に住み続けたい	392	5.6	17.1	31.4	7.9	3.8	12.5	11.7	2.3	7.7
	町外に転居したい	75	4.0	8.0	24.0	10.7	6.7	13.3	18.7	2.7	12.0

問 10 山林・緑地の土地利用は、特にどの点を重視すべきだと思いますか（○はひとつ）

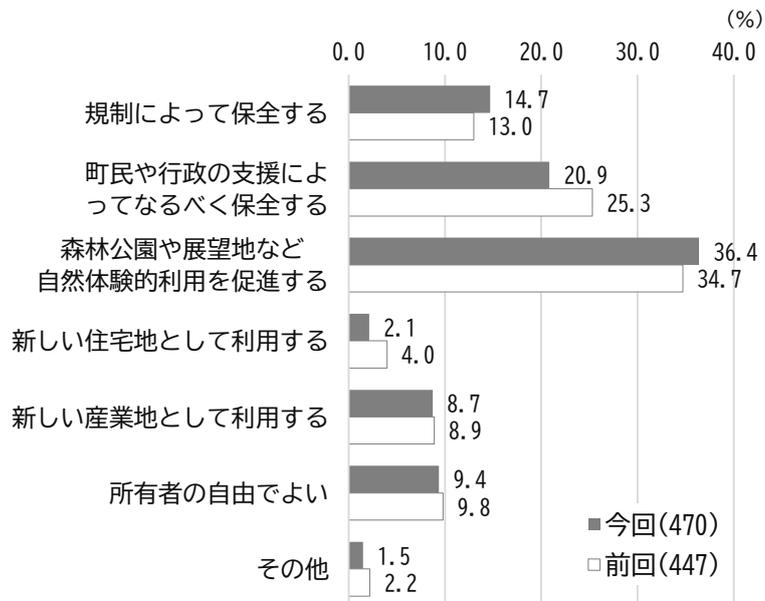


【全体】

「森林公園や展望地など自然体験的利用を促進する」が 36.4%で最も比率が高く、以下、「町民や行政の支援によってなるべく保全する」(20.9%)、「規制によって保全する」(14.7%)と続いており、産業地や住宅地としての利用は一桁台となっています。

【前回比較】

平成 31 年に実施された前回調査と比較すると、回答の傾向に大きな違いはありませんが、「町民や行政の支援によってなるべく保全する」の比率がやや低下しています。



【属性別】

年齢別にみると、「町民や行政の支援によってなるべく保全する」は高年齢層ほど比率が高い傾向がみられます。

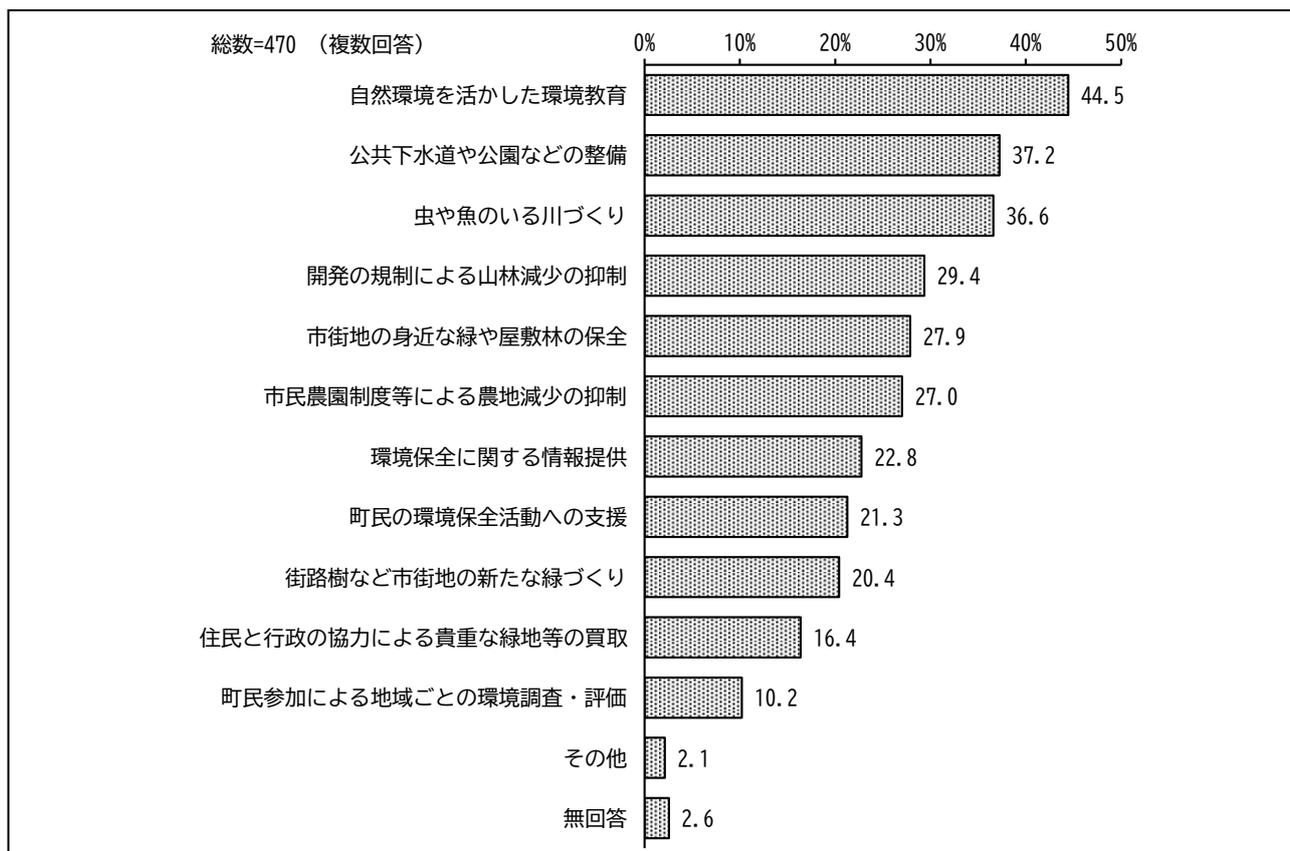
居住履歴別にみると、「新しい産業地として利用する」は、生まれてからずっと居住している人で比率が高くなっています。

同居家族別にみると、「森林公園や展望地など自然体験的利用を促進する」は、18歳未満の子どものいる世帯で比率が高くなっています。

居住年数別にみると、「森林公園や展望地など自然体験的利用を促進する」は居住年数が短い層で比率が高い傾向がみられます。

		全体	規制によつて保全する	町民や行政の支援によってなるべく保全する	森林公園や展望地など自然体験的利用を促進する	新しい住宅地として利用する	新しい産業地として利用する	所有者の自由でよい	その他	無回答
全体		470	14.7	20.9	36.4	2.1	8.7	9.4	1.5	6.4
性別	男	194	10.8	19.1	37.6	1.5	12.9	12.4	1.5	4.1
	女	251	16.7	22.3	36.3	2.0	6.4	7.6	1.6	7.2
年齢	10・20代	44	18.2	11.4	34.1	-	9.1	22.7	4.5	-
	30代	78	14.1	11.5	38.5	2.6	11.5	9.0	-	12.8
	40代	95	16.8	22.1	36.8	4.2	6.3	5.3	2.1	6.3
	50代	91	14.3	25.3	33.0	2.2	5.5	12.1	1.1	6.6
	60代	113	14.2	22.1	37.2	1.8	9.7	8.0	1.8	5.3
	70歳以上	44	11.4	31.8	38.6	-	13.6	2.3	-	2.3
居住地区	東部地区	282	18.8	23.8	33.0	1.1	6.0	9.2	1.4	6.7
	西部地区	177	9.0	15.3	41.2	4.0	13.6	9.6	1.7	5.6
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	4.5	28.8	24.2	3.0	21.2	10.6	-	7.6
	15歳になるまでに転入	31	32.3	12.9	29.0	-	6.5	9.7	3.2	6.5
	15歳になった以降に転入	300	16.3	20.0	39.0	2.0	7.0	7.7	1.3	6.7
	Uターン	65	10.8	18.5	40.0	3.1	6.2	15.4	3.1	3.1
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	13.2	18.2	45.5	0.8	8.3	5.0	0.8	8.3
	それ以外の世帯	334	15.9	21.6	32.9	2.7	8.4	11.1	1.8	5.7
居住年数	5年未満	83	15.7	16.9	42.2	1.2	6.0	8.4	1.2	8.4
	5～10年未満	51	17.6	15.7	43.1	2.0	7.8	9.8	-	3.9
	10～20年未満	103	16.5	18.4	39.8	2.9	7.8	6.8	1.9	5.8
	20年以上	227	13.2	24.2	31.3	2.2	10.6	10.6	1.8	6.2
居住意向	町内に住み続けたい	392	15.6	22.4	36.7	1.3	7.7	8.9	1.5	5.9
	町外に転居したい	75	10.7	12.0	34.7	6.7	13.3	12.0	1.3	9.3

問11 大磯町の自然環境を保全し活用するためには、どのようなことが重要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)



【全体】

「自然環境を活かした環境教育」が44.5%で最も比率が高く、以下、「公共下水道や公園などの整備」(37.2%)、「虫や魚のいる川づくり」(36.6%)と続いています。

【属性別】

年齢別にみると、「開発の規制による山林減少の抑制」や「町民の環境保全活動への支援」は、高年齢層ほど比率が高い傾向がみられます。また、「市街地の身近な緑や屋敷林の保全」では60代をピークに、「市民農園制度等による農地減少の抑制」は50代をピークに比率が高くなる傾向がみられます。

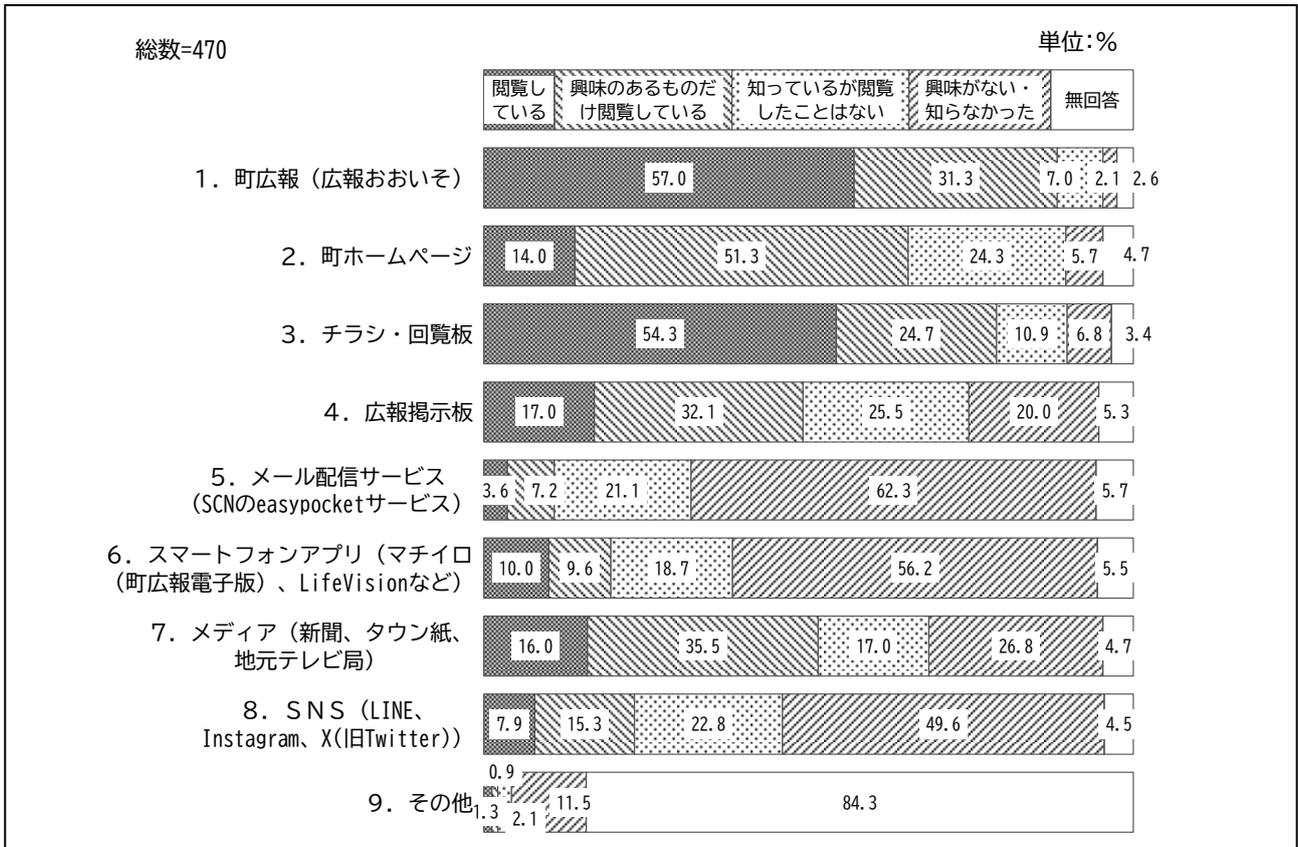
居住地区別にみると、「市街地の身近な緑や屋敷林の保全」は東部地区で比率が高くなっています。

同居家族別にみると、「自然環境を活かした環境教育」、「市民農園制度等による農地減少の抑制」、「公共下水道や公園などの整備」、「虫や魚のいる川づくり」などは、18歳未満の子どものいる世帯で比率が高くなっています。

		全体	自然環境を活かした環境教育	環境保全に関する情報提供	市民農園制度等による農地減少の抑制	開発の規制による山林減少の抑制	市街地の身近な緑や屋敷林の保全	町民の環境保全活動への支援	公共下水道や公園などの整備	街路樹など市街地の新たな緑づくり	虫や魚のいる川づくり	住民と行政の協力による貴重な緑地等の買取	町民参加による地域ごとの環境調査・評価	その他	無回答
	全体	470	44.5	22.8	27.0	29.4	27.9	21.3	37.2	20.4	36.6	16.4	10.2	2.1	2.6
性別	男	194	38.1	25.8	24.7	28.4	27.3	20.1	39.2	20.1	37.6	18.6	12.4	4.1	1.0
	女	251	49.8	20.7	29.1	30.3	29.9	21.9	35.9	21.1	34.7	13.5	9.2	0.8	3.6
年齢	10・20代	44	59.1	20.5	18.2	18.2	29.5	13.6	27.3	22.7	38.6	2.3	9.1	2.3	-
	30代	78	44.9	19.2	30.8	23.1	20.5	19.2	42.3	20.5	37.2	15.4	10.3	2.6	3.8
	40代	95	50.5	25.3	27.4	27.4	24.2	23.2	43.2	16.8	35.8	13.7	10.5	4.2	3.2
	50代	91	41.8	20.9	36.3	31.9	28.6	16.5	29.7	20.9	35.2	16.5	9.9	3.3	2.2
	60代	113	42.5	24.8	24.8	33.6	37.2	23.9	33.6	22.1	33.6	22.1	7.1	-	1.8
	70歳以上	44	31.8	25.0	15.9	38.6	25.0	29.5	54.5	22.7	43.2	22.7	20.5	-	2.3
居住地区	東部地区	282	46.1	22.7	25.5	33.3	33.0	22.3	37.2	23.8	36.9	18.4	8.2	1.4	2.1
	西部地区	177	44.1	22.6	29.9	23.2	19.8	19.2	37.9	15.8	35.6	13.0	13.6	3.4	1.7
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	47.0	21.2	22.7	24.2	27.3	22.7	33.3	21.2	34.8	13.6	10.6	1.5	-
	15歳になるまでに転入	31	45.2	25.8	29.0	25.8	22.6	19.4	38.7	19.4	29.0	9.7	6.5	3.2	3.2
	15歳になった以降に転入	300	45.0	22.0	28.3	30.0	29.3	22.7	42.0	20.3	38.3	18.3	12.0	1.7	3.0
	Uターン	65	43.1	27.7	24.6	32.3	24.6	12.3	20.0	23.1	32.3	13.8	3.1	4.6	1.5
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	59.5	15.7	34.7	22.3	22.3	24.8	46.3	14.9	44.6	14.9	9.1	1.7	2.5
	それ以外の世帯	334	40.4	25.4	24.6	31.4	30.5	20.1	34.7	22.8	33.8	17.1	10.8	2.1	2.4
居住年数	5年未満	83	48.2	18.1	31.3	25.3	26.5	16.9	38.6	16.9	36.1	16.9	9.6	3.6	6.0
	5～10年未満	51	45.1	15.7	23.5	29.4	33.3	15.7	39.2	19.6	37.3	13.7	5.9	-	-
	10～20年未満	103	52.4	26.2	31.1	24.3	31.1	26.2	45.6	25.2	41.7	16.5	13.6	1.0	-
	20年以上	227	40.1	24.7	24.2	32.6	26.0	21.6	33.5	20.3	33.9	16.3	10.1	2.6	2.6
居住意向	町内に住み続けたい	392	45.4	23.7	27.8	31.1	29.6	22.7	39.0	20.7	37.0	17.3	10.2	1.3	2.0
	町外に転居したい	75	41.3	17.3	24.0	20.0	18.7	14.7	29.3	20.0	36.0	12.0	10.7	6.7	5.3

1-6 広報について

問12 町では様々な方法で町政情報を発信していますが、どのような方法で入手しようとしていますか。各項目の当てはまる番号に○を付けてください。



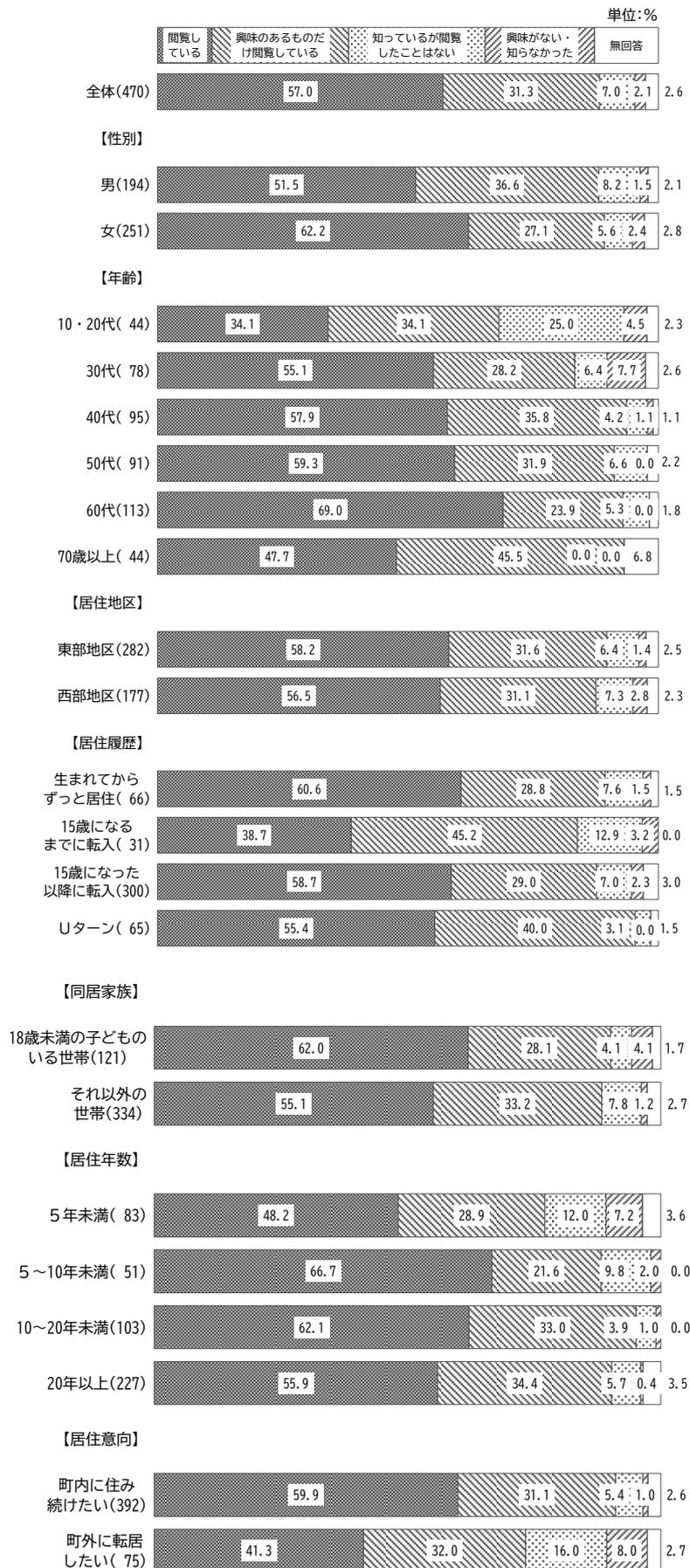
【全体】

「1. 町広報」及び「3. チラシ・回覧板」は「閲覧している」が50%以上となっており、広報手段として浸透しています。一方、「5. メール配信サービス」や「6. スマートフォンアプリ」、「8. SNS」は「興味がない・知らなかった」が50~60%程度と比率が高く、利用が少ない状況となっています。

【属性別】

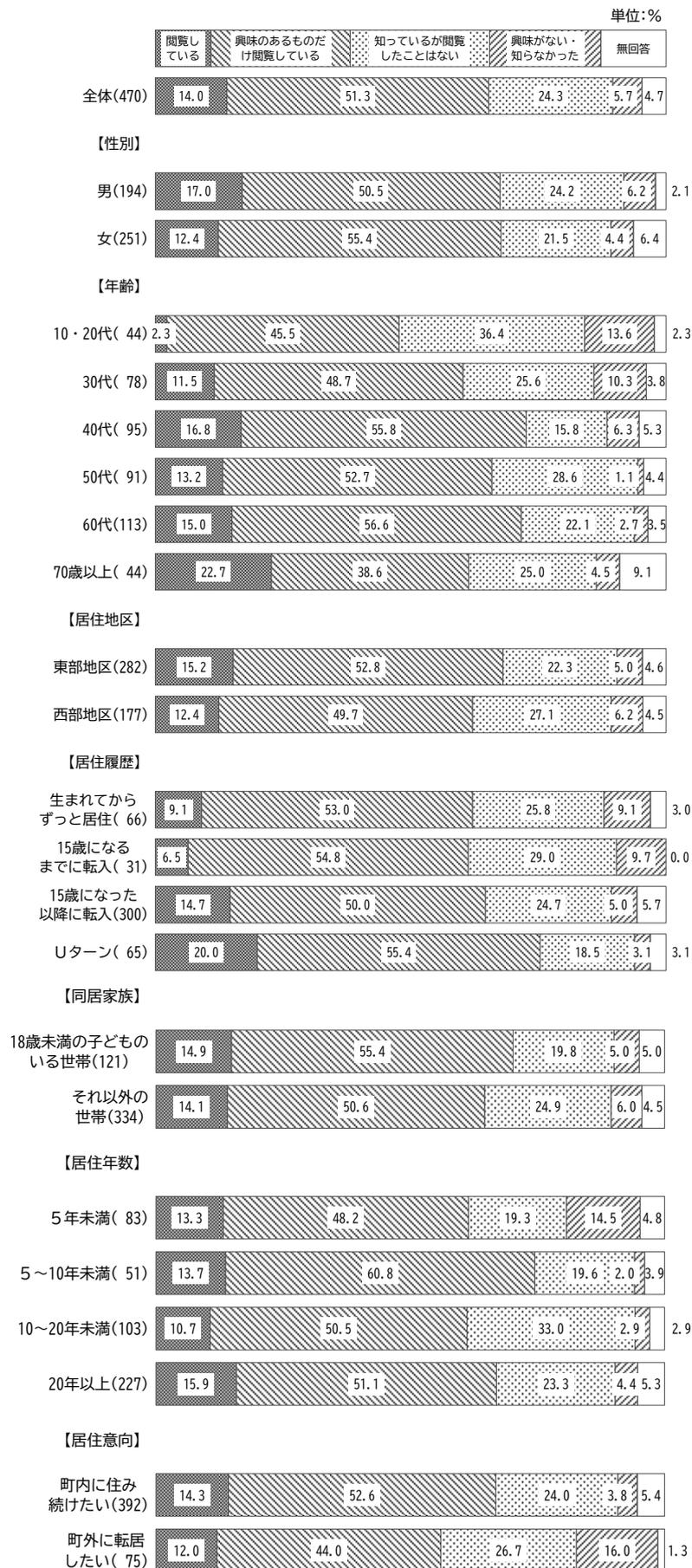
1. 町広報（広報おおいそ）

年齢別にみると、「閲覧している」は60代で70%近くに達しています。



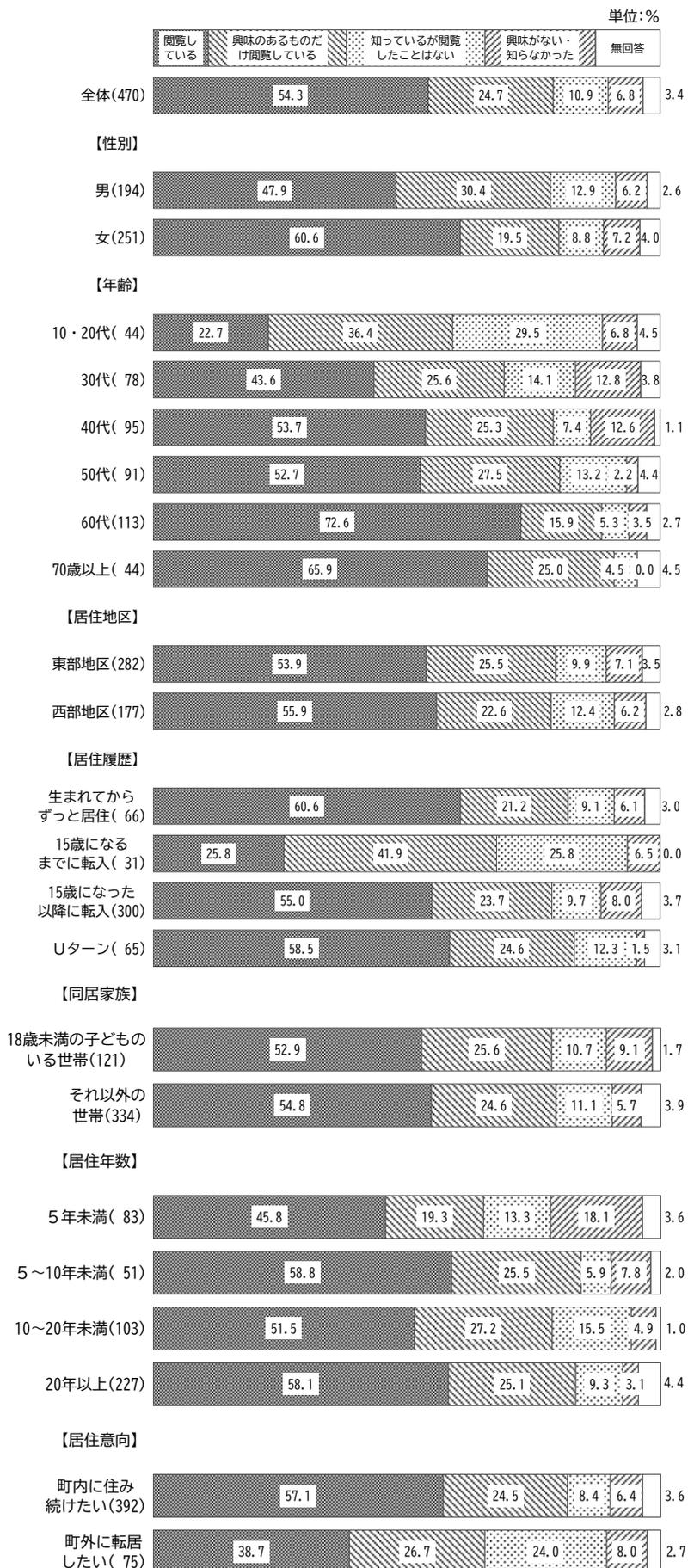
2. 町ホームページ

居住経緯別にみると、「閲覧している」はUターンで20%と比率が高くなっています。



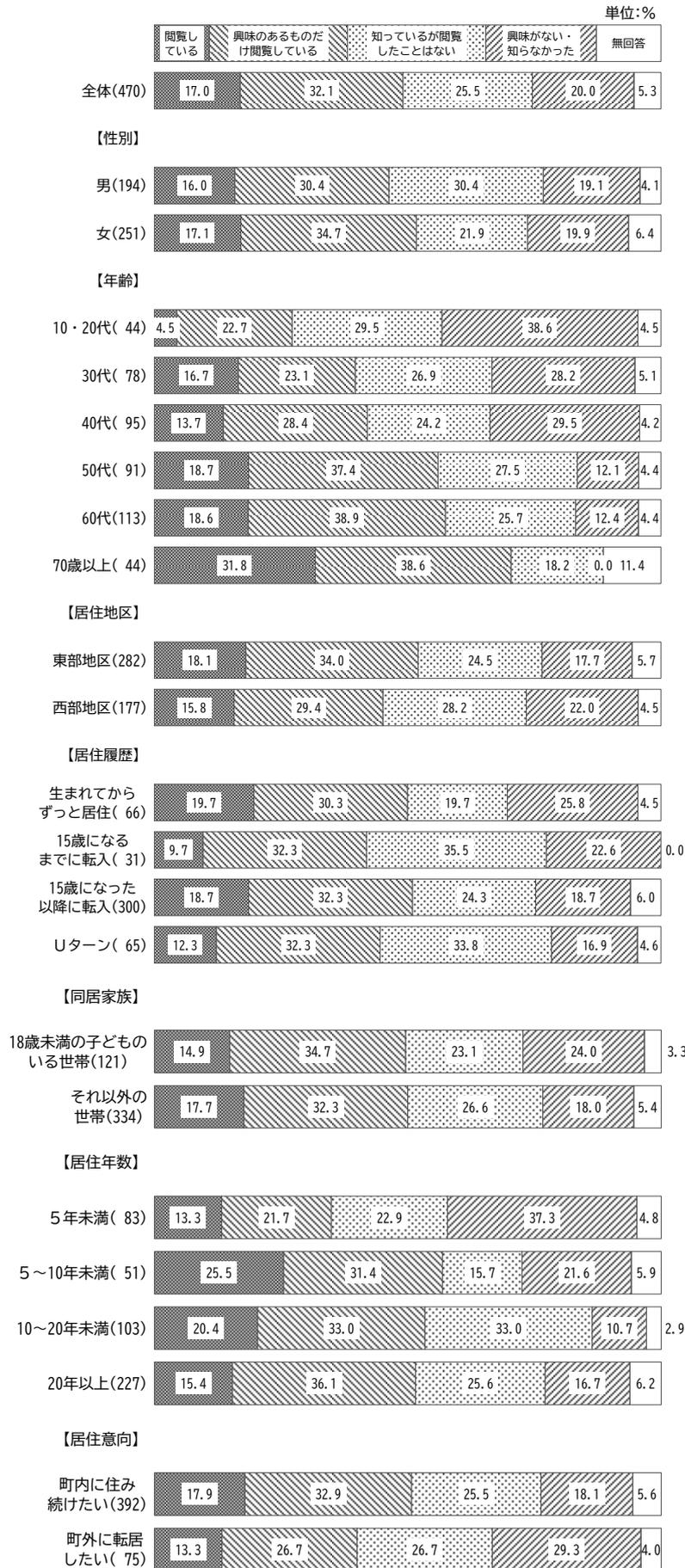
3. チラシ・回覧板

年齢別にみると、「閲覧している」は高齢層ほど高くなる傾向がみられます。



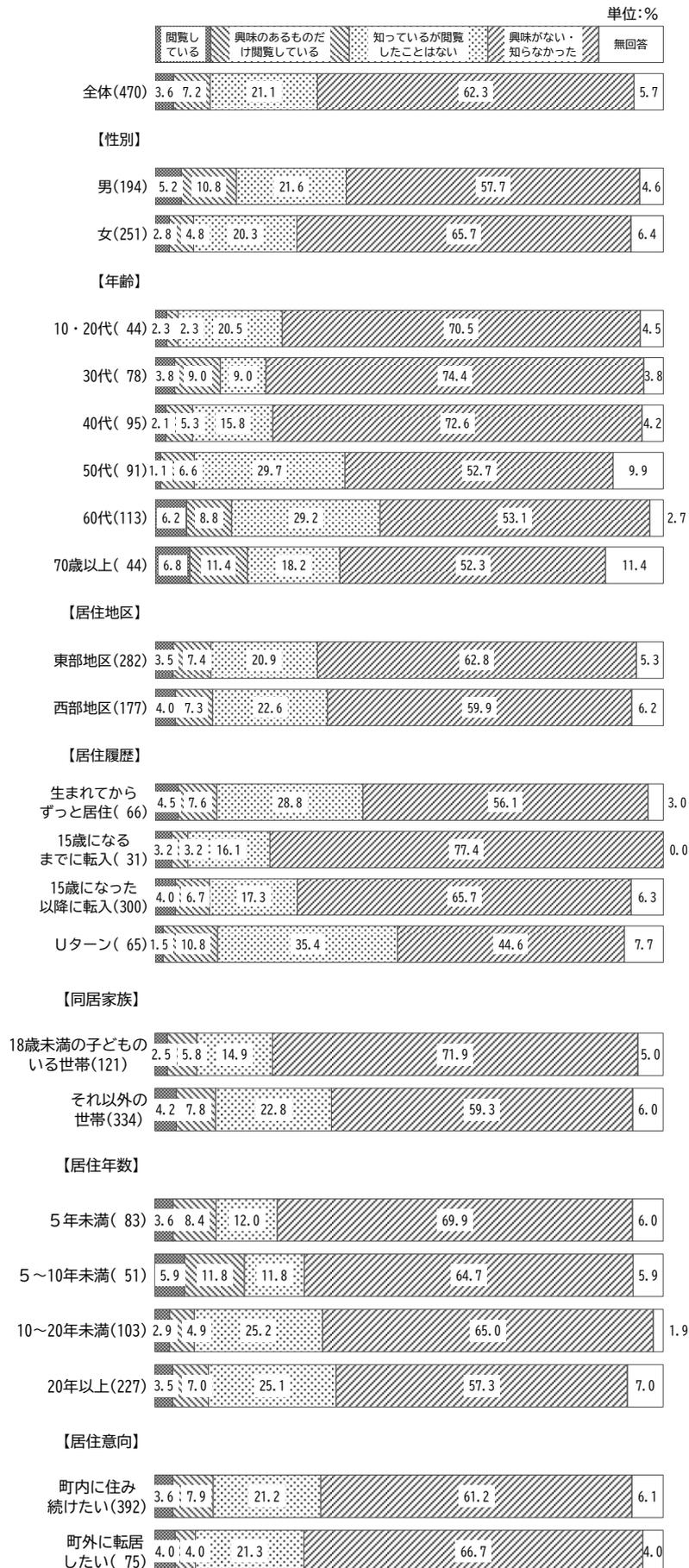
4. 広報掲示板

居住年数別にみると、「興味がない・知らなかった」は5年未満で40%弱と比率が高くなっています。



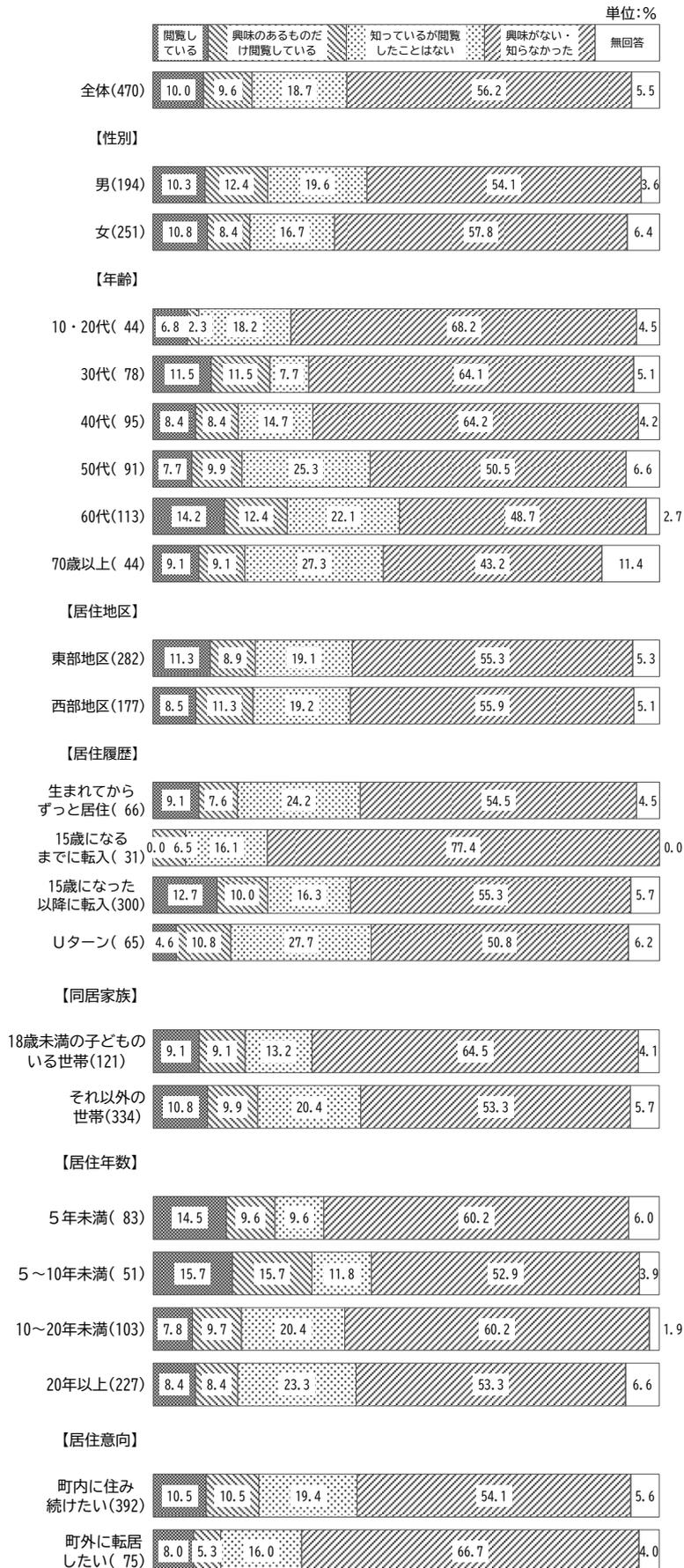
5. メール配信サービス（SCNのeasypocketサービス）

年齢別にみると、「興味がない・知らなかった」は10～40代では70%程度と、認知度が低くなっています。



6. スマートフォンアプリ（マチイロ（町広報電子版）、LifeVision など）

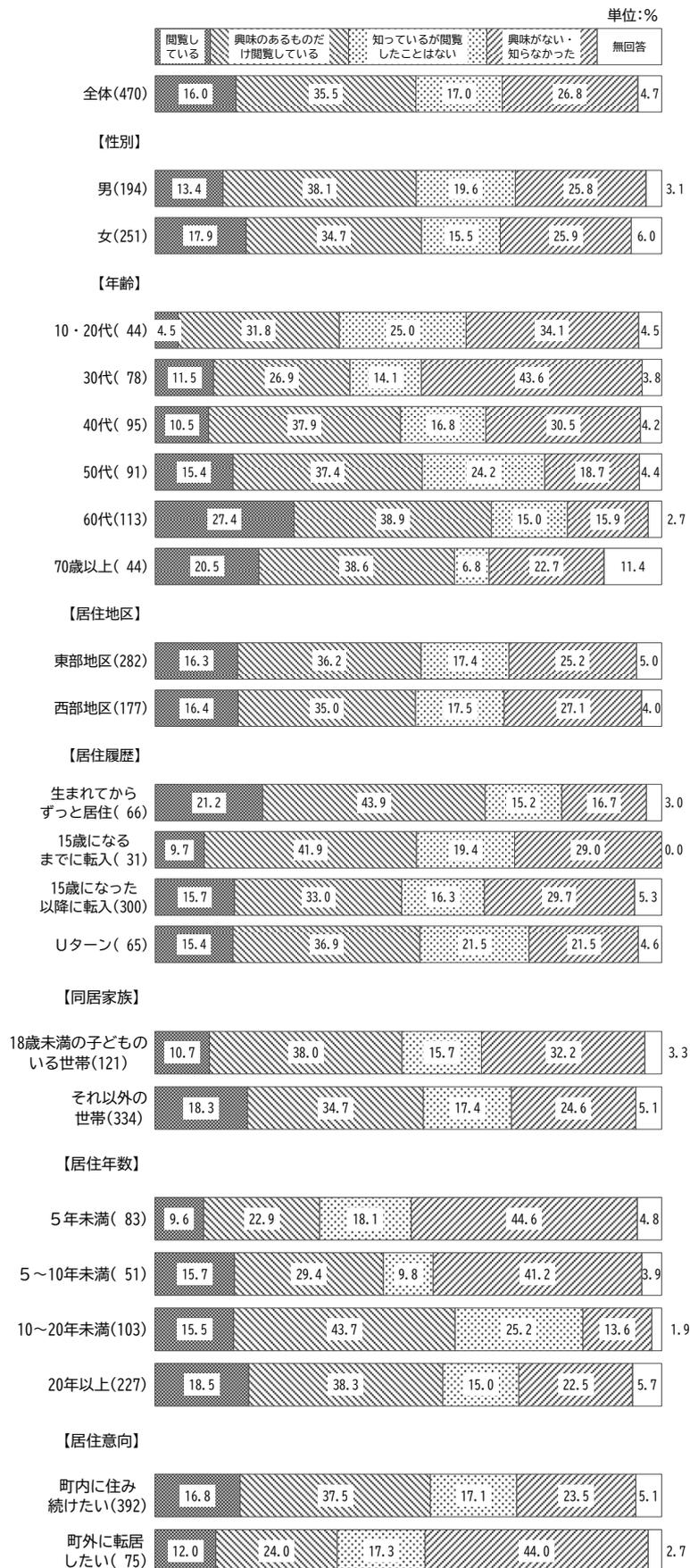
年齢別にみると、「興味がない・知らなかった」は、低年齢層ほど比率が高くなる傾向がみられます。



7. メディア（新聞、タウン紙、地元テレビ局）

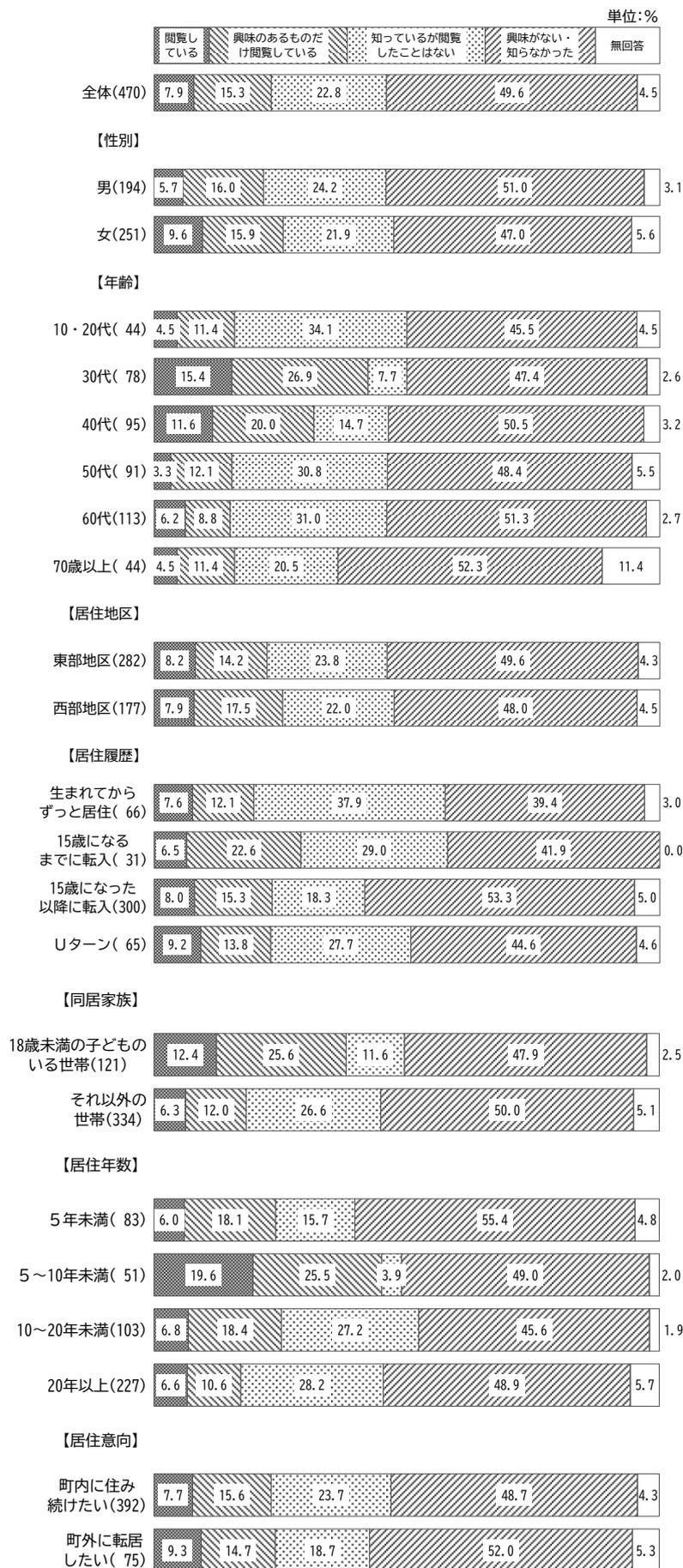
年齢別にみると、「閲覧している」は60代をピークに比率が上がる傾向がみられます。

居住年数別にみると、「閲覧している」は居住年数が長いほど、比率が高くなる傾向がみられます。



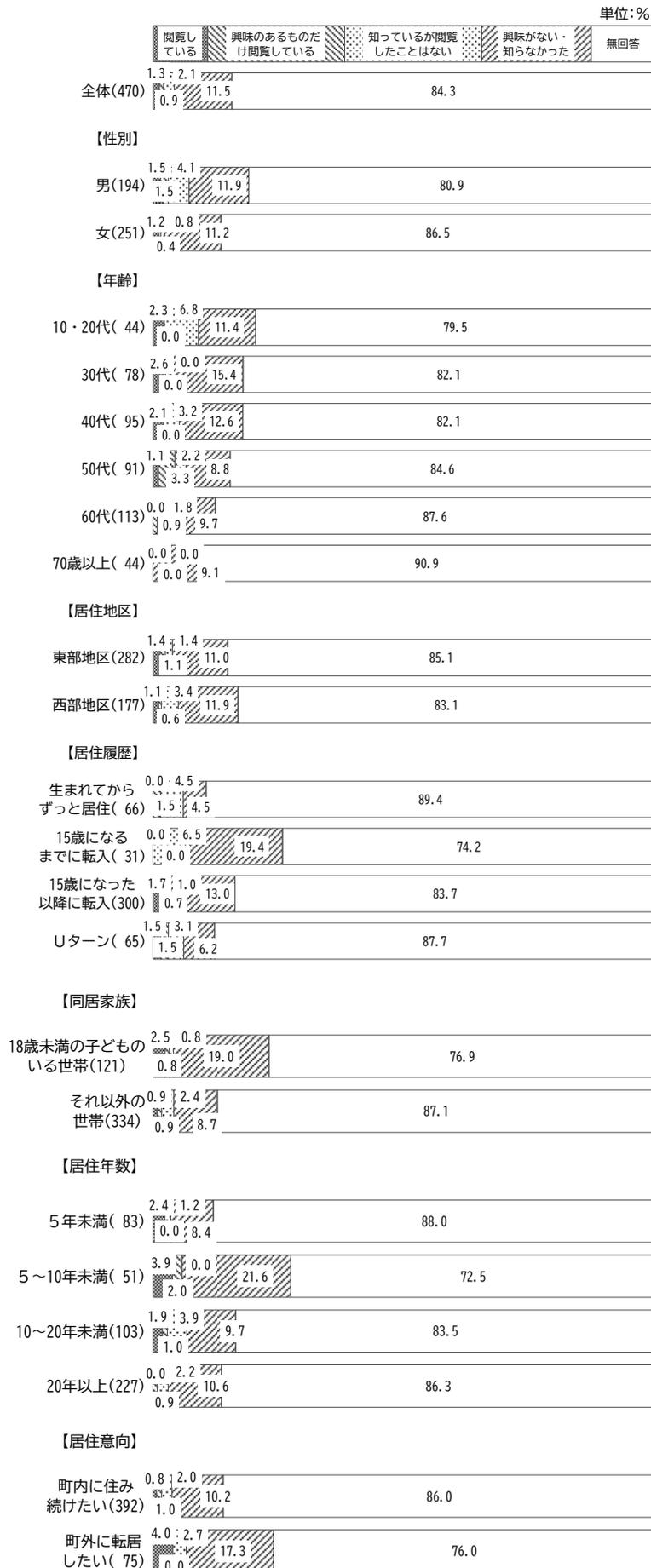
8. SNS (LINE、Instagram、X(旧 Twitter))

年齢別にみると、「閲覧している」は30～40代で比較的比率が高くなっています。

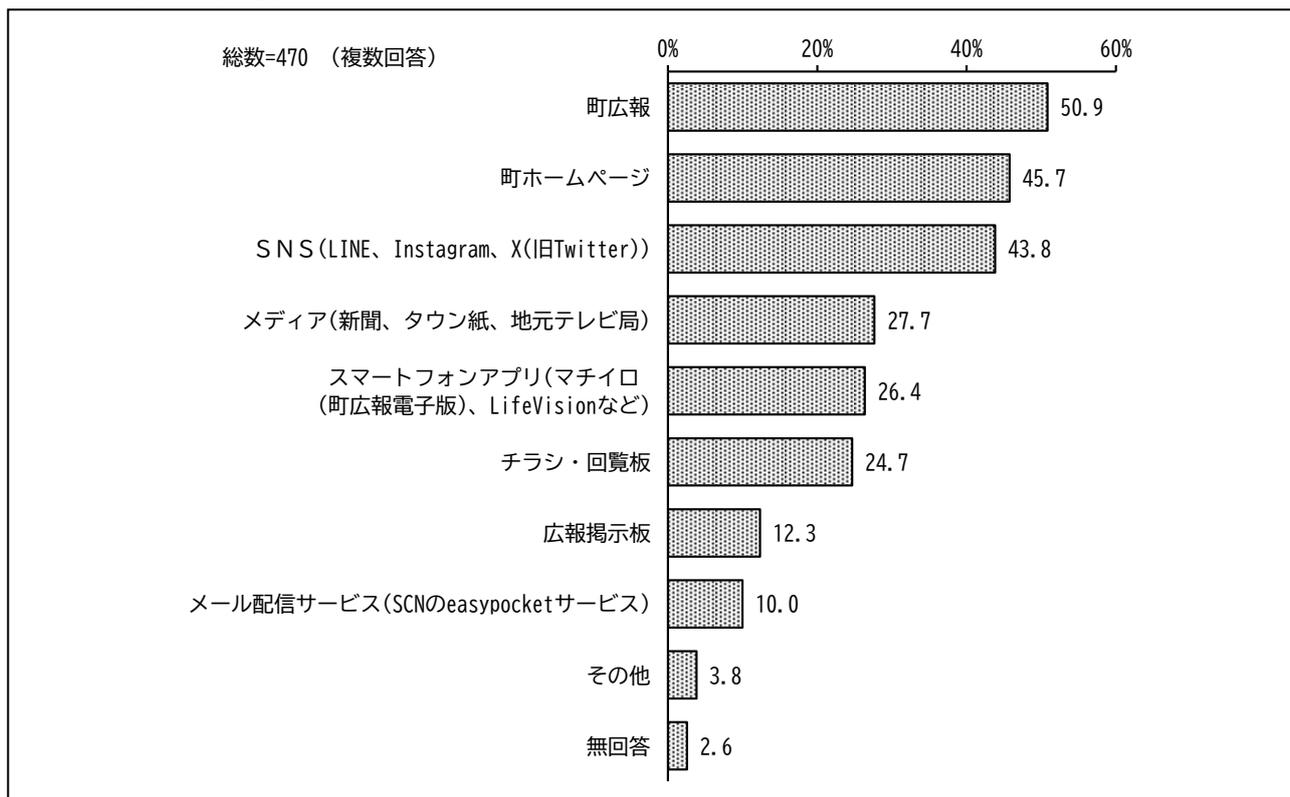


9. その他

※「無回答」の比率が80%程度と多いため、集計結果のみを掲載します。



問13 今後、町政情報を伝えるために、どの方法に力を入れるべきと考えますか。(当てはまるものすべてに○)



【全体】

「町広報」が 50.9%で最も比率が高く、以下、「町ホームページ」(45.7%)、「SNS (LINE、Instagram、X(旧 Twitter))」(43.8%)と続いています。

【属性別】

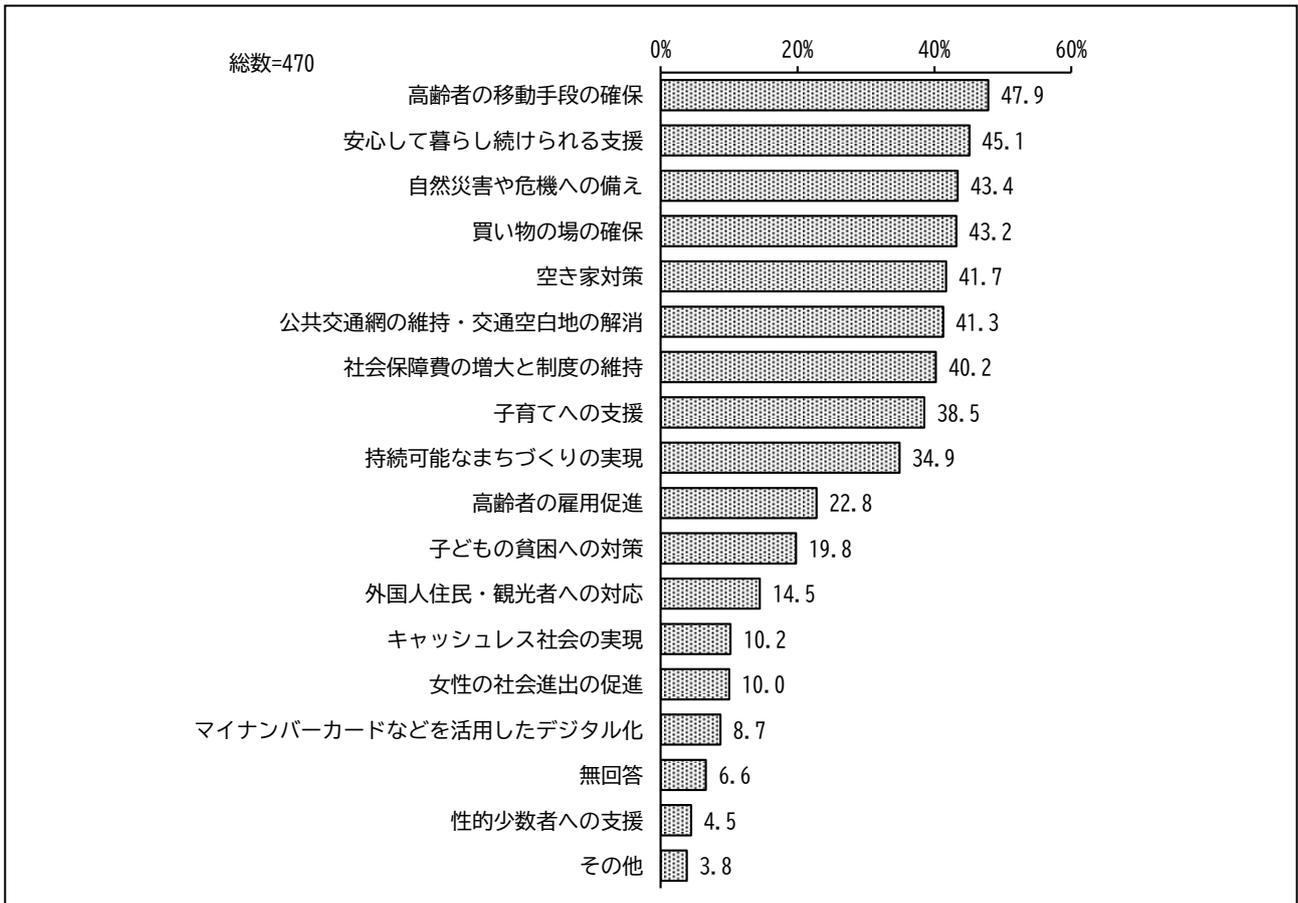
年齢別にみると、「町広報」、「町ホームページ」「チラシ・回覧板」は高年齢層ほど比率が高く、「SNS」は低年齢層ほど比率が高い傾向がみられます。また、「スマートフォンアプリ」は50代をピークに比率が高くなる傾向がみられます。

同居家族別にみると、「SNS」は、18歳未満の子どものいる世帯で比率が高くなっています。

		全体	町広報	町ホームページ	チラシ・回覧板	広報掲示板	メール配信サービス(SCNのeasypocketサービス)	スマートフォンアプリ(マチイロLifeVisionなど)	メディア(新聞、タウン紙、地元テレビ局)	INS(LINE、Twitter、X(旧))	その他	無回答
全体		470	50.9	45.7	24.7	12.3	10.0	26.4	27.7	43.8	3.8	2.6
性別	男	194	46.9	47.9	18.0	8.2	10.8	27.8	26.8	42.3	5.7	2.6
	女	251	53.8	45.0	28.3	15.1	9.6	26.3	28.7	45.4	2.4	2.4
年齢	10・20代	44	25.0	29.5	15.9	9.1	9.1	9.1	36.4	70.5	2.3	4.5
	30代	78	51.3	32.1	16.7	11.5	6.4	20.5	23.1	62.8	3.8	1.3
	40代	95	45.3	42.1	22.1	7.4	9.5	25.3	26.3	52.6	6.3	2.1
	50代	91	44.0	52.7	20.9	15.4	15.4	36.3	20.9	38.5	1.1	1.1
	60代	113	65.5	52.2	31.0	13.3	8.0	33.6	30.1	26.5	3.5	3.5
	70歳以上	44	68.2	65.9	43.2	20.5	13.6	18.2	40.9	20.5	6.8	2.3
居住地区	東部地区	282	50.4	50.4	21.3	12.4	11.3	28.4	29.1	41.8	3.2	2.5
	西部地区	177	52.5	40.1	28.8	12.4	8.5	24.3	25.4	47.5	5.1	1.7
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	63.6	40.9	36.4	16.7	3.0	22.7	34.8	43.9	9.1	1.5
	15歳になるまでに転入	31	54.8	35.5	22.6	6.5	-	-	25.8	45.2	3.2	6.5
	15歳になった以降に転入	300	47.3	46.7	23.3	12.0	13.0	31.3	25.7	43.0	3.0	2.7
	Uターン	65	53.8	53.8	18.5	13.8	7.7	20.0	33.8	46.2	3.1	-
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	48.8	43.0	15.7	8.3	10.7	28.9	22.3	63.6	2.5	2.5
	それ以外の世帯	334	51.2	48.5	27.2	14.1	9.9	26.0	29.9	37.1	4.2	2.4
居住年数	5年未満	83	30.1	28.9	14.5	14.5	13.3	31.3	22.9	53.0	3.6	3.6
	5～10年未満	51	41.2	54.9	19.6	3.9	15.7	33.3	25.5	66.7	7.8	-
	10～20年未満	103	55.3	39.8	26.2	10.7	7.8	19.4	30.1	51.5	2.9	-
	20年以上	227	59.0	52.9	28.2	14.5	8.8	26.4	29.5	32.2	3.5	3.5
居住意向	町内に住み続けたい	392	52.3	46.4	24.7	12.2	10.7	28.1	27.0	41.3	4.1	2.6
	町外に転居したい	75	41.3	41.3	24.0	12.0	6.7	18.7	30.7	58.7	2.7	2.7

1-7 地域課題について

問14 現在、社会的課題となっている事項について、今後の大磯町においても課題となる、あるいは既に課題となっていると思うものはありますか。(当てはまるものすべてに○)



【全体】

「高齢者の移動手段の確保」が47.9%で最も比率が高く、以下、「安心して暮らし続けられる支援」(45.1%)、「自然災害や危機への備え」(43.4%)、「買い物の場の確保」(43.2%)、「空き家対策」(41.7%)と続いており、高齢化対策や防災対策、生活利便性の向上に関する課題の比率が比較的高くなっています。

【属性別】

年齢別にみると、「高齢者の移動手段の確保」は高年齢層ほど比率が高い傾向がみられます。一方、「子育てへの支援」は10～40代の比較的年齢層の若い層で比率が高く、「買い物の場の確保」なども30代をピークに比較的若い層ほど比率が高くなる傾向がみられます。また、「高齢者の雇用促進」は50代をピークに比率が高くなる傾向がみられます。

同居家族別にみると、18歳未満の子どもがいる世帯では、「子育てへの支援」の比率が高い一方で、「公共交通網の維持・交通空白地の解消」や「高齢者の移動手段の確保」の比率が低くなっています。

居住年数別にみると、「安心して暮らし続けられる支援」は、居住年数が長いほど比率が高くなる傾向がみられます。

居住意向別にみると、町外に転居したい人で、「公共交通網の維持・交通空白地の解消」及び

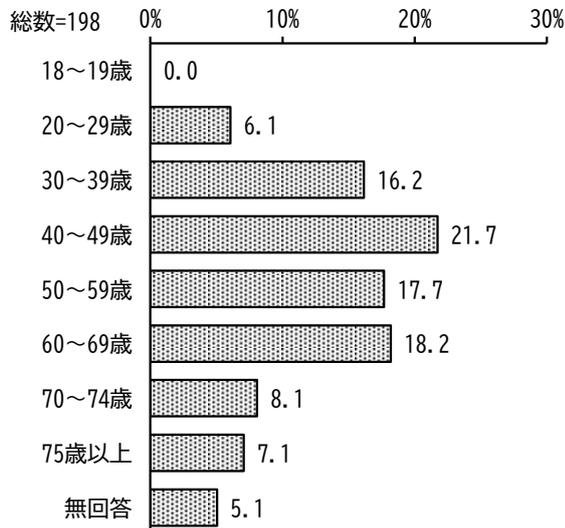
「買い物の場の確保」の比率が高くなっています。

	全体	社会保障費の増大と制度の維持	持続可能なまちづくりの実現	安心して暮らし続けられる支援	子育てへの支援	子どもの貧困への対策	女性の社会進出の促進	高齢者の雇用促進	性的少数者への支援	外国人住民・観光者への対応	公共交通網の維持・交通空白地の解消	高齢者の移動手段の確保	空き家対策	買い物の場の確保	自然災害や危機への備え	キャッシュレス社会の実現	マイナンバーカードなどを活用したデジタル化	その他	無回答	
全体	470	40.2	34.9	45.1	38.5	19.8	10.0	22.8	4.5	14.5	41.3	47.9	41.7	43.2	43.4	10.2	8.7	3.8	6.6	
性別	男	194	46.4	43.3	41.2	39.7	18.6	9.3	25.3	4.6	16.0	42.8	46.4	40.2	41.8	40.2	12.4	10.8	3.6	5.7
	女	251	34.3	29.5	46.6	37.1	19.5	10.4	19.9	4.0	13.9	40.6	49.8	43.4	44.6	45.4	8.8	7.6	3.6	7.2
年齢	10・20代	44	25.0	34.1	45.5	54.5	29.5	11.4	11.4	4.5	15.9	47.7	31.8	36.4	45.5	40.9	13.6	9.1	-	-
	30代	78	29.5	32.1	34.6	55.1	21.8	14.1	17.9	6.4	14.1	30.8	34.6	35.9	52.6	37.2	17.9	10.3	5.1	6.4
	40代	95	45.3	42.1	49.5	48.4	15.8	8.4	22.1	4.2	16.8	40.0	45.3	44.2	46.3	46.3	12.6	6.3	3.2	6.3
	50代	91	42.9	29.7	35.2	19.8	18.7	11.0	31.9	5.5	14.3	40.7	50.5	46.2	39.6	40.7	7.7	11.0	8.8	6.6
	60代	113	46.0	35.4	55.8	27.4	18.6	4.4	24.8	1.8	11.5	43.4	57.5	45.1	40.7	48.7	5.3	4.4	0.9	7.1
	70歳以上	44	43.2	36.4	45.5	38.6	20.5	15.9	22.7	6.8	18.2	56.8	63.6	38.6	34.1	45.5	6.8	18.2	4.5	11.4
居住地区	東部地区	282	42.2	39.0	41.8	35.1	19.5	9.2	25.9	5.3	16.7	34.4	46.1	47.2	41.1	45.7	11.0	9.6	2.8	8.2
	西部地区	177	36.2	28.2	49.7	42.9	19.8	11.3	18.6	2.8	11.3	53.7	50.8	34.5	46.9	40.1	9.6	7.9	5.1	4.0
居住履歴	生まれてからずっと居住	66	36.4	39.4	51.5	51.5	31.8	16.7	31.8	6.1	13.6	48.5	53.0	39.4	40.9	34.8	12.1	12.1	6.1	6.1
	15歳になるまでに転入	31	38.7	22.6	45.2	32.3	16.1	12.9	19.4	3.2	12.9	48.4	51.6	45.2	38.7	51.6	9.7	16.1	3.2	3.2
	15歳になった以降に転入	300	42.0	36.7	42.3	37.0	17.0	10.0	21.7	5.3	15.3	41.0	47.3	43.0	45.7	46.3	11.7	8.7	2.7	6.3
	Uターン	65	36.9	29.2	50.8	33.8	23.1	1.5	23.1	-	12.3	33.8	44.6	38.5	38.5	36.9	3.1	3.1	7.7	9.2
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	121	37.2	33.9	43.0	61.2	21.5	11.6	21.5	7.4	14.0	29.8	37.2	43.8	44.6	40.5	18.2	9.1	5.0	4.1
	それ以外の世帯	334	40.7	35.3	45.5	29.6	18.6	9.0	23.1	3.3	14.7	45.5	51.5	41.3	42.8	44.9	7.8	8.7	3.6	7.5
居住年数	5年未満	83	34.9	34.9	27.7	34.9	10.8	4.8	12.0	3.6	15.7	42.2	39.8	43.4	47.0	36.1	18.1	7.2	-	6.0
	5～10年未満	51	33.3	39.2	37.3	45.1	21.6	11.8	25.5	5.9	21.6	31.4	39.2	49.0	45.1	47.1	17.6	9.8	2.0	11.8
	10～20年未満	103	43.7	37.9	48.5	39.8	17.5	8.7	19.4	6.8	16.5	39.8	42.7	40.8	40.8	42.7	8.7	8.7	6.8	1.9
	20年以上	227	41.9	33.0	51.5	37.9	23.8	11.9	27.8	3.5	11.9	44.9	55.1	41.0	42.7	45.8	6.6	9.3	4.4	7.5
居住意向	町内に住み続けたい	392	43.1	36.0	45.2	38.5	18.6	8.9	22.4	4.8	14.0	38.5	48.2	43.6	41.1	44.1	8.7	8.4	4.1	6.1
	町外に転居したい	75	25.3	29.3	44.0	40.0	26.7	16.0	22.7	2.7	17.3	56.0	46.7	33.3	54.7	41.3	18.7	10.7	2.7	8.0

2 転入者

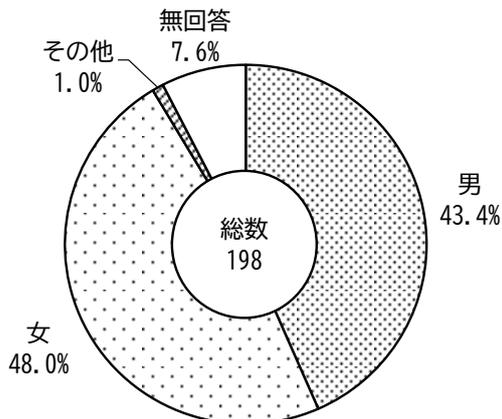
2-1 回答者の属性

【年齢】



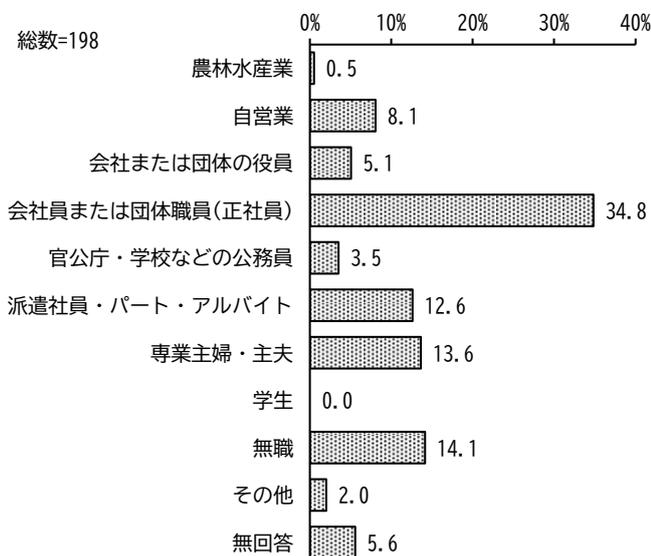
○40代が21.7%で最も比率が高く、以下、60代(18.2%)、50代(17.7%)、30代(16.2%)と続いており、20～50代が60%以上を占めています。

【性別】



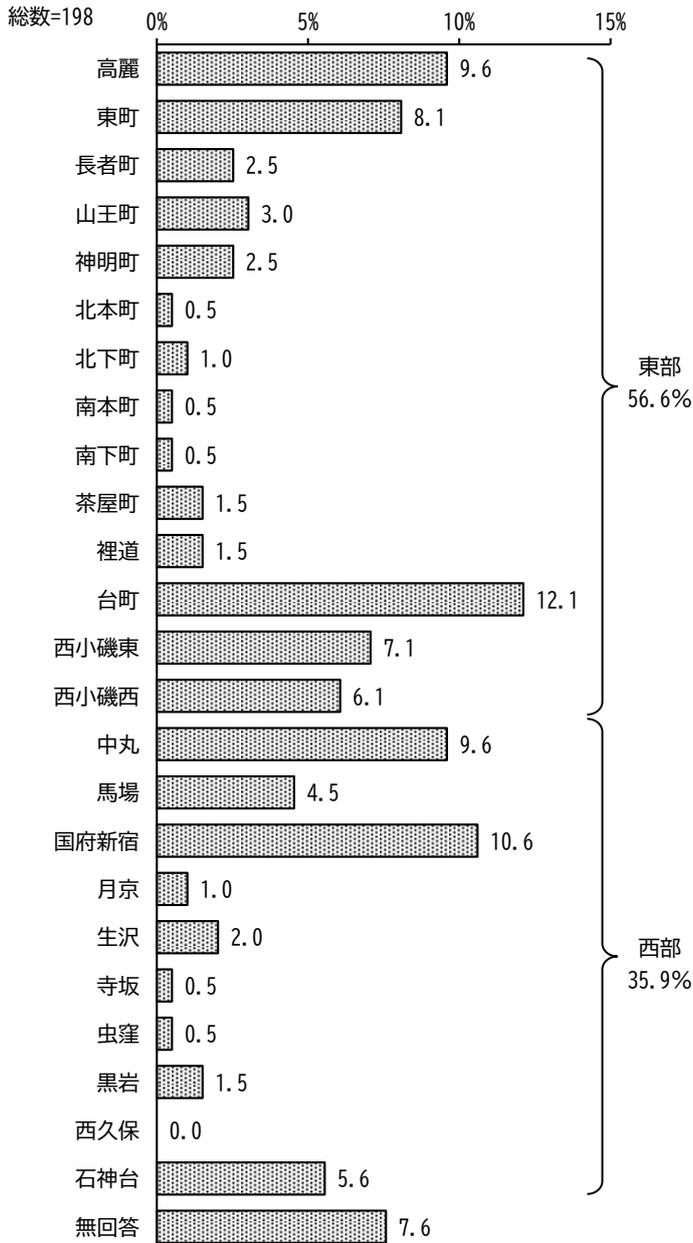
○女が48.0%、男が43.4%、その他が1.0%となっています。

【職業】



○「会社員または団体職員(正社員)」が34.8%で最も多く、以下、「無職」(14.1%)、「専業主婦・主夫」(13.6%)と続いています。

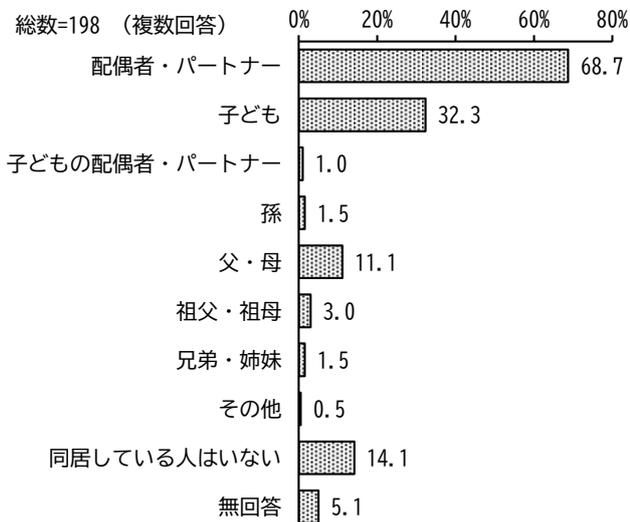
【居住地区】



○地区別では「台町」が12.1%で最も比率が高く、「国府新宿」(10.6%)、「高麗」、「中丸」(ともに9.6%)がこれに続いています。

○東部・西部でみると東部が56.6%、西部が35.9%となっています。

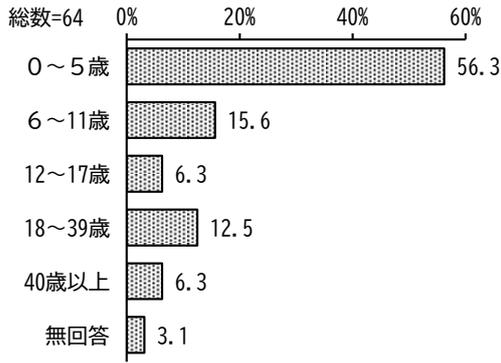
【家族構成】



○「配偶者・パートナー」が68.7%となっており、以下、「子ども」(32.3%)、「同居している人はいない」(14.1%)と続いています。

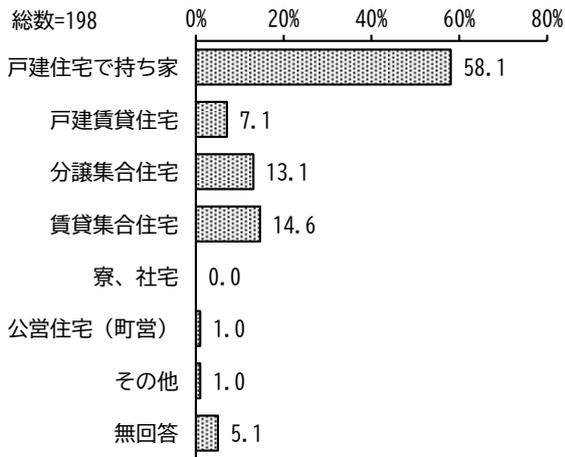
○一般町民調査と比較すると、子どもや父母との同居が少なく、単身世帯の比率が高くなっています。

【同居している一番若い子どもの年齢】



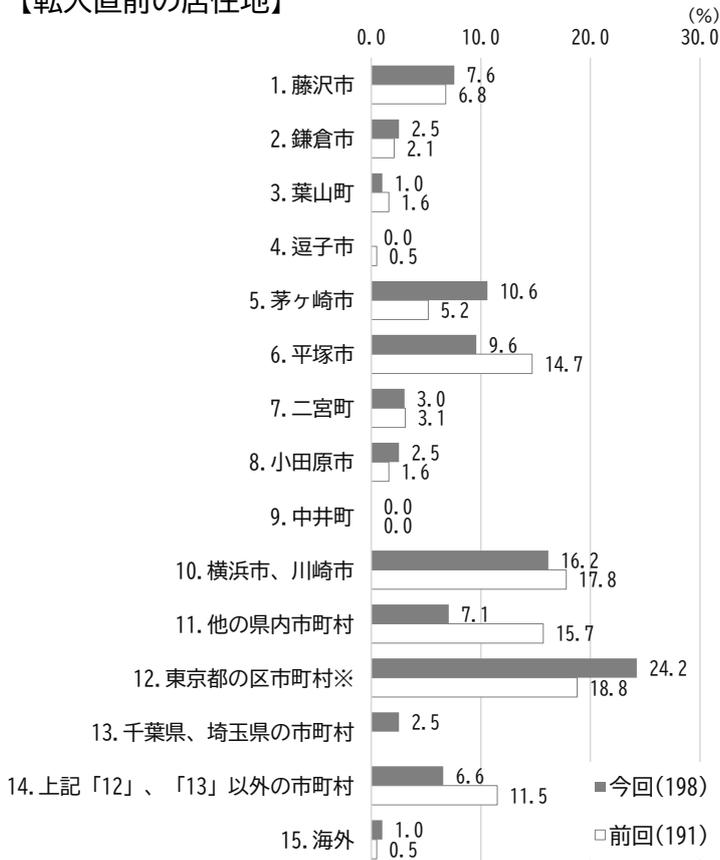
○「0～5歳」だ 56.3%で最も比率が高くなっています。「6～11歳」(15.6%)と合わせると、小学生以下が70%以上を占めています。

【住宅の種類】



○「戸建住宅で持ち家」が58.1%で最も多く、以下、「賃貸集合住宅」(14.6%)、「分譲集合住宅」(13.1%)と続いており、70%以上が持ち家となっています。

【転入直前の居住地】



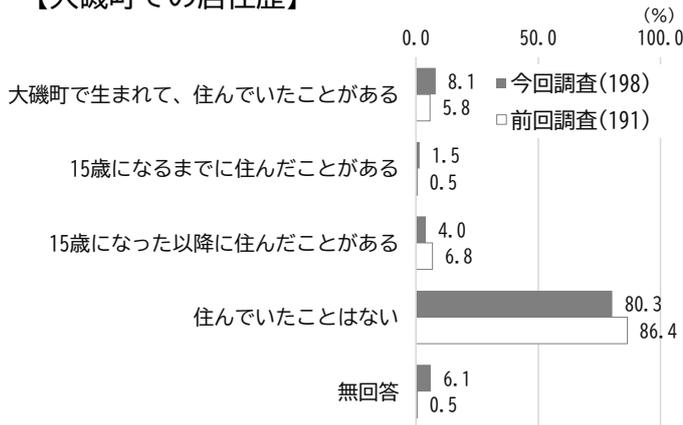
○「12. 東京都の区市町村」が24.2%で最も比率が高く、以下、「10. 横浜市、川崎市」(16.2%)、「5. 茅ヶ崎市」(10.6%)と続いています。

○県内自治体と東京都と合わせると80%以上が東京都と神奈川県内からの転入となっています。

○平成31年の前回調査と比較すると、「12. 東京都の区市町村」や「5. 茅ヶ崎市」が増加している一方、「6. 平塚市」や「11. 他の県内市町村」、「14. 上記「12」、「13」以外の市町村」は減少しています。

※「12. 東京都の区市町村」の前の数値は、東京都の区市町村と千葉県、埼玉県の市町村を合わせたもの

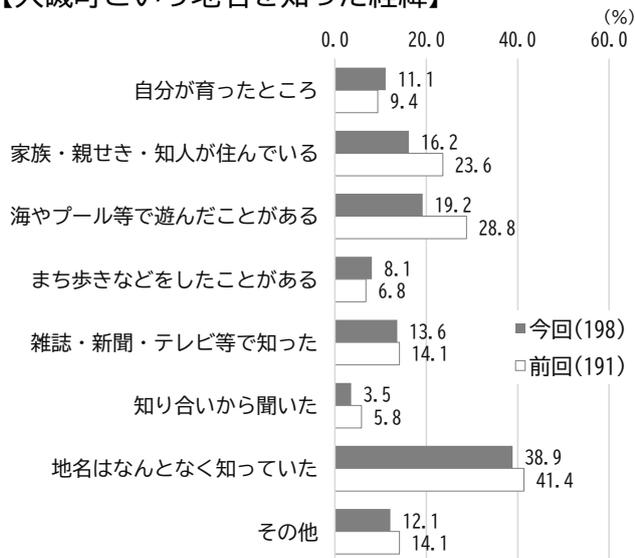
【大磯町での居住歴】



○「住んでいたことはない」が80.3%で最も比率が高く、いわゆるUターンは13.6%にとどまっています。

○平成31年に実施した前回調査と比較すると、「住んでいたことはない」の比率が6ポイント程度低下しています。

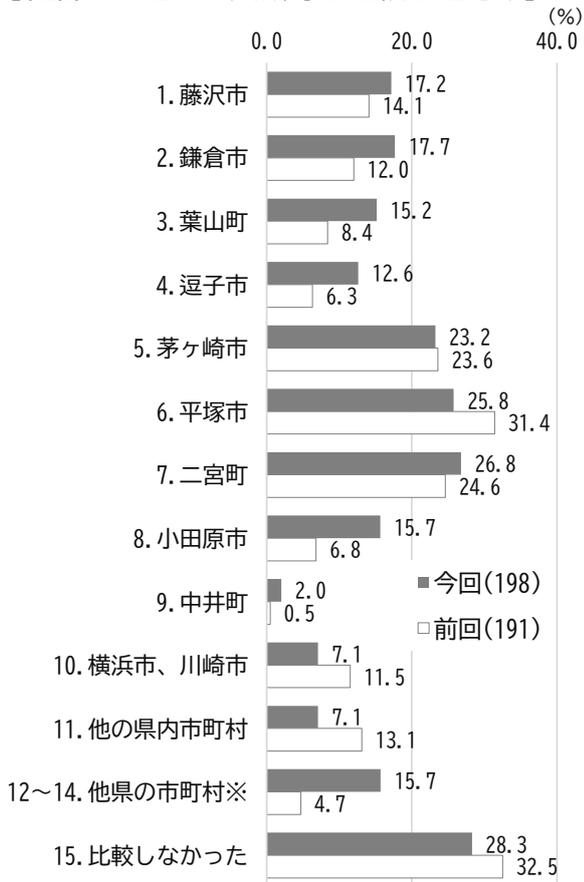
【大磯町という地名を知った経緯】



○「地名はなんとなく知っていた」が38.9%で最も比率が高く、自分が実際に住んでいた、「家族・親せき・知人が住んでいる」といった縁やゆかりがあった人が27.3%、実際に訪れたことがある人（「海やプール等で遊んだことがある」と「まち歩きなどをしたことがある」の合計）も27.3%となっています。

○平成31年に実施した前回調査と比較すると、「海やプール等で遊んだことがある」や「家族・親せき・知人が住んでいる」の減少が目立ちます。

【転居にあたって大磯町と比較した地域】



※前回調査との比較のため、以下の3つの選択肢を合算している。

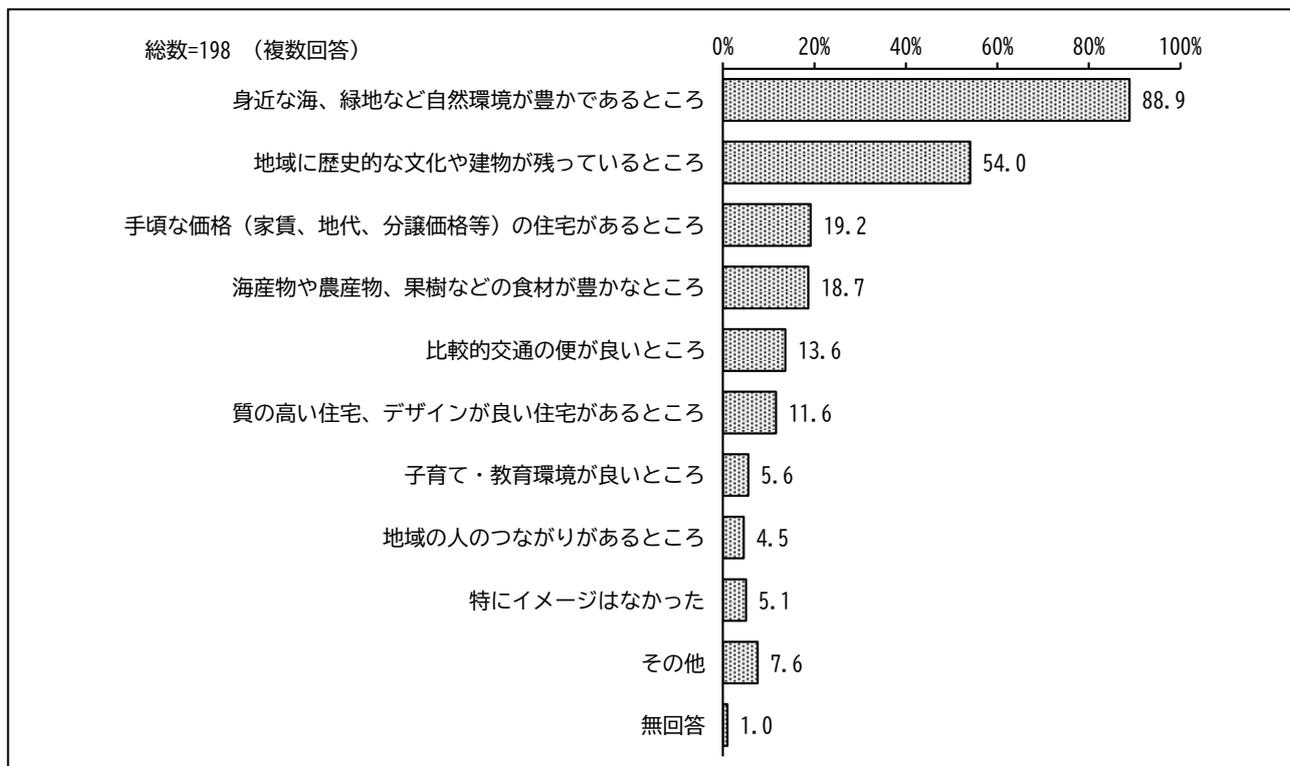
- 12. 東京都の区市町村(7.6%)
- 13. 千葉県、埼玉県各市町村(3.5%)
- 14. 上記「12」、「13」以外の市町村(4.5%)

○「15. 比較しなかった」が28.3%で最も比率が高く、以下、「7. 二宮町」(26.8%)、「6. 平塚市」(25.8%)、「5. 茅ヶ崎市」(23.2%)と東海道線沿線の近隣自治体の比率が高くなっています。

○平成31年の前回調査と比較すると、「2. 鎌倉市」や「3. 葉山町」、「4. 逗子市」、「8. 小田原市」など、比較的離れた海沿いの県内自治体が増加している一方で、「6. 平塚市」や「11. 他の県内市町村」、「15. 比較しなかった」は減少しています。

2-2 大磯町のイメージ、強み・弱みについて

問1 あなたは、大磯町に転入する以前、大磯町に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。
(当てはまるものすべてに○)



【全体】

「身近な海、緑地など自然環境が豊かであるところ」が 88.9%で最も比率が高く、以下、「地域に歴史的な文化や建物が残っているところ」(54.0%)、「手頃な価格(家賃、地代、分譲価格等)の住宅があるところ」(19.2%)、「海産物や農産物、果樹などの食材が豊かなところ」(18.7%)と続いています。

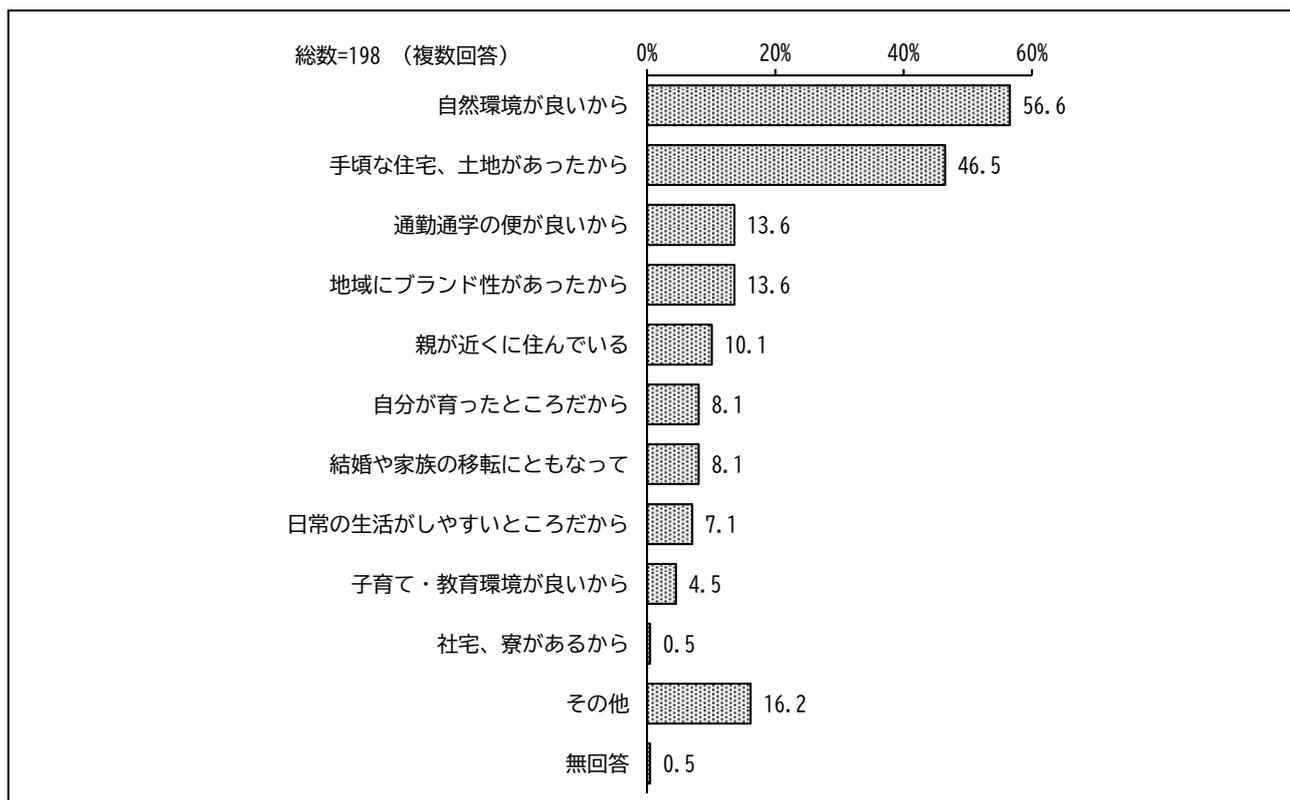
【属性別】

居住地区別では、「身近な海、緑地など自然環境が豊かであるところ」や「地域に歴史的な文化や建物が残っているところ」は、東部地区で比率が高くなっています。

同居家族別では、「身近な海、緑地など自然環境が豊かであるところ」や「地域に歴史的な文化や建物が残っているところ」、「海産物や農産物、果樹などの食材が豊かなところ」は、18歳以上の子どもがいる世帯で比率が低くなっています。

		全体	手頃な価格（家賃、地代、分譲価格等）の住宅があるところ	質の高い住宅、デザインが良い住宅があるところ	比較的交通の便が良いところ	身近な海、緑地など自然環境が豊かであるところ	地域に歴史的な文化や建物が残っているところ	海産物や農産物、果樹などの食材が豊かなところ	子育て・教育環境が良いところ	地域の人のつながりがあるところ	特にイメージはなかった	その他	無回答
	全体	198	19.2	11.6	13.6	88.9	54.0	18.7	5.6	4.5	5.1	7.6	1.0
性別	男	86	19.8	12.8	16.3	88.4	54.7	22.1	7.0	5.8	3.5	5.8	1.2
	女	95	16.8	10.5	12.6	89.5	53.7	17.9	5.3	4.2	5.3	10.5	1.1
年齢	10・20代	12	25.0	25.0	8.3	83.3	50.0	41.7	-	-	8.3	16.7	-
	30代	32	28.1	9.4	15.6	84.4	50.0	21.9	9.4	9.4	-	15.6	3.1
	40代	43	14.0	14.0	18.6	93.0	60.5	18.6	2.3	2.3	2.3	14.0	-
	50代	35	25.7	5.7	2.9	91.4	57.1	17.1	11.4	2.9	8.6	2.9	-
	60代	36	13.9	11.1	8.3	94.4	44.4	16.7	8.3	8.3	5.6	2.8	-
	70歳以上	30	10.0	10.0	26.7	83.3	60.0	13.3	-	3.3	3.3	-	3.3
居住地区	東部地区	112	17.0	13.4	11.6	92.9	58.9	22.3	7.1	3.6	3.6	7.1	-
	西部地区	71	21.1	7.0	16.9	83.1	47.9	14.1	4.2	7.0	5.6	9.9	2.8
職業	フルタイム雇用者	86	20.9	12.8	12.8	89.5	54.7	23.3	8.1	4.7	4.7	9.3	1.2
	その他の職業・無職	101	15.8	8.9	14.9	89.1	54.5	15.8	4.0	5.0	4.0	6.9	1.0
同居家族転入前の居住地	18歳未満の子どものいる世帯	50	24.0	10.0	10.0	82.0	40.0	12.0	10.0	2.0	4.0	14.0	2.0
	それ以外の世帯	136	16.9	11.8	15.4	91.9	59.6	22.1	4.4	5.9	4.4	5.9	0.7
居住意向	横濱市・川崎市	32	21.9	9.4	9.4	87.5	53.1	28.1	3.1	3.1	3.1	6.3	-
	その他神奈川県内	87	19.5	12.6	12.6	88.5	55.2	11.5	6.9	4.6	3.4	9.2	2.3
	東京都内	48	18.8	14.6	14.6	93.8	58.3	27.1	2.1	4.2	4.2	6.3	-
	その他	20	10.0	-	25.0	85.0	45.0	20.0	15.0	10.0	10.0	10.0	-
居住意向	町内に住み続けたい	162	19.1	13.0	16.0	91.4	57.4	21.0	5.6	4.3	3.7	8.6	0.6
	町外に転居したい	32	18.8	6.3	3.1	84.4	40.6	9.4	6.3	6.3	12.5	3.1	-

問2 あなたが大磯町に住むことを決めた理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)



【全体】

「自然環境が良いから」が 56.6%で最も多く、「手頃な住宅、土地があったから」(46.5%)がこれに続いています。それ以外の理由は10%台か、それ以下となっています。

【属性別】

居住地区別についてみると、東部地区では「自然環境が良いから」が第1位であるのに対し、西部地区では「手頃な住宅、土地があったから」が第1位となっています。

同居家族別についてみると、「親が近くに住んでいる」は、18歳未満の子どもがいる世帯で相対的に比率が高くなっています。

		全体	自分が育つたところだから	通勤通学の便が良いから	手頃な住宅、土地があつたから	社宅、寮があるから	自然環境が良いから	子育て・教育環境が良いから	親が近くに住んでいる	結婚や家族の移転にともなう	日常生活がしやすいところだから	地域にブランド性があったから	その他	無回答
	全体	198	8.1	13.6	46.5	0.5	56.6	4.5	10.1	8.1	7.1	13.6	16.2	0.5
性別	男	86	5.8	15.1	45.3	-	62.8	7.0	14.0	7.0	8.1	14.0	16.3	1.2
	女	95	9.5	14.7	46.3	-	52.6	2.1	5.3	7.4	6.3	14.7	14.7	-
年齢	10・20代	12	8.3	16.7	41.7	-	50.0	8.3	-	16.7	8.3	16.7	16.7	-
	30代	32	12.5	21.9	34.4	-	46.9	9.4	18.8	15.6	6.3	12.5	21.9	-
	40代	43	4.7	23.3	58.1	-	67.4	2.3	14.0	2.3	2.3	20.9	9.3	-
	50代	35	5.7	11.4	42.9	-	57.1	5.7	5.7	8.6	5.7	14.3	20.0	-
	60代	36	13.9	2.8	36.1	-	50.0	2.8	11.1	2.8	13.9	5.6	19.4	-
	70歳以上	30	3.3	10.0	56.7	-	60.0	-	-	-	3.3	10.0	13.3	10.0
居住地区	東部地区	112	7.1	14.3	41.1	-	64.3	6.3	11.6	7.1	4.5	15.2	17.0	-
	西部地区	71	8.5	14.1	56.3	-	42.3	1.4	7.0	7.0	11.3	11.3	14.1	1.4
職業	フルタイム雇用者	86	9.3	17.4	48.8	-	59.3	7.0	16.3	8.1	7.0	18.6	17.4	-
	その他の職業・無職	101	6.9	11.9	42.6	-	53.5	2.0	4.0	5.9	7.9	9.9	14.9	1.0
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	50	8.0	18.0	50.0	-	54.0	10.0	18.0	16.0	4.0	12.0	14.0	-
	それ以外の世帯	136	8.1	12.5	43.4	-	57.4	2.2	6.6	3.7	8.8	14.7	16.9	0.7
転入前の居住地域	横浜市・川崎市	32	9.4	6.3	53.1	-	50.0	3.1	15.6	9.4	3.1	12.5	15.6	-
	その他神奈川県内	87	5.7	16.1	49.4	-	57.5	5.7	8.0	3.4	11.5	12.6	12.6	1.1
	東京都内	48	8.3	20.8	41.7	-	62.5	2.1	10.4	6.3	2.1	14.6	18.8	-
	その他	20	15.0	5.0	25.0	-	50.0	5.0	5.0	20.0	10.0	20.0	25.0	-
居住意向	町内に住み続けたい	162	8.0	14.8	46.3	0.6	61.7	5.6	10.5	7.4	8.6	15.4	13.0	-
	町外に転居したい	32	9.4	6.3	50.0	-	31.3	-	9.4	12.5	-	6.3	31.3	-

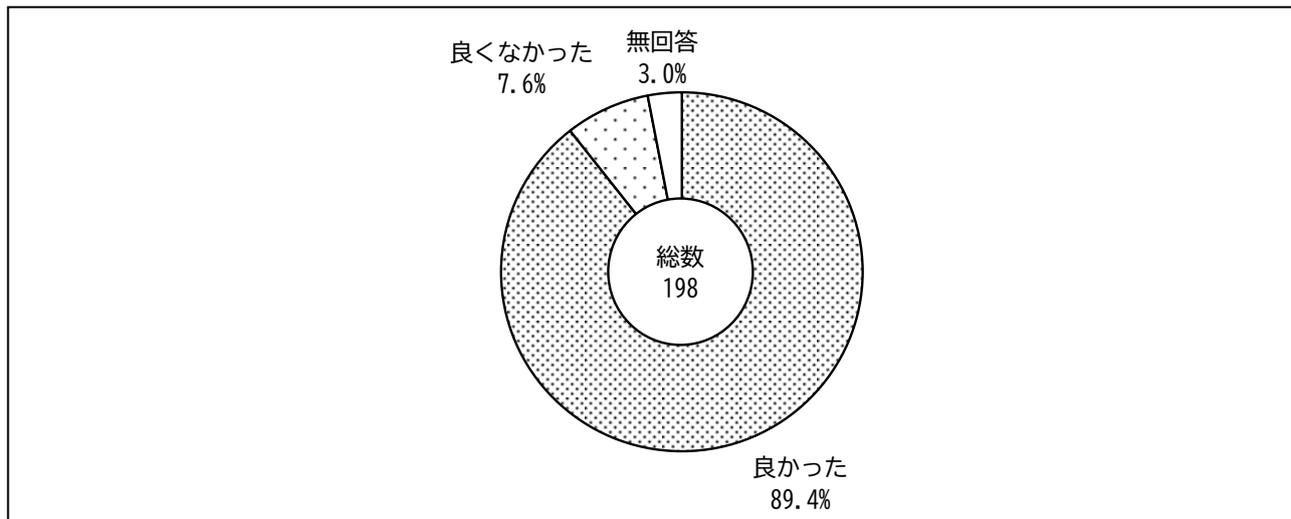
問2-2 あなたが思う「大磯町のブランドイメージ」をお教えてください。

※問2で「10. 地域にブランド性があったから」と回答した方のみ回答

質の高い住宅としての住環境のよさ、海などの自然環境、政治家や文化人が暮らしていたという歴史・文化的要素、人柄のよさなどに関する意見が多くなっています。

No.	回答	年齢
1	東海道沿線で都内にもアクセスが良いのに、開発されず昔ながらの良さがたくさん残っていること。山と海に囲まれた自然豊かなこと。	30代
2	自然、歴史、上品。	10～20代
3	・住宅街としての歴史が長い。・質の高い住宅が多い。・余裕があり文化的な生活を送っている人々が住んでいるイメージ。	無回答
4	文化的、知る人ぞ知る高級住宅地。	40代
5	明治の著名人の別荘跡があり、高級感、上品さがある。	40代
6	住民は知らない人にもあいさつをする。排他的ではない。民度が高い。治安が良い。清潔。フレンドリー。海をきれいに保とうとしている。城山公園の整備のスタッフが多く、手入れがされている。	40代
7	海、山、川三拍子揃った自然環境と、高さ制限、最少敷地（50坪）制限による居住環境。	70歳以上
8	自然豊かで高級感があり、ゆったり暮らせそう。	60代
9	高級、インテリアが多い。	40代
10	西湘。湘南よりも落ち着いていて、自然や食を大切にすることが多いイメージ。	30代
11	高い建物がなく、時間がゆっくり流れている。	70歳以上
12	鎌倉の様なイメージ。	40代
13	おしゃれで格式がある、落ち着きのある街。	40代
14	日本のイタリア。	10～20代
15	平和、落ち着いている。	40代
16	・文化、歴史、政治、経済と山と海。・OSLOみたいな英語表記。・ホテル、虫、砂利。・村上春樹、中村好文、島崎藤村 etc.・首相たち、プリンスホテル、隅研吾、如庵。	40代
17	海、緑地、文化的な土地というイメージ。ゆったりとした時に流れのイメージ。	50代
18	文化人が愛したまち。海、山、川に囲まれる大自然の中で自分らしく暮らせるまち。	30代
19	自然環境が豊か。文化の香りがする。	40代
20	文化人の別荘地。	50代
21	宿場町大磯、吉田茂氏、島崎藤村。	50代
22	歴代総理の別荘群。	70歳以上
23	吉田茂の住んだ町。	70歳以上
24	文化人の建物が残っており歴史的であること。	50代
25	海が近い。	30代
26	美しい磯がある町。磯遊びができる町。	30代
27	自然。	10～20代
28	海。	無回答
29	東海道だったこともあり、他からの人々を快く受け入れてくれそう。	50代
30	湘南の奥座敷。民度が高いイメージ。	40代
31	子どもを育てやすい町。	70歳以上
32	大磯と言う名前の響き。	70歳以上

問3 大磯町に住んで良かったと思いますか。率直にお答えください。(〇はひとつ)

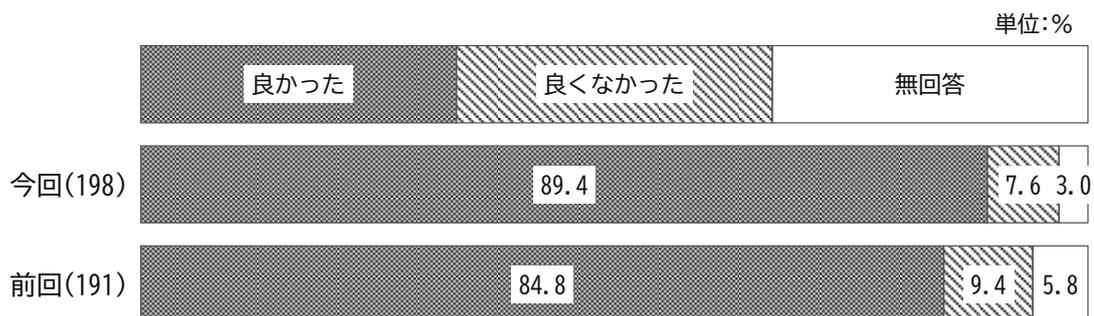


【全体】

「良かった」が89.4%、「良くなかった」は7.6%となっています。

【前回比較】

平成31年に実施した前回調査と比較すると、「良かった」は5ポイント増加しています。

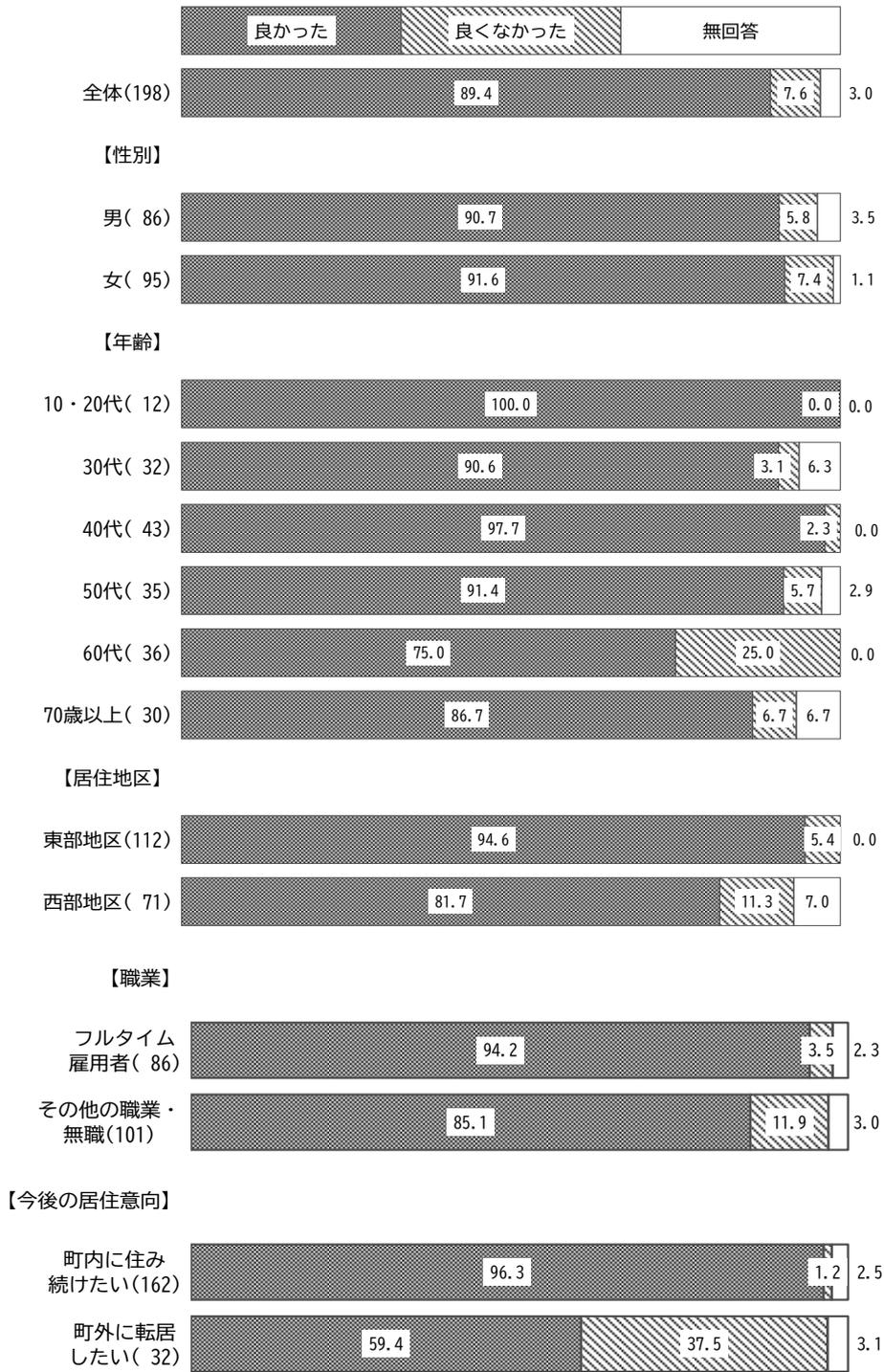


【属性別】

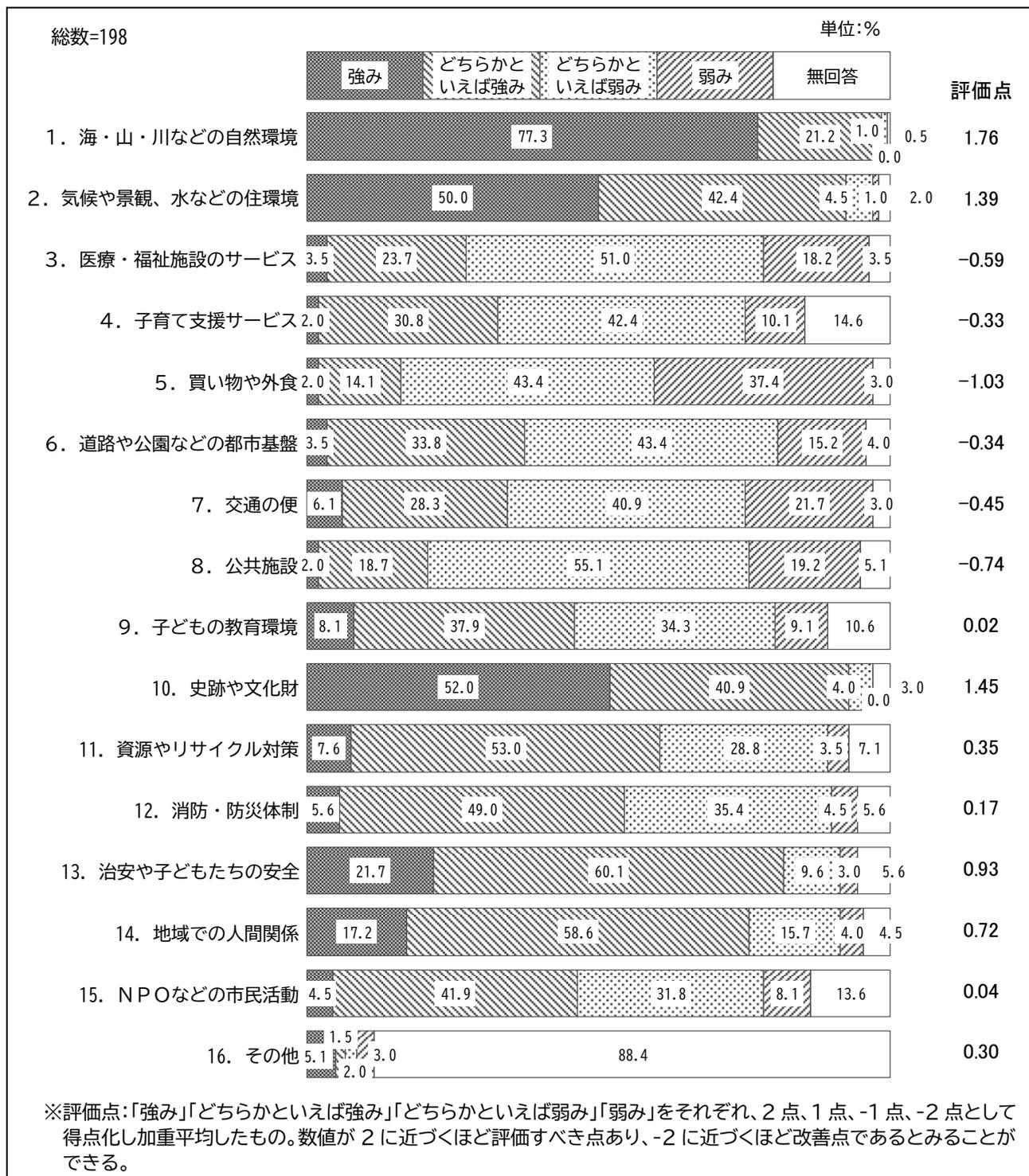
居住地区別にみると、「良かった」は東部地区で比率が高くなっています。

職業別にみると、「良かった」はフルタイム雇用者で比率が高くなっています。

単位:%



問4 次の各項目は、大磯町にとって、強み（誇れるもの、他市町村に負けていないもの）、弱み（まちの問題点、他市町村より劣っているもの）のどちらだと思いますか。（項目ごとに○はひとつ）



【全体】

評価点でみると、「1. 海・山・川などの自然環境」や「10. 史跡や文化財」、「2. 気候や景観、水などの住環境」では1を超えており、多くの町民から町の強みとして認識されています。

一方、「5. 買い物や外食」、「8. 公共施設」、「3. 医療・福祉施設のサービス」などでは評価点が低く、-1.03~-0.59と0を大きく割り込んでいます。

【属性別】

居住地区別に評価点をみると、「1. 海・山・川などの自然環境」や「2. 気候や景観、水などの住環境」、「9. 子どもの教育環境」などでは、東部地区で強みと感じている人の比率が高く、「12. 消防・防災体制」では西部地区で強みと感じている人の比率が高くなっています。

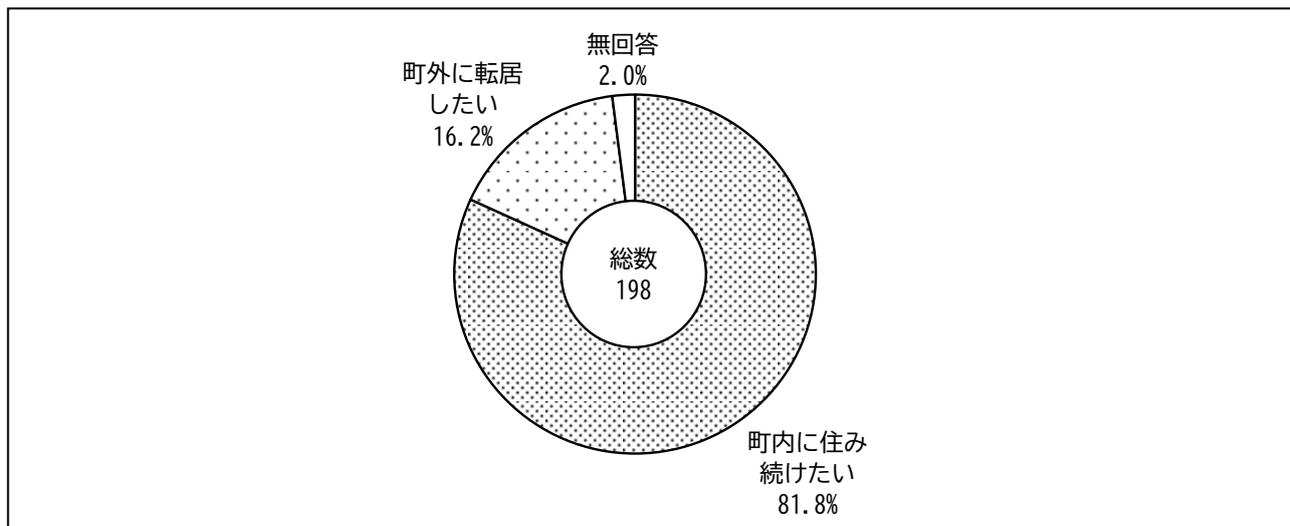
職業別に評価点をみると、フルタイム雇用者で、「3. 医療・福祉施設のサービス」、「4. 子育て支援サービス」、「5. 買い物や外食」、「7. 交通の便」、「8. 公共施設」を弱みと感じている人の比率が高くなっています。

同居家族別に評価点をみると、18歳未満の子どものいる世帯で、「3. 医療・福祉施設のサービス」、「8. 公共施設」、「9. 子どもの教育環境」で、弱みと感じている人の比率が高くなっています。

			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		全体	海・山・川などの自然環境	気候や景観、水などの住環境	医療・福祉施設のサービス	子育て支援サービス	買い物や外食	道路や公園などの都市基盤	交通の便	公共施設	子どもの教育環境	史跡や文化財	資源やリサイクル対策	消防・防災体制	治安や子どもたちの安全	地域での人間関係	NPOなどの市民活動	その他
全体		198	1.76	1.39	-0.59	-0.33	-1.03	-0.34	-0.45	-0.74	0.02	1.45	0.35	0.17	0.93	0.72	0.04	0.30
性別	男	86	1.80	1.48	-0.56	-0.22	-1.04	-0.35	-0.45	-0.76	0.16	1.39	0.39	0.05	1.02	0.74	0.07	0.50
	女	95	1.78	1.34	-0.48	-0.29	-0.98	-0.35	-0.46	-0.65	0.00	1.55	0.36	0.25	0.87	0.82	0.09	0.44
年齢	10・20代	12	1.75	1.58	-0.42	-0.82	-0.92	-0.17	-0.92	-0.80	0.18	1.60	0.10	-0.20	1.33	1.33	0.70	-1.00
	30代	32	1.75	1.59	-0.69	-0.20	-0.91	-0.28	-0.56	-0.91	0.00	1.50	0.41	0.25	0.93	0.77	0.16	1.40
	40代	43	1.88	1.40	-0.79	-0.51	-1.17	-0.31	-0.12	-0.80	-0.20	1.51	0.24	0.00	0.90	0.83	0.26	-0.40
	50代	35	1.94	1.37	-0.46	0.00	-1.09	-0.41	-0.56	-0.68	-0.09	1.46	0.52	0.32	1.15	0.97	0.07	2.00
	60代	36	1.58	1.11	-0.72	-0.67	-1.22	-0.66	-0.85	-0.94	0.24	1.32	0.17	-0.19	0.56	0.26	-0.52	1.00
	70歳以上	30	1.62	1.43	0.00	0.29	-0.69	-0.18	-0.21	-0.14	0.35	1.43	0.68	0.62	1.00	0.61	-0.09	-0.17
地区住	東部地区	112	1.83	1.45	-0.60	-0.28	-1.09	-0.37	-0.51	-0.81	0.12	1.45	0.32	-0.02	0.89	0.78	0.17	0.29
	西部地区	71	1.64	1.26	-0.54	-0.33	-0.99	-0.37	-0.47	-0.65	-0.13	1.42	0.41	0.35	0.98	0.68	-0.15	0.67
職業	フルタイム雇用者	86	1.81	1.49	-0.78	-0.41	-1.19	-0.36	-0.67	-0.93	0.00	1.52	0.35	0.01	0.99	0.90	0.19	0.50
	その他の職業・無職	101	1.72	1.31	-0.36	-0.16	-0.90	-0.37	-0.29	-0.54	0.08	1.40	0.40	0.29	0.88	0.59	-0.10	0.45
家族同居	18歳未満の子どものいる世帯	50	1.80	1.34	-0.86	-0.36	-1.08	-0.44	-0.50	-0.96	-0.28	1.50	0.23	0.13	1.00	1.02	0.17	0.17
	それ以外の世帯	136	1.75	1.41	-0.42	-0.25	-0.99	-0.33	-0.48	-0.62	0.18	1.44	0.42	0.16	0.90	0.63	-0.01	0.60
居住意向	町内に住み続けたい	162	1.80	1.47	-0.47	-0.21	-0.96	-0.22	-0.25	-0.61	0.20	1.51	0.40	0.27	0.99	0.85	0.16	0.11
	町外に転居したい	32	1.56	0.97	-1.28	-0.90	-1.47	-1.00	-1.50	-1.57	-0.87	1.13	-0.03	-0.42	0.61	0.09	-0.68	1.25

2-3 居留意向、生活の幸福度・満足度について

問5 あなたは今後も大磯町に住み続けたいと思いますか。(○はひとつ)



【全体】

「町内に住み続けたい」が81.8%、「町外に転居したい」が16.2%となっており、住み続けたい人が圧倒的に多くなっています。

「町内に住み続けたい」の比率を一般町民の結果(83.4%)と比較すると、わずかに比率が低くなっています。

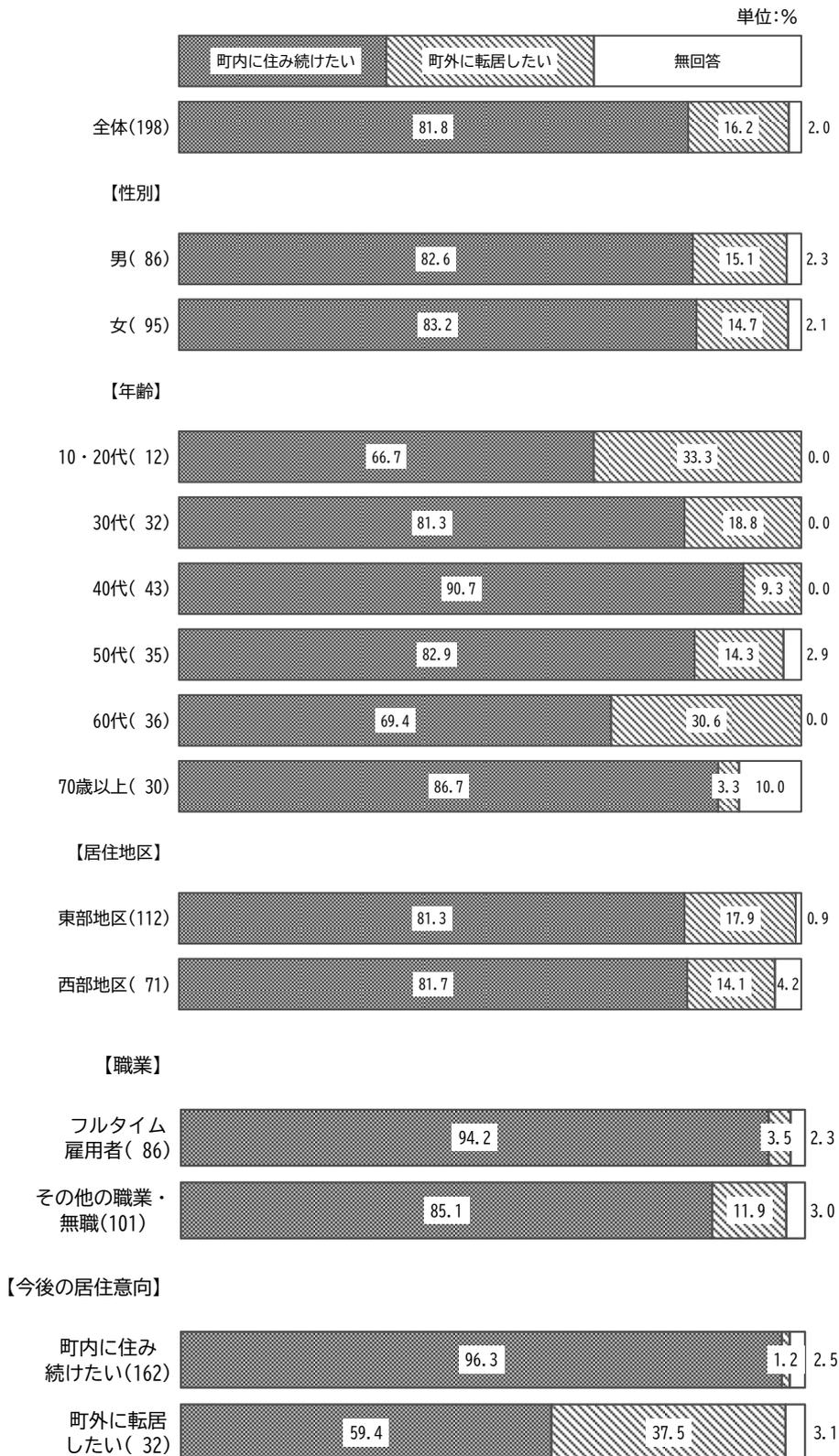
【前回比較】

平成31年実施の前回調査と比較すると、定住意向は横ばいとなっています。



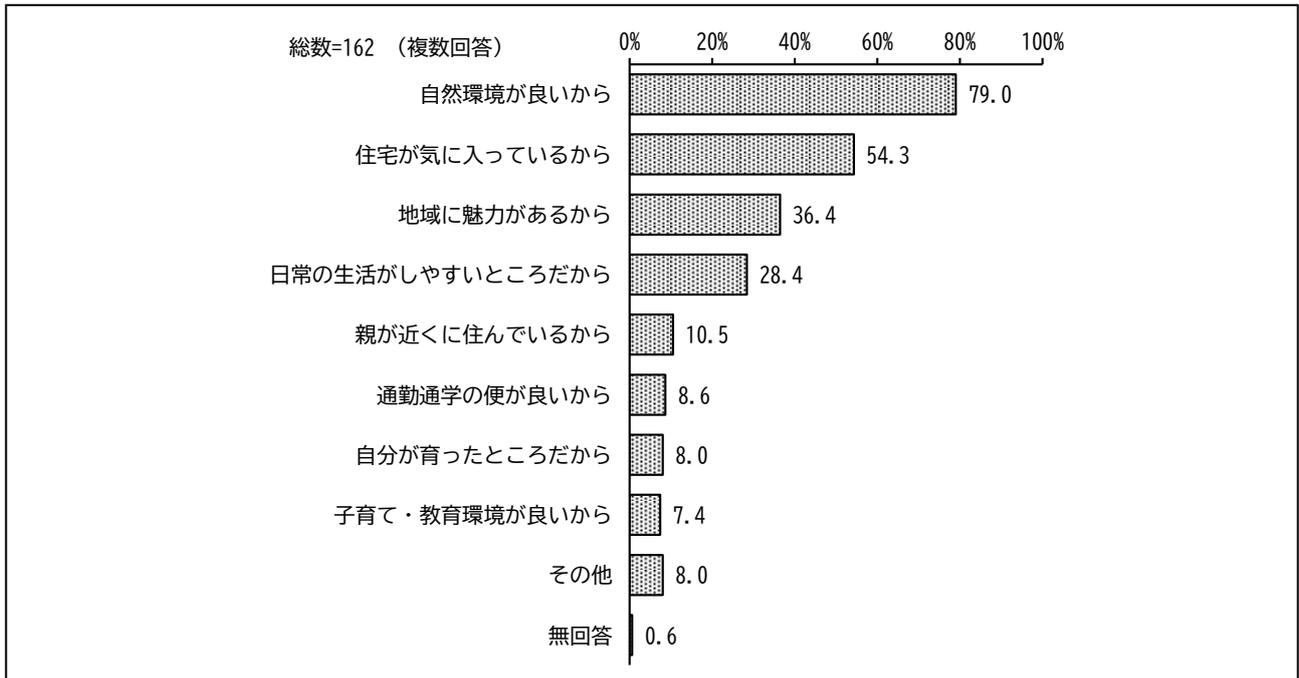
【属性別】

職業別にみると、フルタイム雇用者では「町内に住み続けたい」が94.2%と高くなっています。



問5-1 町内に住みたい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

※問5で「1. 町内に住みたい」と回答した方のみ回答

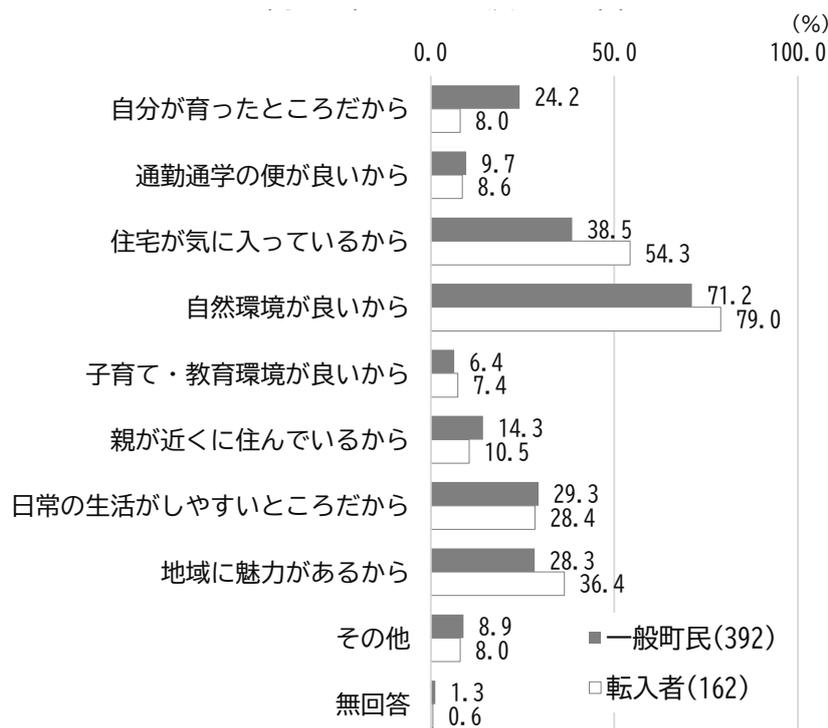


【全体】

「自然環境が良いから」が 79.0%で最も比率が高く、以下、「住宅が気に入っているから」(54.3%)、「地域に魅力があるから」(36.4%)、「日常生活がしやすいところだから」(28.4%)と続いています。

【一般町民との比較】

「自然環境が良いから」や「住宅が気に入っているから」、「地域に魅力があるから」は、転入者の方が比率が高くなっています。



【属性別】

職業別にみると、フルタイム雇用者では、「地域に魅力があるから」や「親が近くに住んでいるから」の比率が高くなっています。

同居家族別にみると、18歳未満の子どものいる世帯では、「自然環境が良いから」の比率が低い一方で、「地域に魅力があるから」や「子育て・教育環境が良いから」の比率が高くなっています。

		全体	自分が育ったところだから	通勤通学の便が良いから	住宅が気に入っているから	自然環境が良いから	子育て・教育環境が良いから	親が近くに住んでいるから	日常生活がしやすいところだから	地域に魅力があるから	その他	無回答
全体		162	8.0	8.6	54.3	79.0	7.4	10.5	28.4	36.4	8.0	0.6
性別	男	71	7.0	12.7	50.7	84.5	8.5	9.9	38.0	35.2	8.5	-
	女	79	8.9	5.1	59.5	74.7	6.3	10.1	21.5	38.0	7.6	1.3
年齢	10・20代	8	25.0	25.0	62.5	87.5	37.5	25.0	50.0	75.0	-	-
	30代	26	7.7	15.4	57.7	65.4	19.2	15.4	38.5	46.2	7.7	-
	40代	39	5.1	12.8	53.8	79.5	5.1	17.9	25.6	43.6	10.3	-
	50代	29	6.9	3.4	62.1	75.9	3.4	6.9	20.7	34.5	6.9	-
	60代	25	12.0	4.0	36.0	88.0	-	-	32.0	16.0	8.0	-
	70歳以上	26	3.8	-	57.7	84.6	-	-	26.9	23.1	7.7	3.8
居住地区	東部地区	91	5.5	7.7	54.9	86.8	9.9	9.9	27.5	42.9	6.6	-
	西部地区	58	10.3	8.6	55.2	67.2	3.4	10.3	31.0	24.1	10.3	1.7
職業	フルタイム雇用者	72	9.7	12.5	55.6	83.3	11.1	16.7	27.8	43.1	6.9	-
	その他の職業・無職	81	6.2	4.9	53.1	75.3	3.7	3.7	30.9	29.6	8.6	1.2
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	43	7.0	11.6	58.1	72.1	20.9	14.0	30.2	44.2	11.6	-
	それ以外の世帯	108	8.3	6.5	51.9	82.4	1.9	8.3	28.7	33.3	6.5	0.9
転入前の居住地域	横浜市・川崎市	30	6.7	3.3	60.0	80.0	3.3	16.7	20.0	40.0	10.0	-
	その他神奈川県内	67	4.5	13.4	55.2	71.6	9.0	7.5	32.8	23.9	7.5	1.5
	東京都内	38	10.5	7.9	50.0	92.1	7.9	10.5	31.6	57.9	5.3	-
	その他	17	17.6	-	47.1	76.5	5.9	5.9	29.4	29.4	11.8	-

問5-2 あなたにとって大磯町の「魅力」とは何ですか。(自由記入)

※問5-1で「8. 地域に魅力があるから」と回答した方のみ回答

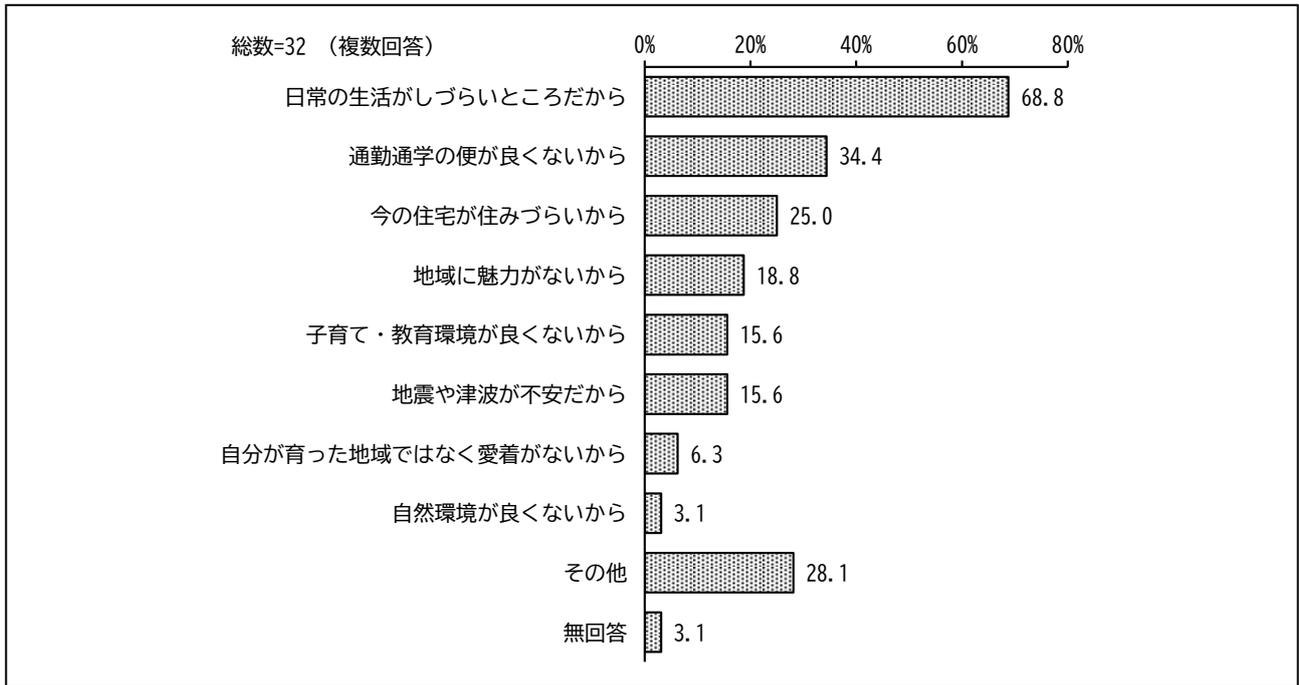
海や里山などの自然が豊かであること、のんびりとしていること、歴史や文化が感じられること、人柄がよいことなどの意見が多くなっています。

No.	回答	年齢
1	海や山が身近にあり「整美」されているから。	40代
2	海、環境。	無回答
3	残された里山など豊かな自然と静かな街並み。	70歳以上
4	ほどよくのんびりしていて、自然豊か。40代過ぎて住むにはとてもいい所。新潟に住んでいた親も大磯に引越してきました。	40代
5	海と街の空気感が好き。	40代
6	・少しずつカフェやパン屋さんなどのお店が増えてきたこと。・海が近いこと。・大磯市やBOOK マルシェ、うちわの市など、大磯だからできるイベントがある。・時間の流れがゆっくり感じられる。・小田原と平塚に挟まれた穴場？感が好き。	10~20代
7	高いビルや派手な建物がなく静かで落ち着いていて、少し電車やバスに乗れば平塚や小田原など大きな買い物ができる所がある。海と山があり気候も温暖で過ごしやすい。仕事から帰ってくると、大磯駅の雰囲気癒される。	40代
8	自然が多い所。のんびりしている所。	10~20代
9	海が近く田舎過ぎず、都会過ぎず車があれば特に不便も感じず、人に優しい所。	10~20代
10	自然、歴史、とにかく人が優しい。子どもを持つお母さんが都内とは比べものにならないくらいちゃんとしている。交通マナーが大磯だけ良い。	60代
11	他に類のない歴史やゆかりのある史跡やストーリーが残っている。豊かな自然環境や落ち着いた穏やかな空気感など。	50代
12	都心から近いのに自然が多い点。また文化もあり歴史的な風情がある。	40代
13	自然環境、歴史的な文化、建築文化財、治安。	60代
14	自然や文化財に恵まれていながらも、個人商店が多く、観光地化しすぎている所が魅力です。	30代
15	自然、文化。	40代
16	自然や文化、歴史がある。気候がよく住みやすい。	60代
17	海に近い。静かな環境。歴史的な文化資源が存在する。	50代
18	海人山。歴史がある。	30代
19	海と山が近くにある。美味しいミカンが食べられる。	50代
20	越してきて1年未満ですが、受け入れてもらえると思っています。自然が豊かです。し良い人たちが一杯いると思います。	70歳以上
21	自然豊かで海と山があるところ。	40代
22	自然が近くにあって平塚に行けば商業施設があるところ。	30代
23	海も山もすぐ近くで楽しめる。年中お祭りに独特の面白さがある。食住近接である。夏の夜が過ごしやすく、冬も暖かい。	50代
24	素晴らしい磯がある。磯遊びができる。	30代
25	港区の人たちとの関係が良好であり、海や山など自然が豊かなところが魅力だと感じます。	30代
26	海に近く山が見えるから。	30代
27	都内迄ギリギリ通勤できる、かつ海や山など自然環境が素晴らしいエリアであること。	40代
28	都内に比べて冬は暖かく、夏は涼しい。特産品がある。自然が多くて島タイムの様な緩やかな時間が流れていて、癒される。	30代
29	海、山があり、住んでいて穏やか、心地よい。小さいけれどおしゃれなお店が増えてきた感じ…もっと増えれば遊びに来る人も増えそう。	40代
30	都心に通える丁度良い立地(海、山)。	40代
31	海。	10~20代

No.	回答	年齢
32	町内全体が落ち着いていて、ゆったり生活できるところが気に入っています。道路の幅は狭い所が多いですが、車、人、バイク、自転車がゆずり合っているところが、老人、子どもに優しい町だと感じます。元々別荘地であるという大磯には、特有のおおらかなイメージがあり、実際横浜などと比べておおらかです。	60代
33	優しい人が多い。町内はとてもキレイ。	30代
34	今どこの町も近代化を進める傾向にあるが、大磯の場合、全てが遅れている。そこが最大の魅力である。	70歳以上
35	静か。	30代
36	都会にはないのんびりしているところ。	50代
37	のんびりとしている。	50代
38	町の規模が適正。コミュニティの近さ、人間関係の距離感。町議会の議員が男女同数（パリティ）を達成していること。	40代
39	湘南と言う場所にありながら、平塚や茅ヶ崎などとは違い、静かで暮らしやすい。かといって何も無い訳ではない。	50代
40	近隣の市町に比べ落ち着きがあり、品の良さが感じられるエリアだと思います。国道の松並木に加え、丁寧に造られたセンスの良かった時代の建造物など残していることが、雰囲気の良いことや個性を実現できている理由ではないかと思えます。	40代
41	治安が良い。町全体がきれいで落ち着いている。	10~20代
42	藤沢のように暴走族が来なくて静か。風が強くない。	40代
43	町の景観が落ち着いている。げげげしい建物がない。個人商店が生き残っている（肉屋、魚屋）。文化的な催し物がある。歴史がある。人が良い。	30代
44	史跡や文化財。	無回答
45	歴史的建造物が豊富。	70歳以上
46	旧総理の別荘、大磯プリンスホテル。	70歳以上
47	豊かな自然と大資本のスーパーやチェーン店の飲食店のない町。	70歳以上
48	住む人々がおだやかで人に優しい。助け合いの気持ちがあり、議会も女性が多く、民主的。	無回答
49	本当に心の優しい人が多い。	40代
50	人が温かくクリエイターが多い町なので面白い。	50代
51	・人が温かい（良い意味で距離が近い）。・実家のある田舎へ帰った気分になる＝落ち着く（妻説）。	30代
52	人との距離感が程よく近く、安心できる。	40代
53	地域の人同士のつながりがある。	40代
54	コンパクトで、町に出ると1~2人知り合いに出くわしうる、ゆるいネットワークで、実際にあえるリアルティがある。	40代
55	治安が良い。道路 etc が混んでいない。	無回答
56	今はそうでもないが、今後期待している。	50代
57	人柄◎。	10~20代
58	まず自分の年収でもローンや家賃に圧迫されずに、高水準の衣食住が楽しめること。私は生まれが田舎だったので、一軒家を持ち車を持つのが当たり前でしたが、都内や横浜ではそれはとうてい叶わない。そんな田舎の当たり前を都内へのアクセスも悪くない場所で叶えられることを魅力に感じた。また固定費に圧迫されない分、平日、休日問わず外出が多くなったし、趣味にお金を使い、自分らしく生きるようになった気もする。	30代
59	マーケットやお祭りなど、地域の人々がつくっている催し物が多く、のんびり楽しめるから。	50代

問5-3 町外に転居したい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

※問5で「2. 町外に転居したい」と回答した方のみ回答

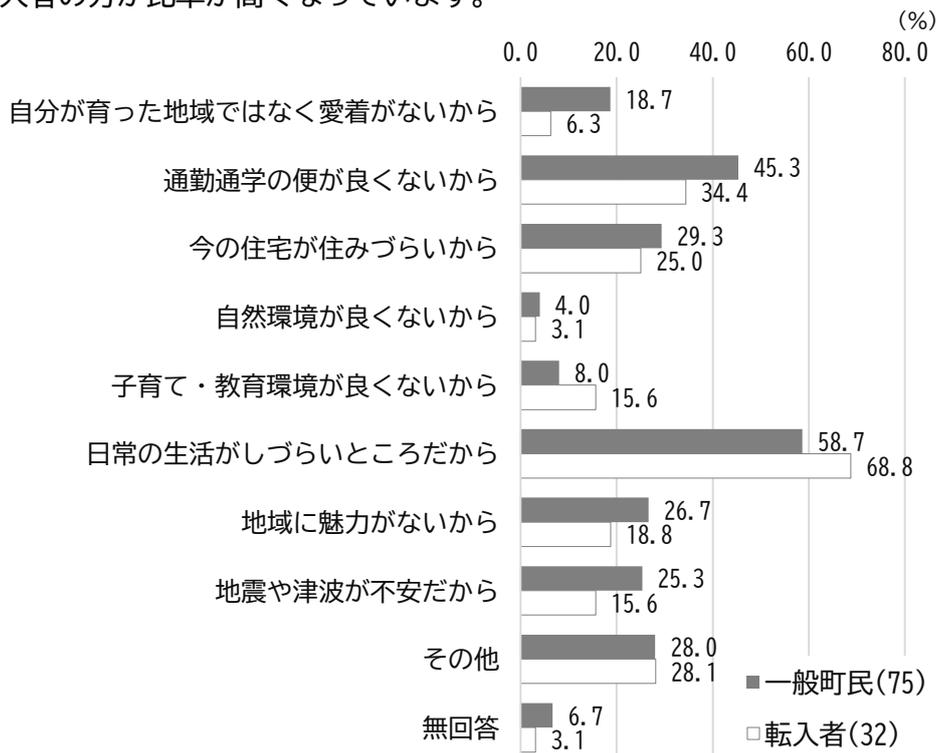


【全体】

「日常生活がしづらいところだから」が 68.8%で最も比率が高く、以下、「通勤通学の便が良くないから」(34.4%)、「今の住宅が住みづらいから」(25.0%)と続いています。

【一般町民との比較】

「日常生活がしづらいところだから」は、一般町民よりも転入者の方が比率が低くなっていますが、「通勤通学の便が良くないから」、「地域に魅力がないから」、「地震や津波が不安だから」などは、転入者の方が比率が高くなっています。

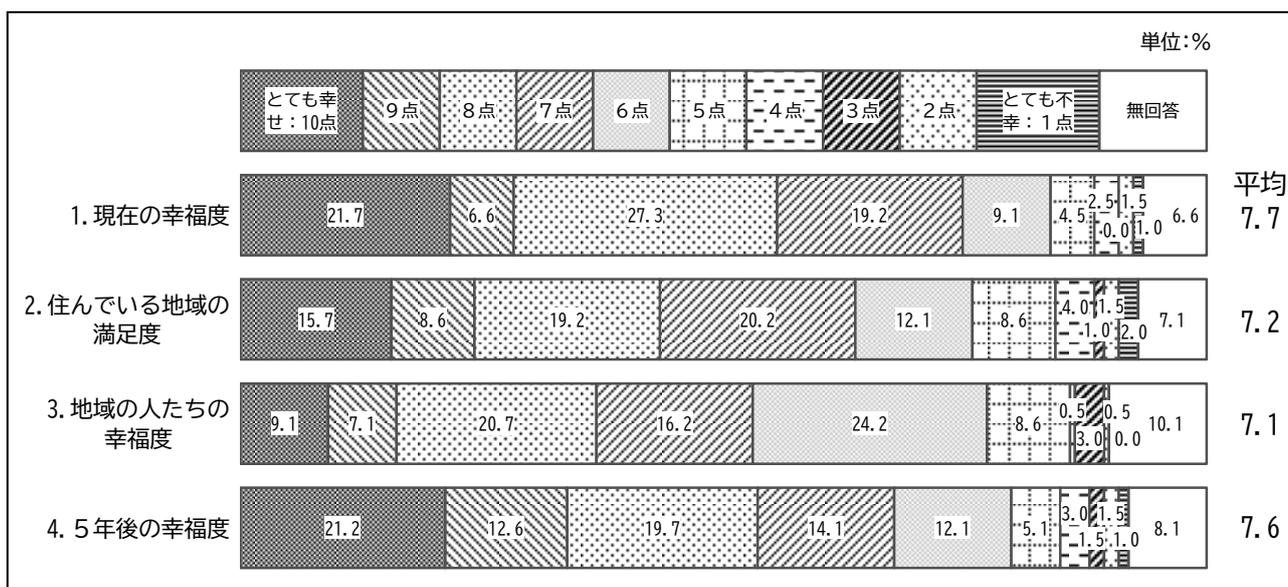


【属性別】

※サンプル数が少ないため集計結果のみを掲載します。

		全体	自分が育った地域ではなく愛着がないから	通勤通学の便が良くないから	今の住宅が住みづらいから	自然環境が良くないから	子育て・教育環境が良くないから	日常の生活がしづらいところだから	地域に魅力がないから	地震や津波が不安だから	その他	無回答
全体		32	6.3	34.4	25.0	3.1	15.6	68.8	18.8	15.6	28.1	3.1
性別	男	13	15.4	38.5	30.8	-	7.7	53.8	-	-	30.8	7.7
	女	14	-	28.6	28.6	-	14.3	71.4	28.6	21.4	28.6	-
年齢	10・20代	4	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-
	30代	6	-	50.0	50.0	-	33.3	66.7	-	16.7	-	16.7
	40代	4	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-
	50代	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	-
	60代	11	9.1	27.3	27.3	9.1	9.1	81.8	27.3	9.1	45.5	-
	70歳以上	1	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-
居住地区	東部地区	20	10.0	35.0	30.0	5.0	15.0	65.0	10.0	10.0	25.0	-
	西部地区	10	-	30.0	20.0	-	10.0	70.0	40.0	10.0	30.0	10.0
職業	フルタイム雇用者	14	7.1	28.6	21.4	-	14.3	50.0	-	7.1	35.7	7.1
	その他の職業・無職	16	6.3	43.8	31.3	6.3	18.8	87.5	37.5	18.8	18.8	-
同居家族	18歳未満の子どものいる世帯	7	14.3	42.9	-	-	42.9	57.1	-	-	28.6	14.3
	それ以外の世帯	24	4.2	33.3	33.3	4.2	8.3	70.8	25.0	16.7	29.2	-
転入前の居住地域	横浜市・川崎市	1	-	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
	その他神奈川県内	18	11.1	44.4	33.3	-	11.1	66.7	16.7	5.6	27.8	-
	東京都内	9	-	22.2	22.2	11.1	22.2	66.7	33.3	33.3	44.4	-
	その他	3	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3

問6 大磯町での暮らしの幸福度・満足度について以下の4つの項目について、10点満点で評価してください。(各項目それぞれ1つ選択)



【全体】

平均点を見ると、「1. 現在の幸福度」では平均 7.7 点、「4. 5年後の幸福度」では 7.6 点、「2. 住んでいる地域の満足度」では 7.2 点、「3. 地域の人たちの幸福度」では 7.1 点となっており、一般町民や神奈川県と比較的しても転入者の幸福度や地域の満足度は高くなっています。

【属性別】

居住地域別にみると、「2. 住んでいる地域の満足度」及び「3. 地域の人たちの幸福度」は東部地区で平均点が高くなっています。

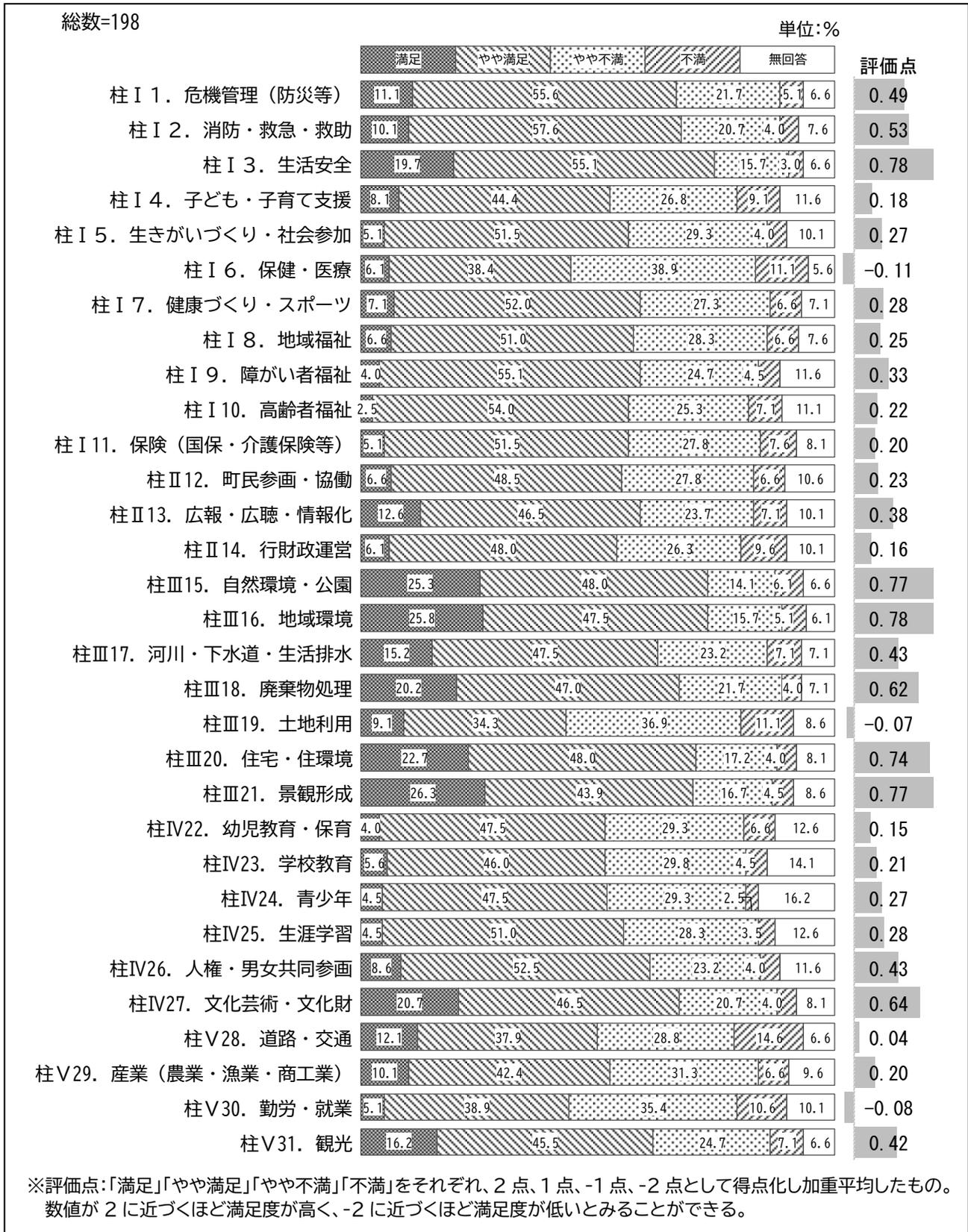
同居家族別にみると、「1. 現在の幸福度」及び「4. 5年後の幸福度」で、「18歳未満の子どものいる世帯」の平均点が、「その他の世帯」を大きく上回っています。

		全体	1. 現在の幸福度	2. 現在の地域の満足度	3. 町内の人たちの幸福度	4. 5年後の幸福度
全体		198	7.71	7.20	7.05	7.63
性別	男	86	7.69	7.31	6.99	7.58
	女	95	7.87	7.28	7.17	7.76
年齢	10・20代	12	7.83	7.25	7.18	8.58
	30代	32	7.84	7.13	6.94	7.26
	40代	43	7.88	7.67	7.25	8.21
	50代	35	8.26	7.24	6.94	8.18
	60代	36	6.91	6.63	6.79	6.40
	70歳以上	30	7.38	7.31	7.29	7.35
地区住	東部地区	112	7.61	7.34	7.07	7.69
	西部地区	71	7.74	6.89	6.90	7.46
職業	フルタイム雇用者	86	7.63	7.20	7.02	7.65
	その他の職業・無職	101	7.74	7.24	7.09	7.56
家族居	18歳未満の子どものいる世帯	50	7.98	7.31	7.04	8.04
	それ以外の世帯	136	7.58	7.17	7.05	7.44
居住意向	町内に住み続けたい	162	8.07	7.60	7.30	8.02
	町外に転居したい	32	5.97	5.16	5.69	5.75

2-4 町政の取組みについて

問7 大磯町では、まちづくりを推進していくにあたり、5つの方針（柱）を据え、施策を展開しています。これらの施策の重要度と満足度について、あなたの考えに近いものは次のどれですか。（「満足度」と「重要度」でそれぞれ1つ選択）

(1) 満足度



【全体】

評価点でみると、最も満足度が高いのは「3. 生活安全」及び「16. 地域環境」の 0.78 点で、以下、「15. 自然環境・公園」、「21. 景観形成」（ともに 0.77 点）、「20. 住宅・住環境」（0.74 点）と続いています。一方、満足度が低いのは、「6. 保健・医療」（-0.11 点）、「30. 勤労・就業」（-0.08 点）、「19. 土地利用」（-0.07 点）などとなっています。

【属性別】

性別にみると、「3. 生活安全」などでは男性の満足度が高いものの、多くの項目は女性の満足度が高く、特に「13. 広報・広聴・情報化」や「29. 産業（農業・漁業・商工業）」では男性を大きく上回っています。

居住地区別にみると、「16. 地域環境」などでは東部地区で満足が高いものの、「12. 町民参画・協働」や「13. 広報・広聴・情報化」、「22. 幼児教育・保育」などでは、西部地区で満足度が高くなっています。

職業別にみると、「5. 生きがいづくり・社会参加」や保健・福祉分野の各施策で、フルタイム雇用者の満足度が高い一方、産業分野の各施策では、その他の職業・無職の満足度が高くなっています。

同居家族別にみると、「12. 町民参画・協働」や「27. 文化芸術・文化財」などで、18 歳未満の子どもがいる世帯の満足度が高い一方、「4. 子ども・子育て支援」や「15. 自然環境・公園」では、それ以外の世帯で満足度が高くなっています。

	全体	性別		年齢							居住地区		職業		同居家族		居住意向	
		男	女	10・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	東部地区	西部地区	フルタイム雇用者	その他の職業・無職	18歳未満の子どもの数	それ以外の世帯	住み続けたい	転居したい	
				12	32	43	35	36	30	112	71	86	101	50	136	162	32	
全体	198	86	95															
1. 危機管理(防災等)	0.49	0.44	0.56	0.36	0.53	0.30	0.61	0.26	0.96	0.37	0.41	0.54	0.45	0.50	0.61	-0.13		
2. 消防・救急・救助	0.53	0.59	0.55	0.33	0.55	0.39	0.70	0.34	0.96	0.51	0.51	0.58	0.56	0.53	0.65	-0.13		
3. 生活安全	0.78	0.93	0.76	1.10	0.81	0.90	0.79	0.54	0.84	0.78	0.89	0.71	0.80	0.79	0.90	0.13		
4. 子ども・子育て支援	0.18	0.23	0.23	0.33	-0.13	-0.05	0.56	0.07	0.84	0.20	0.12	0.30	-0.22	0.40	0.26	-0.26		
5. 生がいがづくり・社会参加	0.27	0.25	0.32	0.70	0.34	0.39	0.32	-0.13	0.18	0.27	0.41	0.14	0.33	0.23	0.41	-0.47		
6. 保健・医療	-0.11	-0.01	-0.08	0.60	-0.13	-0.40	0.03	-0.17	0.32	-0.08	-0.13	-0.03	-0.29	0.02	0.01	-0.77		
7. 健康づくり・スポーツ	0.28	0.29	0.31	1.00	0.13	0.43	0.38	-0.06	0.26	0.28	0.38	0.16	0.33	0.26	0.41	-0.39		
8. 地域福祉	0.25	0.27	0.30	0.50	0.38	0.25	0.58	-0.38	0.42	0.16	0.36	0.13	0.47	0.15	0.39	-0.53		
9. 障がい者福祉	0.33	0.37	0.39	0.33	0.71	0.35	0.39	-0.21	0.58	0.30	0.47	0.21	0.54	0.25	0.45	-0.33		
10. 高齢者福祉	0.22	0.31	0.24	0.33	0.66	0.10	0.44	-0.09	0.05	0.22	0.40	0.09	0.48	0.14	0.36	-0.48		
11. 保険(国保・介護保険等)	0.20	0.22	0.26	0.36	0.38	-0.05	0.44	0.06	0.25	0.14	0.23	0.18	0.33	0.16	0.34	-0.48		
12. 町民参画・協働	0.23	0.12	0.35	0.30	0.44	0.33	0.32	-0.19	0.23	0.09	0.29	0.20	0.55	0.09	0.30	-0.13		
13. 広報・広聴・情報化	0.38	0.11	0.61	1.00	0.42	0.08	0.61	0.00	0.71	0.23	0.32	0.43	0.39	0.37	0.47	-0.07		
14. 行財政運営	0.16	0.06	0.27	0.36	0.22	0.12	0.26	-0.13	0.23	0.05	0.08	0.23	0.20	0.14	0.25	-0.29		
15. 自然環境・公園	0.77	0.75	0.90	1.17	0.66	0.74	0.84	0.59	1.17	0.78	0.78	0.81	0.46	0.94	0.91	0.10		
16. 地域環境	0.78	0.72	0.89	1.36	0.75	0.69	0.91	0.36	0.92	0.89	0.74	0.75	0.63	0.80	1.00	-0.35		
17. 河川・下水道・生活排水	0.43	0.47	0.45	0.82	0.94	0.17	0.34	0.06	0.83	0.48	0.54	0.36	0.55	0.41	0.53	-0.06		
18. 廃棄物処理	0.62	0.65	0.66	0.55	0.88	0.63	0.63	0.09	1.12	0.56	0.67	0.60	0.80	0.59	0.72	0.10		
19. 土地利用	-0.07	-0.15	0.01	0.36	0.13	0.00	-0.10	-0.45	-0.27	-0.13	-0.04	-0.13	-0.10	-0.10	-0.01	-0.45		
20. 住宅・住環境	0.74	0.70	0.87	0.82	0.63	1.07	0.94	0.38	0.46	0.77	0.79	0.70	0.69	0.75	0.97	-0.42		
21. 景観形成	0.77	0.65	0.93	0.64	0.84	0.98	0.91	0.47	0.50	0.73	0.76	0.77	0.82	0.73	0.93	-0.03		
22. 幼児教育・保育	0.15	0.05	0.32	0.55	0.06	-0.05	0.32	0.06	0.52	0.06	0.09	0.25	-0.08	0.30	0.29	-0.57		
23. 学校教育	0.21	0.09	0.41	0.80	0.23	0.14	0.16	0.10	0.45	0.18	0.18	0.29	0.10	0.32	0.38	-0.63		
24. 青少年	0.27	0.16	0.43	1.00	0.35	0.26	0.29	-0.03	0.39	0.27	0.29	0.29	0.33	0.28	0.38	-0.34		
25. 生涯学習	0.28	0.20	0.46	0.90	0.47	0.33	0.16	0.06	0.30	0.23	0.34	0.27	0.45	0.24	0.38	-0.28		
26. 人権・男女共同参画	0.43	0.43	0.51	0.80	0.59	0.60	0.23	0.13	0.55	0.37	0.53	0.39	0.49	0.42	0.58	-0.34		
27. 文化芸術・文化財	0.64	0.58	0.84	1.11	0.91	0.90	0.59	0.12	0.57	0.58	0.71	0.61	1.00	0.52	0.79	-0.13		
28. 道路・交通	0.04	0.05	0.04	0.64	0.06	0.10	0.06	-0.38	0.17	0.08	-0.05	0.09	-0.06	0.06	0.17	-0.67		
29. 産業(農業・漁業・商工業)	0.20	0.02	0.46	0.90	0.35	0.27	0.09	0.03	0.05	0.17	0.07	0.33	0.10	0.28	0.32	-0.45		
30. 勤労・就業	-0.08	-0.11	0.01	0.00	-0.13	0.02	-0.09	-0.19	-0.10	-0.14	-0.09	-0.07	-0.04	-0.09	0.06	-0.87		
31. 観光	0.42	0.32	0.60	0.73	0.75	0.37	0.16	0.18	0.78	0.48	0.26	0.59	0.22	0.54	0.44	0.25		

(2) 重要度

総数=198		単位:%					評価点
		重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答	
柱Ⅰ 1.	危機管理（防災等）	73.2	16.7	0.5	9.1	0.5	1.78
柱Ⅰ 2.	消防・救急・救助	68.7	21.7	0.9	9.1	0.0	1.74
柱Ⅰ 3.	生活安全	69.2	20.2	1.0	9.6	0.0	1.74
柱Ⅰ 4.	子ども・子育て支援	62.1	20.2	3.0	12.1	2.5	1.55
柱Ⅰ 5.	生きがいづくり・社会参加	23.7	51.5	12.6	9.1	3.0	1.74
柱Ⅰ 6.	保健・医療	68.2	22.7	1.0	7.6	0.5	1.69
柱Ⅰ 7.	健康づくり・スポーツ	25.8	50.5	12.1	8.1	3.5	0.90
柱Ⅰ 8.	地域福祉	40.9	41.9	7.1	8.6	1.5	1.24
柱Ⅰ 9.	障がい者福祉	38.4	40.4	9.6	11.1	0.5	1.20
柱Ⅰ 10.	高齢者福祉	47.0	35.9	5.6	9.6	2.0	1.33
柱Ⅰ 11.	保険（国保・介護保険等）	52.5	31.8	5.6	9.1	1.0	1.42
柱Ⅱ 12.	町民参画・協働	18.7	50.0	18.2	10.1	3.0	0.70
柱Ⅱ 13.	広報・広聴・情報化	28.3	46.5	12.6	10.6	2.0	0.97
柱Ⅱ 14.	行財政運営	42.9	36.9	10.1	9.6	0.5	1.23
柱Ⅲ 15.	自然環境・公園	60.6	29.3	1.5	8.6	0.0	1.63
柱Ⅲ 16.	地域環境	58.6	30.8	1.5	9.1	0.0	1.61
柱Ⅲ 17.	河川・下水道・生活排水	61.1	27.3	3.0	8.6	0.0	1.60
柱Ⅲ 18.	廃棄物処理	52.0	37.4	2.0	8.6	0.0	1.52
柱Ⅲ 19.	土地利用	40.4	42.9	8.1	8.6	0.0	1.27
柱Ⅲ 20.	住宅・住環境	53.0	33.8	4.0	8.6	0.5	1.48
柱Ⅲ 21.	景観形成	49.5	35.4	6.1	8.1	1.0	1.37
柱Ⅳ 22.	幼児教育・保育	58.6	23.2	5.1	12.1	1.0	1.52
柱Ⅳ 23.	学校教育	57.6	24.7	4.5	11.6	1.5	1.50
柱Ⅳ 24.	青少年	40.9	34.8	8.6	13.6	2.0	1.20
柱Ⅳ 25.	生涯学習	29.8	42.9	11.6	10.6	5.1	0.90
柱Ⅳ 26.	人権・男女共同参画	32.8	39.4	11.1	10.6	6.1	0.92
柱Ⅳ 27.	文化芸術・文化財	37.4	43.4	8.6	8.1	2.5	1.14
柱Ⅴ 28.	道路・交通	63.6	25.8	4.0	6.1	0.0	1.58
柱Ⅴ 29.	産業（農業・漁業・商工業）	50.0	36.4	5.1	8.1	0.5	1.42
柱Ⅴ 30.	勤労・就業	48.0	38.9	3.0	9.6	0.5	1.45
柱Ⅴ 31.	観光	46.5	33.3	11.1	10.1	2.0	1.20

※評価点:「重要」「やや重要」「あまり重要でない」「重要ではない」をそれぞれ、2点、1点、-1点、-2点として得点化し加重平均したもの。数値が2に近づくほど重要度が高く、-2に近づくほど重要度が低いとみることができる。

【全体】

評価点でみると、最も重要度が高いのは「1. 危機管理（防災等）」（1.78点）で、以下、「2. 消防・救急・救助」、「3. 生活安全」、「5. 生きがいづくり・社会参加」（ともに1.74点）、「6. 保健・医療（1.69点）」など、柱Ⅰの各施策が続いています。また、柱Ⅲの「15. 自然環境・公園」（1.63点）、「16. 地域環境」（1.61点）、「17. 河川・下水道・生活排水」（1.60点）なども高くなっています。

【属性別】

性別にみると、柱Ⅰの「8. 地域福祉」、「9. 障がい者福祉」、「10. 高齢者福祉」、「11. 保険（国保・介護保険等）」などの福祉や保険に関する施策、柱Ⅳの「24. 青少年」、「25. 生涯学習」、「26. 人権・男女共同参画」、「27. 文化芸術・文化財」などの施策で女性の重要度が高くなっています。

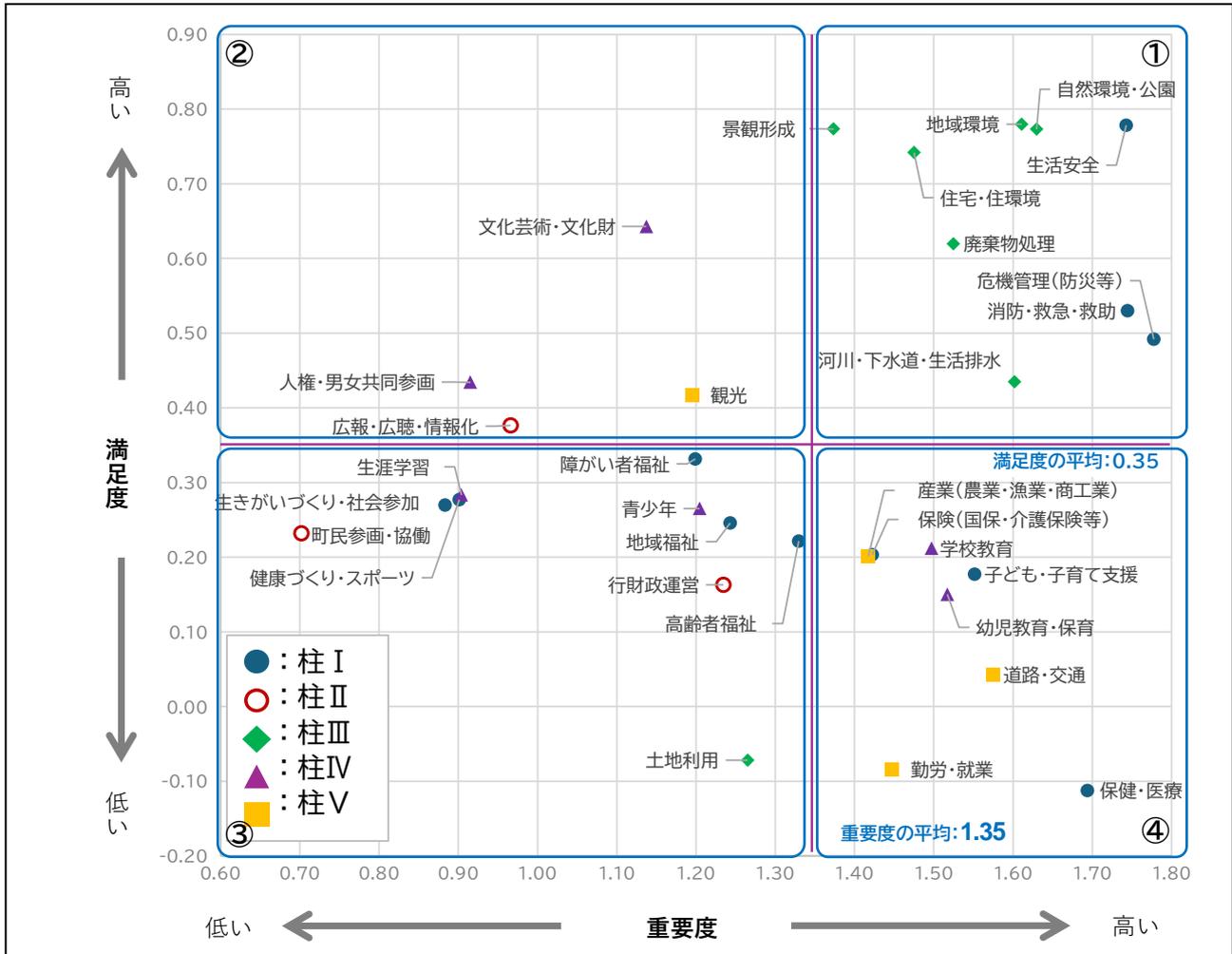
地区別にみると、全般的に東部地区に比べて、西部地区で重要度が高く、特に柱Ⅰの「6. 保健・医療」、「7. 健康づくり・スポーツ」、「8. 地域福祉」、「9. 障がい者福祉」、「10. 高齢者福祉」、「11. 保険（国保・介護保険等）」などは差が大きくなっています。

職業別にみると、「8. 地域福祉」、「9. 障がい者福祉」、「10. 高齢者福祉」、「25. 生涯学習」などで西部地区の重要度が高くなっています。

同居家族別にみると、18歳未満の子どもがいる世帯では、「4. 子ども・子育て支援」、「22. 幼児教育・保育」、「23. 学校教育」の重要度が高い一方、柱Ⅰの福祉や保険に関する各施策、「21. 景観形成」などでは重要度が低くなっています。

	全体	性別		年齢						居住地区		職業		同居家族		居住意向	
		男	女	10・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	東部地区	西部地区	フルタイム雇用者	その他の職業・無職	18歳未満の子どもの数	それ以外の世帯	住み続けたい	転居したい
全体	198	86	95	12	32	43	35	36	30	112	71	86	101	50	136	162	32
1. 危機管理 (防災等)	1.78	1.82	1.75	1.91	1.80	1.65	1.76	1.94	1.70	1.77	1.78	1.80	1.76	1.69	1.81	1.79	1.74
2. 消防・救急・救助	1.74	1.73	1.75	1.80	1.73	1.66	1.67	1.91	1.68	1.74	1.72	1.71	1.76	1.65	1.78	1.74	1.77
3. 生活安全	1.74	1.73	1.77	1.90	1.66	1.68	1.76	1.82	1.77	1.75	1.71	1.72	1.77	1.74	1.74	1.75	1.70
4. 子ども・子育て支援	1.55	1.45	1.60	1.75	1.86	1.41	1.34	1.45	1.59	1.50	1.62	1.62	1.48	1.82	1.40	1.56	1.50
5. 生きがいづくり・社会参加	1.74	1.73	1.75	1.80	1.73	1.66	1.67	1.91	1.68	1.74	1.72	1.71	1.76	1.65	1.78	1.74	1.77
6. 保健・医療	1.69	1.72	1.64	1.36	1.83	1.68	1.67	1.66	1.70	1.56	1.88	1.76	1.65	1.65	1.69	1.74	1.50
7. 健康づくり・スポーツ	0.90	0.92	0.91	0.64	0.87	0.85	0.91	0.89	1.14	0.81	1.07	0.96	0.87	0.73	0.95	0.97	0.56
8. 地域福祉	1.24	1.06	1.41	1.18	1.13	1.15	1.24	1.35	1.50	1.11	1.43	1.11	1.38	1.04	1.36	1.26	1.19
9. 障がい者福祉	1.20	1.03	1.34	1.50	0.97	0.98	1.21	1.32	1.63	1.02	1.47	1.00	1.38	0.94	1.32	1.23	1.06
10. 高齢者福祉	1.33	1.17	1.42	1.70	1.03	0.90	1.55	1.49	1.68	1.16	1.53	1.12	1.48	0.94	1.48	1.30	1.45
11. 保険 (国保・介護保険等)	1.42	1.29	1.51	1.18	1.40	1.05	1.50	1.71	1.64	1.30	1.58	1.34	1.52	1.12	1.53	1.49	1.13
12. 町民参画・協働	0.70	0.64	0.79	0.70	0.73	0.68	0.42	0.67	1.19	0.71	0.68	0.76	0.67	0.58	0.75	0.82	0.16
13. 広報・広聴・情報化	0.97	0.94	0.99	0.50	1.21	0.83	0.73	1.09	1.30	0.98	0.90	1.04	0.93	1.04	0.93	1.08	0.47
14. 行財政運営	1.23	1.22	1.20	0.60	1.20	1.14	1.25	1.24	1.62	1.17	1.25	1.25	1.22	1.13	1.26	1.36	0.66
15. 自然環境・公園	1.63	1.67	1.59	1.64	1.73	1.68	1.61	1.54	1.55	1.59	1.68	1.68	1.57	1.79	1.56	1.65	1.53
16. 地域環境	1.61	1.68	1.57	1.70	1.60	1.63	1.64	1.62	1.57	1.60	1.66	1.69	1.55	1.66	1.60	1.64	1.50
17. 河川・下水道・生活排水	1.60	1.57	1.61	1.45	1.67	1.66	1.48	1.53	1.68	1.52	1.69	1.59	1.59	1.54	1.61	1.68	1.22
18. 廃棄物処理	1.52	1.59	1.52	1.64	1.66	1.46	1.42	1.62	1.65	1.51	1.62	1.55	1.57	1.35	1.64	1.57	1.29
19. 土地利用	1.27	1.31	1.24	1.09	1.68	1.17	1.09	1.18	1.43	1.26	1.26	1.35	1.24	1.24	1.31	1.32	1.03
20. 住宅・住環境	1.48	1.54	1.44	1.18	1.80	1.37	1.52	1.45	1.48	1.40	1.63	1.64	1.40	1.40	1.52	1.52	1.25
21. 景観形成	1.37	1.36	1.42	1.45	1.23	1.33	1.48	1.38	1.57	1.35	1.42	1.41	1.37	1.10	1.51	1.45	1.00
22. 幼児教育・保育	1.52	1.48	1.48	1.75	1.90	1.54	1.03	1.31	1.63	1.45	1.53	1.55	1.44	1.78	1.35	1.54	1.42
23. 学校教育	1.50	1.44	1.49	1.64	1.93	1.46	1.09	1.27	1.68	1.43	1.52	1.49	1.46	1.84	1.31	1.53	1.32
24. 青少年	1.20	1.01	1.29	1.60	1.53	1.15	0.59	1.12	1.47	1.11	1.23	1.04	1.29	1.17	1.17	1.25	1.00
25. 生涯学習	0.90	0.57	1.09	1.36	1.06	0.88	0.47	0.69	1.17	0.77	0.93	0.66	1.02	0.69	0.94	0.95	0.69
26. 人権・男女共同参画	0.92	0.71	1.11	1.45	1.20	0.80	0.59	0.59	1.37	0.81	1.03	0.81	0.97	0.88	0.93	0.99	0.56
27. 文化芸術・文化財	1.14	1.01	1.28	1.80	1.03	1.02	1.24	0.97	1.36	1.16	1.12	1.11	1.18	0.92	1.24	1.27	0.48
28. 道路・交通	1.58	1.63	1.50	1.33	1.55	1.33	1.59	1.80	1.70	1.49	1.65	1.61	1.55	1.44	1.61	1.64	1.28
29. 産業 (農業・漁業・商工業)	1.42	1.40	1.45	1.55	1.45	1.41	1.32	1.39	1.55	1.38	1.45	1.41	1.43	1.29	1.49	1.51	1.00
30. 勤労・就業	1.45	1.41	1.48	1.45	1.55	1.43	1.47	1.30	1.50	1.36	1.57	1.50	1.40	1.35	1.49	1.50	1.19
31. 観光	1.20	1.20	1.23	1.55	1.16	1.10	1.26	1.09	1.36	1.12	1.27	1.30	1.14	1.14	1.24	1.24	0.97

(3) 満足度・重要度の相関



【グラフの見方】

- 全施策の満足度・重要度の平均値(満足度: 0.35、重要度: 1.35 で交差するグラフ上の青線が平均値)を基準に、横線の満足度の平均: 0.35 の線よりも上側に位置する施策は満足度が高い施策、縦線の重要度の平均: 1.35 よりも右側に位置する施策は重要度が高い施策とみることができる。
- グラフ上の4つのエリアは次のように分析できる。
 - ①満足度: 高/重要度: 高(グラフ右上) = 重点的に現状維持を図る施策【重点維持施策】
 - ②満足度: 高/重要度: 低(グラフ左上) = 現状維持を図る施策【現状維持施策】
 - ③満足度: 低/重要度: 低(グラフ左下) = 改善の必要性がある施策【要改善施策】
 - ④満足度: 低/重要度: 高(グラフ右下) = 重点的に改善を図る施策【重点改善施策】
- 最も力を入れる必要があるのは④の満足度: 低/重要度: 高の重点改善施策である。次いで力を入れるのは①の満足度: 高/重要度: 高の重点維持施策である(村民が重要に思っている施策の満足度を落とさないことが求められる)。②現状維持施策と③要改善施策については、どちらを優先するかは難しい面があり、政策的な判断による。

今後、重点的に力を入れる必要がある重要度が高く、満足度が低い施策(重点改善施策: 図中④)は、「子ども・子育て支援柱」、「保険(国保・介護保険等)」、「道路・交通」、「産業(農業・漁業・商工業)」は一般町民と共通ですが、柱Ⅳの「学校教育」及び「幼児教育・保育」、柱Ⅴの「勤労・就業」が該当しており、合計7施策となっています。

一般町民の結果と比較すると、重要度では、柱Ⅰの「景観形成」及び「自然公園・公園」、柱Ⅴの「勤労・就業者」で、転入者の方が高く、満足度では、柱Ⅰの「保健・医療」及び「消防・救急・救助」、柱Ⅳの「幼児教育・保育」で、転入者の方が低くなっています。

3 自由意見

一般町民 213 人、転入者 128 人、合計 341 人の方から意見をいただきました。

意見は分野ごとに分類し、一人が複数の意見を記入している場合で、分野ごとに分けることができる場合は分割して掲載しています。

なお、いただいたご意見は明らかな誤字等以外は修正せずに掲載しています。

3-1 一般町民

■防災 (11 件)

ご意見	年齢	性	地区
将来起こるであろう自然災害や地震などに対応できる避難所、津波から逃げるためのタワーなどの建設予定などはないのでしょうか？相模トラフ地震、南海トラフ地震に影響を受けそうで怖いです。	50代	—	東町
・大きな災害（台風、地震、津波）に負けない街づくりをしてほしい。	30代	男	東町
大磯駅から二宮に向かう線路沿いの道、線路沿いのブロック塀、地震に耐えられそうになく通るたびに不安です。通学路でもあり心配しています。	60代	女	西小磯東
電線、電柱の地中化工事を、北下町で進めてほしい。地震で建物密集地である北下町で進めてほしい。地震で建物密集地である北下町は、火事が発生したら広がる、電柱の倒壊で道路が寸断される。	40代	男	北下町
自然災害が、これまでに経験したことのないレベルになっています。大磯町の住民には大きな木が存在するものも多く見受けます。私有地内とはいえ、倒木の折には近隣住宅に被害が出ます。大木の管理について、町等の公が管理するものだけでなく、私的に管理するものについて、管理を促すようにしていただきたい。	60代	女	西小磯西
災害に対する対策不足。・山林整備がなされていないと感じます。山崩れが心配です。・津波に対する対策が脆弱と感じます。避難スペースが足りないと思います。	40代	男	台町
将来起こりうる震災への準備。町役場が津波で浸水して機能しないということのないことを切に望む。	60代	男	石神台
・大地震が発生したとき、海が近い家だと、即非難が必要になると思います。ただ大磯は高齢者がとても多いです。逃げ遅れてしまうことがきっとあります。それに、高いところに避難と言われても、高いところが家の近くにないです。どんな人でも、すぐに避難できるような安全な高い建物をもっと色んなところに作り、パニックになったり、人が集まり過ぎてしまうことがないようにもっと考えてほしいと思います。	10~20代	女	東町
・私は3.11の被災地出身者ですが、津波、災害などでは小中学生を中心にソフト面の強化が重要と考えます（津波でてんでんこ等）。先生の指示待ちで亡くなった子もたくさんいました。どんなに準備しても天災は人知を超えます。	40代	男	台町
中学生等を対象にした一泊避難訓練を開催してみてもはどうでしょうか？自然災害などが増える中、大磯町も避難所を開設して多くの人を受け入れなければならない時が来るかもしれません。そんな時のための訓練を希望者中学生対象に一学年分程度の人数の受け入れでやってみてもはどうでしょうか？中学生は友達と学校などに泊まれるだけで楽しいし、受け入れ側に多少失敗があっても一泊なら笑って許されると思います。最初に開催するときは本当に大変かと思いますが、学校や保護者ボランティアの協力を得てはどうでしょう。この訓練がもし毎年できれば、中学生の時に訓練を経験した町民が増えていき、本番の備えになるのではと思います。ちょっと大変すぎる提案かと思いますが、無理のない範囲でご検討いただけましたら幸いです。	50代	女	台町
また、昨今の気象には恐怖を覚える。長雨被害は他人事ではなく、20年ほど前、大磯でも長雨が3,4日続いた時、生活道路が崩れ、使えなくなった。しかし、予算がないということで県に申請し、それが通って道が使えるようになるまで1年ほどかかった。今、災害時に充てる予算の積み立てはどのくらいになっているの	50代	女	茶屋町

ご意見	年齢	性	地区
であろうか。行政の意識として、しっかりとした防災観を持ってもらい、安心して住める町づくりを目指してもらいたい。			

■防犯（6件）

ご意見	年齢	性	地区
・町内の防犯カメラの数を増やし、子ども、女性が安心して暮らせるようにしてほしい。	10～20代	女	台町
街灯が少なく夜家を出るのが怖い。もう少し街灯を増やしてほしい（バス停から歩いて帰るときなど不安しかない）。住宅街があるのに畑でゴミを燃やさないでほしい。	10～20代	男	国府新宿
街灯が少ない？暗いので物騒。	40代	女	馬場
1. 防犯対策として、街中に監視カメラを設置する。	70歳以上	男	茶屋町
・道路が整備されていない上に街灯が少ない地域が多く、暗くなると出歩くのに心配があります。	30代	女	中丸
・外灯を増やしてほしい。	60代	女	—

■交通安全（5件）

ご意見	年齢	性	地区
・子どもを連れて街を歩くと本当に高齢者ドライバー（バイクも含む）が多いと感じます。信号機のない横断歩道もあります。どうか町の子供たちが事故に巻き込まれませんように願っています。問14にもあるように、①の課題への取り組みよろしく願いいたします。そして、通学時間（朝）のボランティア？なのか、旗を持って子どもたちを誘導している方々に感謝したいです。	10～20代	女	月京
・車の運転が乱暴（特に駅前タクシー）。	40代	女	南本町
歩道は歩行者優先のはずが、自転車やバイクが我が物顔で通り抜けるのはなぜ？小学校や他学校などで親子での自転車のあつかい、交通ルールをおしえる…ならうべきと思います。勘違いの自転車のりの方が多いです。安心安全なまちづくりが町を発展させることでしょう。	70歳以上	女	馬場
六所神社から一号線への道に神社の構造物が複数あり（鳥居や石柱、祭りの時の飾り等）障害物となっており、歩道と自転車の通るスペースが犠牲になっている。法律で道路への構造物建造を禁止しているのは視界を遮るだけでなく、接触する危険があるからで、伝統宗教だとしても時代に合わせて人の命を最優先で考え、設計、見直ししなければならぬ。JR下の地下道も歩行者のすぐ横を車が走り抜け危険を感じる。人の命より宗教を優先するカルト思考は直ちに改めるべき。	40代	男	国府新宿
・カーブミラーを増やしてほしい。	60代	女	—

■子ども・子育て支援（21件）

ご意見	年齢	性	地区
子育てへの支援の充実を切望します。特に、保育園の待機児童ゼロを望みます。また、隣人の方から聞いた話ですが、小学校の登校班がなくなったということを知りました。子どもの安全のために再検討をしていただきたいです。視線センターの他に、無料で利用できる子どもの施設（広島県府中市こどもの国ポムポムみたいな←地元です）がもっとあれば、子育て世帯の孤立を防ぐことが出来ると思います。	30代	女	国府新宿
総花的対策より特徴ある対策、取り組みにするのが良いのでは？「子育てがしやすい町」を目指す一貫した取り組みとか。大磯町は他地域に比べ、災害危険度は低いと思います。高齢者対応はどこでも問題だろうが、世間で言われる程、平均的な高齢者は困っていないと思います。将来を担う子供、若者を支えることが最も重要だと思います。	60代	男	月京
幼稚園、小中学校の子供たちがストレスなく過ごせるような教育にしてほしい。先生方の負担を減らす工夫が必要。誰でも保育園に入れるようになると先生、保育士の余裕がなくなり、先生、保育士同士も雰囲気が悪くなってしまふ。保育の質が低下すると子供の成長にも影響が出る。精神的安定した環境で成長できない	50代	女	馬場

ご意見	年齢	性	地区
と後々いじめ、不登校、職業に就けないなど問題が出てくると思う。朝7時～夜7時まで保育園で過ごし、家に帰ると親が疲れ、世話が不十分という環境で子供はどう育つのか？まず、子供を1番に考えて育てていければ、将来も心配が減ると思う。			
若者世代が住みたいと思うまちづくり。子育てに不安を抱えることのない支援等に力を入れてほしい。	10～20代	男	国府新宿
・子どもが食事に困ることのないように。・子どもが孤独にならぬように。	70歳以上	女	東町
親の就労支援のためにも、以下対応いただきたいです。・保育園受入数の拡充（保育園へ入れず、幼稚園部門へ通っている）。・小中学校の完全給食化。・学童保育の受け入れ数が不足していれば拡充。子供も大磯の森や田園風景、海に癒され、のびのびと暮らせています。長く住んでいきたい、ご検討いただけますと幸いです。	30代	女	台町
・子どもがいますが、学費のローンで自分の将来に家庭を持つということがないです。不景気で考えられないようです。人口を増やすことで子供の将来が明るくなればと考えます。・町営住宅を増やす。・子どもを育てる家庭には補助金を増やすなどメリットを増やし、悩まれる学費の解消などあるといいかと思えます。	40代	女	国府新宿
・町にとって大切な子供たちを守ること。・地域ごとに異変に気付くよう、安全を確保していく。	60代	女	無回答
現在、保育園に通っている子どもがいます。職員不足の様子が伝わってきて、子どもの安全について不安な時もあります。保育園の数が少ない上に1つの園も職員が少ない状態はアンバランスではないでしょうか？未来の子どもたちのために、予算をつけていただきたいです。	50代	男	無回答
学童の人数が多すぎる。子どもの数に対して、先生の数に不安。学童も都度預かりが出来るような対応をしてほしい。夏休み1ヶ月1回も利用しないのに1万払わなければいけないのはどうなのか。幼稚園は1回の利用での金額だったから、小学生になって負担増。	30代	女	西小磯西
学童保育について。①大磯小内の学童と国府小内にある学童で長期休暇中のイベント等の内容にかなり差があると思います。同じ金額を支払っているのに、学童によって差が出ないように運営していただきたいです。②育児休暇中も学童を利用させていただけると嬉しいです。現在も短期利用はあると思いますが、育児休暇中なのに上の子たちが早く帰ってきたり、長期休暇中に家にずっといることを考えると正直地獄ですし、3人目、4人目などと考えることは難しいです。少子化対策をと考えるのであればより子育てしやすい環境を整えていただきたいです。	30代	女	高麗
現在、妊娠中で子育て支援等の援助を受けていますが、それでも病院、育児グッズ等出費が多すぎて金銭面や今後の経済面に不安があります。もう少し子育て支援に力を入れて頂き、金銭面でも支援してくださるといいなと思います。	10～20代	女	馬場
小児医療証や給食費の無償化、朝の居場所作りなどとても助かっています。子育て世代に選ばれるまちづくりとなっていると思います。保育料が現在、第2子半額、第3子～無償となっていますが、「同時に在籍している」という数え方です。年齢差により受けられる恩恵が変わってしまい、不公平感があります。第〇子のカウントの仕方の見直しをしてもらいたいです。	30代	女	国府新宿
・子どもが安心して遊べる場所作り（公園、体育館）。	50代	女	台町
子どもが集まったり、遊ぶ場所が少ないです。図書館以外に何かありますか？海が近い以外の魅力はありますか？個人的に海にそこまで興味がないので早く転居したいと思っています（津波も心配なので）。仕事の都合で転入してきましたが、この地に来て失敗だと後悔しています。	30代	女	東町
・大磯運動場の整備に力を入れてほしい（小さい子どもの遊び場の確保）。	60代	男	生沢
子育て支援の充実。遊び場が少なく、管理が行き届いていない。	40代	男	北下町
・子どもの数が少ない中でも公園の遊具を新しくするなど、子ども支援の意欲を垣間見ることが出来ました。	30代	女	中丸
小中学生が過ごせる屋内施設があるとよい（雨天や暑さをしのげるような）。例えば二宮のラディアンの入りにあるホールは雨の日でも子どもが過ごせる。本を読んだり、ゲームをしたり、お昼を座って食べたり、気軽に立ち寄れる開放施設が大磯にもあるとよい。	30代	女	国府新宿
・不妊治療への助成金の復活（保険適用外の治療もあるため）。	30代	女	生沢

ご意見	年齢	性	地区
子育てというと幼児を対象にしがちになっているけれど、成人になるまで子育ては続いていると考えるのでそこまで支援体制を整えるべきであると思う。	10~20代	女	石神台

■教育（18件）

ご意見	年齢	性	地区
子育てについて、町内の小中学校へは通っておりませんので詳しくはわかりませんが、町立小中学校を選ぶのは難しいと聞きました。国府と大磯の差を感じます。	40代	女	中丸
・中学校給食の充実。・教育の質の向上。	50代	－	西小磯西
小中学校について。・プールがない。・給食がない（中学）。・制服がない。・部活動が少ない（陸上部がない）。を改善しないといけない。大磯式部活動（バスケットボール）については私が学生の時に得た経験を子どもたちに伝える機会があれば協力したいと思っています。	50代	男	台町
魅力ある学校づくりが推進できるよう、教育にお金をかけるべきだと思う。大磯が好き。大磯にずっといたいと思う子を育てなければ、持続可能なまちづくりは不可能だと考えます。	50代	女	山王町
子育て、教育環境が良ければ、今住んでいる人は住み続け、町外からも人が集まってくると思います。・教育環境について。…大磯小学校のトイレが古く汚いです。毎日使用する子供たちがちょっとかわいそうかなと思っています。暗くて、怖がっています。…教卓など教室の設備が古くポロポロです。きれいな設備に一層したら、よりきれいに使うと思います。…小学校前の道路にガードレールがなく危ないと思っています。車もずっと通るので。一番の要望。子供に関わる仕事に就く人（教員、学童スタッフ、塾など）に犯罪歴がないか確認してから雇ってほしいです。国の法律より先に進めていただけたら安心できます。最後に、大磯中学校でも美味しい給食が食べられることを祈っています。今年も花火大会や映画祭ありがとうございます。家族、お友達と楽しい夏を過ごしています。	30代	女	神明町
中学校の教員の資質、能力向上を目指していただきたい。友人とともに運動会を見させてもらったが、教員らしからぬ行動、態度で、大人として恥ずかしく感じた。思春期に規範となるべく大人が欠落していれば、今後に多大な影響をもたらしかねない。これからの担い手の育成は重要。中学校もしくは小学校でも接遇を取り入れたらどうか。生徒も大人も一緒に学びになる。最近は大人のモラル欠如が多い。	40代	女	神明町
町の明るい将来のために重要なのは「子どもたちの教育」だと思います。35年ほど前、大磯に移り住んだ時ですが、「昔から大磯は教育の町と言われていたのよ」という話を聞きました。将来を担う子どもたちを経済的にも心理的にも安心して育てられる政策にも力を入れてほしいです。	60代	女	石神台
・教育機関のレベルアップ（進学校やスポーツなど強みを作り、県外からの移住者を増やす）。	40代	女	台町
・いじめによる転校問題がありましたが、いじめられた子ではなくいじめた子側の将来やプライバシーを守る環境はおかしい。いじめた側の人間のメンタルサポート、いじめられた側の子が変わらず居住、学習できる権利のサポートが必要では？それも子育てサポートの一つだと思います。とても大きなサポートです。メンタルサポートについては町で活躍されているクリニックの先生方と提携してはいかがですか？もっと町の人間の活躍を。町の良いものを活用させてください。	40代	女	西小磯西
・小中学校の校舎、体育館建て替え（トイレ環境の悪さ改善）。	50代	女	台町
学校の校舎が老朽化しているので、子どもたちが安全に過ごせるようにしてほしい。中学校の学校給食を実現してほしい。夏場は衛生面。でも心配面。	40代	女	西小磯東
中学校の給食はどうなったのでしょうか？小学校の方式でよいと思うので、早めに実施してほしいです。	40代	女	台町
中学生給食の早期実現!!	40代	男	北本町
中学校給食の実現を早急に進めてほしい。	30代	女	山王町
高麗に住んでいますが、花水のバス停から毎日すごい人数の小中学生が乗ります。雨の日にはもっと乗車数も増え、先日はバスに乗り切れず、小学生の列の途中で次のバスを待ってくださるとしめられていました。スクールバスの検討を視野に入れていただきたいと考えます。	40代	男	高麗

ご意見	年齢	性	地区
・小学校、中学校から遠い地区の人が通学しやすい交通の整備をしてほしい。	30代	—	高麗
自宅や塾以外で勉強や作業を無料でできる場所がありません。図書館も大磯町は勉強NGです。自宅では集中できない。または自宅に居場所がない子どもたちが行ける自習スペースの確保をお願いします。また、図書館本館の会議室が開いている場合そこで勉強できるそうですが、開いているかどうかをHP等でリアルタイムに分かれたいです。国府の地区からはとりあえず行ってみようということが難しいため諦めてしまいます。学校の休日開放でも良いと思います。とにかく無料で快適に勉強できるスペースの確保をお願いします。	10~20代	女	馬場
・町内の学習教室環境を増やすような取り組みをしてほしい。例えばそろばん教室など。地域の中老年、高齢者と未来を担う子どもたちとのつながりの場を提供することにもつながると考えている。	30代	男	東町

■文化・生涯学習（9件）

ご意見	年齢	性	地区
多目的ホールを建て、式典、講演会、コンサートなどが出来るようになるとういと思う。	70歳以上	女	中丸
大磯在住の多くの有名な画家たちに対する芸術館建設は将来のまちづくりの一つに必要性大と思う。	50代	男	台町
③図書館をよく利用しますが、文化の町と謳うのなら、その象徴であるべき図書館にもう少しお金をかけた方が良いのではありませんか。カウンターのビニールや（コロナ禍の対策）布張りのソファなど、もっと機能的で清潔なものにしてください。	60代	女	北下町
・平塚や二宮に比べて。図書館の蔵書数が少ない。歴史的資料も含めて、文化的な町として自慢できる図書館であってほしい。	60代	女	西小磯西
・図書施設をもっと充実させてほしい（狭い、汚い、スタッフの高齢化）（本の種類も少ない）。	40代	女	台町
・大磯の習い事特集をしてほしい（子～大人まで）。	10~20代	女	東町
また、スポーツもできるように、町民の体育館もあると町内、外の人たちがたくさん利用してくれるのではないかなと思います。	30代	女	国府新宿
・健康推進のために子供も高齢者も利用しやすいスポーツ施設とその移動手段の確保。・ウォーキング、散歩しやすい通りやその途中のベンチ。・照ヶ崎プールの夜間開放、期間延長。・気軽に参加できる大人向け運動やプールの講座。	50代	女	台町
町営体育館等公共施設の充実。	30代	女	山王町

■保健・医療（3件）

ご意見	年齢	性	地区
大磯の町が大好きです。のどかで平和な町を守っていきたいです。近年、全国的に猛暑で特に高齢の方が多く、駅から家あまり近くないという地域柄に伴い、小さな子供や高齢の方の熱中症が、今後ますます心配になります。大磯の自然や景観、予算などを考えると簡単なことではありませんが、バス停に日陰が出来るようにしたり、道の側からちよろちよろ水が流れるようにする、ミストが出るようにするなど、対策を始めなければならないと思っています。そのために町民にできることをしていきたいです。30年後、50年後も自然と文化豊かで人々で賑わう、素敵な町でありますように。	30代	女	台町
年々加速する温暖化対応は個人の注意のみならず町として緑、日陰、ミスト等必須だと考えます。	60代	男	国府新宿
・医療の充実。・二宮の方が充実している（全て）。	30代	男	国府新宿

■福祉・社会保障（7件）

ご意見	年齢	性	地区
・高齢者の福祉サービスの拡充してほしい。他の市町に比べて利用できるサービスがない。	70歳以上	女	東町

ご意見	年齢	性	地区
看護師です。老々介護が多く、限界手前でその後どうしたらいいのか分からないという当事者家族によく対面します。もっとサービスを提供できるようにその事前の働きかけがあるといいと思います。町日、徘徊してパン1つ買い物して戻るとい人もいます。途中事故にあっていないだけで今後そうなるかもしれない、そういう人がほったらかしにされているなってすごく感じます。高齢者ドライバーもすごく多いけどもっとサービスが充実していれば運転しなくても済むのになって思います。大きくてきれいな公園があるのはいい事なのかもしれないけど、もっとそこにお金を使ってほしいなと思うところは多々あります。	40代	女	中丸
都心から電車1本で通勤ができ、自然豊かで、オンオフつけやすいライフスタイルができる大磯に住みやすさを感じています。ただし、車がないと生活がしにくい点は（バスの本数や終バス早い）、高齢者になった時に住みやすい町であると感じるか少々不安です。社会保障費の増大に関するかもしれませんが、介護施設の充実を期待しています。身体障害者である親のリハビリ施設を探すにあたり、リハビリ内容が充実している（リハビリ、トレーニング目的）理学療法士など専門家がいる施設は多くあると思いますが、受けられるサービスにもっと幅があれば、高齢者になっても暮らしやすい町になるかと思えます。居住者を増やすより観光業に特化した街づくりを目指すのであれば不安かもですが。	40代	女	馬場
・福祉センターを守って下さい。	40代	男	西小磯東
・老人が気軽に利用できる施設がない。	70歳以上	女	西小磯東
・障害を持つ人でも安心して暮らしていける街づくりをしてほしい。	30代	男	東町
普通に働いているのに、三度の食事すら満足にとることが出来ない住民（特に子育て中の母子家庭等）はなくしてもらいたい。	50代	男	寺坂

■自然環境（12件）

ご意見	年齢	性	地区
山王町松並木敷の10年、30年、50年、100年先の構想は当然持っている。作られていることと思いますが、付近の住民の協力が得られなければ出来ませんが住民に対する、説明、話し合い等は持っているのですか？	70歳以上	-	山王町
自然豊かな大磯が大好きです。これからも自然を残しつつ子どもがすくすく育つような町になってくれることを願っています。治安も良く住みやすい町だなと感じています。	30代	女	国府新宿
川をきれいに、山をきれいに。	50代	-	中丸
不動川に鮎が遡上するのはご存じですか？カルガモ親子、カワセミはご存じですか？・生活排水垂れ流し。ごみのポイ捨て。・春（生命が育む時期）の河川工事。・河口（旧吉田邸付近）のごみ問題。日常的に海、川に楽しみ、自然に囲まれた生活に住み続けたい条件です。	60代	男	中丸
自然と歴史を大切にしたい。魚の住める川（水がきれい）があるとホッとします。国道1号の三沢橋（大谷クリニック脇）に白いヘッドロが流れ込んでいて残念です。以前、小魚（カワムツ？）が住んでいました。	60代	女	北本町
・「安全、安心、便利、快適」の名のもとに大磯がどこかで見たことのあるような街にならないことを望んでいます。どんどん生け垣や緑も少なくなっていくのを目のあたりにして残念です。他の町と似た場所ならば住む動機もなくなります。「安全、安心、便利、快適」のおかげで、全国つまらない町が増えたように個人的に思います。	40代	男	台町
大磯には緑の基本計画や景観条例など、大磯の美しい自然や景観を守るはずのものがあるのに、まちづくりに生かされていないように思う。総合計画にも掲げられている「紺碧の海に緑の生える住みよい大磯」こそが昔も今も町民が望み、そして未来へ受け継いでいく大磯の姿なのではないかと思う。豊かな自然は大磯の財産。すでにある自然を育み、もっとまちづくりに生かしていただきたい。	60代	女	高麗
3. 個人所有の屋敷林等への対策。良い環境を維持するには樹木や雑草など植栽管理に多大な費用が掛かる。公的援助必要と思う。	70歳以上	男	茶屋町
山、緑、自然、動物を大切にまちづくりをしてほしい。	40代	女	西小磯西
・川が汚くて悲しいです。様々な野鳥が立ち寄ってはいるものの、川が汚さすぎて写真を取る気にはなりません。なぜあんなに汚いままなのでしょう。	30代	女	中丸

ご意見	年齢	性	地区
大きな家が壊され、1軒から複数の住宅になっていますが、もう少し緑地が残るような対策を取らないととても殺風景な町になりそうで心配です。	40代	女	茶屋町
・川に遊歩道があると好ましい。	60代	女	—

■公園（13件）

ご意見	年齢	性	地区
国府新宿の二宮近くに住んでいます（海）。南側の農地など活かして子どもが遊べる公園を増やしてほしいです。	30代	女	国府新宿
子供たちが過ごしやすいよう、大きめの公園、また大人も楽しめるよう自然公園のようなものが将来できると嬉しいなと思います。	30代	女	国府新宿
②自然には恵まれているが、車や重装備がなくても気軽に行ける自然公園が少ない（旧三井家跡くらい）。	60代	女	北本町
公園も規制が厳しく、子どもたちが野球の練習が思いっきり出来ていない遊び場が少ない（外での）。	40代	女	裡道
3. 公園、運動場の整備…外国観光客の呼び込み。	60代	男	馬場
・馬場公園の水飲み場の蛇口はスイッチを手で押している間しか水が出ません。片手が不自由な人、小さい子供に手を洗わせようとする保護者にとっては少し不便かと思います。馬場公園のインクルーシブとても良いです。小さい子でも安心して遊ぶことが出来ました。素敵な公園にしてくださりありがとうございます。	30代	女	生沢
・公園に大人用の鉄棒など健康推進につながる設備を整えてほしい。子どもは更新が進んでいる点は高く評価している。幅広い世代の健康増進を計り、これからの高齢化社会に対応するためにも、中高年が体力向上を図ることのできる設備を各公園に設置してほしいと感じている。	30代	男	東町
最後に、大磯町はもう少し子供に優しい町であってほしい。公園はどこもボール禁止、運動公園は芝を張ったため、子どもでも使用料を取る、放課後の校庭も園庭も今では使えない。そのため、子どもはどこかに所属しなければ、体を動かすこともできず、所属させるために、親は時間と費用を使わなければならない。耕作放棄地があるのなら、子どもたちのために町が借り上げて、ただ、平らにしただけの小学生以上の体力のある子たちが、子供同士でサッカーでもバドミントンでも鬼ごっこでも自由に遊べる何も無い場所を作ってあげてほしい。	50代	女	茶屋町
5歳になる娘に「大磯をどんなまちにしたいか」聞いたところ、「遊ぶ場所が欲しい、家の近くで」とのことでした。確かに家の近くの宮之上公園は公園としての機能も少し不十分だと思います。公園の整備及び開発について、検討していただくと嬉しいです。	30代	女	台町
子どもの遊び場が（公園）少し足りないように思います。国の政策なのかもしれませんが、なかよし公園や馬場公園など前の遊具の方が挑戦をする要素がなくてよかったです。障害者でも楽しめるのは大事ですが、そうでない人の成長や楽しみを抑えるというのは違う気がします。すべて画一的なものにする必要があるのでしょうか？	40代	女	茶屋町
・公園の遊具が新しくなり、嬉しいです。	30代	女	馬場
・子どもが気兼ねなく遊べる施設、公園を高麗地区にほしい（特に小学生）。	30代	—	高麗
・公園少なすぎる。もっと増やすべき。	40代	女	台町

■地域環境・廃棄物処理（15件）

ご意見	年齢	性	地区
穏やかな気候と済んだ空気に恵まれた土地で15年変わらず静かに暮らしているので特に不便も不安もありません。静かな住環境が続けばよいなと思います。	50代	女	台町
大磯町には大きなショッピングモールも娯楽施設もない。けれども、そこを好んで住んでいる人が多い町だと思う。なので、まちづくりはそのような住環境を大切にしたい。	50代	女	茶屋町
川、海の近くに住んでいます。臭いが気になります。特に雨の前後、台風で川の流りが滞る時は特に。自然豊かでない面と、自然災害への不安から転居も考えます。	40代	女	中丸

ご意見	年齢	性	地区
住宅地の中で BBQ をすることを禁止してほしい。BBQ だけでなく飲み会のようなことをしたり（飲酒）夜遅くまで話し声が聞こえる。車のアイドリングや路上駐車も取り締まってほしい。溝蓋の鉄板の音が異常にうるさいので改善してほしい。人が歩くだけで音がする。	60代	女	東町
海水浴客のごみのポイ捨て、大磯市後のごみのポイ捨てが多いため、何らかの広報、周知が必要では。	40代	男	北下町
・小さな河川が堆積物で幅が狭くなっていて大雨の時など水があふれそう。ゴミが違法投棄されていて町が汚い感じを受ける。	70歳以上	女	西小磯東
道の確保から住宅を配置が理想的だけど…難しいよね。お犬様の排出物の汚れた歩道を歩くのがいまましい昨今です。別途になるよう近未来に望みます。	70歳以上	女	馬場
・街を歩いていて気になるのは歩道やバス停周りに雑草がぼうぼうに生えていることが多い事。観光地としての大磯のイメージがあるが、整備が不行き届きで、期待してこられた方はがっかりすると思う。せめて、駅からバスが通る道沿いについては、年間を通して景観に気配りが必要だと思う。	60代	女	西小磯西
③秋～春は町内一斉清掃の頻度をもっと高くても良いのではないのでしょうか。落ち葉ボックスもぜひ続けてください。港や駅前のトイレがいつもきれいで大磯町の印象がとてもよくなっていると思います。	50代	女	西小磯西
4. 枯葉、落葉等の清掃を公的業務に推進する。国道沿いとかではなく森林等が近くにある地域の町道を中心に清掃する。特に秋の時期。	70歳以上	男	茶屋町
桜もきれいなのに汚い川と川岸でもったいないです。	30代	女	国府新宿
缶ゴミ、ペットボトルの回収頻度が少ないです。	40代	男	東町
県内の市町はあと 2,3 年で個別回収を始めるのに大磯は個別回収に話題もない。遅れている。	10~20代	女	馬場
特にありませんがあげて言うならば、ごみ集積所のカラス除け収集庫、ゴミストッカーゴミステーション大容量の（紺色のネットのもの）設置していただきたいです。ご近所の方がカラスによる散らかしをいつも掃除しています。ご検討いただくと幸いです。	50代	女	国府新宿
・ゴミ回収時間がいつもまちまちで早い時もあれば遅い時もある。道路の混み具合やごみの量によって、時間が前後するのは仕方のないことだけど、分かりやすく、スマホでリアルタイムに今どこのあたりのごみ回収をしているのか、とか、もうすぐ自分の家の近くのごみ回収来る時間とか分かるようなシステムを作してほしい。車から流れてくる音楽だけだと、耳の不自由な人や、高齢者には聞こえないと思うから何か工夫をしてください。	10~20代	女	東町

■土地利用（6件）

ご意見	年齢	性	地区
・西湖バイパス、小田原厚木道路で東西どちらにも行ける地の利を活かした土地利用。	40代	男	中丸
旧 NCR 土地の問題解消及び活用。	40代	男	山王町
日本 NCR 株式会社の跡地が有効的に活用されることを望んでおります。	50代	女	東町
所有者から負の土地と言われている農地の開発をしてほしい。	60代	女	生沢
空地があればすぐ住宅ができるのが残念。緑、畑や公園などを作ってほしい。家が密集してきて大磯の良さがなくなっている気がする。	40代	女	裡道
・高麗の NCR 跡地をいい加減に何とかしてほしい。もう 20 年近くあのままなのは？ショッピングモールは無理でも、活用できなくても、あの景観を損ねる空き地は町が強いリーダーシップをもって関係の各所と調整してどうにかしてほしい。その他、空き家についても火災や地震の際の不安があるので整備してもらいたい。	30代	女	山王町

■空き家対策（6件）

ご意見	年齢	性	地区
・リフォーム済みの家をより多くしてほしい（駅付近）。	10~20代	女	東町

ご意見	年齢	性	地区
私の息子もそうですが、周りを見ましても大磯に職がないため、大学等で外に出ると結局戻って来られず夫婦二人で生活している。その結果どちらか一人かけると一人生活。一人生活出来なくなったり、死ねば空き家となります。新しく土地を開拓して家を建てている場合ではないと思います。自然もどんどん減っています。ジョンソンを大事にすべきでした。平学の球場にすべきではなかった。	60代	女	国府新宿
うちは空き家に挟まれています。所有者は気にしていないようですが、木が大きくなり、うちにかかってきたり、風が強い日は崩れている屋根などが飛んでこないか心配です。所有者の連絡だけではなく、近所の人の相談も受け入れてくれればと思っています。国府新宿、六所神社とうどん屋さんの中にあります。	30代	女	国府新宿
・空き家解体費用を補助してほしい。解体したいが経済的に厳しいので空き家のままで近所の迷惑にもなっているはず。	50代	女	中丸
・大磯駅入口交差点の一角が空き家？（シャッターが閉じているまま）なのは何とももったいない気がしています。再開発のご検討を望みます。	60代	女	東町
古風の建物が空き家のまま放置されていることはもったいないと感じるので、町でレンタルスペースや宿泊所として貸出することは難しいでしょうか。大磯町の古き良き町並みが大好きなので、新しい事業を始めて町の活性化することも大切であると思いますが、ぜひ、この町並みの存続をすることも続けてほしいと感じています。	10~20代	女	馬場

■景観（5件）

ご意見	年齢	性	地区
住宅近くの町の土地や公園等の大きくなり過ぎた木の伐採。古くなり壊れそうなフェンス、ベンチ等定期的に点検してほしい。古びた住宅に見え景観がよろしくない。	30代	男	石神台
駅前（交番側）の空地利用について広報されているのか。→カフェが建設中であるが外観は無機質で大磯にそぐわない。	60代	男	東町
4. 海水浴場発祥の地なのに、西湖バイパスで景観は台無し。	60代	男	馬場
大きな屋敷が売却される際に木々が伐採され緑が大きく失われている。新しく建てる際には木々を敷地の何%植える規定を加えるべきだと思う。町に景観を損なう看板が増えている。特に丸源ラーメンとかつやは看板の色、大きさに必要性を感じられず、看板撤去の必要性大である。街の中心の交差点、大磯町の大きなイメージダウンにつながる。便利を優先する都会暮らしではなく、これから先も大磯らしさを求めて在住している人たちにとって、無駄な近代化の建物や大規模店開発などの方向でまちづくりを考えることには反対である。	50代	男	台町
大磯というリゾート地のイメージを活かして、住宅や商業施設の町並みを調和していけるとよいと思います。小さな家が密集している都心のような住宅ではなく、ゆとりあるサイズの土地に住宅や商業施設がある方が大磯のイメージに合っていると思います。都市部と同じような町並みでは差別化ができないと思います。	30代	男	石神台

■道路（12件）

ご意見	年齢	性	地区
・道路、歩道橋がでこぼこ。・大磯駅のホームの屋根の延長希望。・駅前が狭い。	30代	女	中丸
海も近いけれど道の整備も残念です。	30代	女	国府新宿
・町道の管理をしてほしい。	40代	女	寺坂
・駅前ロータリーをどうにかしてほしい。通勤、通学の時間帯はカオスです。駅の山側を整備してほしい。星槎のバスが邪魔すぎる。なぜあんなところで待機させるのをOKしたのか？まったく迷惑です。	50代	女	中丸
裏道でスピードを出して走る車が多く危険。スピードを出すことができないように警察と協力して道路に凸凹をつけるか、白線等で視覚的に働きかけるなど、道路の整備をしてほしい。	40代	男	北下町
・大磯駅入口交差点の歩道橋を利用している人を見ることがありません。撤去する予定はないのでしょうか？	60代	女	東町
③小さな路地が歩きにくい。中央にU字溝があり、アスファルトもガタガタしている。	60代	女	北本町

ご意見	年齢	性	地区
①道が狭い。②大磯町という名前で転入したが早く出たい。③狭い土地に家が多すぎる。④大磯という名前なのか土地が高すぎる。⑤住環境の良いところを探す。名前で選ばないところを。	70歳以上	男	中丸
道が狭い(生活道路)。	40代	女	馬場
子供を連れて公園に行くにも歩道が狭い、雑草が生えて通れない、道ががたがた、道の傾斜がきついなど、歩くのもベビーカーを押すのも苦労します。歩道の整備、拡張を希望します(丸源ラーメン付近)。既存の住宅でもセットバックして道路を広くしてほしいです。セットバックの有無でジグザグな道は車が途中までしか通れず、もったいないです。建て替え等がなくてもセットバックの協力依頼をしてほしいです。	30代	女	中丸
①街中にベンチや街路樹による木陰が増えて、歩きやすい道が増えたら嬉しいです	50代	女	西小磯西
・道路がでこぼこで狭く自転車で走るのが怖い。	70歳以上	女	西小磯東

■交通(16件)

ご意見	年齢	性	地区
・台町の交通の便を改善してほしい。	10~20代	女	台町
高齢者が増えている町であるが反対に外部の方が入りやすい町でも感じています。町外から転入して一番困ったのは、バスの本数の少なさと衣服を買える店がないことです。20年近く生活していますが、今も変わらずバスの本数は減り続けています(始発の時間も遅くなっています)。改善していただけると助かります。	40代	女	生沢
バスの本数が増えたらうれしいです。	30代	女	生沢
家の近くに、足が悪くなってしまい買い物に行けない人や、高齢になり車の免許を返納し、外出機会が減っている人がいます。そういった方が買い物をしたり外に出かけたりする機会を守るために、ライドシェアや以前あった大磯宅配の復活を検討していただきたいです。	10~20代	女	台町
1. 交通空白地の解消を希望する。町内をコミュニティバス等で循環すれば駅、買い物、病院など生活しやすくなると思う。	70歳以上	男	台町
・老人に対してはマイカーを捨てるなら、それなりの交通手段を考えてほしい(年間何回か使えるタクシー券等)。財政困難なのは分かりますが、何かアイデアをみんなで考えてほしいと思います。大磯を誇れる町にしていきたいです。	70歳以上	女	長者町
バスがあまりなくて困っています。生沢は駅からめっちゃはなれているから、夜バスないと困ります。	10~20代	女	生沢
大磯駅へのアクセスが不便(坂がきつい)。東口を整備しアクセスしやすくする。高齢者が増えており、若者誘致のため、コミュニティバスや買い物がしやすい環境整備。	40代	男	山王町
高齢化が進む中、車での移動が不自由になり、コミュニティバスの利用が必要になる。町全体で自動化の促進及び開発を行政、民間企業等で進めるべきである。	10~20代	男	石神台
2. 駅までのバス通勤が不便。	60代	男	馬場
5. JR大磯駅。みどりの窓口がなく不便。チャイムに大磯の色がない。平塚駅は七夕ですが。	60代	男	馬場
大磯は自然が多い、良いところだと思う反面、町に対して何の発展も進歩も全く期待はしていないし、町民からの意見もまったく通らない。環境が良くて引っ越してきたが、家庭状況で車が一台しかなく、とにかく、駅までの交通の便が悪い。以前は徒歩30分ほど駅まで歩いたが、この暑さと高齢の親も一緒にコミバスを利用、バス停までも10分程度かかり、本数も少ない、普段は小学生1人位だが雨や暑い日は小学生5~6人になりバスも満員になるときもある。スクールバスを出したらどうかと思ってしまう。しかもマスクもせず咳をしている。小学校からも咳エチケットでコロナとは別に声掛けしてほしい。乗り合いタクシーはかなり前に提案もし実施されたが、30分前の予約など予約方法も面倒です。あと以前、乗り合いタクシーアンケートがあり、停留所の希望も出したが、何の回答もなく、何のためのアンケート、何のための町民の意見なのだろうか?今は子供には手厚いが、これから高齢者も多くなり、車の運転に代わる手段を考えてほしい。テレビ	50代	女	西小磯東

ご意見	年齢	性	地区
で見たがどこかの田舎で無人運転バスがやっていた。もちろんお金がかかり、デメリットもあるが交通空白地の事もっと考えてほしい。そういう面が便利になれば大磯に住むのも良いと思う。出来ることなら交通便の良いところに早く越したい。町長さんがどれだけ町民の意見に寄り添うのか、でもこういう意見を出せる機会は良いと思う。			
高齢者が通院、買い物移動に困っている。町内で買い物したいと思っても駐車場がないので平塚まで行っている。	30代	-	西小磯東
②公民館前から週に何度か買い物バスが往復すればお年寄りが助かると思います。	50代	女	西小磯西
・路線バスの減便がたいです。	40代	男	西小磯東
自然は豊かな町は気に入っているが、自分が高齢になった際には買い物難民になってしまいそうで移住も考えなければと思ってしまう。他の県で無人で移動する(買い物する場所への)バス等導入難しいとは思いますが実現出来たら嬉しい。	50代	女	生沢

■産業・観光 (57件)

ご意見	年齢	性	地区
町民人口の大幅な増加が見込まれない中、今後の安定的な町財源を考えた場合、新たな企業誘致を促し、町財政を豊かにして新たな雇用環境を生かすことでさらに大磯町が活性化するような施策を講ずることを提案します。	60代	男	国府新宿
個人で面白い商売をしている人たちが多く、そういう人たちが大磯の雰囲気を作り出していると感じる。町が何かするとか、大企業を誘致するとかではなく、そういう個人を応援、参入しやすくすることが大切と思う。	-	-	-
・また、大磯町で大きな商業施設があれば他の町や市に行かなくても済み、雇用が生まれ町内が回りだすと考えます。老人にも出来る仕事があればいいかも。子どもを育てる系の仕事、家事を手伝う仕事などあるといいかな。	40代	女	国府新宿
町外から転入してまだ日が浅いので、知らないことも多いです。ただ、名所が多く、政治家由来の財産があることは知っていましたが、滄浪閣が長年、放置されていたのは残念でした。現在、手が入っていますが、もっと早くに何とかすべきだったように思います。大磯港と江の島をつなぐ海上ライン、大磯コネクトなど町民の利用は少ない気がします(駐車場代が必ずかかるし)。町の繁栄に観光は必要なのだと思いますが、町民の日常生活に活気や魅力ある施設があるとよいと思います。	60代	女	西小磯西
企業誘致も行政が割安でネット回線を使えるよう仲介するなどして、環境負荷があまりかからず、利益を出せるとされる IT 系の企業を誘致するのはどうだろう。小規模企業やスタートアップ企業などであれば、空き家活用にもつなげられるのではないかなと思う。	50代	女	茶屋町
5. 大企業誘致による法人税の増額を考える。観光、レジャー産業などまたプリンスホテルと協同でイベント開催等、人が集まることの企画且つ定期的に継続をさせることが重要と思う。	70歳以上	男	茶屋町
先日、某テレビ番組で県内でも「大磯」と聞くと一目置くといったような発言があったように、ある一定の年齢層には非常に認知度も高く、あこがれる場所でもあるが、若い世代はどうだろうか？と考えると魅力的とは言えないような気がする。観光業だけではなく、首都圏の強みもある地域だと思うので、ベンチャー企業と面白いビジネスを立ち上げたり若い力を取り込んでしっかり支援して、「大磯って小さな町だけどすごいよね」と言われるビジネスの面でも盛り上げてくれると嬉しいなと思う。	50代	女	馬場
・農振地域で今後後継ぎがない中、将来どうしていくのが逆に聞きたいです(この土地はどうすればよろしいのですか?)。教えていただきたいです。	40代	女	寺坂
住み始めて短いですが、とても良い町だと思っています。私は農業に一部従事していますが、農地の貸し出しなどがなかなかスムーズに行かない状況です。また、家(空き家)の活用も同様に地域の活動にもいくつか参加していますが、あまり盛り上げられていないように思います。	40代	女	東町
野生動物による農作物の被害を防いでもらいたい。	70歳以上	男	石神台

ご意見	年齢	性	地区
自然豊かな町だからこそ、野菜動物やスズメバチ等対策が必要です。対策や支援を町に積極的に対応いただけると幸いです。	40代	女	神明町
最近、古民家カフェが増えて休日に町内で過ごせる場所が出来てありがたいと思っている。町内に飲食店や衣料品店、スーパーなどがもっと充実してくると、より過ごしやすくなる気がする。今のまま、風景が素晴らしく、買い物もできる街になったら嬉しい。	60代	女	山王町
・自然保護より思いきった商業開発が必要。	60代	男	寺坂
・隠れ家のような店舗が増え、町内にお金が落とされるような商業地帯。	40代	男	中丸
・ちょこザップおいてほしい。・子どもと入りやすいお店欲しい。・もっとフェアを増やしてほしい（パンフェア etc）。	10~20代	女	東町
買い物の場の確保。早急に解消したほうが良いと思います。みんな、平塚に買い物に行く、駅前には廃れているし車がないと不便で、買い物する場（スーパー等）が少ないから。大磯で消費する人が少ないということです。この町、いつかなくなるのでは？と思っています。	30代	女	東町
・おしゃれなカフェが欲しい。・コメダコーヒーが欲しい（マジでかつやじゃない）。・本屋がない。・大手スーパーが欲しい。・遊ぶために町外に出る必要がある。	30代	女	中丸
二宮駅を主に利用するので大磯駅の開発には興味がありません。国道1号沿い二宮寄りの国府地区にコンビニが出来てかなり便利になりましたが、ドラッグストアなどもいつかできたら嬉しく思います。	30代	女	国府新宿
JR東海道線の北側にコンビニエンスストアが必要。もしくは巡回する移動スーパーかな。	60代	男	西小磯東
私は大磯町内の学習塾でアルバイトをしています。その中で、生徒からよく聞くのは「本屋がない」、「文房具屋がない」ということです。小中学生の読書習慣や読書への興味のためにも、本屋があればうれしいです。	10~20代	女	台町
駅前等が不便である。銀行や本屋、食堂、食品店など、町としての機能を充実させてほしい。	60代	男	山王町
・駅前の活性化の推進を希望します（独りよがりな発展はだれも望んでいない）。駅の改札においてつばめを優先しないでほしい。	40代	女	南本町
空いている土地に住民などが集まれる、おしゃれなカフェのような場所をたくさん誘致してほしい（Tサイトのようなイメージ）。	30代	男	高麗
大規模商業施設がほしい!!	40代	男	北本町
国府地区にはスーパーが1店しかないのもう1店はほしいと思う。	70歳以上	女	中丸
商業（店）が少なく、生活必需品の購入すら困ってしまう。地元の産業に着目し、お店を増やしてほしい。活気のある町にしてほしい（伝統、歴史、観光も良いのですが）。	50代	男	月京
食品スーパーが少ないので、もう一軒あればと思っています。	40代	女	生沢
①商店の閉店時間が早く、クリエイトとコンビニしか開いていない。帰宅途中で買い物をすることが多いので、地元にお金が落ちない。	60代	女	北本町
商業施設を誘致して、生活に必要な時（衣・食）が容易に手に入るようにし、税収の向上と生活の利便性の向上を図っていただきたい。	50代	男	生沢
空き家や空き店舗をリノベーションしてカフェやアートスペースが増えると嬉しいです。	50代	女	東町
平塚市にはヨークマート、OK、イオン等のスーパーや飲食店等が結構ありますが大磯町にはスーパーが少なく、存在しているスーパーは品数が少なく、魚や野菜の鮮度が悪いので大手のスーパーを誘致していただきたいです。	60代	女	馬場
1. スーパーが近くになく、お年寄りには不便。あってもヤオマサ位。	60代	男	馬場
大きな商業施設があればとても便利になる。	50代	女	山王町
・大磯にもビジネスホテルや、飲み屋街がどこかにあるといいです。	40代	女	国府新宿
・大磯は美味しい飲食店が多く気に入っていますが、子どもが生まれ子連れで気軽に入れるお店は中々なく、ベビーカーだと入れないと諦めています。ベビーカーもですが車いすの方も入れるお店が出来たらいいなと思います。・クリエイトが出来るととても楽になりましたが、町の中心駅周辺にスーパーがないのも買い物に不便だと感じています。・個人商店のキャッシュレス化がもう少し進んでくれ	30代	男	北本町

ご意見	年齢	性	地区
ると買い物もしやすいのですが、パイパイのみなところも多く過大かなと思います。			
スーパーや飲食店が少ないので不便。	30代	女	馬場
西小磯は店がない、親が買い物難民になっている。	30代	－	西小磯東
飲食店を誘致してほしい。外食するとき店がなくて困る。	40代	男	西小磯西
・買い物先がないのがつらい。今は自分も親も元気だから良いがそうでなくなったら困るので、大磯に長く住み続けられないと思う。また夏の熱中症の心配もあって徒歩で買い物へ行けないことを考えるとどうしたらよいかと。タクシーやバスの高齢者割引などがあるとありがたい。高齢者のフレイル予防にもつながり、結果として医療費削減になる。	30代	女	山王町
景観重視で高い建物の制限にうるさく、ショッピングモールさえもなく平塚や小田原に行かなくて、ならない点は不便すぎる。	50代	女	生沢
・買い物が1度に住む商業施設が欲しい。(スーパー、薬、ATM、赤ちゃん用品 etc)。	30代	女	馬場
企業誘致による税収入アップ。	50代	男	山王町
2. 観光客が、お金を使いたくなるような町づくり。	70歳以上	男	台町
海外からの観光客が大磯にも増えて、駅からのバス等の利用の案内が不十分。観光案内所が分かりにくかったり、駅前の人の緩和が出来ればよいと感じます。	40代	女	中丸
・歴史を守りたいのか観光として活用したいのかももう少しはっきりした方がよいと思います(歴史的施設を観光地として活用するのなら、観光客からもっと収入を得ること)。 ・観光客を呼びたいのなら、飲食店、お土産屋など地元の眠っている良いものをもっと提供できる場を作るべき(6次産業の町によるサポートなども)。	40代	女	西小磯西
「湘南」という言葉が各メディアなどで注目されている中、西の小田原、東の辻堂、茅ヶ崎、藤沢と名前が知られている現状で「大磯」という名前の広報活動へ十分ではない気がする。「静かな街」は魅力ではあるが、街の活性化を考えたら、集客と広報活動は必要不可欠であると思う。	10~20代	男	東町
・花火大会を3回に分けて短い時間となるのは醍醐味がない。もっと盛大にやってほしい。	60代	男	生沢
・観光資源の有効活用。	50代	－	西小磯西
湘南乃海関に大磯町の観光大使になっていただきたいなと思います。町で応援したいです。	40代	女	台町
6. 吉田邸など多くの著名人がいたのに、もっと宣伝し、観光客を呼ぶべきかと思います。	60代	男	馬場
品ある町大磯を残しつつ、もっと観光に力を入れてほしい。	40代	男	高麗
・大磯町はより観光客の誘致に注力していくべき。そこで落ちてきたお金を住民のため(一部でなく全体の)に活用してほしい。東京から電車乗り換えなし1時間程度で着くので観光にはもってこいなのに魅力がなくてもったいない。ドラマのロケ地とか、大磯を舞台にしたアニメを作るとかすると聖地巡礼してくれるのでは。そのために、若手のクリエイター(ドラマ脚本家やアニメーター)の援助をすとか、いいのでは。文化振興にもつながる。それが既存ジャンル(ポケモンなど)とコラボして、町に来てもらいやすくする工夫をするべき。	30代	女	山王町
観光資源があるのに生かし切れていない。また道の駅などを誘致する等してほしい。	60代	男	西小磯西
・吉田茂邸などで、散策ツアーに来ている高齢者の団体をたまに見かけます。この町の歴史的な建造物などに興味のある方は多いのでしょうかけれど、商店や食事をする場所が近場がないのですぐバスに乗って帰るだけです。また、大磯プリンスホテルに来る若者が橋を渡って国府本郷のローソンへ行く様子もよく見かけますが、ローソン以外買い物ができる場所がないのは不便だし退屈だろうなと思います。あまりの何もなさに、私が川沿いにキッチンカーでも出そうかなと想像するほどです。大磯を観光地にするのであれば、山や海や史跡を盛り上げる商店やアクティビティが必要ではないでしょうか。モニュメントだけでは町にお金が落ちません。食事や買い物ができる場所があればもっと活気づくのではないかと思います。	30代	女	中丸

ご意見	年齢	性	地区
歴史がある町を活かしての行政を願います。一番気になっていることは大磯の歴史を求めて、多くの方が来訪し、その方々を迎えるボランティアの対応等、受け入れは十分できていると思っておりますが、それらは町の印象を高めていますが、ほとんどお金を残せておりません（と思います）。明治記念公園も整備され公開されようとしていますが、ぜひ大磯にお金を残してくれるものを（例えば旧吉田邸では老舗新杵でも作ってもらいたい「バカヤローまんじゅう」と茂さんが好んだ井上の「カマボコ」セット等）。とにかく大磯に来られた方を手ぶらで帰さない。駅前広場に大磯物産市場を開設しては、休日に駐輪場に臨時にどうでしょう。	70歳以上	男	石神台
・女性が大磯で仕事が出来（仕事場を増やす）、子育てしやすい土地にする。学童を小学校とサンキッズに作る。	50代	女	台町
若い世代が、大磯で仕事をしたい…というところが今ない。地域環境は難だが作らねば地域活性化へと持続可能な事業とはならない。	40代	女	神明町

■コミュニティ・地域振興（6件）

ご意見	年齢	性	地区
・外国人との交流イベント。	10～20代	女	東町
・夏のお祭りの地域の人の負担が多く、みこしの担ぎ手を外部から呼び、それに対する接待など違和感を覚えた。	40代	女	南本町
子供会の崩壊の次は町内会も…。コミュニケーションの在り方も激変（SNS等）。まちづくりの中心は人であると考えます。箱モノを作るにも確固たる目的が重要。新たなコミュニティも重要、過去の遺産を守るのも大事。人からコミュニケーションをなくすことはできないので、まちづくりの中心に考えていただければと思います。	50代	男	馬場
高齢化や空き家対策が必要。子どもたちが安心して過ごせる周りの目や手も必要だと思う。地域でお互いに協力しあう体制が取れるのが望ましい。	60代	女	高麗
まちづくりと違うかもしれませんが、花火を何回もやってくれていますが、私のところからはまったく見えません。それぞれ別の所（ex. 大磯港、西山磯の海、国府の海など）でしてほしいです。大磯にしかない磯と身近な山を最大限に活かした。まちづくりを町民と共に作ってほしいです。よろしく願いします。	50代	女	西小磯東
大磯の夏ならではの花火や水鉄砲、盆踊りなどイベントがたくさんあり、いつも楽しく参加させていただいております。いつも町長さんも参加され、楽しんでる姿はとても素晴らしい大磯の魅力だと思っております。	30代	女	国府新宿

■広報・広聴（13件）

ご意見	年齢	性	地区
町の広報は税金で作られていることは分かっていたが、その広報を配る自治体にも配布手間賃として税金を払っていることは知らなかった。スマホを使える人は、紙で広報を受け取らなくても必要な時に町のHP見ればいいので、ペラペラ見てすぐゴミ箱行きのものに税金使う意味が分かりません。希望者にだけ配布すればいい。高齢者は年に1回のゴミカレンダーさえあればいいと言ってます。	40代	女	石神台
回覧板の廃止。町内会をすんなり抜けられるようにする制度を作ったほうが良い。強制的に入会させ続ける風潮がまだまだ根付いている。広報とか読まないからゴミになる。欲しい人だけに配ったほうが良い。毎月ポストに入れに行くのもめんどくさすぎる。	30代	女	生沢
・回覧板の制度を廃止してほしいです。	10～20代	女	月京
この度はこのような機会をいただきありがとうございました。まずはよりよい街づくりのため、毎日のご尽力いただいておりますことにお礼を申し上げます。ご近所の外国人の方からゴミ出しについて聞かれました。話し言葉はわかるのですが、日本語が読めなくて困っているとお話でした。主な言語でゴミ出しや、健康病院に関わる情報、緊急時の連絡などが伝わる良い方法があればよいと感じました。少し前の事なので、状況が変わっていたら申し訳ありません。ずっと心に引っかかっていたのです。よろしく願い申し上げます。	60代	女	山王町
町のホームページが大変見づらく、必要な情報にたどり着けない。ほしい情報が載っていない。	30代	女	長者町

ご意見	年齢	性	地区
最近、大磯町の情報は駅前配られる「イクトー新聞」くらいでしか見ていません。町のHPやマチイロのような聞いたことのないアプリではなく、SNSで情報を流してほしい。お気に入りにしておけば自然に目につくため。町の情報を能動的に積極的に得る時はめったにないです。SNSなら目につくと思います。そこから意識させられると思われれます。	40代	男	西小磯東
・YouTubeやSNSといったツールを使つての発信ができることを頑張っているなという印象を受けました。	30代	女	中丸
・大磯町の駐輪場等でもっと町内の情報を発信してほしい。	30代	男	馬場
通信関係の仕事をしております。将来、高齢者向けのIT支援をボランティアで実施したいと考えております。ITを通じて買い物や各種情報提供を促進したいと考えます。	50代	男	高麗
自然や歴史、環境等非常に魅力があるにも関わらず、外に向けての発信が弱い様に思います。この町が持つポテンシャルとしては逗子葉山に引けを取らないと思いますが、ブランド力は大きな差をつけられています。情報発信をしっかりして、魅力を伝えていくことで、観光や移住先として選ばれることも重要です。町民が外に出ていかにしていくことも求められます。	50代	男	高麗
日頃は町のためにご尽力くださいます。誠にありがとうございます。現在、高齢の親と暮らしていますが、耳が遠く、スマホやパソコンなど何も使えないので、自分で情報を取りに行くことが出来ません。そういう高齢者の方が他にもいらっしゃると思うのですが、たとえば防災無線の放送が聞こえない方の為に有線放送の導入をご検討いただくことはできないでしょうか。時代に逆行していると思いますが、ひとりぐらしの高齢者の方、家族がいても日中一人になってしまうご年齢の方の為に、有線放送のご検討をなにとぞよろしくお願い申し上げます。	60代	女	台町
特になし。防災無線が聞きづらい。	70歳以上	男	生沢
2. 防災無線は個別に放送するときは聞き取れるが、一斉放送の場合、音声がかぶりまったく聞き取れない。内容不明になる。	70歳以上	男	茶屋町

■公共施設・庁舎整備（6件）

ご意見	年齢	性	地区
④観光客も大事ですが、住民のための施設の充実を望みます。	60代	女	北下町
・財政厳しい中ですし、公共施設を作るのも難しい時代だとは思いますが、出来れば各町内に1つはほしいところです。芸術（能）活動、スポーツ活動、住民のコミュニティの為に必要だと思います。	60代	女	山王町
・役場をもっと明るい雰囲気にしてほしい、暗い。	40代	女	南本町
・現在地での町役場の建て替えに反対する。	60代	男	生沢
・まちづくり等業務を行っている役場の労働環境整備が必要ではないか？デスク作業等で明るさが必要十分かどうか労働者当たりのトイレの数などそのあたりの改善も考えたほうが良い。	30代	男	馬場
②町職員は大いに努力されていると思います。町民により良いサービスをするためには提供する側も働きやすい環境でなくてはならないのでは。庁舎建て替えが遅れたのも残念でした。	60代	女	北下町

■行財政・町議会（5件）

ご意見	年齢	性	地区
・町長の気まぐれで政策の変更や実施をやめてほしい。職員の負担が多くて職員の退職が多いと聞く。他の首長程パワハラ、モラハラは聞かないが、町長はもっと長期の視点や展望を持って社会的課題を町民主体で実施してほしい。	70歳以上	女	東町
大磯の町政はいつも町の中心の事を考えているように思う。国府には支所があるのに高麗には支所もなく、災害時、平塚側にいる（高麗の）高齢者は一体どのように春日の中学へ避難するのか途方に暮れている。インターネット等で調べれば大磯のことが分かるのは承知しているが、生活の基盤が平塚にある高齢の平塚川の住民はみんな、わざわざ不便な大磯に行く気はなく興味もないので平塚に行ってしまう。結果的に大磯に行くのは選挙、ゴミ出し、役場だけである。もっと大磯町民でも平塚の者を平塚市民と同様に使えるようになっていたらとても助かる。買	50代	女	高麗

ご意見	年齢	性	地区
い物、図書館、文化活動 etc すべて平塚のものを利用している。一方、唐ヶ原の平塚市民が逆に大磯のものを利用出来たら便利なのではないかと思う。おそらく同じようなことが二宮との境にも存在するのではないか？			
住民税が高すぎる。企業の誘致や観光収入、若者（働く世帯）の増加による税収増加のできる街づくりをお願いしたい。	40代	女	台町
町がしっかり運営できるように、お金の使い道は考えてほしいです。	10~20代	男	台町
・住民税などの支払いがQRコード決済できるようになったのは、とても便利でありがたいです。	30代	女	中丸

■まちづくり全般（45件）

ご意見	年齢	性	地区
①まちづくりに関する具体的なビジョンが見えない。積極的なアピールが全く足りないと感じている。②池田町長の顔が見えない。将来に向けて期待を抱かせるような施策の打ち出しを期待する。③事業（中長期）のマイルストーンを町民に知らせる工夫をしてほしい。④行政側から様々な発信をし続けないと大磯はこのままではだめになってしまうという印象を植え付けてしまう心配がある。	70歳以上	男	長者町
・古しい、新しさがない。・町として売りにしていることが古い。	30代	男	国府新宿
大磯町は嫌いではないです。子どもたちは磯小、中が好きでした。学童保育も大好きでした（私も）。自宅は平塚市との境目にあり、それなりに便利なところ。私の職場も平塚市で子供たちが中学卒業以降はマイナンバーカードの利用もあり、町役場に行くことも少なくなりました。新幹線乗車のため小田原駅に向かう時も、バス便の少なさから平塚駅に向かってしまいます。我が家は先祖からの大磯町在住ではないので、子どもたちが学齢期中に大磯町の主たる施設は訪ねていますし、その後も何回も行きたいと思う感じはないので。義母も私もかかりつけ医は町内なのですが、今後、免許返納してしまったら、やはり便利な平塚駅前とかに住みたいです。	60代	女	高麗
大磯町の住民としての暮らしができるよう、大磯地区、国府地区の同一性を求めます。何かにつけ、町で何かをしようとするときはどうしても大磯地区優先に思われます。大磯地区、甲府地区合併70年の年、何か新たな考え方が出ても良いのでは？	70歳以上	男	中丸
大磯町はある意味地味で過ごしやすい町だと思っています。今ののどかさや静かさを保ちつつ、若者が定着するような街になるためにはもう少し交通の利便性や買い物の場や飲食店が増えるなどあるといいなと思います。実際、私は免許を持っていませんが、バスが30分に1本などで帰るのも不便です。友人も免許を持っていない子も多いので駅までの出ていきやすさなどは生活のしやすさにつながると思います。	10~20代	女	月京
・若者がいない。・結論、大磯町に魅力を感じません。	30代	女	中丸
全ての町民が楽しく平和に暮らせる町、大磯町に誇りを持てる町民の一人になりたい。	60代	男	北下町
自然がいっぱいの大磯。海はもちろん、大きな富士山、緑も美しいし、鳥もたくさん、虹も何度も見ました。藤沢あたりより帰ってくると空気が違います。人もほどほど少なくほっとします。観光、開発も必要かと思いますが、今も静かな大磯を望みます。	70歳以上	女	西小磯西
新しい建物をつくって下さい。	30代	女	裡道
・若者が数多く、移住し、活躍できる街づくりをしてほしい。	30代	男	東町
大磯町は会社、住宅、お店などもっと多く増やしてほしいです。人口を増やし活性化し大磯に居住したいという人が増えることが重要、大磯は公園などが多すぎる。自然を大事にすることは重要だが、大磯は税金が高いからと多くの人は言っていますが、高齢者をもっと大事にしてください。	60代	女	石神台
・若者の移住、企業等の支援とPR。・若い人を呼び込む施設（サーファー用の施設や駐車場の割引など）。	70歳以上	男	石神台
変に発展させず、人と自然と文化の調和を図ってすすめてほしい。	40代	男	—
他地域の方たちから「大磯は素敵な町ですね」と言われることがよくあります。これからも大磯町=素敵な町でありますよう、ご尽力よろしく申し上げます。	60代	女	中丸

ご意見	年齢	性	地区
住み始めて約5年が経ちましたが以前より確実に町が活性化していて、カフェをちらほら出来、新しく移住してきている人も増えてきたと感じています。他の市や東京に住んでいたころには全く感じなかった大磯ならではの地域密着を肌で感じ、町の良さ、人の良さをすごく感じます。歴史ある町並みの良さを残しつつ、少しずつゆっくりと新しいものなどを取り入れ、良い町にして行ってください。もうすぐ訳があって引っ越ししてしまいますが、大磯町の未来を応援しています。楽しみにしています。	30代	女	神明町
居住者が大磯を愛する気持ちがないから発展しない。もっと町債等を発行する等、参加型の町にしないとサービス良い市町村へ流出すると思われる。	30代	-	月京
・年々、老人の数が増えているように思えます。子供が成長すると働く場所を求めて町外へ行き、そこで居住することが多くなり、そのまま結婚して生活に入ってしまうケースが多い感じです。やはり、交通の利便性や、買い物等が原因ではないでしょうか？少しずつ良いから新しい風を取り込んでもらいたいと思う。	70歳以上	女	長者町
将来の街づくりを行政、住民全体で考えていくことはとても大切なことと思います。総合計画の期間を5年としていることは現状に根差したところからの計画ということでそれ自体が問題ということではないのですが、望むらくはどこかに50年、100年をにらんでの5か年計画という視点がほしいと思います。子どもたちや孫たち、そしてその先の世代の人たちのために、私たちが今何をなすべきかが問われていると思うからです。その意味でこうした計画と合わせてもっとスパンの長いビジョンについての意見交換の場があっても良いように感じました。	70歳以上	男	台町
単純に暮らしてはいますが、やはり高齢化による社会保障費の増大への対策が喫緊の課題となっています。若者世代が心地よく、のびのびと子育てできる自然環境があるので、その自然環境を生かした住民増への追加の施策（中学校給食の無償化や移住促進施策）が必要を考えます。	30代	男	中丸
若者への支援が少ないと思う。金銭面で苦労している。	10~20代	男	高麗
今どき、SNSを否定するような声も聞きます。年配層と若年層での乖離が激しいことを目の当たりにします。みんなが幸せはただの理想論ですが、互いの立場や意見を吸い上げ、融和させていくことが課題であるのではないかと勝手に考えています。マンパワー不足によってあちこちにほころびが生じている現状をAIやデジタル化に頼ることも必要であると感じます。大磯の方々は私が知っている限りは知的で思慮深い方が多いですのもっと（住民に負担をかけるのではなく）役場と住民が融和していくことも望みます。	40代	女	東町
様々な立場があると思いますが40代、子育て世代、転入者の立場から大磯町に期待する点を申し上げます。大磯町に転入して感じたことは自然が多くゆったりとした時間軸で雰囲気の良い反面、現役世代には住みづらいということです。・子連れ（特にベビーカー）で入れる店が少ない。駅近ではクリエイイトに限られる。クリエイイトに入ったとしても赤ちゃん用品がとて少なく使えない。・小児科がとて少ない。→特に前者については催されるイベントが重なると駐車できない。酷暑の中、0歳児をベビーカーで30分以上移動することを現実的ではない。・情報（特に子育て）の入手方法がアナログすぎる。→横浜市の「パマトコ」のように一つのツールですべてを管理したり、必要書類の申請、入手、イベント、施設検索できるものが欲しい。情報入手方法の入り口としてフェイストゥフェイスからという時代ではない気がする。色々述べてしまいましたが、大磯の位置づけとして平塚の一部であるというのも理解できますが、移動手段＝車が前提の話になってしまいます。歴史のある良い町でもありますが、住人の世代交代や税収の衰退が見込まれる将来、新しいものとの共存、導入といったオープンマインドの基、まちづくりがされることに期待します。	40代	女	山王町
・子供や若者の声を重視すること。・行政職員の働く環境を整え、まちづくりに力を発揮できるようにすること、また有能な人材を確保し続けられるようにすること。・高齢者がもっと社会貢献出来るようにすること（させるようにすること）。・失敗を恐れずに様々な事業にトライしていただきたい。	30代	男	東町
駅方面だけではなく、国府側にも力を入れて開発してほしい。	10~20代	女	月京

ご意見	年齢	性	地区
引き続き子供たちの教育とまちの文化財保全に力を入れてほしいです。最近は大磯町に移住してくる方も増えて、町全体に活気が増えたように思います。長く大磯を愛してもらえより、町政がますます盛り上がることを期待しています。	30代	女	高麗
町民の中には自分がお金を寄付してでも、具体的に施設などを整備してもらいたいと思っている人がいると思います。何に使われるか分からない一般的な寄付はあまりしたくありませんが。例えば①海水浴場のトイレをきれいにし、温水シャワーや更衣室を整えてほしい。②駅前バス停がみすばらしいので上屋を設けてほしい。③駅のホームの屋根を平塚方向に伸ばしてほしいなど。こういう具体的な目標に向けて寄付を集める仕組みを作っていただけませんか。	60代	男	茶屋町
大磯に転居して30年になりますが、大磯の良さということがあまりアピールできていないと思います。自然と歴史をキーワードに据えた街づくりを進めていただき、大磯の良さを広めていただければと思います。	60代	男	長者町
住みたいと思うまちづくりに力を入れてほしい。大人、高齢者も大事だが今暮らしている子供たちがこのままこの町に住みたいと思える環境を作ってほしい。大磯独自のクラブチームを作る、様々なスポーツを地域主体で取り組む、サーフィンやスケートボードなども参加、大会では地域のダンスチームが応援したり、中高の吹奏楽部も応援。全員が「大磯」という名前を背負って活動、活躍することで地域活性化にもつながる。大人も子供も一緒に参加できることで楽しい、ワクワクする、笑顔が増える、ここの町にいたい、住みたいと思える人が多くなると思います。	40代	男	東町
当たり前ですが、魅力あるまちづくり。歴史的景観の整備(町並み、田園風景等)、大磯でなければできない環境作り、海、大磯丘陵等の自然を生かした発信等。	60代	—	裡道
自治基本条例にのっとり、住民参加の呼びかけ、協同(働)意識を高めてほしい。小さな町だからこそできる町と住民の協力ともに町を住みよくする活動ができるよう環境づくりを進めてほしい。	60代	女	台町
古き良き大磯であり続けてほしい。新しいことは必要としていません。東京からこの地にきた理由は他の湘南エリアにはない古き良さがあるからです。	40代	男	西小磯東
昨今、「バブル期以来の…」ですとか、「昭和や平成の初めのころのレトロブーム」云々ということを目にしますが、とある市について思うことがあります。それは海老名の海老名市についてなのですが、・町に大変活気があるように見えます(あくまで当方の主観です)。・若い人が多い(同様に当方主観です)。・少々驚いたのですが、交付金はもらっていないのでしょうか。率直なところ、海老名市に人を引き寄せるような、決定的な何かがあるのだろうか?と考えてみましても、目立った特徴はないような気がするのですが、あえて申し上げるのならば、ターミナル駅であることと、246号線という幹線道路が存在するという事でしょうか。今から30年ほど前、あのバブル期ですが、元々海老名市役所や消防署があったところは、現在遠くから見てもわかる民間の高層建築物が立っている場所にございました。現在の市役所のあたりから駅方向へ少し歩かしても周囲には田んぼが広がり、建築はできない場所でした。海老名市は元々の場所を民間企業へと売却、その一方でのどかな水田(現在の市役所)を都市計画法に基づき用途地域を商業地域(高層建築可)へと変更、結果として海老名市民の財布に負担をかけることなく、現市役所の土地、建物を(当時)取得することが出来ました。打ち出の小づちと申しますか、パブリック・デベロッパーとしての動きと申しましょうか、とにかく動きは良かったと思います。バブル期だったこともあり、タイミングが良かったと言えるかもしれませんが、機を見るに敏な市の対応であったと、率直に思います。海に面しているわけでもない。特にめばしい特徴があるわけでもない。さらに付け加えるなら湘南ナンバーでもない。当然、行政サイドとしても(そんな状況を)よく自覚しているはず。だからこそ、行財政面で知恵を絞って行動されているように思います。翻って大磯…ここで改めて「大磯」とはを考える意味で、手元にある資料(過去、大磯町で分譲されたマンションのパンフレットや折り込み広告)から、大磯の売りは何か?大磯についてどのような形容がされているのか、確認してみました。・景勝の地。・歴史的偉人、名士から選ばれた。・文化と歴史の趣を残す。・紺碧の海の。これらの形容は、海老名で分譲されるマンションでは、一つも該当しそうにありません。すみません、これ以	50代	男	生沢

ご意見	年齢	性	地区
上何か結論めいたことは申し上げるのは難しいような気も致しますが。ただ、だからと言って NCR 跡地のところはせっかく準工業地域(であったと記憶しておりますので) 商業施設でも、あるいは建蔽率や容積率を踏まえましてかなりの床面積のマンションとしても問題はないはずですので、その土地が持つ能力が早期に発揮されることを願うばかりです。また、これは絶対無理と言われるでしょうけど、大磯プリンスからまっすぐ北へ、大磯警察の信号のところをさらに 1 号線を超えた東海道線の手前のあたりに、サテライト・ステーションとしての駅があれば、状況はどう変わるのだろうかと考えてしまうことはあります。2030 年あたり～人口減はめっきり進むとのことですが、日銀のバランスシートが大きいうちに(世の中を出回る資金の動きがある程度良い内に)、進めるべきことは、進め出す方がよろしいかと存じます。			
①パフォーマンス重視の町長にこの先の大磯をお任せすることに希望が持てません。若い人にばかり目を向けずに地道に一生懸命に生きている高齢者への支援も考えていただきたいものです。	60代	女	北下町
数十年も老人優遇若者冷遇し続け、若者を消耗品にして使い捨てた結果が財政難、少子高齢化。圧倒的多数の老人たちが自分たちの都合の良い社会を作ろうとして破綻した。将来を担う若者を冷遇し続ければ大磯、日本の未来はない。	40代	男	国府新宿
①駅前開発を行い、若者受けするまちづくりをしないと、今後住んでいく人が減少していくと思います。いつまでも、老人が威張っている町からの脱却が必要。	50代	男	南下町
・駅前スーパーが欲しい(夜遅くまで営業)。・バスの本数を増やしてほしい。この2つが充実すれば都心への通勤がもっと楽になるので移住者増えそう。	30代	女	月京
・まちづくりに際して、子ども、子育てとお年寄りの他にも住民がいる、それ以外の政策も用意してもらうことを忘れないでほしい。特に、若者、働き盛りの世代に向けた政策は子どもの為のものばかりになっていて、自分たちは忘れられていると感じる。多様なライフスタイルがある現代では、子どものいない単身者や夫婦、カップルもたくさんいる中で、そういう人たちが「ないもの」にされていると、やはり町はダイバーシティ&インクルージョンに疎いなどがっかりする。どんな人も住みやすく、過ごしやすい町づくりを進めてほしい。優先度が低いのは理解している。	30代	女	山王町
・インバウンド等、観光客への対応として、オーバーツーリズム対策。・高齢者、障害者等に対する、買い物難民対策。上記について、住民目線、住民の立場で考えてほしい。	60代	男	西小磯東
「高額所得者に選ばれる町になる」。クリエイティブクラス(経済成長を担う社会経済学上の階級であり、一般的には高学歴、高所得、そして面白い人)が多く存在する街は必ず発展する。・区画を細かく分割するのではなく、所得の高い人に好まれるようなゆったり目の区画の開発を地元業者とも協力して行う。・高所得者は子供の教育に高い関心がある。大磯は特に高い高等教育を受けさせようとする考える親には選ばれにくくなっている。大磯高校や二宮高校などの魅力化にも突っ込むべき(島根県海士町や徳島県の上山まるごと高専など高等教育に力を入れて移住者を増やしているところにも注目すべき)。・在宅ワークで快適に仕事ができる容量の大きな回線の整備や5Gの普及を高めるなどに留意する。スローライフの実現の裏側にはスマートライフが充実してなければならない。・文化、芸術に力を入れるべき。都市部と比べて圧倒的に少ないのは文化的な刺激である。とはいえ大磯に施設も少ないので、ステパノ学園、国営公園内施設、吉田邸・城山公園、大磯港など公共空間をどう民間に開放して利活用してもらえるかが鍵である。大磯には文化的な住民が多く住んでおり、その人たちの活動の場を提供してあげる必要がある。・健康で安全な地産食材の地産地消を推進する。有機栽培や固定種栽培などの栽培を推奨し、安全でおいしい大磯野菜の供給者を増やすべし。安定して買い上げできるように地元スーパーやほっこりなどとも連携を高めておく。・エネルギーの自給率を高める。バイオエネルギーについては小田原を中心とした県西部と協議会を作って地域内連携を検討する。生ごみの家庭内処理を進めコンポストなどの普及啓蒙に務める。行政のごみ処理コストを可能な限り抑える工夫をする。	40代	男	台町

ご意見	年齢	性	地区
<p>町が考える滄浪閣、吉田茂邸、大磯 CONNECT など観光で町が豊かになるとは思えない（そもそも地元の人々が行かない）。観光客が公共交通機関を使って大磯駅まで来て、それらのスポットに行く手段が少なすぎる、行っても長居出来ず、行くまでに地元の商店等がなければ大磯町に経済的効果があると思えない。町民は買い物、飲食、レジャーは町外に行っている。町内の利便性をあまり求めているように思う。ならば、人口を増やすため、子供、若い世代、外国人、障がいがある人、様々な家族の形、高齢者を受け入れる公共サービス、支援をもっと手厚くし、「大磯町に住めば一生安心して暮らせる」という PR をした方が良いと思う。「多様性を受け入れる町」目先のインバウンドより長期的プランが大切だと思う。</p>	40代	女	長者町
<p>・郷土資料館の HP より閲覧できる 100 年前の大磯の助役日誌を昨年発見し、その内容の充実さに驚いた。現在も時折覗くが毎回感心してします。こんなに面白いのに宣伝が少なすぎると感じる（特に面白出来事のある日の日誌や、100 年前から続く現存のお店や寺などについて、各媒体でもっと面白く取り上げることが出来るのではないかな）。特に関東大震災についての日誌や調査報告が大変興味深かったので、昨年郷土資料館で開催されていたミニ企画展「大磯の災害－関東大震災から 100 年」を見に行ったが、当時の記録より防災に重きを置いたものであり、率直に言ってつまらなかった。もっともっとたくさん資料があるはずなのに。盗難場所やペットも連れた避難等についても当然絶対に必要なトピックではあるのだが、それ以上に 100 年前、私たちが暮らしているのと同じ土地でそんなことが起こったのか…助役日誌の充実ぶりから察するに、もっと災害、そして防災を身近なものにできる展示が可能だったのではないかな。ともあれ関係者の皆様が努力されているのは強く感じる。もっと注目されてほしい。将来のまちづくりとしても、素晴らしい資料をもっとうまく盛り上げて作ってほしい。文化の盛り上がる町にしていきたい。</p>	10～20代	女	南本町
<p>・空き家や空き倉庫が多いのであれば、住居の他にもクリエイターを誘致して、政策の場として活用してもらうことも可能ではないでしょうか。機械音や加工の際の匂い問題で活動の場所を探しているクリエイターは多いです。大磯にはモノづくりや表現活動をしている方も多くいますので、こういった点も町の売りになるかと思えます。</p>	30代	女	中丸
<p>・私は大磯に 2 年前に越してきた、2 人の乳幼児を持つ 30 代の自営業者です。諸事情あり妊娠中に大磯町へ越してきたのですが、転居の手続きを済ませた後に、この町には産科がないことを知り驚きました。小児科も 2 軒、子供の数が少ないにもかかわらず保育所は待機児童が数名、小学校や支援センター、図書館などの公共設備は年季が入っている、道路や橋は整備されていない箇所が多くある等、子育てをするには心配な面が多く見受けられました。また、国道沿いを少し歩いてみると、商店も少なく空き倉庫や空き家のようなものも見え、活気がないと感じました。「この町やばいのでは？」というのが住んでみての正直な感想です。引っ越し前にこういった実情を知っていたら、選ばなかったかもしれません。海も山もあり歴史的建造物もあるこの大磯は、温暖な気候でゆったりとした時間が流れる良い土地だと思います。ご近所は高齢者が多いですが皆さん親切ですし、役場や支援センターの皆さんも丁寧にご対応くださり大変助かっております。逆に言えばいい人が多いだけで、町からの支援は他の地域よりも乏しい上に商店も少なく不便です。長い目で見てこの町を張ってさせていくのであれば、バトンタッチをしてくれる次世代をこの町で育てていく必要があるのではないのでしょうか。このままですと、ボリュームゾーンである高齢者の方がいなくなったとたんに町はより活気を失うだろうなと感じています。私は海も山もあるこの町が好きです。願わくはこの穏やかで良い土地がさらに発展してほしいと思っています。いち町民として、より良い町づくりを期待しています。</p>	30代	女	中丸
<p>これまで国内外 8 つの地域で暮らした経験から、大磯の魅力は山と海の自然環境、別荘地として栄え歴史や品格ある町としてのイメージに加え、住民の皆さんが穏やかに生活していて、様々な人々を温かく受け入れることのできる風土だと感じています。そのような風土づくりに貢献されている個人商店の閉店が続き、残念に感じます。子育てファミリー世代を多く誘致できるような支援策やアピール、住宅環境が整うと税収にもつながり、地域活性につながると思っています。また、工</p>	40代	女	西小磯東

ご意見	年齢	性	地区
リザバスサンダースホーム、児童養護施設があることから、群馬県前橋市の「タイガーマスク運動」のように、ふるさと納税を活用した支援の仕組み作りも良いのではないかと考えます。前橋市に用途を指定してふるさと納税をすると、活用された明細が届き、施設を巣立つ若者の自立に必要な資金（一人暮らしの支度金、運転免許所得費用など）として、具体的な人数も報告され、社会福祉の新しい在り方として先進的と感じ共感しました。返礼品の魅力に頼らず、自分の納める税を有効に役立てる方法の一つとして、同様の取り組みが出来るとよいと思います。			
・比較的治安もよく、落ち着いた雰囲気の大磯を維持していただきたいと思います。	60代	女	山王町

■アンケートについて（9件）

ご意見	年齢	性	地区
・アンケートもデジタルにしたら良いと思う。DX化。	30代	男	国府新宿
アンケートは今後紙でなくデジタルにしてほしい。河野大臣のおひざ元なのだから。	60代	女	東町
同世帯の人間に同じものと送られてきましたが、無作為に選んでいるのか疑問です。	40代	男	東町
先ずはネットで回答できるようにしてほしい。	50代	男	西小磯西
このアンケートそのものをネットなどで出来るようにした方が良い。	50代	男	山王町
町内の施設をあまり利用しないので答えづらい質問が多かったです。	30代	男	長者町
②こういったアンケートは携帯からできるように。QRコードをつけるように、紙媒体自体今の時代から遅れを取っている。	50代	男	南下町
質問項目が多すぎる。要点を整理してもう少し簡単にできませんか？	70歳以上	男	—
アンケートで意見を伝える場を作ってくださいありがとうございます。出来れば書面だけでなく、スマホで解答出来るようにしてもらえるとさらに答えやすいです。	30代	女	国府新宿

■その他（5件）

ご意見	年齢	性	地区
快適に毎日を過ごさせて頂いております。ありがとうございます。	50代	男	東町
・申請書類を提出することで受けられるサービスがあると思うが知らなかったために受けられないということがないように、役場から細かなお知らせが欲しい。特に、年を取るとうっかりや、よく見えないので、見逃したりということもある。	60代	女	西小磯西
住民が使用できる補助金の内容を一度特集してほしい。例えば、ごみ処理機購入補助やソーラー補助、大磯ではどういう補助があるのかわかりづらい。	60代	男	西小磯西
・あとまちづくりはさほど関係ないかもしれないが健康保険税の関係書類（納付書も）を世帯主宛てに送付するのをやめてほしい。年末に送付される関係書類の内容（どの病院でどういう内容にどの程度使ったのか）は非常にプライバシーの高いものであり、家族間と言えど他者に勝手に見られるべきではないと常々思っている。	10~20代	女	南本町
いい町にしてください。	40代	女	馬場

3-2 転入者

■防災（5件）

ご意見	年齢	性	地区
・学校給食問題が気になっている。給食センターが災害時の炊き出しに役に立った例もある。海の街なので災害はあるものとして、町政を進めてほしい。	30代	女	西小磯西
高麗山が近いので山の災害などが心配。定期的なチェックや大雨時、この地域の人はここなら安全という避難場所などをわかりやすく共有してほしい。	40代	男	高麗
災害発生時の要避難支援対象者についてですが、高齢化している町内会では、実際の非難の対応は難しいと考えております。防災課及び消防との連携の指針について明確化していただきたいです。	40代	男	神明町
犬を飼育しています。大磯に家を買ったのも犬とのびのびと生活したいと思ったため。実際、犬友達を通じて大磯 LIFE が充実しました。同じ都心からの移住者コミュニティも犬の散歩などを通じて出来つつあります。たくさんのワンちゃん、猫ちゃんがいると思います。とても暮らしやすいですが、災害時の避難生活でのオペレーションが気になっています。ペットを愛する人が多い分、ペットとともに避難生活を送れる拠点の整備をご一考いただきたいです（既にあったらごめんなさい）。大磯 LIFE とても気に入っています。	40代	男	東町
②何年前か前、川尻公園が水没したことがあった。住宅も近いため対策してほしい。	40代	女	中丸

■防犯（3件）

ご意見	年齢	性	地区
・夜間街灯を増やしてほしいと思うことはある。	50代	女	台町
・夜の街灯が少ない気がする（暗い）。	30代	男	東町
街灯が少なく暗いところがあるので防犯面が気になる。	40代	男	高麗

■交通安全（2件）

ご意見	年齢	性	地区
駅前が危険（歩行者、自転車）。	30代	男	西小磯東
カーブミラーがすれてしまっている箇所がいくつかある。いつもお世話になっております。ありがとうございました。	30代	男	東町

■子ども・子育て支援（20件）

ご意見	年齢	性	地区
次世代支援がはっきりと見えてこない。残念です。大磯で子供を産み、育てるメリットをもっと前面にアピールし、町行政、財政がいかに本気で支援しているかを町内外に示していくべきと考えます。大磯で子供を育てれば幸せ度 100%のまちづくりを期待しています。	50代	女	神明町
・子どもが住みやすい町にしてほしい。	30代	男	国府新宿
賛否はあると思いますが、以前の明石市のように子育て世代のバックアップを思い切って振り切って進めていかないと、大磯町の明るい未来はないと思います。	-	-	-
・保育園兄弟で別。	30代	-	国府新宿
子育て世代をもっと入れたいというのは、広報やその他のもので、なんとなく感じているが、実際には人がいないから保育園の枠は少ないままだし、一時預かりも空いていないし、何がしたいのだろう？と思います。	40代	女	石神台
大磯幼稚園をこども園へ移行する話が進んでいないので、詳しく知りたいです。	30代	女	高麗
病気の子供を預けられる場所が欲しいです。病気の後の保育（あおぼと）はありますが、病気の最中は自宅のみしかないので。	40代	女	長者町
・保育園の待機児童を 0 にしてほしい。保育園の建物のレベルを上げてほしい（特に国府保育園）。	30代	女	石神台
子どもが保育園に入らず、働くことが出来ません（1年以上待機）。周りを見ると、祖父母に子育てを手伝ってもらう家庭が非常に多いですが、我が家は祖父母に頼ることが出来ないため、幼稚園+あずかり保育でも長期休暇は高額な保育料がかかってしまうので、再び仕事ができるのは 5 年以上先になってしまい、経済	40代	女	中丸

ご意見	年齢	性	地区
的にとても苦しいです。もっと保育園の定員を増やしてほしいです。今後子育て世代の移住者を増やしたいのであれば、必須事項ではないでしょうか。			
保育園や幼稚園が少なく越えてきて入れなかった。それなら例えば、平塚の園の紹介や円滑に入園できるシステムなどがあるとよい。	40代	男	高麗
・学童保育の充実。現在、共働きで5歳と3歳の子どもがいます。子どもが小学校に上がってからの生活がとても不安です。	30代	—	国府新宿
大磯に放課後デイの受け入れが少なく苦労した。大磯外で探している方が多いと思うが、大磯で増えると子供の為にもまた親の為にも良いと思う。	30代	男	西小磯東
子育て世帯に対して補助が欲しいです。二の宮町は現金が頂けたりするのになぜ、大磯はないのですか？	40代	女	西小磯東
子育て世代に対しても手厚いサービスを大磯町独自でも実施すべき。	30代	男	西小磯東
馬場公園にとっても楽しい遊具を設置して下さり本当にありがとうございました。子どもたちが田んぼや畑で農業体験をさせていただけたら嬉しいです。よろしく願いいたします。	30代	女	石神台
子どもが遊べる施設が少ない。	—	—	—
子どもたちが伸び伸びと遊べる場所（ボールやしゃぼん玉とかもなにも気にせず思い切り遊べる場所）。雨でものびのび遊べるような施設などもあったら最高。	30代	女	高麗
・とても自然環境が豊かで美しいのに小さな子ども（未就学児）が対象となるイベントが少ないのが残念です。昔から住まれている方は遊び方などたくさん知っているのでしょうか…。・室内で運動できるスペースなどが増えると（体操教室や体育館など）嬉しいです。もしあるのであればもっと情報を増やしていただきたいです。	30代	女	国府新宿
町立の幼稚園のバスを作ってほしい。	30代	男	国府新宿
幼児、保育施設の意思決定が遅すぎると思います。今、必要なものは迅速な決断が行政、議会とも必要ではないでしょうか。	50代	男	東町

■教育（10件）

ご意見	年齢	性	地区
学校教育（特に小学校）に力を入れていただきたい。自主性を育てているが全てが中途半端な気がします。	40代	女	台町
大磯小学校にプールがない。	30代	男	西小磯東
中学校施設が古く、教育内容、質も藤沢と比べてとても低いと感じている。大磯中と国府中の差も激しいように思う。教員の入れ替えが少ないからか、高年齢の先生方の考え方が古く、校訓と中身が全く異なる。もっと自由にのびのびと柔軟性のある若い先生に活躍してもらいたい。	50代	男	国府新宿
・中学校の給食。特に、中学校の給食はかなり大磯町に転入するうえでマイナスイメージでした。課題も多いと思いますが自己負担額が増えても重要だと思います。家事負担の軽減や栄養の観点からもぜひ、よろしく願いいたします。	30代	—	国府新宿
・小学校給食無償化はとても助かってありがたいです。	40代	女	中丸
給食をはじめとして、将来世代に対しての投資をもっとやっていくべき。	30代	男	西小磯東
・学校での「いじめ」については、加害側への対応も必要と思います。被害児が泣き寝入りしない体制づくりを望みます。また、学びの場が失われないよう、学校に行かなくても授業を受けられるようにしてほしいです。	50代	—	西小磯西
広報で磯コンと書いてありましたが税金の無駄遣いだと思います。いくら若い子に来てほしくても、それをやったとしても大磯に住むとは限らない。いじめ問題もあやふやなままで、子どもの事等考えることの方が重要だと思います。	30代	女	高麗
小学生が公共施設やバスでのマナーが悪く、通学手段の見直しが必要。バス利用エリア等決めたり、スクールバスを使用した方がいい（バスでのマナーが悪い、教育できていない）。狭い道でも広がって歩いている。	30代	女	長者町
小学校が遠く、交通事故や、熱中症がとても心配。遠い人はバスサービスとかあると。	40代	男	高麗

■文化・生涯学習・スポーツ（7件）

ご意見	年齢	性	地区
・文化の発信拠点となるような現代美術館などがあると、城山公園のミュージアムと新旧の価値観のバランスが取れてよいと思う。	40代	男	西小磯東
文化、カルチャーの目玉となる施設等で人を集客できるようにしていく。若者が集まるような。	60代	男	茶屋町
大磯町の駅、周りの雰囲気大好きで移住しました。春～夏はたくさんのツバメが来て心が癒されます。大磯にも長野県小布施町にある町立図書館「まちとしょテラス」のような図書館を作ってほしいです。町民がみんな平等に利用できる公共施設が必要だと思います。新しく作らなくても、今の図書館をより、みんなが過ごしやすい場所にしてほしいです。ぜひよろしくをお願いします。	30代	女	神明町
・二宮町と比べて図書館が充実していない。資料の多さ、過ごしやすさでいつも二宮を利用しているが、大磯ももう少し頑張してほしいと思う。特に学習スペースで勉強がしづらい（郷土資料館の学習室などにも言えるが）。パーソナルスペースが確保されていて、落ち着いて勉強できるような場所が欲しい。	30代	女	国府新宿
図書館の充実、もしくは書店の誘致。	40代	男	東町
温水プールなどがあるスポーツ施設などが欲しい。	60代	男	高麗
・100%の子どもが泳げるようになるよう、プールが早くに欲しいです。照ヶ崎のプールは、大磯の子は無料で泳げるようでとても良いと思います。お金持ちも多いので、水泳を習って泳げるようになる子も多いようですが、みんなが泳げるということを大磯の自慢にして、町営（学校）のプールの増設を切に願います。	-	-	-

■保健・医療（3件）

ご意見	年齢	性	地区
・病院（動物も含む）が少なく、競争力がないので正直医療があてになりません（クリニックの質が低いです）。高齢者や赤子だけでなく、子を持たない10代～60代も生きやすいまちづくりを期待しています。	40代	男	東町
小児科が少ない。	-	-	-
風邪をひき近くの医院に出向いたが（持病があるからと）三軒の医院から断られました。以前住んでいた医院に行くように言われたが遠くていけません。苦しんでいる人を助けるのが医者ではないでしょうか。それとも医師としての自信がないのか。誰もが受診できる医院を期待しています。	70歳以上	女	国府新宿

■福祉・社会保障（5件）

ご意見	年齢	性	地区
高齢化社会に対応した施設なども必要だと思う。	60代	男	高麗
地域共生社会実現のため、その推進役である町社会福祉協議会の活性化。元気な高齢者の活用の場の提供。	70歳以上	男	西小磯西
・社会福祉協議会を地域の人が使いやすいものにしてほしい。	50代	女	石神台
・日常生活していくうえで日々の買い物不便です。子どもは御用聞きの人たちが家に来て大変便利でしたが、現代ではそれは無理ですが、高齢者の方たちの買い物の配送などの手配が出来ると、重いものなどを買っていただけるのではと思います。人件費が必要かと思いますが、今後高齢者が増えていくことを考えると必要なのではと思います。	60代	女	台町
・子どもの障害福祉の充実を希望します（放課後等デイサービスの無償化など）。・小学校給食無償化はとても助かっていてありがたいです。	40代	女	中丸

■自然環境・公園（7件）

ご意見	年齢	性	地区
2軒隣南側が立派な屋敷でうっそうとした樹木がありましたが今年1月にセブンイレブンになった。木を残すなど景観の配慮などしてほしい。	30代	男	高麗
・自然を残した町を保ってほしい。	30代	女	西小磯西
・とにかく「磯」を守ってほしい。	30代	女	国府新宿

ご意見	年齢	性	地区
「環境土木」の技術で荒れた地を修復する活動が行われていると知り感動しました。大磯の自然は後世に残すべきものだと思いますので、今現在よりも、もっと豊かな山、川、海を残せるように力を入れた活動に期待しています。	30代	女	西小磯東
引っ越してきて間もないのであまり知らないことも多いです。設問の回答に迷うこともあります（分からない場合の選択肢がない）。大磯はとっても素晴らしい環境が整っているので大切にしていきたいと思っています。	50代	女	台町
まちづくりにおいては、あまり商業化されたまちを目指すのではなく自然を生かし、サステナブルなまちづくりを目指していただければと思います。	40代	女	台町
・とてもきれいな所はキレイだけ大磯プリンスの前の川のところは草がすごくてとても良い川なのにもったいない。	50代	女	国府新宿

■自然環境・公園（7件）

ご意見	年齢	性	地区
六所公園にも馬場の様に遊具を設置してもらえたい嬉しいです。	—	—	—
公園の老朽化。	—	—	—
・公園、遊具などの設備が不足。中井中央公園や平塚総合公園を利用。	30代	—	国府新宿
安全な公園を増やして欲しい。	40代	男	台町
今後も今のままがいいなと感じますが、もう少しだけ公園に遊具を増やしてもらえると子どもが楽しく遊べるかなと思います。	30代	男	中丸
・運動公園の利用、見直し。若者が活動できる、スケートボードのグラウンド（おおね公園）にあり、多くの若者が利用している（二宮のラディアンも含む）。子どもが利用しやすい、集まりやすい環境にしてほしい。	60代	男	国府新宿
・寺坂地域に公園を作ってほしい。子どもたちが安全に遊べる場所が必要。	30代	女	寺坂

■地域環境・廃棄物処理（14件）

ご意見	年齢	性	地区
・のどかな雰囲気が良いと思って移住してきました。これからも続けてくれたらうれしいです。	50代	—	西小磯西
景観等の今の街の雰囲気が変わらず続いてくれると嬉しいです。	10~20代	女	西小磯東
藤沢市の片瀬江の島に住んでいました。オーバーツーリズムと強風でギブアップして大磯に引っ越してきました。両親の仲人が松本順先生の子孫です。これからも静かな大磯を守ってください。	40代	女	—
・ゴミを出す場所がなく困っている。以前は自宅の前、現在は近所の方の家の前にゴミ置き場を作り、ゴミを出しているが、個人への負担が大きい。	30代	女	国府新宿
自動車の樹脂パーツ（トランクカバー）を捨てようと町美化センターに問い合わせたら「捨てられないので、販売店に聞くこと」と言われて、販売店に聞いたら「そんなこと聞いたことがない。通常粗大ゴミで捨てられる」となって困った。ゴミ捨ての基準をしっかりと定め、確実に「捨てられる」様にしてほしい。行政が捨てられない、捨て方が分からない論外、そのような対応は不法投棄にもつながりかねないので力を入れてほしい。	30代	男	東町
・ゴミもカゴでないところはガラスが散らかして道路がゴミだらけで臭い。片づけるのはいつも同じ人、みんな仕事に行ってしまうので散らかっているのも知らない。せっかく素敵な町が台無しのところがあるし、ゴミが散らかっていつもゴミが飛んでくるので本当に困っている。	50代	女	国府新宿
最近都会から引っ越してくる方は、都会から離れ田舎に来た感覚が強いのか、庭でのバーベキューなど。大磯は静かな住宅地です。何か勘違いしていませんか？	60代	女	西小磯東
①大磯インターの近くに住んでいるが、車の騒音、横断歩道に車がスピードを出したまま右折、左折する等、困っている。近くの丸源ラーメンは閉店時間が遅く、ライトが夜遅くまでついており、まぶしい。車の往来も多く、町外の人だと思いがうるさい。静かで治安の良い街にしてほしい。	40代	女	中丸
・歩きたばこ禁止条例の制定…空気の美しい町でがっかりします。印象が悪いだけでなく健康も害します。	40代	女	西小磯東

ご意見	年齢	性	地区
水道水の PFOS の含有量について調査、報告をしてほしいです。全国的に基準値越えをされていて、自身、子どもや家族の健康のために、水道水を信じていいのか知りたいです。よろしく願いいたします。	10~20代	女	台町
・海岸の管理がひどい。	40代	女	中丸
大磯町といったリゾート、観光のイメージだが道路にその地区の廃棄物(ごみ)が残されたままで景観的に良くない。	60代	女	中丸
・海岸のごみ対策…たまに拾いに行きますが、釣り具関連、たばこの吸い殻が特に多いです。	40代	女	西小磯東
・役場への EV 充電スタンドの再設置…環境対策の一環として。	40代	女	西小磯東

■土地利用 (8 件)

ご意見	年齢	性	地区
・一定の高さ以上の建物を建てないことは、この土地の良さを生かしているなど感じます。オーストラリアのヌーサのような感じ。	40代	男	高麗
・駅前の開発は空間の質を特に重視し、初めて大磯に来た人のハートをつかんでほしい。	40代	男	西小磯東
(駅前の)再開発によって雨の日渋滞が解消されるような内容なのか。とても気になる。情報が十分に展開されているように思えない。	30代	男	高麗
・駅前ロータリーの土地有効活用の検討をしてほしい。	40代	女	山王町
JR 東海道線と国道 134 号間の広大な空き地は、今後どのようになるのか気になります。商業施設は近隣で飽和すると思いますので良い利用法ができることを望みます。	50代	男	東町
・農地山間地の有効利用。	60代	男	国府新宿
・市街化調整区域の見直しをしてほしい。休耕地も増えており管理もできず売買もできず、困ることが今後予想されるため。	30代	女	寺坂
駅前の整備(建物の新調)、同じ中郡の二宮町に比べるとかなり劣っている気がします。あとは緑が多いのは満足ですが、草の処理(つる植物等)も行っていただきたいです。	10~20代	男	高麗

■空き家対策 (6 件)

ご意見	年齢	性	地区
・空き家の利用促進、壊れそうな塀など町で何とかできないものだろうか。	50代	女	台町
・空き家は大磯に住みたい方に格安で短期で貸し出すべき。・空き家の駐車場を近隣の人に貸してほしい。	50代	女	石神台
空き家が多く、もっと若い人たちが住めるよう、中古物件をリフォームして売り出してほしい。今も都心から住みやすく、都内に働きに行ける若い人たちを増やしてほしい。	40代	女	山王町
住まわれていない家に気になります。若い方々が住まわれてくださればいいと思います。	70歳以上	女	国府新宿
空き家はたくさんあっても物件が少ないので移住しづらい。隣の二宮町のように空き家や移住対応をもっと具体的に動かしてほしい。また、近隣の空き家の防犯や庭の木々の手入れなどに対し、あいまいな部分が多く困っている住民も多いため、空き家の管理にも力を入れてほしいです。	40代	女	国府新宿
・昨年、調査員として東小磯を回りましたが素敵な空き家が多くもったいないと思いました。空き家の活用してほしいです。これもなかなか難問かもしれませんね。	60代	女	台町

■景観 (3 件)

ご意見	年齢	性	地区
雑草がたくさんもしくは廃墟のような住宅があると町のイメージが悪くなります。怖い田舎感。	-	-	-
昔ながらの景観を守るまちづくりをしてほしい。ビルや華美な商業施設は作らないでほしい。お祭りなどの伝統を守ってほしい。	50代	女	神明町

ご意見	年齢	性	地区
1. 今の景観を大切にしてほしい。	50代	男	東町

■道路 (5件)

ご意見	年齢	性	地区
道が狭い。	30代	男	西小磯東
駅前の道路が整備されていない。駅に降りた時の第一印象が悪すぎる。	70歳以上	男	台町
・道路の整備をしてほしい(一号線)。	30代	女	西小磯西
・道路(1号線)がぼこぼこすぎる。	40代	女	中丸
道路の整備。山道の整備。	70歳以上	男	台町

■交通 (21件)

ご意見	年齢	性	地区
バスが少ない(バスがないところは駐輪場無料にしてほしい)。	30代	男	西小磯東
・バス等の本数が少ない中、高齢者の影響で電車に乗れなくなることが多い。ダイヤ等、通勤者、通学者への負担が多いように感じるので工夫してほしいです。	40代	男	東町
・高齢住民が増えており、バス等の公共交通機関の充実が急務。コミュニティバス等の検討も必要(20時代最終バスでは就労もままならない)。	60代	男	東町
・公共の交通機関は良くも悪くも乏しいため、もう少しバスの本数を多くするか、茅ヶ崎市の様にコミュニティバスが開通するか何かしらの対策をしていただけると嬉しいです。※特に雨の時。	40代	男	高麗
・高齢者も多いので、バスを使って自分で何時までも動けるようバスを充実してください。運賃も高すぎます。バスの本数も少なく困っています。料金に補助があると嬉しいです。	-	-	-
・通勤できる場所が少ない。	40代	男	東町
それと大磯に来て(黒岩)、交通の便がとても悪く、行動範囲が狭くなってしまいます。	60代	男	黒岩
深夜、早朝バスを増やしてほしい(都内勤めだと残業するとタクシーしかない)。→都内から越してきたものからすると、同じ仕事を続けるハードルが多い。都内まで電車1本で出られるのにもったいない。・駅前の駐車を増やしてほしい。乗用車の送迎エリアが欲しい。バス停に屋根をつけてほしい。	30代	女	石神台
バスと電車のダイヤの連動性を上げてほしい。	40代	男	国府新宿
コミュニティバスがあると良いと思います。	50代	女	東町
バス代の補助(70歳以上をもっと多くしてほしい)。	70歳以上	女	高麗
・老人のお出かけが出来ない人が多くなっている→町内周りバスなど安価で町内を回るコミュニティバス。	60代	男	国府新宿
私は大磯町で生まれ25年間育て、25歳から64歳まで離れて他方地区にて生活し、1年前に地元に戻ってきて、実家にて暮らしておりますが、自分の住む地域の現状を思うと昔から変わってきた所、変化なく、何も変わらず穏やかで良いところ。一番戻ろうと決心したのは誰も住んでいない実家ということ。空き家にしておくのはもったいないと感じ、リフォームし生活しております。40年近く、他に住居を構えていたのに、地元の方々の優しい心遣いに感謝。生活していくうえで色々力を貸していただいたり、声をかけてもらったり。心穏やかに生活できること、ありがたいです。ただ、一つ交通の便、何とかありませんか?町内と違い山奥の方は手付かずです。	60代	女	黒岩
・寺坂は小学校への通学が現在、バスが朝丁度良い時間がなく困っている。通学手段が安定していないのは子育てには不安。	30代	女	寺坂
駅の改善。	30代	女	長者町
大磯駅のホーム全体に屋根がほしい。	60代	女	裡道
駅舎が古くて、清潔ではない(ツバメのフン、老朽化した建物)。駅舎は住民はもちろん、観光客出迎への玄関口なので、安全、快適、魅力あるまちづくりのために力を入れるべき所だと思う。	10~20代	女	西小磯東
広報「おいそ」でイベント等を知るも、交通の便を考えると躊躇してしまう。タクシー利用助成券を交付していただきましたが、利用できるのは平日(月~金)	50代	女	黒岩

ご意見	年齢	性	地区
19:30~20:30 と限られているので土日にイベントがあっても利用できない。交通弱者は本当に困っています。			
タクシー会社の乗り入れを、1社に限定せず、複数社にしてほしい。タクシーの便が悪い時間帯の交通手段がない。	60代	男	山王町
駅前から国道へ出るまでの道が、雨の日など渋滞がひどく困る。	—	—	—
・大磯駅周りはコインパーキングあるが西に行くほどない気がする。	30代	男	国府新宿

■産業・観光（30件）

ご意見	年齢	性	地区
・大磯での仕事（就業）の活性化方法について検討してほしい。	40代	女	山王町
・活気がなさすぎる。	40代	女	中丸
・地域産業の活性化のためにクリエイター支援などがあつたらいいと思う。	30代	女	国府新宿
現代の農業は化学農薬、肥料を使った慣行農法が主流ですが、健康、自然との調和、生態系のバランス、次世代への思いやり、地産地消といったオーガニック、サステナブルを目指した大磯町のまちづくり、大磯町＝オーガニックと認識されるような取り組みをして頂きたいです。モデルはオーストラリアのバイロンベイがいいと思います。バイロンベイではオーガニックフードのお店やヒーリング系ショップが多く集まりナチュラルでスローな独特の雰囲気、多くのオーギーや観光客をひきつけているそうです。	10~20代	女	石神台
買い物が不便（市街化調整区域の見直しが必要）。	30代	男	西小磯東
商店が少なく、大型スーパー等を誘致してほしい。	70歳以上	男	台町
町内のスーパー等がもう少し増えてほしい。自然とのバランスを取りながらということは理解しているが、隣市、町に比べると少ないと感じる。商業施設の誘致が出来るように願いたい。	50代	男	石神台
・全国チェーンの店が少なく買い物も不便。コンビニ、スーパー、外食チェーン店の誘致を積極的に行ってほしい。	60代	男	東町
・スーパーヤオマサは評判悪い（品揃え、価格）。・飲食店が少ない。	30代	—	国府新宿
・外食店舗が少なすぎる。スーパーも（ヤオマサとしまむらのみって）。	40代	女	中丸
商業施設を増やす。年寄り（高齢者）の毎日の買い物は、車に乗っていかないと近くにない。免許返納を進めているが不安しかない。この課題はとても重要だと思う。景観が損なわれるというのであれば、外観を古民家風のスーパーにしてほしい（派手ではない）。駅前などは悲しいくらい何も無い。	60代	女	馬場
活性化を望みます。土地がたくさんあるのだから、商業施設等作ってほしい。	50代	男	西小磯東
・飲食店をもっと増やしてほしい。	30代	男	国府新宿
衣食が一か所で揃えられるショッピングモールがあればうれしいです。大磯以外で買い物をすることが多い。	60代	男	中丸
近くにスーパーが出来るといいなあ。買い物に不便。車があるうちは困らないけれど、将来不安。	40代	女	西小磯西
・大磯市の頻度が増えると嬉しい。	10~20代	男	茶屋町
もっとスーパーがほしいです。	70歳以上	男	国府新宿
近くの街に商店街的なものがなく駅前等もつまらなく、あまり楽しいところがない。	60代	男	黒岩
高齢に伴い衣食住に不安のない生活を送りたい。買い物が不便。他の市町村に車で行くのはこの先不安しかない。インターネットの活用が不可欠になる。	60代	女	西小磯西
別荘地、プリンスホテルというイメージ通りで、ネオンがマックしかないのは良いのですが、交通の便が悪いのと地域のマップがない。もっとおいしい店とか、良い雑貨の店を増やしてほしい。国道一号の陸橋あたりのシャッター街を見ると悲しいし、その辺をにぎやかにしてほしい。	70歳以上	女	高麗
・地域特性の充実として湘南発祥の地にイメージするような水産品と観光の充実推進。※相模の湘南の海力士を町を上げて、サポートと一緒に町の宣伝ムードを高めてほしい。※水産品は町のオリジナルな商品の開発し、浜辺でのキャンプ場やバーベキューハウスの施設を検討してほしい。	—	—	—

ご意見	年齢	性	地区
・オープンガーデンのような庭文化をもっとブランディングし、町に地域で共同運営するような外部空間のみこしを競うように育てられるとエリアブランディングが進むのではないかと。・プロのデザイナーやアーティストなど先鋭的な感性を取り込んでいけるし、古びた街から脱皮できると思う。	40代	男	西小磯東
・品格を大切に観光を考えてほしい。軽井沢の様に歴史と文化を大切にしたブランディングをしてほしい。	30代	女	西小磯西
年に何回か、住宅のお庭をまわって見せる企画がありますが、あれは治安面から言って不安です。路地など入り込み、人がうろうろとしているのは、あまり気持ちよくありません。出来ればこの企画はやめる方向で考えていただきたい。中止を希望します（お店屋さんをめぐる、うつわやBOOKなどは良いと思います）。	60代	女	西小磯東
宿泊施設の充実。	70歳以上	男	台町
宿場町の面影を残す観光対策。駅周辺の食事処の誘致。	70歳以上	女	生沢
せっかくロングビーチがあるので、大々的にハワイの様なりゾート地にして、ホテル、プール、海、ショッピング、カフェ、レストラン等が揃っていて一日中遊べるようなまちづくりだと旅行客も地元の人も楽しめると思います。	60代	女	中丸
30代まで逗子に住んでいましたが、大磯の地名は知っていましたが、当時、行ったことはありません。やはり、鎌倉や藤沢は良く行っていました。その先はあまり魅力を感じる事がなく行ったことはありません。大磯と言えばロングビーチくらいしか知らない状況でした。大磯には海浜も山もあるので、もっと気楽に来られるような施設や駐車場の完備があればよいと思う。	60代	男	黒岩
山の道に手入れをすれば観光客（散策）が増えると思う（谷戸門溪谷など）。	40代	男	国府新宿
滄浪閣をCCCに活用してもらうよう交渉できないか。	40代	男	国府新宿

■コミュニティ・地域振興（2件）

ご意見	年齢	性	地区
もっと人と人が触れ合える環境づくり。明るいコミュニケーション。	60代	男	高麗
・昨年、班長をしましたが、回覧板や集金 etc があり驚きました。まずはペーパーレス化 etc を初めても良いかもしれません。	40代	男	高麗

■広報・広聴（6件）

ご意見	年齢	性	地区
前ページの町政の取り組みについて、「不満」としている項目については実際に不満というわけではなく、実態が分からないという点についての満足度です。もう少し様々な取り組みについては分かりやすく発信していただけるとありがたいです。	40代	女	台町
・自然、文化など鎌倉になぜ人々がよく集まるのか？東の池のハスの花など、PR、SNS発信を多くする。	60代	男	国府新宿
・町内放送のスピーカーが聞き取りづらく、単にうるさいだけなので、情報発信のオンライン化を求めます。	40代	男	東町
防災無線から流れる「お帰りチャイム」がうるさい（防災無線のすぐそばの家に住んでいる）。新しい機器に交換してほしい。	70歳以上	—	国府新宿
町長はじめ町議の方々には選挙時にご自身が掲げた公約を守り、未来を託し一票を投じた町民の信頼に誠実に答えてほしいと切に願っています。すでに約束は破られつつあると感じてはおりますが、選挙の時だけ耳障りのいい事を掲げられたわけではないと信じていたい気持ちも少なからず残っています。町民との間に信頼関係を築けなければ、町民に寄り添ったより良い未来が切り開けるはずはないと思いますがいかがでしょうか。失礼ながら形骸化した「アンケート調査」や「ご意見伺います」といった集会等の開催にどれほどの意味があるのか疑問です。令和4年にある説明会に参加し意見票を提出しました（質問は意見票を提出してくださいとのことでしたので）。熟考し、時間をかけて意見票を作成し、記名、住所、連絡先も記し、メール添付にて提出しましたが、今日まで一切回答はなく、メールを受領したという返信さえありませんでした。その対応には大変驚き残念に思っています。より良い町づくりの実現にもし本気で取り組まれるのであれば、町民に説明するだけ、町民から意見を聞くだけでなく、町民との本当の意味での対話	60代	その他	台町

ご意見	年齢	性	地区
を大切にしてほしいと思います。前回の意見票の件もあり、今回のアンケートへの協力は見送ろうとも思いましたが、池田町長の手腕に期待を込めて提出します。町長にくれぐれもよろしくお伝えください。			
・意見は聞くだけでなくいいものはしっかり形にしてほしい。	50代	女	石神台

■公共施設・庁舎整備（2件）

ご意見	年齢	性	地区
町役場の建て替えを急いでほしい。	70歳以上	男	台町
町役場が古いのもう少しくれいに改装していただきたいです。	—	—	—

■行政（5件）

ご意見	年齢	性	地区
居住環境や観光地としての素養が十分あるにもかかわらず生かされていない。町の施策のほとんどが他の地域の焼き直しのようなものばかりで、新しい発想がない。SNSなどで話題になった地域や活動をもっと研究し、まちづくりに生かす工夫が欲しい。役場の職員に活気が感じられないのがその一因で、業務をこなすことだけに躍起になっている。公務員としての限界はあるだろうが、しがらみにとられない人材採用や、年功序列に縛られない、魅力のあるものの登用などを考えていかないと現状のまま何も変わることはできない。自分は久々に大磯に戻ってきたが、良い意味でも悪い意味でも町に発展性がない。確かに一過性のブームを求める必要はなく、住環境の良さは守るべきではあるが、土地に染み付いた古い人間関係や因習が、若い人の活躍を阻害し、移住者の障害にもなっていることは否めない。若い優秀な人材の育成、登用を積極的に進め、開かれた活気あふれる町へのイメージ刷新を図るべき。そのために職員のシニア雇用の制限や、議員の多選禁止、さらには将来的に回覧板や町内会の廃止を進め、その役割はデジタル化の推進や、町直轄団体を設立し、地域活動を担うことで代替してもらいたい。フットワークを軽くて新しいことに積極的に取り組む冒険心が求められる。	60代	男	山王町
・大磯町の魅力として、“自然（海、山）”、“プリンスホテル”、“静かで品の良い町”だと考えております。情報発信や行政サービスなどのIT推進で網羅性のある充実したやり取りができると助かります。	40代	男	東町
・戸籍謄本がコンビニでとれないのはなぜ。	40代	女	中丸
②家の周りの違法建築、危険な状態。③下水道にしたいが役場のあるうるさい人物がいるため、業者が決まらない。②③などの問題を解決できる窓口が欲しい。	60代	男	神明町
※5年の計画でなく、短期5年、中期15年、長期15年～を見直しては、中長期計画も必要ではと思います。5年では具体化はできますか。	60代	男	国府新宿

■まちづくり全般（31件）

ご意見	年齢	性	地区
なんでも便利になることが求められる時代ではあるが、不便である点が逆に環境を守り、子供たちが育つ健全な状況を保っているという点を強みとして、土地の自然を活かしたまちづくりをこれからもしていただけてほしいことを願います。	40代	女	西小磯東
都心から移住した者ですが、駅周辺や街にショッピングモールや大型複合施設などがないところがとても良いと思っております。大型施設の建設や再開発、整備などで一時的には賑わっても、その後町が死んでしまうという現象を多く見てきたので、開発や街づくりはぜひ慎重にお願いします。最近、大磯港に結びタコなど、集客のための工夫をされているようですが、大磯の夏の魅力を伝え、ブランドイメージを高めるとい意味で、かなりの外れな印象を持ちました。町おこしやブランドイメージの向上に成功している市町村の取り組みを精査、分析し、より精度の高い取り組みをしてほしいと感じています。ポテンシャルの高い町なので。	40代	女	高麗
もっと若い世代の転入が必要だと思う。茅ヶ崎のような強いブランドイメージがあるとよいが（湘南）、どちらかというと鎌倉の様な、歴史と文化を前面に出しながら、おしゃれな町並みやお店、人が多くなってくると嬉しいです。町にラ	—	—	—

ご意見	年齢	性	地区
スカのようなファッション&ショッピングビルがあると嬉しいです。池田東一郎さんよろしくお願いします。			
医療施設、福祉施設、教育の充実を必要だと思います。	-	-	-
私は子供ころから大磯を知っていますが、この町の良さは歴史と自然だと思います。昔に比べ、かなり変わってしまった点は宅地化によってかなり環境が変わってしまった点もあります。国道1号は前は松並木ももっとしっかりしていたけれどかなり変わってしまいました。駅付近はあまり変わっていないのは建物が新しくなく高さも一定だから良い点であり、駅も古いところが良く、街づくりを考えるのであれば古いものを活かした町づくりを進めるべきです。平塚、二宮のようになってはいけないということです。そして大磯町と特長が出た町づくりをすべきです。	70歳以上	男	-
・税金とかだけでは解決できないことも多いと思うので、ボランティアやNPOなどを積極的に活用して、また参加できる仕組みを紹介、促進してほしい（子育て、環境保全、高齢者福祉等）。	50代	女	台町
・大磯のユニーク性を守りつつ、新しい文化を育て生み出してほしい。そのような仕組みが必要。	50代	女	台町
子育てしていない30~50代の世帯が地域に協力できるようなシステム作りが必要。若い世代の人たちの転入が増えるのは難しいため（大磯町だけでない）。高齢の方たちの昔からのネットワークと子育てしている世代が地域行事に参加しているイメージが強い（参加しやすい環境なのかもしれない）。私たちの様な世代（家族構成）は入り込みにくい。	40代	女	高麗
歴史的な観光スポットだけではなく、若者の興味の引くスポットを作してほしい。	30代	男	国府新宿
・若い人が住みやすく集まる街にして行ってほしい。	40代	男	東町
・バスケットゴールを増やしバスケットの街にしてはどうか。	40代	男	東町
自治会に参加しているわけでもなく、小さな子供も高齢者もおらず、医療、福祉、教育面などイメージでしかお答えできなくて申し訳ないです。大磯町の時間の流れ方がとても好きです。都内から仕事終わりに帰ってくるとホッとします。もっと有名になってほしい気持ちもありますが、平塚以降の賑わいとは別格の秘密のわくわく町感がお気に入りなので、観光スポットがこれ以上増えすぎませんようにとこっそり思っています。若い人がもっと移住してきたら（今、健在の高齢の方がいなくなったら誰が引っ張ってまちづくりするのかなと思っています）、今後も町の活性化になるのかと思いますが、政治や行政に興味なく、ただスロライフ、テレワーク、サーフィン等のために移住してきた方をどうやってまちづくりに取り込むのが大切だろうと思います。具体案なくてすみません。大磯大好きです。いつまでもこのままでいてほしい。	10~20代	女	長者町
・町ぐるみの催しもっとあると良いと思います。	10~20代	男	茶屋町
大磯町の魅力は海、山、川等自然豊かなところや、平塚市と違って人が少なく娯楽が少ないことが魅力だと思います。「何もない」は言い過ぎかもしれませんが、そこが大磯の素晴らしいところだと思います。	30代	男	中丸
町を発展させるためには人口の自然減を緩やかにして、人口が増えるための整備を行う必要があると思いますが、そのための方針と施策の策定が本総合計画に組み入れる努力が表れています。他方で人が住みやすい町造を目指す場合、具体的には大磯町が山と海の間に限られた土地の有効利用をさらに考え、①子供のいる若い家族が平均的な収入で購入できる住宅が提供されること、②自然を感じられる魅力的な環境があること、③日常生活に必要な物質を購入できる商業施設が充実していること、④更に近郊の街、地域（通勤可能な地に）に雇用の場があることが必要であるので、これらの点を念頭に計画を練る必要があると思います。	60代	男	台町
町政の取り組みの中に、住民としてワクワクする施策が全くない。なぜなら、道路や橋などインフラ整備や情報システムの整備など、現状あるものの維持、改善ばかりに焦点が当たっており、町が寄り寄り方向に劇的に変わるイメージがわからないからです。地域インフラを整備することは当たり前前に安全に暮らしていただくために最重要ですが、他の市区町村と比べ、ユニークで魅力的な町を形成するには、その土台の上に大磯だからこそ感じられる経験や価値が乗っかるような施策を厚く準備する必要があると思います。まず、その意味で柱Vが重要だと考えますが、	30代	男	高麗

ご意見	年齢	性	地区
ここに全く面白い案がなかった。例えば「地域の特性を活かしたら産業の活性化」では地産地消をコンセプトにする飲食店やモノづくりの事業者に支援、開業資金サポートするとか、有り余る巨大な土地に飲食やレジャー誘致をして、一緒に町づくりを進める等面白いのではと思った。高麗にも NCR の工場跡地があります。この地に京都のスタバのようにランドマークにもなる、この地ならではのスタバ、蔦屋書店が出来たり、温浴施設が出来たりすることで町の魅力向上の一助になるのではと思った。あと、これはまちづくりとは少し外れるかもしれませんが、横浜や都内の人たちが潜在的に持っているであろう不満（固定費での生活の圧迫や人ごみ、煩わしい人間関係など）から解放されるみたいな魅力の打ち出し方もありなのかなと思った。最後に「生活を支える交通基盤の形成」は柱Ⅰか柱Ⅲに組み込むべきだと思います。柱Ⅴのその他施策が少ないのが道路整備でごまかされているのみに見えてしまいます。那須の黒磯は素敵な図書館やカフェが集まり活気を取り戻しています。人口減少により財政難となる自治体が多くなると思いますので、魅力的な施策に期待しています。			
人口が減少していることが一番の問題だと思います。2040年には65歳以上が人口の4割になるそうですね。その時介護サービスなど成り立っているのか、とても不安です。住み続けるかどうか考えています（税収が減っていけばサービスが悪くなります）。マンション建設を推進すべきだと思います。	50代	女	南本町
静かで暮らしやすいというメリットを崩さずに、公共施設や道路、買い物のやすさが向上するといい、住んでみるとやはり都会を比べて不便部分が多い、都会と同等のレベルを目指す必要は全くないが、もう少し、暮らしの便利さに力を入れてほしい。また高齢者が多いので仕方ないが行政のDXも推進してほしい。	30代	男	西小磯東
周辺市、町を頼ったまちづくりが、大磯町の魅力、活力の低減につながってしまっていないか。外食や買い物を町内で完結できる状態を作り、仕事や税収を生む利便性の向上につながる、そのための土地斡旋や補助、企業との交渉、個人事業主の勧誘などを推進してほしい。また、町内には影響力を有する個人も一定数いる。これらの活用もどん欲に検討すべき。	40代	男	台町
安全安心で心豊かな人を育むまちづくり。	70歳以上	女	—
そのままの大磯が好きです。	60代	男	長者町
まちづくりの構想に若年者グループだけのワーキンググループを作り、プロジェクトを立ち上げてもらう試みを行う（老人は口を出さない）。	60代	男	台町
首都圏に近い割に周囲の近代化に流されない街並み。昔からの駅舎と商業施設化されていない周りの雰囲気が入っています（反面、多少不便さも感じています）。一時期大磯と言えばロングビーチと言われる時代がありましたが、歴史ある大磯を大いに活かしてよそにない特色ある町になる様にと 생각합니다。	70歳以上	女	中丸
子育ての施設や福祉の充実はもっともっと必要と考えますがその財源が必要。街の景観や文化財の維持も大切ではあると思いますが、街のリノベーション？資源を生かしつつ財源を生産する新しいやり方や取り入れることもしてほしい。	40代	女	月京
子どもの教育には力を入れるべき。人を呼べる町にしなければならない。コア層（若い人、子ども）。オリンピックを見てわかるようにコア層が興味のある身近なスポーツ（ボルダリング、スケートボード等）の場所を提供すれば、若者が集まり、子どもの親が集まる。余っている土地や海沿いに作れば大磯町に住む若い層、コア層が集まるだろう。古い文化と若い文化の融合。教師の質を上げ、町役場の職は新陳代謝を望む。若い人たちを中心に町の事を考え、老人たちは口を慎む努力をしてほしい。若者たちの声が聞こえる。活気ある町にしてほしい。海まで行く水戸をもう少し（おしゃれ）整えれば観光客も増えるだろう。	60代	他	—
大磯の魅力は何と言っても、その自然と歴史です。それを守ることを第一に考える街づくりをやってほしいと思います（人工的な開発は、自然破壊を伴いやすいので極力やめてほしい）。身近なことでは、海岸のごみは何かならないものでしょうか？（個人的な努力も必要だと思いますが）。あと蛇足ですが、大磯の犬糞化は嫌だな。	60代	女	西小磯西
移住者の持つ様々な人的資源が活用されるような地域環境があるとよいなと思います。	50代	男	東町

ご意見	年齢	性	地区
昔ニューヨーク郊外の住宅地に住みマンハッタンへ、またロンドン郊外の小さな町に住んでロンドン市内に、いずれも電車で 3、40 分ほどの場所から通勤した経験があるが、住んでいた地域はどちらも帰宅すれば環境が変わって安らげたような気がする。狭い日本では難しいかもしれないが、大磯は自然環境に恵まれて町のサイズも小さく（人が少ない）、大都市に近いので、私が経験したような豊かさを実感できる生活を過ごせる可能性が高いと思う。東京、横浜に通勤通学する人たちがオンオフのオフの生活を楽しめる町、というのが一つの方向性ではないかと考える。また、日本の市町村が地域の特性を失い、画一化される中で、大磯は独自の道を歩むべきではないかとも考えます。例えば少子化対策などでも、人口の減少は避けられないので、とるべく対策は人口が減少した時、どのような人により町が構成されれば、財政的に町が生き残れるかのシミュレーションを考えるべきではないかとも思います。今取られている少子化対策など国に任せて、大磯独自の少子化対策を考えたらどうかと思います。	70 歳以上	男	台町
1. 子育て世代が暮らしやすいまちづくり（税収増の面からも大切。自主活動の担い手増の点でも）。・既存の公の学童保育は人数が多すぎ、スタッフの人で不足もあって、管理主義的に見えます。自主運営的な取り組みも出てきているそうなので、財政的支援（税金からでなくとも、資金調達法の支援でも良い）、また、特に安全に関するスタッフ研修などの点で行政が積極的に手を貸してほしい。・駅前等の買い物などの利便性向上。例えば、生鮮品を手ごろな価格で買えるスーパーが必要。クリエイトでは不足です。これでも昔より便利になったと古い住民は言いますが、高齢人口の増加の事を考えても、この程度では暮らしにくい。さらなる一步を。2. 自主活動が色々な分野で盛んなのは大磯の素晴らしいところ。でも今のところ、ここバラバラなイメージ。小規模。上の世代の活動と子育て世代の協働もまだこれから？行政が「ハブ」になって、各活動をつないで行ける取り組みを。	-	-	-
・私も高齢者年齢に達してしまい、頭を使うこと以外は中々貢献できる部分が減っていますが、大磯町の高齢者（65 歳以上）人口比は約 34.7%で、日本の平均 29%（2022 年）に比べて多く、高齢者対策も喫緊の課題かと思えます。・ただ、それ以上に気になるのが人口ピラミッドで 20 代後半の人口が著しく少ないことです。若い人にもっと住んでもらえるような施策を緊急にとらないと、ピラミッドが倒れてしまいそうです。高齢者対策も必要ですが、それ以上に若い人口を増やすことを考える必要があると思えます。・大磯に来て気になったのは、町の中にゆったりと散策できる緑の多い公園がないことです。これは、年齢を問わず利用できるもので、若年層へのアピールにもなるものかと思えます。・背後に丘陵地が迫り、良い土地がないのもわかりますが要検討かと思えます。	70 歳以上	男	西小磯西
2. 人口をこれ以上増やし過ぎないほうが良いと思う。駅や自転車置き場などはキャパがいっぱいに近づいている。→辻堂や茅ヶ崎みたいな町にはしないほしい（悪いわけではないが、大磯は静かで落ち着く街であってほしい）。	50 代	男	東町

■アンケートについて（1件）

ご意見	年齢	性	地区
次回アンケートには“普通”の選択肢を設けて頂きたいと思えます。	60 代	男	石神台

■その他（6件）

ご意見	年齢	性	地区
大磯駅のケータイの電波が悪い。	30 代	男	西小磯東
漁港の釣りのルールが厳しい（全面投げ釣り解禁してほしい）。	30 代	男	西小磯東
・選挙期間中、住宅至近で演説する方が一名おられました。在宅や夜勤の方も世の中多数存在していることも地域として理解すべきです。	40 代	男	東町
・犬に優しくない（ドッグランなど土地はあるのに施設がなさすぎる）。	40 代	女	中丸
・プリンスホテルのクーポンが使いやすくなるとよいと思えます。	10~20 代	男	茶屋町
大磯に引っ越してきて本当に良かったと思っています。これからもよろしく願います。	30 代	男	台町

1 一般町民アンケート



まちづくり（総合計画）に関する町民アンケート調査

【ご協力をお願い】

大磯町では、誰もが豊かで満足できる生活を実現するため、長期ビジョンを示すとともに総合的かつ計画的な行政運営を推進するため、「第五次総合計画」を策定しています。

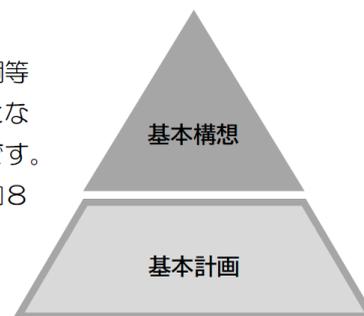
令和8年度から始まる「第五次総合計画後期基本計画」の策定及び「まちづくり基本計画」の見直しをするために、皆さまのご意見をお聞きするアンケート調査を行います。このアンケート調査は、今後の大磯町のまちづくりに対する皆さまのご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用させていただきます。

アンケートの対象者は、町内在住の18歳以上の方から無作為で選ばせていただきました。この調査は、無記名方式で実施し、回答は統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

2024年7月 大磯町長 池田 東一郎

<基本計画とは>

大磯町のめざすべき将来像と、これを実現するための施策の大綱等を明らかにし、総合的・計画的なまちづくりを進めるための指針となる「基本構想」をより具現化し、施策の基本的な方向を示すものです。計画期間は5年間であり、令和3年度からの前期基本計画と、令和8年度からの後期基本計画で構成されています。



<まちづくり基本計画とは>

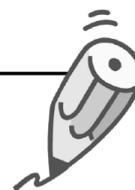
総合計画基本構想の実現をめざし、土地利用・まちづくり（都市づくり）分野の計画で、土地利用計画の基本となるとともに、総合計画を支える都市づくりの根幹的な計画です。令和3年の計画策定から5年が経過する令和7年に計画の評価、見直しを行う予定です。

ご記入にあたってのお願い

- アンケートの記入は、宛先のご本人にお願いいたします。
- 問1から問15まで、次の要領でご記入ください。
 - ①回答項目に当てはまるものの番号を○で囲むか、問の指示によりご記入ください。
 - ②その他の（ ）内には、ご意見やご回答を具体的にお書きください。
- ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、2024年8月7日（水）までに、お近くのポストにご投函ください。

【問い合わせ】

政策総務部 政策課 政策係 電話 0463-61-4100（代） ファックス 0463-61-1991



■あなたご自身について

①あなたの年齢は（○はひとつ）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 3. 30～39 歳 | 5. 50～59 歳 | 7. 70～74 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 4. 40～49 歳 | 6. 60～69 歳 | 8. 75 歳以上 |

②あなたの性別は（○はひとつ）

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

③あなたがお住まいの地区は（○はひとつ）

- | | | | |
|--------|---------|----------|---------|
| 1. 高麗 | 7. 北下町 | 13. 西小磯東 | 19. 生沢 |
| 2. 東町 | 8. 南本町 | 14. 西小磯西 | 20. 寺坂 |
| 3. 長者町 | 9. 南下町 | 15. 中丸 | 21. 虫窪 |
| 4. 山王町 | 10. 茶屋町 | 16. 馬場 | 22. 黒岩 |
| 5. 神明町 | 11. 裡道 | 17. 国府新宿 | 23. 西久保 |
| 6. 北本町 | 12. 台町 | 18. 月京 | 24. 石神台 |

④あなたと同居しているご家族は（当てはまる方すべてに○）

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 6. 祖父・祖母 |
| 2. 子ども（1番若い子どもの年齢：_____歳） | 7. 兄弟・姉妹 |
| 3. 子どもの配偶者・パートナー | 8. その他() |
| 4. 孫 | 9. 同居している人はいない |
| 5. 父・母 | |

⑤大磯町に住んで何年になりますか（○はひとつ）

- | | | |
|--------------|----------------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 5年以上→10年未満 | 5. 20年以上 |
| 2. 1年以上→5年未満 | 4. 10年以上→20年未満 | |

⑥あなたの大磯町での居住履歴は次のどれですか（○はひとつ）

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| 1. 生まれてからずっと居住 | 3. 15歳になった以降に転入 |
| 2. 15歳になるまでに転入 | 4. Uターン（以前、大磯町に居住し、一時、町外に転居したが、戻ってきた） |

■居住意向、生活の幸福度・満足度について

問1 あなたは今後も大磯町に住み続けたいと思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 町内に住み続けたい | → 問1-1、問1-2にお進みください。 |
| 2. 町外に転居したい | → 問1-3にお進みください。 |

【問1で「1. 町内に住み続けたい」と回答した方におうかがいします。】

問1-1 町内に住み続けたい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自分が育ったところだから | 6. 親が近くに住んでいるから |
| 2. 通勤通学の便が良いから | 7. 日常生活がしやすいところだから |
| 3. 住宅が気に入っているから | 8. 地域に魅力があるから |
| 4. 自然環境が良いから | 9. その他 |
| 5. 子育て・教育環境が良いから | () |

問1-2 あなたは今後(おおむね10年)大磯町でどのような生活をしたいですか。重視したい点についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 町内で買い物や休日の娯楽などを楽しめるような都市的生活をしたい |
| 2. 地元で働き、職住近接の生活をしたい |
| 3. 日常的に山、海、川を楽しみ、菜園を楽しむような自然にかこまれた生活をしたい |
| 4. 日頃から地域の文化に接し、町外の人たちとも文化的交流をして楽しめる生活をしたい |
| 5. スポーツやアウトドアなどのレジャーを楽しみながら健康的な生活をしたい |
| 6. 地域活動に参加し、地元の人たちと楽しく過ごす生活をしたい |
| 7. 子育てを中心に、安心して楽しく生活したい |
| 8. その他 () |

【問1で「2. 町外に転居したい」と回答した方におうかがいします。】

問1-3 町外に転居したい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 自分が育った地域ではなく愛着がないから | 6. 日常生活がしづらいところだから |
| 2. 通勤通学の便が良くないから | 7. 地域に魅力がないから |
| 3. 今の住宅が住みづらいから | 8. 地震や津波が不安だから |
| 4. 自然環境が良くないから | 9. その他 |
| 5. 子育て・教育環境が良くないから | () |

問2 大磯町での暮らしの幸福度・満足度について以下の4つの項目について、10点満点で評価してください。(○は各設問1つずつ)

設問	最高の状態	得点										最低の状態
		最高	10	9	8	7	6	5	4	3	2	
【記入例】	最高	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	最低
1. 現在、あなたはどの程度、幸せですか。	とても幸せ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不幸
2. 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。	とても満足	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不満
3. あなたの町内(集落)の人たちは、どれくらい幸せだと思いますか。	とても幸せ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不幸
4. 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。	とても幸せ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不幸

■地域の環境について

問3 あなたがお住まいの地域の環境などについてどのように感じていますか。各項目のあてはまる番号に○を付けてください。

	項目	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
【回答例】	〇〇や〇〇の便利さ	5	④	3	2	1
自然環境	1. 海、山、自然の豊かさ	5	4	3	2	1
	2. 空気のきれいさ	5	4	3	2	1
	3. 日当たりや風通し	5	4	3	2	1
伝統歴史	4. 伝統文化・歴史の継承	5	4	3	2	1
騒音振動	5. 車の騒音・振動	5	4	3	2	1
	6. 車以外の騒音・振動・悪臭	5	4	3	2	1
基盤整備	7. 雨水の排水	5	4	3	2	1
	8. 公共下水道の整備状況	5	4	3	2	1
	9. ごみの回収や処理状況	5	4	3	2	1
	10. 道路の利便性	5	4	3	2	1
安全性	11. 風水害や火災に対する安全性	5	4	3	2	1
	12. 地震や津波に対する安全性	5	4	3	2	1
	13. 防犯の状況	5	4	3	2	1
	14. 道路、交通の安全性	5	4	3	2	1
日常利便性	15. 日常の買い物の便利さ	5	4	3	2	1
	16. 地域の集会施設の便利さ	5	4	3	2	1
	17. 子どもの遊び場・公園の便利さ	5	4	3	2	1
	18. (公共) 交通機関の便利さ	5	4	3	2	1
施設等の利用のしやすさ	19. 幼稚園・保育所	5	4	3	2	1
	20. 小学校・中学校	5	4	3	2	1
	21. 地域の会館・集会場	5	4	3	2	1
	22. 学童保育施設	5	4	3	2	1
	23. 病院・医院	5	4	3	2	1
	24. スポーツ施設	5	4	3	2	1
	25. 図書館	5	4	3	2	1
	26. 福祉施設	5	4	3	2	1
	27. 文化系施設(旧吉田茂邸など)	5	4	3	2	1
	28. 観光系施設(OISO CONNECTなど)	5	4	3	2	1

■ 町政の取組みについて

問4 大磯町では、まちづくりを推進していくにあたり、5つの方針（柱）を据え、施策を展開しています。これらの施策の重要度と満足度について、あなたの考えに近いものは次のどれですか。（○は「満足度」と「重要度」でそれぞれ1つ）

町が実施している施策	満足度				重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	
【記入例】	④	3	2	1	4	③	2	1	
柱Ⅰ 安全安心で いきいきと くらするま ちづくり	1. 危機管理（防災等）	4	3	2	1	4	3	2	1
	2. 消防・救急・救助	4	3	2	1	4	3	2	1
	3. 生活安全	4	3	2	1	4	3	2	1
	4. 子ども・子育て支援	4	3	2	1	4	3	2	1
	5. 生きがいづくり・社会参加	4	3	2	1	4	3	2	1
	6. 保健・医療	4	3	2	1	4	3	2	1
	7. 健康づくり・スポーツ	4	3	2	1	4	3	2	1
	8. 地域福祉	4	3	2	1	4	3	2	1
	9. 障がい者福祉	4	3	2	1	4	3	2	1
	10. 高齢者福祉	4	3	2	1	4	3	2	1
	11. 保険（国保・介護保険等）	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅱ 町民の力や知 恵が集まるま ちづくり	12. 町民参画・協働	4	3	2	1	4	3	2	1
	13. 広報・広聴・情報化	4	3	2	1	4	3	2	1
	14. 行財政運営	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅲ 快適でくらし やすいま ちづくり	15. 自然環境・公園	4	3	2	1	4	3	2	1
	16. 地域環境	4	3	2	1	4	3	2	1
	17. 河川・下水道・生活排水	4	3	2	1	4	3	2	1
	18. 廃棄物処理	4	3	2	1	4	3	2	1
	19. 土地利用	4	3	2	1	4	3	2	1
	20. 住宅・住環境	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅳ 心豊かな人 を育むまち づくり	21. 景観形成	4	3	2	1	4	3	2	1
	22. 幼児教育・保育	4	3	2	1	4	3	2	1
	23. 学校教育	4	3	2	1	4	3	2	1
	24. 青少年	4	3	2	1	4	3	2	1
	25. 生涯学習	4	3	2	1	4	3	2	1
	26. 人権・男女共同参画	4	3	2	1	4	3	2	1
	27. 文化芸術・文化財	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅴ 元気や活力 が生まれる まちづくり	28. 道路・交通	4	3	2	1	4	3	2	1
	29. 産業（農業・漁業・商工業）	4	3	2	1	4	3	2	1
	30. 勤労・就業	4	3	2	1	4	3	2	1
	31. 観光	4	3	2	1	4	3	2	1

【参考：大磯町が進めている5つの方針（柱）と施策】

部門別計画	
柱Ⅰ 安全安心で いきいきとくらせる まちづくり	○安全なまちづくりの推進 ○子どもを産み育て育てやすい環境づくりの推進 ○健康と生きがいづくりの推進 ○こころふれあう共生社会の推進
柱Ⅱ 町民の 力や知恵が集まる まちづくり	○交流と協働のまちづくりの推進 ○開かれた町政と情報化の推進 ○持続可能な行財政の運営
柱Ⅲ 快適で くらしやすい まちづくり	○身近な自然環境空間の形成 ○良好な地域環境と循環型地域社会の形成 ○魅力ある快適なくらし空間の形成
柱Ⅳ 心豊かな 人を育む まちづくり	○次世代を担う人づくりの推進 ○つながりを育む生涯学習の推進 ○誰もが尊重される社会づくりの推進 ○先人から引き継いだ文化の継承と活用
柱Ⅴ 元気や活力が 生まれる まちづくり	○生活を支える交通基盤の形成 ○地域の特性を生かした産業の活性化 ○地域資源を生かした特色ある観光の推進

問5 今後、財政的な厳しさが進むなかで、広域で連携して取り組んだ方がよいと思うものはどれですか。また、どのような取組みならば広域で連携が可能だと思いますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 住民票等の発行窓口業務	5. 子育て支援サービスの提供
2. 公共施設の利用	6. 災害時における広域的な避難体制の整備
3. 公共交通の確保・整備	7. その他
4. 医療・介護サービスの提供	()

■土地利用等について

問6 今後の大磯町の住宅地整備は、特にどの点を重視すべきだと思いますか。（○はひとつ）

1. 住宅と他の用途の混在を解消する	6. 新たにゆとりある住宅地を開発する
2. 住宅の密集を解消する	7. 規制により2階程度の住宅地を形成する
3. 生活道路や公共下水道、公園等を整備する	8. 中高層の集合住宅を開発する
4. 生垣や緑化などを推進する	9. その他
5. 街並み(色・デザイン・高さ)の調和を図る	()

問7 空き家の発生を防いだり、管理が十分にされていない空き家を解消したりするために、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(〇はひとつ)

1. 空き家を生み出さないための広報や啓発活動の充実
2. 空き家所有者に対する管理などに関する情報提供
3. 相談窓口の充実
4. 空き家所有者に対する修繕や解体費用等の支援
5. 空き家所有者に対する指導や罰則の導入・強化
6. その他 ()

問8 商業を活性化するために、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(〇はひとつ)

1. 既存商店を個性的な店舗・街並みのある商店街にする
2. 既存商店の空き店舗を活用して賑わいを果たせる
3. 既存商店の再開発等で新たな商業拠点をつくる
4. 幹線道路沿道等に新たに大規模店を誘致する
5. その他 ()

問9 農地の土地利用は、特にどの点を重視すべきだと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 規制によって保全する | 5. 新しい住宅地として利用する |
| 2. 町民や行政の支援によってなるべく保全する | 6. 新しい産業地として利用する |
| 3. 市民農園など体験農業の利用を促進する | 7. 所有者の自由でよい |
| 4. 地域の活性化に必要な施設（コミュニティ施設）等に利用する | 8. その他 () |

問10 山林・緑地の土地利用は、特にどの点を重視すべきだと思いますか(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 規制によって保全する | 5. 新しい産業地として利用する |
| 2. 町民や行政の支援によってなるべく保全する | 6. 所有者の自由でよい |
| 3. 森林公園や展望地など自然体験的利用を促進する | 7. その他 |
| 4. 新しい住宅地として利用する | () |

問11 大磯町の自然環境を保全し活用するためには、どのようなことが重要だと思いますか。(当てはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 自然環境を活かした環境教育 | 7. 公共下水道や公園などの整備 |
| 2. 環境保全に関する情報提供 | 8. 街路樹など市街地の新たな緑づくり |
| 3. 市民農園制度等による農地減少の抑制 | 9. 虫や魚のいる川づくり |
| 4. 開発の規制による山林減少の抑制 | 10. 住民と行政の協力による貴重な緑地等の買取 |
| 5. 市街地の身近な緑や屋敷林の保全 | 11. 町民参加による地域ごとの環境調査・評価 |
| 6. 町民の環境保全活動への支援 | 12. その他 () |

■広報について

問 12 町では様々な方法で町政情報を発信していますが、どのような方法で入手しようとしていますか。各項目の当てはまる番号に○を付けてください。

	い 閱 覧 し て	け 興 味 の あ る も の だ	し 知 つ て い る が 閱 覧 し た こ と は な い	な 興 味 が な い ・ 知 ら な い
1. 町広報（広報おおいそ）	1	2	3	4
2. 町ホームページ	1	2	3	4
3. チラシ・回覧板	1	2	3	4
4. 広報掲示板	1	2	3	4
5. メール配信サービス（SCNのeasy pocket サービス）	1	2	3	4
6. スマートフォンアプリ （マチイロ（町広報電子版）、LifeVision など）	1	2	3	4
7. メディア（新聞、タウン紙、地元テレビ局）	1	2	3	4
8. SNS（LINE、Instagram、X(旧Twitter)）	1	2	3	4
9. その他（ ）	1	2	3	4

問 13 今後、町政情報を伝えるために、どの方法に力を入れるべきと考えますか。（当てはまるものすべてに○）

1. 町広報	7. メディア（新聞、タウン紙、地元テレビ局）
2. 町ホームページ	8. SNS（LINE、Instagram、X(旧Twitter)）
3. チラシ・回覧板	9. その他
4. 広報掲示板	（ ）
5. メール配信サービス（SCN のeasy pocket サービス）	
6. スマートフォンアプリ（マチイロ（町広報電子版）、LifeVision など）	

■地域課題について

問14 現在、社会的課題となっている事項について、今後の大磯町においても課題となる、あるいは既に課題となっていると思うものはありますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 社会保障費の増大と制度の維持 | 10. 公共交通網の維持・交通空白地の解消 |
| 2. 持続可能なまちづくりの実現 | 11. 高齢者の移動手段の確保 |
| 3. 安心して暮らし続けられる支援 | 12. 空き家対策 |
| 4. 子育てへの支援 | 13. 買い物の場の確保 |
| 5. 子どもの貧困への対策 | 14. 自然災害や危機への備え |
| 6. 女性の社会進出の促進 | 15. キャッシュレス社会の実現 |
| 7. 高齢者の雇用促進 | 16. マイナンバーカードなどを活用したデジタル化 |
| 8. 性的少数者への支援 | 17. その他 |
| 9. 外国人住民・観光者への対応 | () |

■自由意見

問15 大磯町の将来のまちづくりについてご意見がありましたらご自由にご記入ください。

2 転入者アンケート



まちづくり（総合計画）に関する町民アンケート調査

【ご協力をお願い】

大磯町では、誰もが豊かで満足できる生活を実現するため、長期ビジョンを示すとともに総合的かつ計画的な行政運営を推進するため、「第五次総合計画」を策定しています。

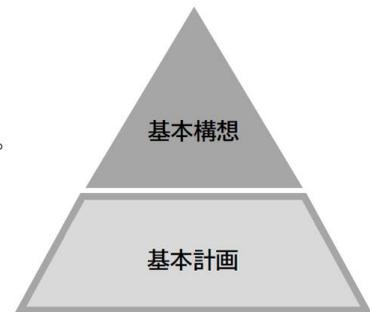
令和8年度から始まる「第五次総合計画後期基本計画」の策定及び「まちづくり基本計画」の見直しをするために、皆さまのご意見をお聞きするアンケート調査を行います。このアンケート調査は、今後の大磯町のまちづくりに対する皆さまのご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として活用させていただきます。

アンケートの対象者は、大磯町に転入されて5年以内の方から無作為で選ばせていただきました。この調査は、無記名方式で実施し、回答は統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。お忙しいところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

2024年7月 大磯町長 池田 東一郎

＜基本計画とは＞

大磯町のめざすべき将来像と、これを実現するための施策の大綱等を明らかにし、総合的・計画的なまちづくりを進めるための指針となる「基本構想」をより具現化し、施策の基本的な方向を示すものです。計画期間は5年間であり、令和3年度からの前期基本計画と、令和8年度からの後期基本計画で構成されています。



＜まちづくり基本計画とは＞

総合計画基本構想の実現をめざし、土地利用・まちづくり（都市づくり）分野の計画で、土地利用計画の基本となるとともに、総合計画を支える都市づくりの根幹的な計画です。2021年の計画策定から5年が経過する令和7年に計画の評価、見直しを行う予定です。

ご記入にあたってのお願い

1. アンケートの記入は、宛先のご本人にお願いいたします。
2. 問1から問8まで、次の要領でご記入ください。
 - ①回答項目に当てはまるものの番号を○で囲むか、問の指示によりご記入ください。
 - ②その他の（ ）内には、ご意見やご回答を具体的に書きください。
3. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、2024年8月7日（水）までに、お近くのポストにご投函ください。



【問い合わせ】

政策総務部 政策課 政策係 電話 0463-61-4100（代） ファックス 0463-61-1991

■あなたご自身について

①あなたの年齢は（○はひとつ）

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 3. 30～39 歳 | 5. 50～59 歳 | 7. 70～74 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 4. 40～49 歳 | 6. 60～69 歳 | 8. 75 歳以上 |

②あなたの性別は（○はひとつ）

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

③あなたがお住まいの地区は（○はひとつ）

- | | | | |
|--------|---------|----------|---------|
| 1. 高麗 | 7. 北下町 | 13. 西小磯東 | 19. 生沢 |
| 2. 東町 | 8. 南本町 | 14. 西小磯西 | 20. 寺坂 |
| 3. 長者町 | 9. 南下町 | 15. 中丸 | 21. 虫窪 |
| 4. 山王町 | 10. 茶屋町 | 16. 馬場 | 22. 黒岩 |
| 5. 神明町 | 11. 裡道 | 17. 国府新宿 | 23. 西久保 |
| 6. 北本町 | 12. 台町 | 18. 月京 | 24. 石神台 |

④あなたの職業は（○はひとつ）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 6. 派遣社員・パート・アルバイト |
| 2. 自営業 | 7. 専業主婦・主夫 |
| 3. 会社または団体の役員 | 8. 学生 |
| 4. 会社員または団体職員(正社員) | 9. 無職 |
| 5. 官公庁・学校などの公務員 | 10. その他 () |

⑤あなたと同居しているご家族は（当てはまる方すべてに○）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 6. 祖父・祖母 |
| 2. 子ども（1番若い子どもの年齢：____歳） | 7. 兄弟・姉妹 |
| 3. 子どもの配偶者・パートナー | 8. その他 () |
| 4. 孫 | 9. 同居している人はいない |
| 5. 父・母 | |

⑥あなたが住んでいる住宅の種類は何ですか（○はひとつ）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 戸建住宅で持ち家 | 5. 寮、社宅 |
| 2. 戸建賃貸住宅 | 6. 公営住宅（町営） |
| 3. 分譲集合住宅 | 7. その他 () |
| 4. 賃貸集合住宅 | |

■大磯町のイメージ、強み・弱みについて

問1 あなたは、大磯町に転入する以前、大磯町に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。(当てはまるものすべてに○)

1. 手頃な価格(家賃、地代、分譲価格等)の住宅があるところ
2. 質の高い住宅、デザインが良い住宅があるところ
3. 比較的交通の便が良いところ
4. 身近な海、緑地など自然環境が豊かであるところ
5. 地域に歴史的な文化や建物が残っているところ
6. 海産物や農産物、果樹などの食材が豊かなところ
7. 子育て・教育環境が良いところ
8. 地域の人とのつながりがあるところ
9. 特にイメージはなかった
10. その他 ()

問2 あなたが大磯町に住むことを決めた理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 自分が育ったところだから | 7. 親が近くに住んでいる |
| 2. 通勤通学の便が良いから | 8. 結婚や家族の移転にともなって |
| 3. 手頃な住宅、土地があったから | 9. 日常の生活がしやすいところだから |
| 4. 社宅、寮があるから | 10. 地域にブランド性があったから |
| 5. 自然環境が良いから | 11. その他 |
| 6. 子育て・教育環境が良いから | () |

【問2で「10. 地域にブランド性があったから」と回答した方におうかがいします。】

問2-2 あなたが思う「大磯町のブランドイメージ」をお教えてください。(自由記述)

問3 大磯町に住んで良かったと思いますか。率直にお答えください。(○はひとつ)

- | | |
|---------|-----------|
| 1. 良かった | 2. 良くなかった |
|---------|-----------|

問4 次の各項目は、大磯町にとって、強み（誇れるもの、他市町村に負けていないもの）、弱み（まちの問題点、他市町村より劣っているもの）のどちらだと思いますか。（項目ごとに○はひとつ）

	強み	どちらかといえば強み	どちらかといえば弱み	弱み
【記入例】〇〇の利便性	4	③	2	1
1. 海・山・川などの自然環境	4	3	2	1
2. 気候や景観、水などの住環境	4	3	2	1
3. 医療・福祉施設のサービス	4	3	2	1
4. 子育て支援サービス	4	3	2	1
5. 買い物や外食	4	3	2	1
6. 道路や公園などの都市基盤	4	3	2	1
7. 交通の便	4	3	2	1
8. 公共施設	4	3	2	1
9. 子どもの教育環境	4	3	2	1
10. 史跡や文化財	4	3	2	1
11. 資源やリサイクル対策	4	3	2	1
12. 消防・防災体制	4	3	2	1
13. 治安や子どもたちの安全	4	3	2	1
14. 地域での人間関係	4	3	2	1
15. NPOなどの市民活動	4	3	2	1
16. その他（ ）	4	3	2	1

■居留意向、生活の幸福度・満足度について

問5 あなたは今後も大磯町に住み続けたいと思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 町内に住み続けたい | → 問5-1にお進みください。 |
| 2. 町外に転居したい | → 問5-3にお進みください。 |

【問5で「1. 町内に住み続けたい」と回答した方におうかがいします。】

問5-1 町内に住み続けたい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 自分が育ったところだから | 6. 親が近くに住んでいるから |
| 2. 通勤通学の便が良いから | 7. 日常生活がしやすいところだから |
| 3. 住宅が気に入っているから | 8. 地域に魅力があるから |
| 4. 自然環境が良いから | 9. その他 |
| 5. 子育て・教育環境が良いから | () |

【問5-1で「8. 地域に魅力があるから」と回答した方におうかがいします。】

問5-2 あなたにとって大磯町の「魅力」とは何ですか。(自由記入)

【問5で「2. 町外に転居したい」と回答した方におうかがいします。】

問5-3 町外に転居したい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 自分が育った地域ではなく愛着がないから | 6. 日常生活がしづらいところだから |
| 2. 通勤通学の便が良くないから | 7. 地域に魅力がないから |
| 3. 今の住宅が住みづらいから | 8. 地震や津波が不安だから |
| 4. 自然環境が良くないから | 9. その他 |
| 5. 子育て・教育環境が良くないから | () |

問6 大磯町での暮らしの幸福度・満足度について以下の4つの項目について、10点満点で評価してください。(○は各設問1つずつ)

設問	最高の状態	得点										最低の状態
		最高	10	9	8	7	⑥	5	4	3	2	
【記入例】	最高	10	9	8	7	⑥	5	4	3	2	1	最低
1. 現在、あなたはどの程度、幸せですか。	とても幸せ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不幸
2. 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。	とても満足	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不満
3. あなたの町内(集落)の人たちは、どれくらい幸せだと思いますか。	とても幸せ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不幸
4. 今から5年後、あなたはどの程度幸せだと思いますか。	とても幸せ	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても不幸

■ 町政の取組みについて

問7 大磯町では、まちづくりを推進していくにあたり、5つの方針（柱）を据え、施策を展開しています。これらの施策の重要度と満足度について、あなたの考えに近いものは次のどれですか。（○は「満足度」と「重要度」でそれぞれ1つ）

町が実施している施策	満足度				重要度				
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	
【記入例】	④	3	2	1	4	③	2	1	
柱Ⅰ 安全安心で いきいきと くらするま ちづくり	1. 危機管理（防災等）	4	3	2	1	4	3	2	1
	2. 消防・救急・救助	4	3	2	1	4	3	2	1
	3. 生活安全	4	3	2	1	4	3	2	1
	4. 子ども・子育て支援	4	3	2	1	4	3	2	1
	5. 生きがいづくり・社会参加	4	3	2	1	4	3	2	1
	6. 保健・医療	4	3	2	1	4	3	2	1
	7. 健康づくり・スポーツ	4	3	2	1	4	3	2	1
	8. 地域福祉	4	3	2	1	4	3	2	1
	9. 障がい者福祉	4	3	2	1	4	3	2	1
	10. 高齢者福祉	4	3	2	1	4	3	2	1
	11. 保険（国保・介護保険等）	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅱ 町民の力や知 恵が集まるま ちづくり	12. 町民参画・協働	4	3	2	1	4	3	2	1
	13. 広報・広聴・情報化	4	3	2	1	4	3	2	1
	14. 行財政運営	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅲ 快適でくらし やすいま ちづくり	15. 自然環境・公園	4	3	2	1	4	3	2	1
	16. 地域環境	4	3	2	1	4	3	2	1
	17. 河川・下水道・生活排水	4	3	2	1	4	3	2	1
	18. 廃棄物処理	4	3	2	1	4	3	2	1
	19. 土地利用	4	3	2	1	4	3	2	1
	20. 住宅・住環境	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅳ 心豊かな人 を育むまち づくり	21. 景観形成	4	3	2	1	4	3	2	1
	22. 幼児教育・保育	4	3	2	1	4	3	2	1
	23. 学校教育	4	3	2	1	4	3	2	1
	24. 青少年	4	3	2	1	4	3	2	1
	25. 生涯学習	4	3	2	1	4	3	2	1
	26. 人権・男女共同参画	4	3	2	1	4	3	2	1
	27. 文化芸術・文化財	4	3	2	1	4	3	2	1
柱Ⅴ 元気や活力 が生まれる まちづくり	28. 道路・交通	4	3	2	1	4	3	2	1
	29. 産業（農業・漁業・商工業）	4	3	2	1	4	3	2	1
	30. 勤労・就業	4	3	2	1	4	3	2	1
	31. 観光	4	3	2	1	4	3	2	1

【参考：大磯町が実施している5つの方針（柱）と施策】

部門別計画	
柱Ⅰ 安全安心で いきいきとくらせる まちづくり	○安全なまちづくりの推進 ○子どもを産み育て育てやすい環境づくりの推進 ○健康と生きがいづくりの推進 ○こころふれあう共生社会の推進
柱Ⅱ 町民の 力や知恵が集まる まちづくり	○交流と協働のまちづくりの推進 ○開かれた町政と情報化の推進 ○持続可能な行財政の運営
柱Ⅲ 快適で くらしやすい まちづくり	○身近な自然環境空間の形成 ○良好な地域環境と循環型地域社会の形成 ○魅力ある快適なくらし空間の形成
柱Ⅳ 心豊かな 人を育む まちづくり	○次世代を担う人づくりの推進 ○つながりを育む生涯学習の推進 ○誰もが尊重される社会づくりの推進 ○先人から引き継いだ文化の継承と活用
柱Ⅴ 元気や活力が 生まれる まちづくり	○生活を支える交通基盤の形成 ○地域の特性を生かした産業の活性化 ○地域資源を生かした特色ある観光の推進

自由意見

問8 大磯町の将来のまちづくりについてご意見がありましたらご自由にご記入ください。

■ご協力ありがとうございました■

ご記入いただいた調査票は同封の返信用封筒に入れて 2024年8月7日（水） まで
にお近くのポストに投函ください。